



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

JWU GUIDEBOOK 2025

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

GUIDEBOOK 2025



日本女子大学
JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY

日本女子大学

革新を先駆ける。日本女子大学

「自らの人格を高め、使命を見いだして前進する」—— 創立者成瀬仁蔵が掲げた教育理念のもと、本学は1901年の創立以来、女性が社会で活躍できる思考力と実践力を育むため、時代とともに進化してきました。変化が著しく、価値観が多様化する現代。しなやかな感性を持つ女性の活躍は必然のものとなり、今まさに女性が真に輝く時代を迎えています。日本女子大学は、女子教育の先駆者として常に最前線に立ち、各界で活躍する女性を数多く輩出してきました。これからも、一人ひとりの未知なる可能性を引き出しながら、自分らしく生きる力を養えるように革新を続けます。

Guide 2025 Contents

002	学長のメッセージ 大学のヒストリー
004	目白キャンパス紹介
	【学びの特色】
006	教育の特徴
007	新学部紹介
008	キャリアサポート
010	就職・進学実績
012	卒業生たちの今
016	全学部共通の学び
020	グローバル教育 海外研修
022	海外留学・奨学金制度
	【学部学科・ラインナップ】
024	新設学部学科紹介
026	全学部・学科ラインナップ
	NEW 2025年開設予定
	食科学部 (仮称・届出中)
028	食科学科
032	栄養学科
	NEW 2024年開設
	建築デザイン学部
036	建築デザイン学科
	国際文化学部
040	国際文化学科

	家政学部
044	児童学科
048	被服学科
052	家政経済学科
	文学部
056	日本文学科
060	英文学科
064	史学科
	人間社会学部
068	現代社会学科
072	社会福祉学科
076	教育学科
080	心理学科
	理学部
084	数物情報科学科
088	化学生命科学科
	【大学のサポート体制】
092	資格取得
094	大学院
096	学生生活サポート 学生相談窓口 保健管理センター カウンセリングセンター
097	学寮の案内
098	サークル活動
099	目白キャンパスアクセスマップ オープンキャンパス情報
100	入試情報
116	学費と奨学金

※本冊子に掲載されている食科学部に関する内容はすべて仮称・届出中です。

※カリキュラム・授業名等は変更になる場合があります。※学生の学年表記は、取材当時(2023年度)のものです。

Message

今、世界の枠組みが大きく変わろうとしている時、高度に発展した現代社会において、女性がリーダーシップをとり、新しい価値観を創り出していく必要があります。

異なる文化を持つ人々の共存にコンフリクトはつきものですが、皆さんには、それを乗り越えるべく、他者を理解する広い見識、異なる考えを調整するコミュニケーション能力、それらを統合し、発信する力を身につけていただきたいと思えます。そして、何かを創るときには仲間が必要です。創立者が設立を目指した女子大学は、文字通り、新しい価値を生み出すものでしたが、この難業が成し遂げられたのは、仲間を持っていたからであり、日本女子大学は、「集合知」の結実ともいうことができるのです。

本学は、文理融合の教育環境の中で、さまざまなカリキュラムに加え、仲間との学びの場を用意しています。女子大学というのびのびと自分を磨くことができる環境だからこそ、見えてくる課題もあるはず。キャンパスを超えた、さらに「脱キャンパス」をかかげた多様で実践的な学びをとおして、課題を発見する力、周りと共に解決する力を養います。本学でのこれからの学びが、これまでの皆さん自身を大きく変えていくことでしょう。そうした皆さんの生涯を励まし、勇気づける大学であり続けたいと思っています。

日本女子大学学長 篠原聡子

新たな時代のために真の多様性を

Policy

創立者 成瀬仁蔵が 生涯教育とともに託した 三綱領



創立者

成瀬仁蔵

Naruse Jinzo

信念徹底

自己を見つめ、信念を確立する

自らを自覚し知ろうとする意志を持ち、自らへの不断の問いかけと知性を媒介として、自らのよるべき信念を探究する。三綱領のうちで最も基本となる。

自発創生

自発的な試みから独自性が生まれる

人それぞれが持つ天賦の才を徹底的に探究し、その人ならではの独自性や固有性を涵養、開発する。自己の内ひそむ未知なるものを確信することから始まり、「信念徹底」を模索する過程において生まれる。

共同奉仕

社会との交わりが人を成長させる

社会の中での他者との関係において、個を確立し成長させ、社会に必要な連帯と調和に寄与する。社会における知的、精神的、人格的交流が重要となる。

History

成瀬仁蔵は、日本における女子高等教育開拓者の一人で、明治時代、「人」が男性を意味していた社会のなかで「女子を人として教育すること」を第一に掲げるもさまざまな批判を受けます。しかし成瀬は女性の覚醒と自立を促し、教育全般の改革に力を注ぎ、女性が一人の人間として一生をかけて向上し、発展していく『生涯教育』の理念を展開しました。成瀬が伝え続けた教育の精神は、今も本学の貴重な財産として継承されています。



1901

「日本女子大学校」開校

「日本女子大学校」「日本女子大学校附属高等女学校」を開校。入学者は510名。今なお同じ場所に校門があります。



1906

「軽井沢三泉寮」開寮

実業家・三井三郎助より寮の提供を受け、成瀬は「健康の泉・知識の泉・心霊の泉」の三泉を汲むところとして三泉寮と名付けました。



1908

当時から実験・実習を重視

自然科学教育を重視する成瀬の教育方針により、高い水準の授業が行われ、優れた女性科学者を多数輩出しています。



1931

渋沢栄一校長就任

多額の寄付や建物の寄贈のみでなく、女子教育の推進のための講演や婦一協会の活動なども実施。第3代校長に就任しました。



1948

「新制日本女子大学」発足

成瀬の念願であった日本女子大学が成立。専門学校から「大学」となり、5月には盛大な記念式および祝賀会が開催されました。



2001

創立100周年

「百年館高層棟」竣工。地下1階、地上12階、高度化や多様化する学問を発展させる研究・教育棟として完成しました。



2021

創立120周年

文理融合で学べる総合大学として創立の地・目白に全学部が集結。グランドデザインは本学卒業生であり世界的建築家・妹島和世氏。

Mejiro Campus

目白の森のキャンパス

百二十年館

キャンパスのほぼ中央に位置する「百二十年館」には、人間社会学部の3学科および国際文化学部の研究室、23の教室、「JWUラーニング・コモンスかえで」や学生滞在スペースを設けています。

図書館

地上から地下に広がる書架スペース、上階には閲覧スペース。4階のフロアまでを回遊するようにスロープがつながる開放的な図書館です。図書資料や視聴覚機材を利用した学修、グループワーク、ラーニング・サポーターによる学修・研究の相談や支援を行う場となっています。



成瀬記念講堂

西洋の教会建築のような空間が広がるこの建物は、1906（明治39）年に建設されました。ステンドグラスや木骨トラスなどは今も当時のものが使われ、本学の歴史が持つ重厚で深淵な香りを漂わせています。1974（昭和49）年に、文京区指定有形文化財となりました。

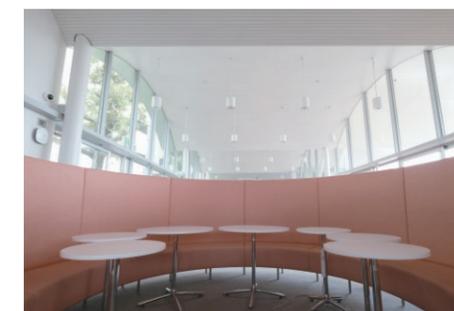


百年館

2001（平成13）年に完成した高層棟は、地上12階建てで、各種研究部門や生涯学習センターなどが入っている教育施設です。また、2003（平成15）年に完成した低層棟には、教室やメディアセンター、保健管理センターなどの施設があります。

成瀬記念館

正門すぐに立地する成瀬記念館は1984（昭和59）年に開館しました。本学の博物館、文書館としての役割を担っています。創立者・成瀬仁蔵の建学の精神と教育理念、学園の歴史がうかがえる展示が常設されているほか、毎年数回、テーマ展示を行っています。



杏彩館(きょうさいかん)

1階は約300席、2階には、曲線的なソファがあり、個々のスペースを確保して自由に利用することができます。ミーティングスペースは、大人数へのレクチャーやイベント会場としても活用可能です。



JWUラーニング・コモンスかえで(百二十年館)

「JWUラーニング・コモンスかえで」では、自治体や企業などとの社会連携や社会貢献といった学生の活動の場となっています。また、国際交流に関する情報提供やイベントも行っています。

2025年度 新学部新設予定 食科学部

(仮称・届出中)

人は、さまざまな食材・食品を調理して「食べる」ことで、身体活動や健康維持に必要な栄養素を摂取しています。食品に含まれる栄養素は、身体の成長や活動、病気の発生などに密接に関わっており、多様化が進むこれからの社会においては、「食」をいっそう科学的な観点から理解することが必要となるでしょう。この時代のニーズに応え、2025年度に「食科学部」を開設します。75年の歴史を持つ家政学部食物学科を前身とする新学部では、人が生きるうえで欠かせない食と健康に関する基礎知識を土台に、食品・調理・栄養の3分野を科学的観点から総合的に学ぶことで、人々のWell-Beingに貢献する「食」の専門家を養成します。

2024年度 新学部スタート 建築デザイン学部

多様性が求められ、変化が著しい時代。建築と人との関係のなかで、それぞれの生活に適った環境をつくり出す建築デザインの重要性が増していることから、2024年に建築デザイン学部を新設します。母体となる家政学部住居学科は、世界的な建築家である妹島和世氏をはじめ、著名な建築家を多数輩出してきました。建築デザイン学部は、住居・建築・都市など、住生活を包含する「環境」をさまざまな視点から理解し、デザインできる専門性の高い人材の育成を目指しています。また、全学生が卒業と同時に一級建築士の受験資格を得ることができます。

2023年度 新学部スタート 国際文化学部

2023年4月に、新入生123名を迎え、国際文化学部の初年度がスタートしました。本学部では、世界の多様な言語や文化を学ぶにあたって、「脱教室・脱キャンパス型」のプログラムで実際に体験し、さらにそれを英語やICTを用いて発信していきます。こうして国境やジェンダー格差といった「境界」だけでなく、自分の「限界」をも超えようとする「越境力」を育むのです。2023年度はすでに、1年次全員必修の「スタディ・アブロード・プログラム」(海外短期研修)を実施し、学生が貴重な「越境体験」を経て帰国しました。2024年度からは、中・長期の海外留学や国内研修を行う「実践プログラム」も始まり、学生に一層多様な「越境」の学びを提供していきます。

総合大学

近年、グローバル化やICT化、少子高齢化などにより、実社会では分野をまたいださまざまな知識が必要になっています。そのため人間生活・人文・社会・自然系の4つの科学系統を幅広くカバーする科目を用意し、関心に応じて学部・学科を横断して履修できるなど、幅広い学びの機会を提供しています。

少人数教育

密度の濃い授業を展開するために本学の「少人数による教育」では、教員が学生一人ひとりの個性と理解度を把握し、少人数のゼミを重ねることで知の技術を深め、学生のコミュニケーション能力を高めます。また勉強や進路についていつでも相談できるアドバイザーを置き、学生の向上心を支えています。

都心立地

2021年、創立120周年を機に新たなキャンパスとして生まれ変わった日本女子大学。本学の卒業生でもある、世界的に著名な建築家の妹島和世氏がランドデザインを手がけました。都心にありながら緑豊かで、歴史ある建物と新たな建物が融合し、学生のみならず地域社会の活動や共創の拠点となるキャンパスです。

トランスジェンダー女性と共に

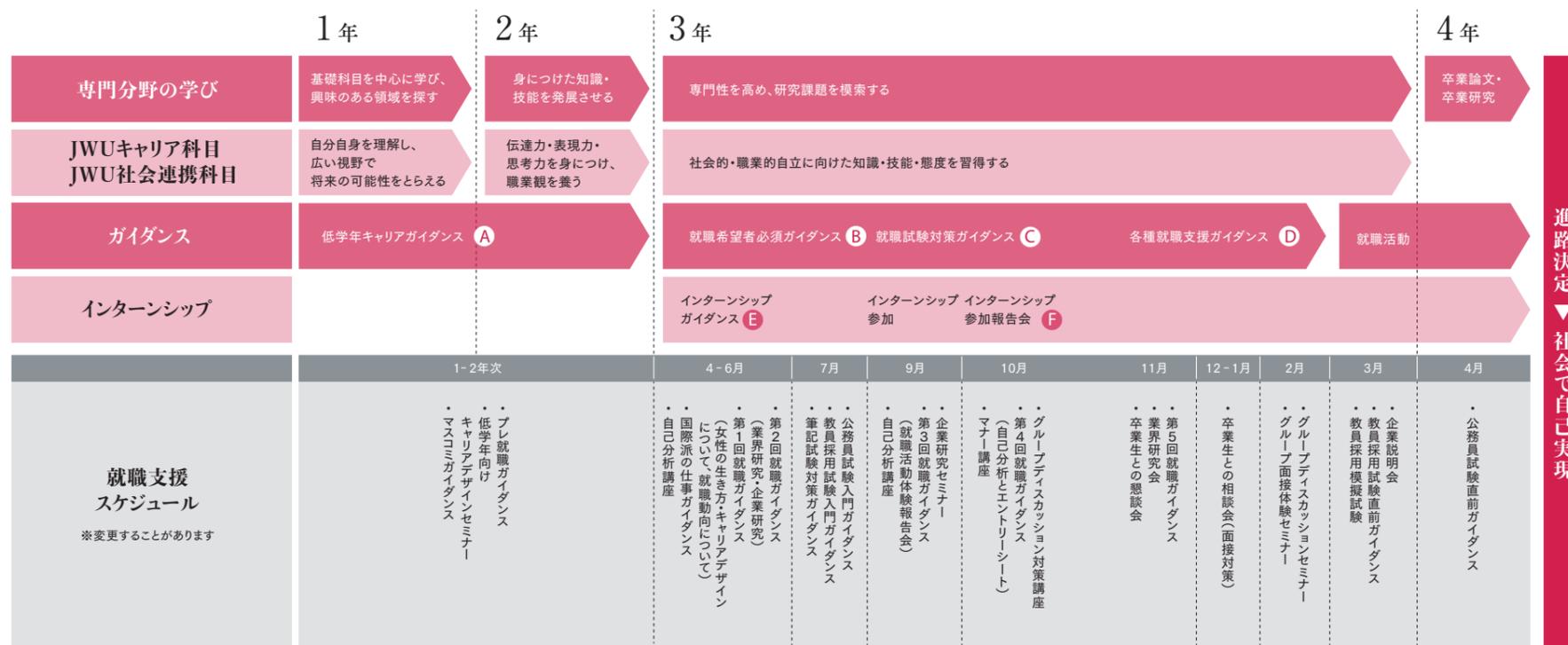
2024年4月入学よりトランスジェンダー学生(女性)*の方に出願資格を拡大して共に学ぶことを決定しました。私たちはこの決定が、すべての学生のアイデンティティを尊重し、多様性を包摂することにつながると考えています。そしてすべての学生が共に学び力づけ合う環境を作っていきたいと考えています。

* 出生時に割り当てられた性別が女性以外で、性自認が女性である人

一人ひとりの キャリアのために

JWUキャリア科目を柱に、「社会で自立した女性」を目指すためのプログラムを、1年次から段階的に提供しています。学内の機関が連携し、理想の将来像に近づくための生き方、働き方など、自らのキャリアをどう描くのかを、一人ひとりの「自己発見」と「自己実現」とおしてきめ細かくサポートしています。

キャリア支援課では、これまでの学生が残した就職活動のデータを活用して就職支援を行っています。「採用試験記録」や卒業生から寄せられる「私の職場状況」などの資料を就職資料室内で閲覧でき、就職活動のプランに生かします。3年次には本学オリジナル冊子「就職のしおり(PLACEMENT GUIDE)」を配布。長きにわたり蓄積した女子学生の就職に関する豊富な情報とノウハウで、きめ細かにサポートしています。



- A 低学年キャリアガイダンス**
「低学年向けキャリアデザインセミナー」「プレ就職ガイダンス」など低学年から参加可能なキャリアガイダンスを多数設けています。
- B 就職希望者必須ガイダンス**
「自己分析」「業界・企業研究」「エントリーシート対策」「面接対策」など、就職動向を理解し、就職活動に必要な知識を押さえるプログラムです。
- C 就職試験対策ガイダンス** [3年次向け]
多くの企業で実施されるSPI適性検査や一般常識筆記試験対策講座を開設して、傾向と対策を講義しています。
- D 各種就職支援ガイダンス** [3・4年次向け]
第一線で活躍する方による講演会、内定を獲得した4年生や就職後の卒業生との懇談会もあります。業界研究会・企業研究セミナー、面接対策講座も開催。
- E インターンシップガイダンス**
学部3・4年次に専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行います。ビジネスマナーの習得などの事前指導も行います。
- F インターンシップ参加報告会**
キャリア支援課の募集や各自が応募する就業体験に参加した後は、報告会で発表を行い、今後の学生生活や将来について考えます。

多彩な講座・セミナー			
教員採用試験各種対策 就職アドバイザー、実技担当の先生方、就職課程指導室、キャリア支援課、生涯学習センターが連携して実施。筆記・論文対策、面接対策などを行います。	自己分析講座 自分の性格や能力、人生観、職業に対する興味などを総合的に見つめ直し、将来の方向性について、体験を通して考える「自己分析」の方法を学びます。	公務員試験 各種対策 公務員の仕事を理解するための入門ガイダンスのほか、各自治体人事担当者による採用説明会も開催。体験報告会、直前ガイダンス、模擬面接なども実施。	就職活動準備セミナー 「就職活動について」「職種・業界・企業の研究方法」「自己分析」「志望動機を書いてみよう」「グループディスカッション」「グループ面接」など開催。
カウンセリングセンター 資格を持ったカウンセラーが進路についての個別相談に応じています。その他、性格分析セミナー、自己分析セミナー、職業興味検査など少人数のセミナーも各種実施。	メディアセンター開催セミナー ITスキルアップのためのミニセミナー、質問週刊を開催しています。相談コーナーが常設されており、ITに関する質問や関連資格の相談にも応じています。	生涯学習センター開講講座 就職や各種資格試験取得対策など充実した内容の「キャリア支援講座」を開講しています。在校生が受講しやすい日時設定で、多くの在校生が学んでいます。	桜楓会の在学生支援 同窓会組織である日本女子大学教育文化振興桜楓会では、教養講座(桜楓学園)、卒業生との就職相談会(大学支援事業部)など在校生を支援しています。

- 生涯学習センター
- カウンセリングセンター
- キャリア支援課
- メディアセンター
- 桜楓会

就職確定率
(2024年3月卒業者の就職希望者)

98.8%

※2024年5月1日時点

内定先の満足度
(2023年度)

98.6%

JWUキャリア科目 **16科目**



T.I.
文学部 日本文学科
福岡県/県立明善高等学校

清水建設株式会社
内定

測量士だった父の影響で建設業界に興味をもつ中で、内定先の「人や社会に貢献する」姿勢に共感し、志望しました。就職活動中は、キャリア支援課が些細な相談にも親身に乘って丁寧に指導してくださり、このサポートなくして内定はないと思えるほどお世話になりました。また、エントリーシートや面接に対応できたのは、日本文学科で文章を書く力や自分の意見を論理的に述べる力が鍛えられたからだ実感しています。



R.K.
理学部 化学生命科学科
千葉県/県立東葛飾高等学校

中外製薬株式会社
内定

「医療に貢献したい」という夢を叶えるため製薬企業にエントリー。中でも癌領域に注力する内定先を志望しました。入社後はオンコロジーMRとして癌患者に寄り添う仕事を希望しています。就職活動では、製薬企業に勤めるOGの方との対談会で、リアルな情報を得られたのが大きかったです。また、日頃の研究活動で培われたスケジュール管理能力のおかげで、エントリーシートや面接などを段取り良く進めることができました。



F.T.
人間社会学部 現代社会学科
東京都/私立陽友学園
女子高等学校

総合コンサルティングファーム
内定

大学1・2年次の「社長弟子入りインターンシップ」で社会人の方にお会いし、早くから理想の社会人像が描けたこと、また「社会に出るための自己表現-2」の授業で、就職活動に関する豊富な助言と体験談が得られたことで、社会に出て活躍するまでの道のりが明確になり、自信をもって就職活動に臨めました。卒業後はビジネスコンサルタントとして、人々の暮らしや業界全体の発展と、そのための課題解決に尽力していきます。

生涯を通じた学びを支える環境

通信教育課程(家政学・食科学部)
児童学科、食科学科(届出中)の2学科を開設し、テキスト学習と面接授業(スクーリング)により、所定の単位修得で本学の卒業資格(学士の学位)や教職免許、フードスペシャリストの資格が取得できます。ライフスタイルに合わせて学べます。

生涯学習センター(公開講座)
在学生の就職対策や各種資格取得を後押しするキャリア支援講座をはじめ、「教養講座」「桜楓会連携講座」「リカレント教育課程連携講座」などあらゆる世代の、多くの方々に生涯にわたる学習機会を提供しています。

リカレント教育課程
創業者、成瀬仁蔵が唱えた「女性が一生をかけて向上し発展することの大切さ」の精神を受け継いだ大学初のリカレント教育です。社会人女性のためのプログラムで、「再就職のためのキャリアアップコース」「働く女性のためのライフロングキャリアコース」「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」の3コースを開講しています。学生が受講可能な講座もあります。

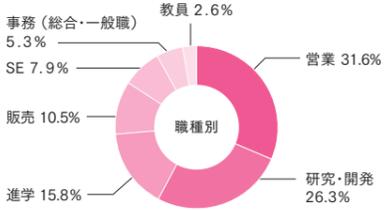
Career Path

就職・進学実績

(2024年3月卒業生)

家政学部 食物学科 食物学専攻

※2025年4月より食科学部食科学科(仮称・届出中)へ



主な就職・進学先一覧

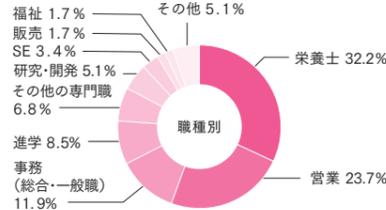
就職
営業 伊藤ハム/オタフクス/貝印/全農チキンフーズ/日本アクセス/マルハニチロ/三井食品/三菱食品 研究・開発 味の素/キリンビール/ケンコーマヨネーズ/WDB/デリカシエフ/中村屋/日清オイログループ/三菱商事ライフサイエンス/山崎製パン 販売 成城石井/たねや/虎屋/ローソン SE NTTデータフォース 事務(総合・一般職) 全国農業協同組合連合会千葉県本部 教員 神奈川県公立中学校

進学

日本女子大学大学院

家政学部 食物学科 管理栄養士専攻

※2025年4月より食科学部栄養学科(仮称・届出中)へ



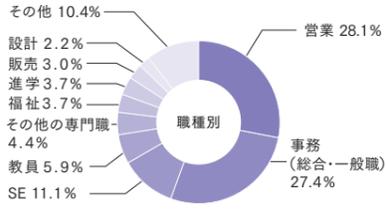
主な就職・進学先一覧

就職
栄養士 エムサービス/グリーンハウス/康心会(ふれあいグループ)/国家専門職 食品衛生監視員/コンパスグループ・ジャパン/正恵会/昭和大学病院/東京・特別区/東京都立病院機構/東京都庁 営業 味の素/ニチレイフーズ/マルハニチロ/Mizkan Holdings 事務(総合・一般職) IMSグループ/厚木市/オイシックス・ラ・大地 その他の専門職 星野リゾート 研究・開発 ジョイアス・フーズ/日清オイログループ/日本食品分析センター

進学

日本女子大学大学院/千葉大学大学院/東京医科大学大学院/東京大学大学院

文学部 日本文学科



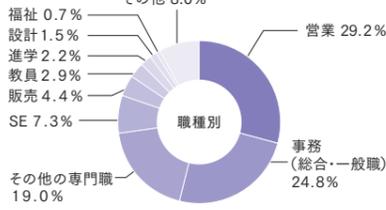
主な就職・進学先一覧

就職
営業 あいおいニッセイ同和損害保険/KDDI/住友生命保険/トーハン/TOPPANエッジ/星野リゾート・マネジメント/三井住友銀行/りそな銀行 事務(総合・一般職) 朝日新聞社/さいたま市/埼玉県/裁判所/清水建設/聖路加国際大学/東京・特別区/東京都公立大学法人/日本銀行/日本芸術文化振興会 SE NTTデータフィナンシャルテクノロジー/日本電気(NEC) 教員 神奈川県公立中学校/東京都公立中学校 販売 ニトリ

進学

日本女子大学大学院/早稲田大学大学院

文学部 英文学科



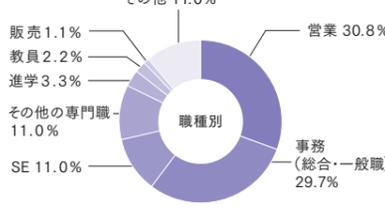
主な就職・進学先一覧

就職
営業 オリエンタルランド/サントリーホールディングス/ニトリ/星野リゾート/みずほ証券 事務(総合・一般職) 国家一般職/創英国際特許法律事務所/大日本印刷/TOPPAN/西村あさひ法律事務所/村田製作所/横浜銀行 その他の専門職 アクセンチュア/キャセイパシフィック航空/全日本空輸/日本航空/パーソルホールディングス SE キヤノン電子テック/ロジック/日本ビジネスシステムズ 販売 人形町今半/三越伊勢丹ホールディングス 教員 日本女子大学附属豊明小学校

進学

日本女子大学大学院/東京都立大学大学院

文学部 史学科



主な就職・進学先一覧

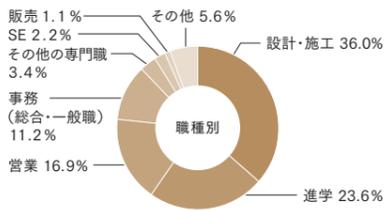
就職
営業 NTTデータ/千葉銀行/東京海上日動火災保険/ハウス食品/パナソニックインダストリー/阪急交通社/富士フィルムビジネス/ベーションジャパン/三井住友信託銀行/三井住友トラスト/パナソニックファイナンス/三菱UFJ信託銀行/リクルート 事務(総合・一般職) 国家一般職/東京電力ホールディングス/東京・特別区/日中友好会館/野村不動産ソリューションズ/長谷工コミュニティ/府中市 SE 日立ソリューションズ・クリエイト/リコージャパン その他の専門職 ANAエアポートサービス/日本航空 教員 埼玉県公立高等学校

進学

日本女子大学大学院/静岡大学大学院

建築デザイン学部 建築デザイン学科

※旧家政学部住居学科 居住環境デザイン専攻・建築デザイン専攻の実績になります。



主な就職・進学先一覧

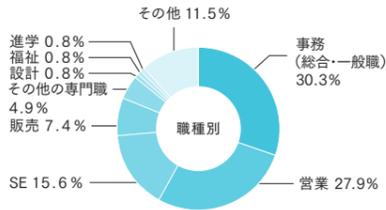
就職
設計・施工 旭化成ホームズ/大林組/オカムラ/奥村組/オムニ設計/鹿島建設/コクヨ/清水建設/大成建設/都市再生機構/戸田建設/パナソニックホームズ/三菱地所ホーム/武蔵野市/LIXIL 営業 NTT東日本/住宅金融支援機構/三井デザインテック 事務(総合・一般職) 川崎市/ジェイアール東日本都市開発/積水ハウス/東京・特別区/三井不動産リアルティ その他の専門職 さいたま市検査センター/長谷工コミュニティ

進学

日本女子大学大学院/東京藝術大学大学院/東京工業大学大学院/横浜国立大学大学院

国際文化学部 国際文化学科

※旧人間社会学部 文化学科の実績になります。



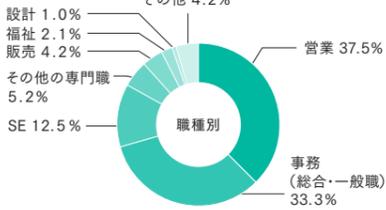
主な就職・進学先一覧

就職
事務(総合・一般職) 出光興産/国際協力銀行/国家一般職/東京・特別区/バンダイ 営業 アートネイチャー/アパホテル/HISホテルホールディングス/KDDI/コクヨ/資生堂/第一生命保険/日清食品ホールディングス/パーソルテンプスタッフ/BS朝日/三井ホーム/明治産 SE NTTデータ 販売 小田急百貨店/クリスチャン・ティオール/三越伊勢丹ヒューマンソリューションズ/ヨドバシカメラ/ラルフローレン その他の専門職 JALスカイ

進学

同志社大学大学院

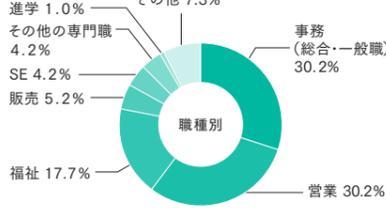
人間社会学部 現代社会学科



主な就職・進学先一覧

就職
営業 イオンモール/デジタル・アドバイジング・コンソーシアム/東急コミュニティ/東京海上日動火災保険/日本製紙クレシア/日本電気(NEC)/三井住友信託銀行/三菱食品 事務(総合・一般職) 首都圏リース/筑波大学/東京・特別区/日本銀行/日本年金機構/みずほ銀行/三菱HCキャピタル/横浜市 SE NECソリューションズ/ペータ/NTTデータビジネスシステムズ/ジェイアール東日本情報システム その他の専門職 テレビ松本ケーブルビジョン/PwCコンサルティング 販売 ワールド

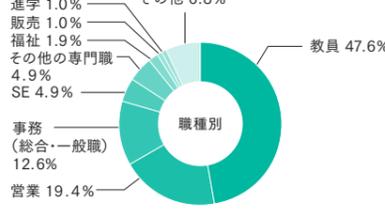
人間社会学部 社会福祉学科



主な就職・進学先一覧

就職
事務(総合・一般職) オリエンタルランド/鹿島建設/東京都社会福祉協議会/日本銀行/日本赤十字社/日本年金機構/三鷹市 営業 ジェーシービー/ソフトバンクグループ/日清医療食品/日本生命保険/富士通/みずほ銀行/リクルート 福祉 厚木市立病院/川崎市社会福祉協議会/さいたま市/相模原市/至誠学舎立川/東京医科大学病院/東京海上日動ベターライフサービス/東京・特別区/富山県/福音楽/横浜市

人間社会学部 教育学科



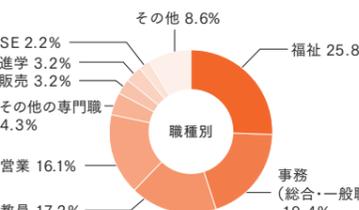
主な就職・進学先一覧

就職
教員 神奈川県公立小学校/川崎市公立小学校/埼玉県公立小学校/さいたま市公立小学校/さいたま市公立中学校/相模原市公立小学校/静岡県公立小学校/千葉県公立小学校/千葉市公立小学校/東京都公立小学校/横浜市公立小学校 営業 あいおいニッセイ同和損害保険/足利銀行/内田洋行/日清製粉ウェルナ/日本生命保険/パナソニックマーケティングジャパン/ヤクルト本社 事務(総合・一般職) 大塚商会/園学院大学/東京・特別区/東京都庁 SE 伊藤忠テクノソリューションズ その他の専門職 ANAエアポートサービス

進学

筑波大学大学院

家政学部 児童学科



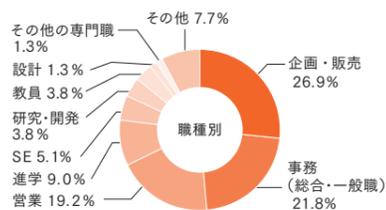
主な就職・進学先一覧

就職
福祉 アンダーテ/東京育成園/東京・特別区/東京都庁/町田市学童保育クラブの会/武蔵野市/横浜市 事務(総合・一般職) 柏市/国立成育医療研究センター/さいたま市/相模原市/東京大学/東京・特別区/日野市 教員 東京都特別区公立幼稚園/八王子市学童園なかの幼稚園/大和郡学園大和郷幼稚園 営業 サリット・カールトン日光/そごう・西武/日本郵便/ニューオータニ その他の専門職 光文書院/日本航空

進学

日本女子大学大学院/筑波大学大学院

家政学部 被服学科



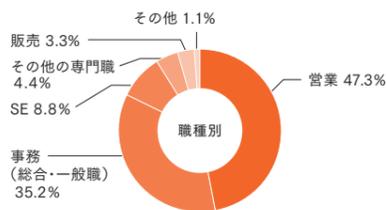
主な就職・進学先一覧

就職
企画・販売 アオキホールディングス/アダストリア/しまむら/セシル/東京管公学生服/トンボ/パナソニック/ペイクルズ/良品計画 事務(総合・一般職) 小金井市/ジノメ/日本銀行 営業 青山商事/TOPPAN/横浜銀行/ルックホールディングス SE キヤノン電子テクノロジー 教員 東京都立高等学校/富山県公立中学校 研究・開発 ケケン試験認証センター/マッシュスタイルラボ/YKK

進学

日本女子大学大学院/東京モード学園

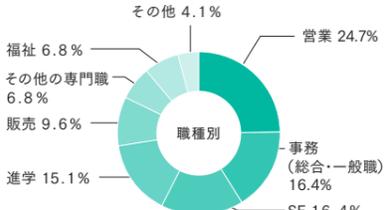
家政学部 家政経済学科



主な就職・進学先一覧

就職
営業 あいおいニッセイ同和損害保険/NTTドコモ/きらぼし銀行/ジェーシービー/ジョンソンエンドジョンソンジャパン/セコム/東京海上日動火災保険/東京スター銀行/日本生命保険/パーソルキャリア/みずほ銀行/りそな銀行/ルミネ 事務(総合・一般職) 神奈川県警察本部/東京・特別区/日本銀行/日本電気(NEC)/日本年金機構/農林中央金庫/三菱HCキャピタル/有限責任あずさ監査法人 SE NTTデータ/野村総合研究所 その他の専門職 警視庁/テレビ大分

人間社会学部 心理学科



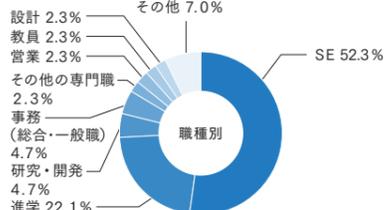
主な就職・進学先一覧

就職
営業 ANAテレマート/第一生命保険/千葉銀行/日本郵政コーポレートサービス/三井ホーム 事務(総合・一般職) 川越市/川崎市/守谷市 SE NTTデータ/日立ソリューションズ/三菱電機インフォメーションシステムズ 販売 京王百貨店/東急ストア その他の専門職 国家専門職 福祉 綾瀬市/川崎愛児園/目黒区社会福祉事業団 心理専門職 川崎市/富山県

進学

日本女子大学大学院/神戸大学大学院/首都医校/東京学芸大学大学院/名古屋大学大学院/兵庫教育大学大学院

理学部 数物情報科学科



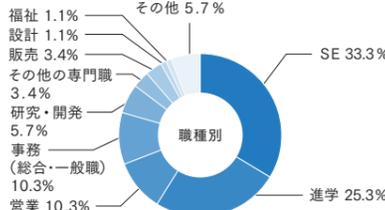
主な就職・進学先一覧

就職
SE アマゾンウェブサービスジャパン/伊藤忠テクノソリューションズ/NECネットエスアイ/NTTコムウェア/TOPPAN/日本銀行/日本総合研究所/日本電気(NEC)/日立システムズ 研究・開発 KDDI/コカカミノルタ/ドコモ・テクノロジー 事務(総合・一般職) 東京都庁/日本経済広告社 その他の専門職 アクセンチュア 教員 さいたま市公立中学校/東京都公立中学校 設計 日産オートモティブテクノロジー/三菱電機

進学

日本女子大学大学院/東京医科大学大学院/電気通信大学大学院/横浜国立大学大学院/立命館大学大学院

理学部 化学生命科学科



主な就職・進学先一覧

就職
SE 伊藤忠テクノソリューションズ/NECソリューションズ/ベータ/NTTデータ・アイ/日立ソリューションズ/三菱電機 営業 中外製薬/日本電気(NEC)/日本マクドナルドホールディングス/富士通ゼネラル/ロッテ 事務(総合・一般職) 日本女子大学/医薬品医療機器総合機構/国家一般職(経済産業省)/日本銀行 研究・開発 NTTアノードエナジー/応用地質/露島酒造/滝沢ハム その他の専門職 国家専門職(国税専門官) 販売 ニトリ/ミキモト

進学

日本女子大学大学院/大阪大学大学院/東京医科大学大学院/東京工業大学大学院

卒業生たちの今



ハイレベルな調理実習の経験が
今の開発業務に生きている

コンビニエンスストア向け商品を開発・提案

昔から食べるのが好きだった私は、食に携わる仕事がしたいと考え、就職活動では食品メーカーに絞ってエントリーしていました。当社は食肉業界の中でリーディングカンパニーとして多くの方に認知・支持されており、自分もその一員として働きたいと考え入社しました。現在はコンビニエンスストア向けの開発営業を行っていて、お弁当やお総菜用の商品を担当しています。コンビニエンスストアは毎週新商品が発売されるため、商品の入れ替えが早い業界です。そのため、マーケットに適した商品を開発・提案し、それが採用されて店頭に並んだときの喜びはひとしおです。大学では、食に特化した授業が多かったので、今の仕事に活かされています。とくに調理実習は、年次が上がるごとにレベルの高い内容になり、世界の料理を一から本格的に作った経験は、今の開発業務でもヒントになることが多々あります。大学では、自分のやりたいことを見つけ、ぜひ最後までやりきってください。成功体験は次につながる活力となり、そのときに感じたやりがいや達成感は社会人になって必ず生きてくるはずですよ。

E.Y.

日本ハム株式会社
加工事業本部営業統括事業部 CVS開発営業部
CVS向け開発営業

2018年、家政学部食物学科食物学専攻卒業。同年、日本ハム株式会社に入社。現在、加工事業本部営業統括事業部CVS開発営業部に所属し、コンビニエンスストアの弁当や惣菜向けの商品の開発営業に携わる。

国内外の建築の設計・デザインを行う

大学時代、規模の異なる建築を扱い、国内だけでなく海外のプロジェクトにも関わることができるアトリエ事務所を志望する中、参加したアイデアコンペで隈研吾さんが審査委員長を務められたことも縁になり、当事務所に勤めることになりました。現在は、意匠設計者として建築の設計・デザインをしています。一生の仕事にしたいので、心身ともに持続性のある働き方を心がけており、常に自分にとって自然な状態を保ち、新しいことを吸収する余白ももてるように努めています。仕事では他言語でのコミュニケーションも多いのですが、在学時に海外の大学とのワークショップに参加したことで、臆することなくできています。母語でない言語は語彙が限られることもあり、自分の意見を端的にまとめる訓練にもなりました。大学に入学したら自分の興味や好きなことに向かって突き進み、自分の目ですべて確かめるくらいの勢いで気になる場所に足を運び、多様な人と交流してください。本学にはそれを叶える自由闊達な風土があります。何を学び、何にエネルギーを注ぐのか、自由に選択できる時間を存分に楽しんでほしいと思います。

M.H.

隈研吾建築都市設計事務所
意匠設計

2018年、家政学部住居学科建築デザイン専攻卒業。2020年、家政学研究科修士課程住居学専攻修了。同年、隈研吾建築都市設計事務所に入社。意匠設計者として国内外の建築の設計・デザインに携わる。



興味を追求したその先に
将来の自分が見えてくる



水泳部の主将としての経験が
人に寄り添う接客の礎に

拡大する買取業で百貨店品質の接客を提供

大学在学中に伊勢丹内のレストランでアルバイトをしたことがきっかけで、接客業をもっと学びたいと思い、三越伊勢丹に入社。地元貢献も考えて、幼少期から利用している伊勢丹浦和店への配属を希望しました。現在は、三越伊勢丹直営の買取・引取サービス「i'm green」を担当しています。市場が拡大している買取業ですが、百貨店への信頼から当店をお選びいただくことが多く、「ここをお願いして良かった」とお客様の笑顔が見られる瞬間にやりがいを感じます。本学では水泳部に所属し、3年次には主将を務めました。活動に対する熱量は人それぞれなので、部員を統率するには苦労もありましたが、周りの支えもあり一年間やり遂げました。職場でも立場や考えの異なる人に寄り添い、人と人をつなぐ意識をもって業務にあたっているのは、水泳部での経験のおかげです。大学時代に胸を張って頑張ったと言えるものがあると、社会に出てからの強みになります。また、どんな人生を歩みたいのか突き詰めることで将来の道が開けてきます。ぜひ素敵な経験を、新しい自分との出会いを、この日本女子大学で見つけてください。

I.F.

株式会社三越伊勢丹 伊勢丹浦和店 外商担当(CS)
i'm green (アイム グリーン) 伊勢丹浦和店

2018年、人間社会学部文化学科卒業。同年、株式会社三越伊勢丹に入社。現在は伊勢丹浦和店で外商担当に所属し、三越伊勢丹直営の買取・引取サービス「i'm green」を担当。百貨店ならではの質の高いサービスを提供している。

お客さま目線で損害保険の支払い業務にあたる暮らしに安心感を与え、いざというときの力になれる損害保険業界にひかれ、OG訪問での社員の方の話に強く共感し、当社を志望しました。入社して5年、主に法人のお客さまの火災保険や新種保険の保険金をお支払いする業務に携わっています。やりがいを感じるのは、保険金のお支払いを通じて少しでもお客さまの力になれたとき。また近年は大規模な自然災害が多発しており、損害保険の重要性を一層認識しています。仕事では相手の立場にたち、「自分だったらどんな不安を感じるか?」など常に考えてお客さまに接しています。当たり前のように聞こえるかもしれませんが、その価値を真に理解し、自分なりのテーマにできたことこそ、本学の学びから得られたもの。少人数授業が特長の一つである本学では、グループでの発表やペア学習の機会が多く、多様な人と学び合うなかでコミュニケーション能力が育まれ、相手の立場にたって考えられるようになりました。皆さんもさまざまな人と交流し、何事にも積極的に挑戦して豊かな学生生活を過ごしてください。経験したことは、社会人になったときに必ず血肉になるはずです。

M.O.

三井住友海上火災保険株式会社
グローバル損害サポート部
火災新種第一保険金お支払いセンター 保険金お支払い業務

2018年、文学部英文学科卒業。同年、三井住友海上火災保険株式会社に入社。グローバル損害サポート部に所属し、火災新種第一保険金お支払いセンターにて保険金の支払い業務を担当する。



相手の立場で考える対人スキルは
少人数での学び合いで養われた



福祉を幅広く学んだことで
支援の視野が広がった

福祉業界で働く人の転職をサポート

私は、障がい者福祉の支援現場で働く支援員や管理者の転職支援をするキャリアアドバイザーをしています。支援した方が新たなキャリアをスタートさせるときや、その方の活躍を採用担当者から伝えられたときに自分の介在価値を感じます。大学時代は、人の役に立ちたいという思いのもと社会福祉の可能性を探究。本学で福祉を幅広く学ぶ中で「福祉は限られた人のものではなく、すべての人のものである」ことを知り、社会で生活するすべての人がより良く生きられるようサポートができる人材になりたいと思うようになりました。そして、そのより良く生きたいと願う人々と社会をつなぐ手段として、就労支援に携わりたいと考え人材業界を志望。幅広く業界についての知見を広めるべく株式会社リクルートに入社しました。2年半ほど転職サイトの広告営業に携わったのち、この経験を生かして福祉業界でキャリアアドバイザーに挑戦したいと考え、当社に転職。現在は求職者の人生に寄り添うアドバイザーを目指し、法人とのマッチングのさらなる質の向上に取り組んでいます。皆さんも大学に入学したら、自分の興味を追求し、自分と向き合う時間をたくさん作り、将来のビジョンを描いてください。

C.K.

株式会社LITALICO
LITALICO キャリア エージェントグループ

2019年、人間社会学部社会福祉学科卒業。同年、株式会社リクルートに入社。転職サイトの広告営業に携わったのち、2021年に株式会社LITALICOに入社。現在、LITALICOキャリア エージェントグループに所属し、福祉業界のキャリアアドバイザーとして活躍する。



インターンでの成功体験が
今の仕事に就くきっかけに

クラウド製品を扱う業務の改善策を提案

現在、法人のお客さまにクラウド製品の提案を通じて、業務変革の支援をしています。提案したソリューションによって業務が改善したことをお客さまから感謝される時、この仕事をしていて良かったと感じます。現職に就いたきっかけは、大学時代に経験したインターンです。Office製品を工夫して使うことで業務が劇的に改善したことがあり、そういった経験を多くの企業に提供できる仕事がしたいと考え、当社を志望しました。振り返ると、希望する仕事に就けたのは、学業においても就職活動においても、学生一人ひとりに向き合う本学のサポートがあったからこそ。また、本学で実践的なITリテラシーを学べたことの価値も、実際のビジネスの場で改めて実感しています。仕事では、すべてを自分だけで成し遂げるのは不可能ということもありますが、他者の知見を借りることで自分だけではできなかったことが実現でき、その方が大きな成果につながりやすいと感じています。これからも周りの人を巻き込んで業務を進めることを信念とし、多くの企業により良いソリューションを提案していきます。

E.S.

日本マイクロソフト株式会社
ソリューション営業

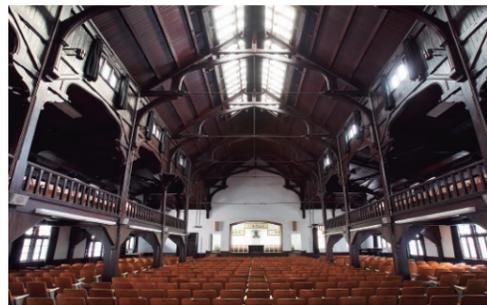
2018年、理学部数物科学科卒業。同年、日本マイクロソフト株式会社に入社。ソリューション営業として、法人向けのクラウド製品の提案を行い、より良い働き方の実現に向けた業務変革を支援している。

幅広い教養と豊かな人間性を育む

私たちが生きる21世紀は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、科学技術は飛躍的に発展していきます。そのような価値観の多様化や複雑化が当たり前になっていく時代で自分らしく活躍するために、本学では学科や専門の枠にとらわれず、幅広い教養を身につける基盤的教育科目として共通カリキュラムを設置しています。

教養特別講義

1901年の創立当初から創立者 成瀬仁蔵が担当していた「実践倫理」の講義を原点として、1966年に始まった1年次の必修科目です。学生委員が中心となって選出した講師の講義やセミナーへの参加をとおして、本学の教育理念や方針を理解するとともに、現代社会における自らの生き方や将来について主体的に考察を深める科目として、今も脈々と受け継がれています。



この科目は本学の初年次教育の一環として位置付けられています。夏季集中を含む、全3回の教特セミナーにおいて議論することにより、自身の考えをまとめ、発表へと展開する方法を実践します。授業における課題は自校教育をふまえながら、大学教育へ円滑に移行できるように学科ゼミ別に設定されます。教特セミナーを通して、学生同士や教員との親睦を深め、4年間の大学における学びへとつなげていきます。

- 学長および成瀬記念館講師による講義
- 3回のセミナー(夏季集中を含む)
- 本学ゆかりの講師による講演会への参加
- 「教養特別講義 ~本学の建学の精神と教育理念を学ぶ~」の講読
- 成瀬記念館の見学

教養科目

本学の教養科目は、(1)人類の知的財産を継承しつつ、歴史的存在としての現在について理解し、(2)さまざまな学問分野の成果を自身の知識の中に組み入れ、(3)批判的意識をもって自立した市民として生きる価値観を確立できるよう意識づけることを目的としています。学科専門の枠を超えて、幅広い知識と柔軟な思考を持ちながら、ものごとを適切に判断し行動できる力を育むための科目を多数設置し、3つのテーマからバランスよく科目を履修します。本学で学ぶ意義の深い科目として、世界平和、社会貢献などに関する科目やアクティブ・ラーニング形式の演習科目を設置しています。

A系列 多様な社会と人間の尊厳	「女性と法律」 「ジェンダーと社会」 「平和学」「メディアと社会」など
B系列 自然の摂理の探求	「食と健康」「衣と健康」 「住まいのデザイン」「情報と通信」 「天文学と宇宙観の歴史」など
C系列 知性と文化の系譜	「女性と芸術」 「ことばと社会」「映像論」 「ロジカル・シンキング入門」など



基礎科目

各学科の専門科目を学修する際の土台を形成し、社会に出て活躍するための基礎力を身につけるための科目。少人数のクラスで密度の濃い授業を展開しています。

外国語 英語

グローバル社会における世界共通語として英語を修得。異文化のさまざまな価値観などに対する理解を高め、コミュニケーション能力を培うことを目的としています。必修英語では特に、英語による自己発信方法としてのプレゼンテーション能力を養成します。「プレゼンテーション・イングリッシュ」「アクティヴ・イングリッシュ」の必修英語のほか、意欲ある学生が4年間継続して学ぶことのできる選択科目を設置しています。

【学びの5ステップ】

自己発信型の語学力重視

- 5 プレゼンテーション
- 4 プレゼン用メモの作成
- 3 リサーチとブレインストーミング
- 2 プレゼンテーション・テクニックの習得
- 1 モデルプレゼンの視聴、表現の習得
会話、ディスカッション

初修外国語 ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語

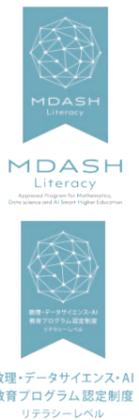
本学では4カ国の初修外国語科目を入門から上級まで学ぶことのできるカリキュラムとして設定しています。言語を学ぶにあたり文化的背景の理解を重視し、さまざまな文化的背景を持った人々とコミュニケーションをとる多角的な言語能力が身につけられる授業を行っています。すでにドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を相当程度学習した学生は、その学力について「初級外国語学力認定」や、「技能審査等の合格による単位認定」を受けることで、中級以上のクラスを履修することができます。

情報処理「基礎情報処理・AI入門・ICT活用」など

情報科学および情報処理に関する基礎的な知識を講義と実習で修得。Windows環境でのデータ処理、簡単なプログラミングを行える能力を養うとともに、情報化時代に必要AI、IoTなどの知識を身につけます。



文部科学省 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)を導入 (認定の有効期限・令和8年3月31日まで)



身体運動「身体運動・身体運動演習」など

創立者の成瀬仁蔵は、健康や人格向上のために「身体運動」を重要な科目として位置づけています。さまざまなスポーツを実践することにより、自らの健康の維持・増進のための適切な運動習慣を身につけます。



思考力、表現力、実践力を身につける

女性が社会で力を発揮できる思考力と実践力を育むためのカリキュラムを提供しています。さらに、文理融合の強みを生かした3つの認定プログラムを設置。専門領域の学びに加え多彩な授業を履修することにより、将来さまざまな分野で力を発揮できる人材の育成を目指しています。

JWUキャリア科目・JWU社会連携科目

女性が社会で力を発揮できる思考力と実践力を育むためのカリキュラムです。

JWUキャリア科目

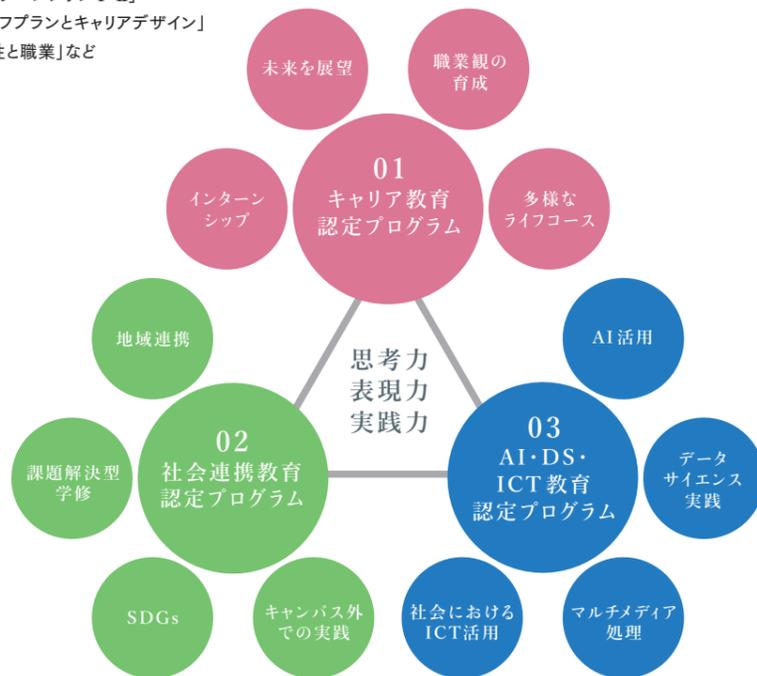
実社会で役立つ法律、女性を取り巻く社会情勢やダイバーシティなど、また各分野で活躍する職業人との対話を通して、多様な社会との関わり方を主体的に学ぶことで職業観を養います。演習科目では、社会へ発信する意思伝達力・表現力と柔軟な思考力を身につけます。さらに、インターンシップをすることにより、今後の目標をより明確にすることができます。

事例：「インターンシップI・II」
「ライフプランとキャリアデザイン」
「女性と職業」など

JWU社会連携科目

自治体や企業、研究機関等と一緒に社会課題の解決について実践的に取り組む科目。キャンパスの外に飛び出して客観的に判断できる思考、潜在する社会課題を本質的に見据え、解決の方策を模索し、新しい発想で社会を切り開く力を養います。

事例：「地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習」
「社会連携・社会貢献活動」など



ジェンダー関連科目

あらゆる多様性を包摂するとともに、本学に集う「女性」同士が学問を通して力づけ合うことをめざして、JWUキャリア科目、JWU社会連携科目の中からジェンダーやダイバーシティに関する科目をまとめて提示し、学部学科を問わず積極的に受講することを勧めています。

科目名(抜粋) ■ライフプランとキャリアデザイン ■仕事・結婚・わたし ■女性と身体 ■多様な働き方とキャリア ■ダイバーシティとキャリア ■女性就業と家族の経済学 ■社会課題とNPO・NGO

全学部共通プログラム

女子総合大学ならではの3つの基盤的教育の認定プログラムを設置しています。プログラムで多彩な授業を履修することにより、Society 5.0の未来社会において新たな価値をみいだす力、社会に出るための基盤となる知識や柔軟な思考力、社会へ発信する表現力、問題解決に向けた実践力を身につけて、将来さまざまな分野でそれを発揮できる人材の育成を目指しています。

01. キャリア教育認定プログラム

自分の特性を知り、実りある道を選択するために

一人ひとりの特性を生かして未知なる可能性を伸ばし、社会で力を発揮していくうえで役立つ科目を開講しています。このプログラムを通して、現代社会に生きる女性の生き方・働き方について考え、先人に学び、幅広い知識・思考力・実践力を身につけることができます。



プログラムの科目名(抜粋)

- ライフプランとキャリアデザイン
- 多様な働き方とキャリア
- 社会に出るための自己表現
- 女性就業と家族の経済学
- 女性と職業
- 現代ビジネスと起業
- ダイバーシティとキャリア
- インターンシップI・II

02. 社会連携教育認定プログラム

社会・地域とつながり、キャンパスの外で実践力を磨く

1年次では講義科目で社会や地域がかかえる課題について理解し、自らの視野を広げていきます。2年次以降は、自治体や企業と協働して問題発見・解決に取り組む課題解決型の演習科目を履修し、さらに自治体、企業などでの実践活動を行うなど、キャンパスの外での学びや体験を深めます。



プログラムの科目名(抜粋)

- ボランティア概論
- 課題解決型ワークショップを用いた企画開発
- 地域・企業と未来を創るクリエイティブ・プロジェクト演習A~D
- 社会連携・社会貢献活動I・II
- 社会連携を学ぶ(子ども・子育て、地域活性化・SDGs)
- 地域・社会課題を学ぶ(自治体等との連携)

03. AI・DS・ICT教育認定プログラム

Society5.0の未来社会での課題解決力を身につける

AIとデータサイエンスを中心に情報技術を実践的に学び、それらを活用して社会の問題を解決できる人材を育成するためのプログラムです。1年次必修の情報科目を入門として、2年次からより実践的で高度な科目を選択して履修します。また、産学連携を重視し、実際に社会の中でICTを提供している企業と連携した内容を含みます。



プログラムの科目名(抜粋)

- AI入門
- データサイエンス入門
- ICT活用I~VI
- 社会におけるICT・データサイエンス活用

「認定プログラム修了証」を発行

卒業までにそれぞれのプログラムで指定の科目を履修し、単位(9単位または10単位以上)を修得・申請すれば認定プログラム修了証が発行されます。

Global Education

世界の文化にふれ グローバルに学ぶ



詳しくは、HPを
ご覧ください。

海外研修・海外留学



カナダ

カナダ・バンクーバー短期留学(夏季)

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバーでホームステイをしながら、クワンツレン・ポリテクニク大学にて英語コミュニケーションはもちろん、オンラインミーティングや就職活動にも役に立つ英語も学べる研修です。



アメリカ

ポートランド州立大学 Field Study & America Plus Programs (夏季)

アメリカのオレゴン州にあるポートランド州立大学にて、コミュニケーションに重点をおいている研修です。英語を使って、産業都市ポートランドの文化やビジネスについて学びます。



アメリカ

ニューヨーク英語研修(春季) (ベース大学で学ぶ実践英語とキャリアデザイン)

ニューヨーク在住のOGとの交流会や、世界的建築家の卒業生・妹島和世氏が設計した施設Grace Farmsの訪問を通して、自らの将来のキャリアを考えながら、生きた英語を学ぶ研修です。



カナダ

バンクーバーで学ぶ英語& JTBカナダオフィス体験研修(春季)

国籍を問わず、人に優しい多様性の街・バンクーバーで学ぶ研修です。英語研修のほか、JTBインターナショナルカナダでオフィス体験を行うプログラムを用意しています。



フランス

フランス語・フランス文化研修 (夏季)

パリと南仏のラ・ナプールという小さな町に滞在し、フランス語の語学研修や実際の暮らしを通して、フランス語を使い現地の人々と交流し、フランス語とフランス文化を体感します。



韓国

韓国語学・文化研修(夏季) (梨花女子大学)

名門女子大学である梨花女子大学で、韓国語の研修とともに、韓国の社会・歴史・文化への認識を深め、さまざまな国から訪れている留学生とも交流し、相互理解を深めていきます。



M.A.
家政学部 児童学科
神奈川県 / 県立上溝南高等学校

ニュージーランド 幼児教育研修 (2023年3月)

3年次のゼミでニュージーランドの保育に興味をもち、実際に保育・教育の様子を見てみたいと思い、研修に参加しました。現地では、ワイカト大学で保育カリキュラム「テ・ファールキ」やマオリ文化に関する講義を受けたほか、大学内にある保育園や地域のプレイセンター、特別支援学校、小学校などを視察。日本の幼児教育との違いも感じる中で、子どもにとってより良い教育とは何なのかという観点から新しい知見を得ることができました。子どもに関わる仕事に就いた際には、ニュージーランドの自由で開放的な環境構成や幼児教育の考え方も参考にして、実践に生かしていきたいです。



その他実施プログラム



中国

夏期中国短期留学
(北京師範大学)



バングラ
デシュ

海外ソーシャルワーク
研究(バングラデシュ
で学ぶ国際援助)



フランス

春季フランス語研修
(アンジェ西部
カトリック大学)



フランス

ヨーロッパ
服飾文化研修
(被服学科限定)



スウェーデン

スウェーデン海外研修
(教育・保育・環境・
ESD・SDGs)



イタリア・
オーストリア

ヨーロッパ
食文化研修
(食物学科限定)



ニュージー
ランド

ニュージーランド
幼児教育研修



イギリス

ヨーロッパ住居・
建築・都市デザイン
研修(建築デザイン
学部限定)



台湾・
マレーシア・
タイなど

国際ハウジング
ワークショップ



ベトナム

異文化相互理解
実地研究
(教育学科限定)



カンボジア

カンボジア
海外短期研修



ニュージー
ランド

オークランド大学英語研修
+ 航空業界セミナー
with Air New Zealand
(英文学科限定)

海外日本語 教育実習

日本語教員養成講座を履修している学生は、海外での日本語教育実習に挑戦できます。

スロベニア教育実習
(リュブリャナ大学)

ベトナム教育実習
(フエ大学外国語大学)

台湾教育実習
(静宜大学)



リュブリャナ大学

● ここで紹介したものは、過去の実施例と2024年度実施予定の研修です。年度によって研修の実施数や研修時期、内容が異なります。

Global Education

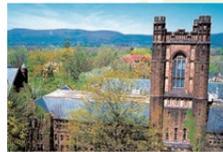
協定大学留学

世界の名門大学で専門分野を学ぶ

本学が学生交流協定を結び、教育・研究活動で高い評価を得ている海外の大学で、半年から1年間にわたり学びます。優れた環境の中で国際的な視野を持ち、社会に貢献できる学生の育成を目的としています。



アメリカ
ウェルズリー・カレッジ



アメリカ
マウント・ホリヨーク・カレッジ



アメリカ
オレゴン大学



イギリス
ブリistol大学



イギリス
ランカスター大学



イギリス
ノッティンガム大学



イギリス
ウォリック大学



イギリス
ヨーク大学



スウェーデン
ウプサラ大学 (教育学部)※1



オランダ
ライデン大学 (人文学部)※1



フランス
ボルドー・モンテーニュ大学



韓国
梨花女子大学



韓国
誠信女子大学



台湾
逢甲大学 (建築専門学院)※2



台湾
静宜大学



台湾
淡江大学



中国
河南師範大学



ベトナム
フエ大学外国語大学



フィリピン
フィリピン大学ディリマン校

※1 全学科からの留学が可能。
※2 建築デザイン学部からの留学が可能。



T.N.
文学部 英文学科
長野県/県立飯田高等学校

アメリカ
オレゴン大学
(2022年9月～2023年6月)

卒業論文のテーマである「日英の言語比較」について、英語文化圏で学びを深め、新たな視点を見つけないかという思いからオレゴン大学へ。言語学専攻の授業は、英語を使う人の視点から学ぶため、どれも新鮮で興味深いものでした。また、専攻外の授業も分野を横断した学びができ、視野が広がりました。留学中は自ら行動することを心がけ、交流や文化を楽しむ時間も大切にすることで、適応力や柔軟性、課題解決力が培われたように思います。今後は留学で得られた広い視野と、多様な視点から考える姿勢をもって、日本と海外の架け橋となる存在を目指します。



認定大学留学

志望する海外の大学で専門分野を学ぶ

希望する研究分野等が協定大学以外で提供されている場合、自分が志望する海外の大学を申請し、本学の承認を受けて留学する制度です。英語圏の大学には最長で半年間の語学学習をセットにしたプログラムもあり、英語力に自信のない方でもチャレンジしやすくなっています。

【秋出発スケジュール例】 ※:3年次に留学の場合。

	4～7月	夏季休暇	9～10月	11～1月	2～3月
1年次	留学説明会参加 TOEFL, IELTSの受験準備	留学に関する情報収集 留学の目的を明確にする	留学前後の本学での単位修得について計画を立てる	TOEFL, IELTSの受験	
2年次	健康診断を受ける 留学先大学を選択 TOEFL, IELTSの受験(規定のスコアを取得)	留学説明会参加		合格 学内選考(書類、面接)	留学先大学への出願、ガイダンス出席
3年次	入学許可書の受領、ビザ申請、渡航準備		留学開始		4年次 4～6月頃帰国

留学学生の経済的負担を軽減するための独自の給付型奨学金制度※1

【留学奨学金制度】(給付)

本学は協定・認定大学に留学する学生へ、手厚い経済的支援を行っています。特に世界ランキングトップ100位相当の協定大学に留学する学生には最大400万円を給付する奨学金制度があります。それ以外の大学でも、最大100万円を給付する協定大学留学奨学金があり、交換留学(留学先授業料免除)・派遣留学(留学先授業料自己負担)にかかわらず応募が可能です。

最大
400万円
給付

世界トップ100大学留学奨学金

協定大学のうち世界ランキング100位以内もしくは同等の教育・研究レベルの大学に留学する場合に申請ができ、学業成績・人物ともに優秀と認められた者に授与されます。

【授与金額※2】

- 400万円
(ウェルズリー・カレッジ/マウント・ホリヨーク・カレッジ)
- 300万円
(ウォリック大学/ブリistol大学/ノッティンガム大学/ヨーク大学/ランカスター大学)

協定大学留学奨学金

協定大学留学学生のうち、奨学金に申請し、優秀と認められた者に授与されます。

【授与金額※3※4】1年間:100万円/半年間:50万円

泉会奨励金

本学の学生保護者の会より、協定大学留学学生に授与されます。

【授与金額】20万円

協定大学留学学生優秀賞

協定大学留学学生のうち、学業成績・人物ともに最も優秀な学生に授与されます。

【授与金額】30万円

認定大学留学奨学金

認定大学留学学生のうち、奨学金に申請し、優秀と認められた者に授与されます。

【授与金額※3】1年間:40万円/半年間:20万円

※1:年度によって奨学金制度が変更になる可能性があります。 ※2:交換留学が成立し、留学先大学の授業料が免除される場合は対象としません。
※3:申請総数により一人あたりの金額が減額する可能性があります。 ※4:交換留学の場合、留学先授業料が免除のため、奨学金金額は半額になります。

「話せる! キャンパス内留学」英会話レッスンを実施

本学生涯学習センターでは、毎日40分、ネイティブ講師と楽しく英語で話す講座を開講しています。レッスンは年間約100回。学生が受講しやすい時間に開講し、受講料も割安です。



New Faculties and Departments

より広く、より深く、より新しく

2025 4月新学部設置

食科学部

(仮称・届出中)

Faculty of
Food and Nutritional Sciences

食科学科
栄養学科



2023

国際文化学部

Faculty of Transcultural Studies

2024

建築デザイン学部

Faculty of Architecture and Design



全学部・学科ラインナップ

学部	学科	紹介動画はこちら	学部の特長
食科学部 (仮称・届出中) Faculty of Food and Nutritional Sciences	<ul style="list-style-type: none"> 食科学科 栄養学科 		<p>食科学部では、「食」を科学的な観点から学びます。人は、食品を調理して「食べる」ことで、身体活動や健康維持に必要な栄養素を摂取しています。この一連の流れを含めて私たちは「食」ととらえています。食科学科では、調理や発酵といった食品加工、食品の物性や機能性を学び、食べ物の美味しさ・食感などの理解を深めます。栄養学科では、どのようなものを「食べる」と、人が健康に暮らせるかを学びます。食品に含まれる栄養素の種類と量は、身体の成長と活動、そして病気の発生に関わります。これからの多様な社会で、科学的な観点からの「食」は欠かせません。多方面で活躍できるように、「食」を一緒に学びましょう。</p>
建築デザイン学部 Faculty of Architecture and Design	<ul style="list-style-type: none"> 建築デザイン学科 		<p>建築デザイン学部は伝統ある家政学部住居学科の教育、すなわち「利用者や居住者の立場から考える」をよりどころにしながら、住居・建築・都市など、人々の生活を包含する「環境」をデザインする専門性の高い人材の育成を目的としています。そのために、生活環境を歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、その他社会の潮流などの側面から論理的に考え、それらの知見に基づいて豊かな生活環境を創造性と表現力をもってデザインするための「学び」を提供します。人文、理工、芸術を融合した総合学問を実践する「建築デザイン学部」の新たな伝統を一緒につくっていきましょう。</p>
国際文化学部 Faculty of Transcultural Studies	<ul style="list-style-type: none"> 国際文化学科 		<p>国際文化学部は、世界の多様な文化や言語を学ぶにあたって、海外留学や国内研修といった「脱教室・脱キャンパス型」の実践的なプログラムで実際に体験し、さらにそれを英語やICTも用いて発信していくところに、学びの新しさとユニークさがあります。こうして「国際力」「実践力」「発信力」を身につけることで、国境やジェンダー格差といった「境界」だけではなく、自分の「限界」をも超えようとする「越境力」を育むのです。文化というのはとても重要で、実は文化を理解せずに社会の動きを理解することはできません。グローバル化が進む一方、異文化の間で問題も生じている不確かな時代を、「越境力」で乗り切っていきませんか。</p>
家政学部 Faculty of Human Sciences and Design	<ul style="list-style-type: none"> 児童学科 被服学科 家政経済学科 		<p>家政学は“生活を科学する”、すなわち生活の質の向上と人類の健康、安全、福祉に貢献する実践的総合科学(サイエンス)です。生活者であることに立脚し、人間生活とその環境を追究することで人類の幸福に貢献する実践的な学問といえます。自然科学的、人文科学的、社会科学的に探究し、理論を実生活に応用することにより、職業的能力など自分自身の「生きる力」を大きく発展させ、社会をより豊かにする力をも養うことができます。</p>
文学部 Faculty of Humanities	<ul style="list-style-type: none"> 日本文学科 英文学科 史学科 		<p>技術や社会がどれほどめまぐるしく変わろうとも、変わることはない「心」や「想い」を伝えあうために、人はずっと言葉を使ってきました。古代から現代にいたるまでの文学作品や史料、演劇や映画のなかの言葉に込められた心や想いを、日本語や英語、そのほかの外国語で読み解く技術を身につけ、読んだことをもとにして考え抜いて議論しあい、世の中の流れに踊らされず騙されない自己を形成し、自分の言葉で自分の心や想いを伝えられるようになる、それが文学部の学びです。</p>
人間社会学部 Faculty of Integrated Arts and Social Sciences	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会学科 社会福祉学科 教育学科 心理学科 		<p>人間社会学部は、「人間社会学部」という名称を日本で最初に掲げたパイオニアです。「人間と社会」を総合的に学ぶところに特色があります。それぞれの学科では「人間と社会」を深く理解する「豊かな知」を、また、それを応用して「社会的に実践する技」を学ぶ、さまざまな授業を提供しています。「人間と社会」に対する総合的な知見を育てることで、ヒューマンサービスを中心に拡大する職業分野をはじめ、社会に幅広く貢献できるキャリア育成を目指しています。</p>
理学部 Faculty of Science	<ul style="list-style-type: none"> 数物情報科学科 化学生命科学科 		<p>理学とは、自然現象全てを対象として、それを理解するための学問です。森羅万象の根源に迫る学問とも言えましょう。人類は、太古から数多の自然現象に向き合い、少しずつその仕組みを解き明かし、現代文明を築き上げました。一方で、その仕組みを未だ完全に解き明かしたわけではなく、そのことが現代文明にゆがみを生じさせていると言っても過言ではありません。このような時代において、理学部は、いまだ解き明かされていない真理に向き合うとともに、理学の先にある技術が私達の未来を大きく左右することを意識し、私たちの行く手に光を当てられるような人材を育てたいと考えています。</p>

食科学科

食を科学し、食品関連企業や
教育分野で活躍できる食のプロフェッショナルへ

食科学科では、現代人の食生活や社会問題をふまえながら栄養やライフスタイルのあり方を考え、「食」を科学的視点から追究するスペシャリストを育成します。豊富な講義・実験・実習をととして「食」全般に関わる知識や技術を習得するカリキュラムを提供しています。食品分野のキャリアに広く対応する教育を実施しており、食品関係の研究者・開発者や中学校・高等学校の家庭科教員として活躍する基礎を築くことができます。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

ゼミナール | 調理科学研究室 4年次 (左ページ)

現代に必要とされる食品を研究開発

高齢社会や健康志向型社会、資源循環型社会に対応するべく、真空調理やアレルギー対応食品、未利用資源の活用などに関する研究開発をしています。特に高齢者やアレルギー患者などに着目した食品の開発を行い、食品物性評価と官能評価により客観的測定値と主観的測定値との関連性を検討しています。この学びをととして、日常の事象を科学的にとらえる目が養われていくはず。また、未知のことを明らかにし、不可能を可能にする体験によって創造力が培われ、社会に役立つ問題解決能力が育まれることを期待しています。

調理科学 藤井恵子 教授

Pick up 1 | 食品学Ⅱ 2年次 | 食品の特徴や用途を詳しく学ぶ

食品への理解を深めることを目的とし、それぞれの食品について、原料となる食べ物の成分組成、栄養特性、理化学的性状、用途などを学びます。例えば油脂であれば、その種類や特徴について解説。さらに油脂を利用する際の特徴を、その理由や根拠とともにわかりやすく解説していきます。授業では、教科書に載っていない裏話も交えながら、学生の知的好奇心を刺激し、食品への興味・関心が高められるような内容を心がけています。学生からは鋭い質問が多くみられ、授業を通じて自分の関心を深めようという熱意が感じられます。



食品学、食品包装学 北澤裕明 准教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2025年4月入学者(予定)

1年次	2年次	3年次	4年次
食品学系、調理学系、栄養学系の3分野の基礎を学びます。また、フードスペシャリスト資格を取得するための科目を履修します。	1年次で基礎を学んだ食品学系、調理学系、栄養学系のどれに重点を置くかで、科目を選択して履修します。	食品学系、調理学系、栄養学系の応用に関連の分野に発展させつつ、卒業基礎研究に取り組むことで、さらに専門性を磨いていきます。	集大成として卒業研究を完成させます。研究を通して身につけた知識や能力は食品開発や研究などの分野で役立ちます。
基礎有機化学 基礎分析学Ⅰ 生化学 基礎生理学 食品学Ⅰ 食品栄養学基礎実験ⅠA・ⅠB 栄養学Ⅰ・Ⅱ 調理学 調理学実習Ⅰ・Ⅱ フードスペシャリスト論 食文化論(調査、歴史)	微生物学 微生物学基礎実験 食品衛生学 食品学Ⅱ 食品栄養学基礎実験Ⅱ 運動生理学 ライフステージの栄養学Ⅰ・Ⅱ 調理科学 調理科学実験 調理学実習Ⅲ 食品開発学特論(研究、開発)	食品機能学 食品加工・貯蔵学 食品学応用実験 食品機能学実験 健康増進科学Ⅱ 調理学応用実習Ⅰ・Ⅱ 調理科学応用実験 栄養生理学実験 実践統計学 食物学演習 卒業基礎研究	食物学総合演習 卒業研究



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Points 学びのポイント

初年次からの実験・実習で知識と技術を習得します

基礎を重視し、「食」に関する多様な領域を広く学ぶことができます。1・2年次は実験や実習をととして基礎知識や技術を身につけ、3年次以降でそれらの応用となる専門科目、卒業研究をバランス良く学べるようにカリキュラムが組まれています。

「食」の課題をみだし科学的に解き明かします

食品素材の特徴、食品の生産・加工・貯蔵・安全性、機能性、食文化、フードコーディネーターなど、食に関わる多様な課題を研究し、これら広範なテーマを科学的視点から解き明かしていきます。

資格取得により将来の進路が広がります

食品関係企業の研究職や食品開発職など、食品に関わる職業に広く対応する教育・研究を行っています。中学校・高等学校(家庭)の教員免許や、「フードスペシャリスト」の受験資格、食品衛生管理者・監視員の任用資格が得られます。



Graduation Thesis 卒業論文のテーマ ※家政学部食物学専攻のものになります。

- 分析型官能評価と理化学測定による牛肉6品種の分類と食味評価の高い品種の食味特性
- TCATA法・TDS法によるチョコレートの官能評価と香りがチョコレート嗜好に及ぼす影響
- 穀粉を利用したアレルギー対応食品の開発
- 真空調理法を用いた高齢者用食品の開発
- 発酵食品の微生物叢モニタリング技術の開発
- 腐敗食品の細菌検出技術の開発
- 食用キノコ類に含まれる新規抗酸化成分の探索及び調理によるそれら成分の変化
- カロテノイド合成遺伝子の人為的組み合わせを用いた新規・希少生理活性カロテノイドの創製
- お菓子の破損を防止するための包装設計
- 食品ロス発生における包装容器形状の影響評価
- 活動筋への血流量調節に関する研究
- オーダーメイド運動プログラムの開発



Student's Voice

K.M. 4年

東京都／東京都立八王子東高等学校出身

昔から食に興味があり、調理や栄養、文化など多方面から学べる本学科を志望しました。授業は実験や実習が多く、講義内容の理解が深まります。「調理科学実験」では、食品の特性や官能評価に関する実験をとおして、調理の背景にある科学的根拠を理解。実験結果を調理に生かす方法を考えることも有意義な体験でした。「食品開発学実践演習」では、食品業界の方を講師に迎え、実際に商品のレシピやパッ

ケージを考案し、プレゼンテーションを行います。演習をとおして食品開発のプロセスを学ぶことは、自分の将来を考えるうえで非常に勉強になりました。充実した講義と豊富な演習によって食全般の知識や技術が身につく、食に関する幅広い問題に関心が深められたと実感しています。将来は、食のスペシャリストとして新しい価値観を創造するべくリーダーシップを発揮していきたいと考えています。



七十年館（調理実習室）

目白祭には学科代表の実行委員として参加し、学科の出し物で食事を提供。保健所とのやりとりやメニューの考案、展示資料の作成など、どれも試行錯誤の連続でしたが、佐古隆之先生をはじめとする先生方のご指導により無事当日を迎えられ、800人もの方々に来ていただき、食事も目標数を完売することができました。

取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- フードスペシャリスト(受験資格)

- 専門フードスペシャリスト[食品開発](受験資格)
- 専門フードスペシャリスト[食品流通・サービス](受験資格)
- 学校図書館司書教諭

- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | 調理・食味評価学研究室のおいしさ研究紹介

調理・食味評価学研究室では、味覚の訓練パネルが牛肉・チョコレート・アイスクリームなどの食品のおいしさを追究するための研究を行っています。最新の官能評価法である時系列官能評価は、食品のおいしさ3要素である「食感」「味」「香り」について、口に入れてから飲み込むまでのその食品がなぜおいしいのかを数値で表現する手法です。また、現代の食に合わせた「おいさと健康の一致」を目標に、産学連携事業「にっぽん食」の提案もを行っています。

調理学、食味評価学 飯田文子 教授



Pick up 3 | 食品機能学実験

食品機能学実験は、「血圧を下げる」「腐敗を抑制する」「抗酸化活性がある」といった食品の生理活性作用を、学生自身が選んだ食品が持っているかを調べる in vitro 実験(バイオアッセイ)を中心に行っています。また香辛料クローブに含まれる抗酸化活性物質を単離精製し、NMR、MSといった分析機器で化学構造を解析する実験も行っています。これらは新しい特定保健用食品や機能性表示食品の開発に関わる実験内容です。

食品機能学、食品分析学 新藤一敏 教授



Faculty 教員紹介(2024年度在職教員)

調理学、食味評価学

飯田文子 教授

食味特性と官能評価—嗜好性の高い食品の美味しさ要素の検討—特に牛肉の調理法によるうま味成分の違いとカカオ豆の異なるチョコレートに関する研究。

食品機能学、食品分析学

新藤一敏 教授

分析化学技術(単離精製・構造解析)を基盤とした、(1)食品に関連した新しい生理活性物質の探索、(2)カロテノイドに関する生物有機化学的研究。

調理科学

藤井恵子 教授

健康と環境に配慮した「食」を経済的に提供するために、新調理システムの活用法と未利用資源を用いた食品開発に関する研究。

食品学、食品包装学

北澤裕明 准教授

食品の生理的および物理的要因による劣化を防止し、ロス削減を達成するための包装を主体とした品質保持技術の研究。

食品微生物学、食品衛生学

富永達矢 准教授

培養法、PCR法、イムノクロマト法を用いた食品腐敗微生物の迅速検出技術の開発およびサワードウ等の発酵モニタリング技術に関する研究。

健康スポーツ科学

佐古隆之 講師

運動時の活動筋への酸素供給および筋の酸素動態に関する研究およびオーダーメイド運動プログラムの開発。

臨床栄養学、基礎栄養学、栄養教育

梅澤愛理子 助教

生活習慣病予防のための食事についての研究(The Japan Diet 栄養教育、およびDOHaDに関する研究)。

基礎栄養学、栄養疫学、栄養教育論

関根愛莉 助教

食習慣が精神状態におよぼす影響についての調査・研究、関東1都6県保健医療データの解析。

栄養学

野田聖子 助教

食事性因子と小腸型アルカリホスファターゼ発現に関する研究や、成長期における骨粗鬆症予防に関する研究。

調理学

平井智美 助教

牛肉の熟成がテクスチャーやうま味成分へおよぼす影響についての研究や、食品の香りと味の関連についての研究。

解剖生理学

山下厚子 助教

味蕾や唾液腺の発達・維持に関する研究や、脂味の認知開始時期とそのメカニズムに関する研究。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

栄養学科

栄養管理・栄養教育を行う医療職の一員として、
人の健康を栄養面から支える専門家へ

栄養学科では、医学・保健学や臨床栄養学に重点を置き、管理栄養士として活躍できるカリキュラムを提供しています。実験・実習を豊富に取り入れ、健康維持・増進、疾病予防や治療に対する栄養管理・栄養教育を学ぶことで、将来、医療職の一員として医療現場や保健施設、行政などで求められる思考力と実践力を育みます。卒業時には栄養士免許が得られるため、管理栄養士国家試験の受験資格が取得できます。



Points 学びのポイント

学問の土台となる基礎科目を重視します

栄養学、医学・保健学、食品学、調理学、基礎科学の各分野を講義と実験・実習で学び、栄養の専門家として必要となる基礎知識と技術を修めます。チーム医療で求められるマネジメント能力やコミュニケーション能力も養います。

医療職の一員としての自覚と責任感を育みます

臨床医学、臨床栄養学、公衆栄養学、栄養教育論などの専門知識を学び、医療職の一員としての自覚と責任感を育みます。臨地実習では実践力を養い、医療現場などで責任ある職務を遂行できる能力を培います。

さまざまなフィールドで活躍できる力を培います

卒業と同時に栄養士免許、管理栄養士国家試験の受験資格が得られ、医療、福祉、教育、行政、給食、食品産業、スポーツ、学術研究などの多分野で活躍ができます。また、栄養教諭免許を取得すると、学校教育における食育の専門家になることが可能です。

ゼミナール | 卒業研究 4年次 (左ページ)

唾液アミラーゼと糖代謝との関連を研究

臨床医学・代謝内科学研究室では、人を対象とした唾液アミラーゼの研究をしています。唾液アミラーゼは近年、肥満や2型糖尿病との関連が報告されていることから、糖代謝やエネルギー代謝(呼気ガス分析、血清ケトン体、血清乳酸など)との関連を調査しています。研究では、被験者への対応や個人情報の取り扱いに配慮し、結果は先入観なく解析を行い、先行研究も十分確認するよう指導しています。この学びで得られた物事の捉え方や解釈の仕方が、日常生活や社会で役立てられることを願っています。

臨床医学 中島 啓 教授

Pick up 1 | 基礎栄養学 I・II 1年次 | 時代に即した高度な栄養学の知識を習得

栄養学の基礎概念や栄養素の消化・吸収・代謝の過程、および健康の維持・増進や疾病の予防・治療における栄養素の役割を学びます。「生化学」で学ぶ知識を基盤に、ライフステージの各局面における栄養管理に応用する力を養います。今日、生涯および世代を超えて、また、さまざまな個の多様性にも配慮して人々の健康を増進させるために、栄養学は分子医学を基に栄養科学として発展しつつあります。新しい医学生物学知見に基づいた、厳密で高度な栄養学の知識が求められる時代が迫っています。そのような時代の要請に応えられる基礎力と応用力を身につけられるよう、日々指導に励んでいます。



基礎栄養学、生化学 佐藤 憲子 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2025年4月入学者(予定)

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>栄養学、医学・保健学、食品学、調理学の4分野だけでなく生化学、生理学等の基礎的な講義・実験・実習を履修します。</p>	<p>栄養学、医学・保健学、食品学、調理学などの専門分野の基礎知識を学びます。</p>	<p>専門分野の講義や実験・実習を履修し、より実践的な知識と技術へと発展させて習得します。</p>	<p>卒業研究に取り組み、実験や調査を重ねて、知識と技術を応用させた確かな研究能力を身につけます。</p>
<p>臨床医学概論 解剖生理学 I・II 解剖学実験 生化学 栄養生化学実験 社会・環境と健康 I 食品学 I 食品学基礎実験 基礎栄養学 I・II 栄養教育論 I 基礎調理学実習 I・II 調理科学 基礎分析学 I</p>	<p>臨床医学各論 I・II 生理学実験 基礎栄養学実験実習 応用栄養学 A-I・A-II 応用栄養学実習 給食経営管理論 I 公衆栄養学 I 栄養教育論 II・III 社会・環境と健康 II 運動生理学 食品学 II 微生物学 微生物学基礎実験 調理科学実験</p>	<p>臨床栄養学 I・II・III 臨床栄養学実習 給食経営管理論 II 給食経営管理実習 応用栄養学 B 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 栄養教育論実習 社会・環境と健康 III 食品衛生学 食品衛生学実験 臨地実習 I 食物学総合演習 I</p>	<p>臨床栄養学 IV 臨地実習 II・III・IV 食物学総合演習 II 卒業研究</p>



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ ※家政学部食物学科管理栄養士専攻のものになります。

- 社員食堂における健康な食事の提供が社員の意識と食事選択行動に及ぼす影響
- 社員食堂における健康な食事の選択と健康診断結果との関連
- 生活習慣病患者のHDL機能評価と栄養食事因子に関する研究
- 女性アスリートの利用可能エネルギー不足に関する研究
- 苦味物質による消化管運動抑制と食欲調節に関する研究
- 天然低分子化合物による細胞分化と細胞死誘導に関する研究
- 日本人若年成人の食生活改善ツールの開発
- 唾液アミラーゼと肥満・糖尿病との関連
- 若年成人女性の栄養摂取状況とやせ・月経周期・心身の健康について
- 食・栄養にかかわる乳がん予防情報についての認知・普及活動
- 動脈硬化性疾患予防のための食事療法に関する研究
- 各ライフステージにおける食べる機能を考慮した食育の在り方



Student's Voice

S.K. 4年

千葉県／千葉県立東葛飾高等学校出身

スポーツをしていた頃に食が心身に与える影響の大きさを実感し、管理栄養士として食がもつ力を広めたいとの思いから入学しました。印象に残っている授業は、特定多数の人に食事を提供する実習から給食の運営方法とマネジメントを学ぶ松月弘恵先生の「給食経営管理実習」です。献立作成から食材発注や厨房内の役割分担まで、食事提供に関わる全工程に3か月かけて班で取り組みます。栄養面を考慮して美味しい献立を作る

のは容易ではありませんが、試作を重ね、学内で100食を完売できたのは、本学での学びの成果であり成長を感じた瞬間でした。また、調理の技術や食品の知識を学ぶ「基礎調理学実習Ⅰ・Ⅱ」で、日本女子大学の伝統的なレシピをもとに手間暇をかけて一から調理した実習も、本学でしかできない貴重な体験です。将来は、大学での学びを生かし、管理栄養士として食で人々に最大限の健康増進をもたらす仕事を目指します。



第一体育館

身体運動の授業ではボルダリングに挑戦。最初は慣れない動きで苦労しましたが、友達と協力し合ってレベルアップすることができました。他にもゴルフやアルティメットなど多様な種目から選択し、新しい体験を楽しめるのがこの授業の魅力です。1年次の必修科目なので、同じ学部や学科の学生と仲良くなるきっかけにもなりました。

取得可能な資格

- 管理栄養士(受験資格)
- 栄養士

- 栄養教諭一種免許状
- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者

- 社会福祉主事
- 司書

- 博物館学芸員
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | 産学連携として、健康増進のためのレシピ提案と情報提供を行う

食経営管理研究室では、健康増進に役立つメニューを研究しています。例えば、「健康な食事・食環境制度」として着目されている「スマートミール」の基準に従い、企業がイベントとして開催する「日本女子大Week」にメニュー提案を行っています。さらにその食事や健康への関心を高めるために、アプリやモニターに音声動画を配信したり、PCを使用してキャンペーンソングを作曲したりしました。詳しくはQRコードをご利用のうえ、ご覧ください。

給食経営管理論 松月弘恵 教授



Pick up 3 | 栄養教育論実習

栄養教育論実習では、糖尿病や脂質異常症などの疾患の治療を受ける患者を対象として、栄養教育計画を立案し、集団栄養食指導の模擬教室を実施します。模擬教室では、管理栄養士役と患者や家族の役になりきりロールプレイを行い、第三者評価を受けます。実践をとおして各病態の理解を深め、行動科学や栄養カウンセリングを応用して対象者に応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価を総合的にマネジメントできる能力を身につけることを目標としています。

栄養教育論 亀山詞子 講師



Faculty 教員紹介(2024年度在職教員)

解剖生理学、生理学

太田正人教授

解剖生理学、分子生物学を基盤とし、食物と生物の相互作用に関わる分子機構についての研究。

応用栄養学

五関正江教授

「骨粗鬆症予防に関する研究」および「アルカリホスファターゼ機能発現の分子メカニズム」に関する研究。

基礎栄養学、生化学

佐藤憲子教授

栄養環境と遺伝要因が疾病リスクに及ぼす影響を、データサイエンスやゲノム解析技術を用いて解明。それに基づく個人差を考慮した栄養学研究。

臨床医学

中島 啓教授

糖代謝異常・肥満と消化酵素(アミラーゼ濃度・遺伝子多型)・アミノ酸代謝酵素活性との関係、および機械学習を用いた関東1都6県保健医療データの研究。

給食経営管理論

松月弘恵教授

施設のFood Serviceの条件を理解した上での献立作成、生産システム、利用者・従業員満足度や食事の効果等「給食のマネジメント」の研究。

公衆栄養学

鈴木礼子准教授

女性の健康(乳がん・月経前症候群など)の栄養疫学研究。食生活調査・味覚識別能調査・公衆栄養活動・食育研究。健康情報の認知度調査の研究。

臨床栄養学

松井貞子准教授

腎臓病をはじめ、傷病者への栄養管理・栄養療法およびアスリートへの栄養介入に関する調査・研究。

栄養教育論

亀山詞子講師

動脈硬化性疾患の危険因子である糖尿病、脂質異常症などの予防と治療のための効果的な食事療法および栄養教育方法の構築に関する研究。

臨床栄養学、基礎栄養学、栄養教育

梅澤愛理子助教

生活習慣病予防のための食事についての研究(The Japan Diet栄養教育、およびDOHaDに関する研究)。

基礎栄養学、臨床疫学、栄養疫学

関根愛莉助教

食習慣が精神状態に及ぼす影響についての調査・研究、関東1都6県保健医療データの解析。

栄養学

野田聖子助教

食事性因子と小腸型アルカリホスファターゼ発現に関する研究や、成長期における骨粗鬆症予防に関する研究。

調理学

平井智美助教

牛肉の熟成がテクスチャーやうま味成分へ及ぼす影響についての研究や、食品の香りと味の関連についての研究。

解剖生理学

山下厚子助教

味蓄や唾液腺の発達・維持に関する研究や、脂味の認知開始時期とそのメカニズムに関する研究。

建築デザイン学科



詳細は
本学HPで
ご確認ください

住生活と住環境からデザインするゼネラリストへ。
そして、感性と思考力、表現力を備えたスペシャリストへ

建築デザイン学科は、住居学および建築学の視点で、住居から都市までの生活環境を総合的に理解し、包括的で豊かな住生活をデザインできる専門性の高い人材を養成します。国内外の生活環境を歴史、地域、芸術、技術、持続可能性、社会の潮流など、さまざまな側面から論理的に思考し、その知見に基づいて豊かな生活環境を創造的にデザインし、表現する力を養い、建築設計やインテリアデザイン、都市開発など、多彩な分野での活躍を目指します。



Points 学びのポイント

広範な建築分野のデザイン・設計教育を展開

住居から都市空間までの広範な建築分野の理解と、それらを統合するデザイン教育がカリキュラムの根幹です。建築デザインを基礎から学び、設計規模を大きくしながら社会的課題に関わる建築デザインを提案する力を養います。

初年次から実施される専門的な学び

必修の「専門導入科目」で、本学部の中核をなす6分野（建築デザイン、生活、計画、歴史、構造・構法、環境）の基礎知識を学び、建築デザイン学の全体像を把握。その後は専門科目を選択履修し、専門性を確立します。

将来を見据えた実践科目でスペシャリストを育成

選択履修の発展科目では、将来の進路を見据えた多様な学びを提供。まちづくりや建物の保存再生、構造デザインなどが学べる「実践演習科目」を用意し、学生の興味関心や個性、適性に応じて専門性を高めていきます。

授業 | 建築設計Ⅱ 3年次 (左ページ)

設計実習で居住環境の計画を学ぶ

地域施設を含む大規模な集合住宅をグループで取り組む課題です。地域の歴史や社会的背景の文化的環境、地形や気候などの自然環境などのリサーチを行った上で、この地に集まって暮らすことの現代における意味について根底から考え、地域へも貢献する建築の集合体の提案の制作と発表を行います。建築家を中心とする講師陣に加えて、中間講習会では構造家のレクチャーとエスキス（提案に対する意見交換）を行うことも特徴です。また、3年次でグループ設計をすることは、自らの意見を他者に伝え、他者のそれを傾聴しながら、ひとつの提案をつくりあげる建築設計に必須なチームワークを経験するための、住居学科時代からつづく伝統です。

建築デザイン、建築計画 宮 晶子 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>生活者の視点に立ち建築を考える姿勢を基本に、あらゆる生活空間を技術、芸術、社会、環境の4領域から考える基礎力を養います。</p>	<p>主体的な行動を重視した演習科目が始まります。生活スタイルから周辺環境まで考慮した提案を行う力を身につけます。</p>	<p>2年次の学びを発展させて、建築空間を創造的にデザイン。住居・住環境の社会的課題や設計課題を扱う選択科目も用意されます。</p>	<p>これまでの学びを卒業論文・卒業制作にまとめ上げ、建築設計者、技術者、プランナーとして適用する実践力を高めます。</p>
<p>設計製図Ⅰ・Ⅱ 住生活学 住居計画 日本住居史 西洋住居史 住居構造 力と形 空間デザイン概論 絵画デッサン フィールドスタディ(農業・農村) 形とデザインⅠ・Ⅱ バリアフリーデザイン論</p>	<p>建築設計スタジオⅠ・Ⅱ 建築計画 コンピュータデザインⅠ・Ⅱ 住環境計画 生活環境安全論 日本建築史 西洋建築史 構造力学Ⅰ・Ⅱ 建築構造 建築構法 建築設備Ⅰ 建築環境工学 まちづくり基礎演習 住宅政策</p>	<p>建築設計スタジオⅢ・Ⅳ 都市計画 住宅・建築経済 建築保存再生論 建築と社会 建築施工 リサーチデザイン ランドスケープデザイン 構造デザイン演習 地域施設計画論 福祉環境演習 建築法規 建築住居学演習Ⅰ 都市デザイン演習 建築材料</p>	<p>建築設計スタジオⅤ 建築住居学演習Ⅱ・Ⅲ 卒業論文・卒業制作</p>



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ ※家政学部住居学科のものになります。

- たくさんのひとりのための漂流空間(制作)
 - 現代におけるアジールの再構—
- 「ただいま」「おかえり」がこだまする森(制作)
 - 多世代が集う新しい学童保育の形—
- 雑多ランゲージによるビルディングスケープの創出(制作)
 - 人々の能動性を包摂する建築群—
- 足袋蔵のまちの商店街(制作)
 - 公共空間を通じた再編計画—
- 川越にみる伝統工法の継承と土壁の循環(制作)
 - 菌が土壁の特性に与える影響—
- 風景に入る(制作)
 - 子どもの知覚から大人の風景体験を考える—
- 新型コロナウイルス感染症禍の食事・午睡空間利用の変遷からみる保育環境について(論文)
- 多摩ニュータウンにおける商店街・公共施設の変遷からみた地域施設の今後について(論文)
- 茶室建築における中柱に関する考察(論文)
- CO₂を削減・固定可能な新建材による削減効果の検討(論文)
 - 構造別の新建材・建替周期・建築規模の変更に着目した考察—
- 日本女子大学妊産婦・乳児救護所開設に向けた初期期運営計画(論文)
 - 作業時間・順序を考慮した開設キット開発と参集職員による現場での検証—
- チタン製和釘・鉄製和釘・太め鉄丸釘の機械的性質(論文)
 - せん断及び引抜き試験による耐力と破壊性状の比較—
- バリにおける都市計画概念の形成(論文)
 - 近世以降のバリの都市改造と印象派絵画の分析—
- 路面装飾の通行者にもたらす影響と可能性の研究(論文)
 - アトラッカーによる視行動の分析から—
- 過疎化が進行する農村集落を維持するための将来地区構想(論文)
 - 兵庫県淡路市尾崎東集落を対象として—
- 公共空間における発達障害者のための環境整備の現状と課題(論文)
 - カムダウン・クールダウンスペース、センサリールームを対象として—
- DIYによる住宅のスマート化と高齢者の生活支援に関する研究(論文)



Student's Voice

M.S. 4年

茨城県／私立水城高等学校出身

建築家の仕事に興味をもつ中で、同郷の建築家・妹島和世さんが本学の出身であることを知るように。それがきっかけで本学のオープンキャンパスに訪れた際、他大学より人の暮らしが見える模型が多かったのが印象的で、ここなら建築を自分に近い存在として学べるのではないかと考えて志望しました。本学科は、建築を普段の生活の視点からとらえ、住居の構造や歴史、文化など多様な分野から学べるのが魅力です。



榎溪館

先生方も建築家として最前線で活躍されている方ばかりで、ご本人が設計された建築の設計プロセスが聞けるなど現場目線の情報や助言が得られます。また授業はプレゼンテーションが多いので、人に伝える力が身につく、自分の考えや作品の魅力を伝える楽しさも知ることができました。将来は本学科での経験を生かし、建築家としてさまざまな人とコミュニケーションをとり、人々に寄り添う建築をしていきたいです。

宮晶子先生には研究室を決める際の面談で進路の相談も。建築家という仕事の楽しさや、自分に合った設計事務所を選ぶことの大切さを自身の経験を交えて教えてください、将来を前向きに考えられるようになりました。

取得可能な資格

- 一級建築士【受験資格】(資格取得には実務経験2年必要)
- 木造・二級建築士【受験資格】
- インテリアプランナー(学科試験、設計製図試験合格後)
- 一級建築施工管理技士、二級建築施工管理技士【受験資格】

- 建築設備士【受験資格】
- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉士

- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 1 | 住居・建築学演習 4年次 | 自由な発想で主体的に研究に励む

卒業論文・卒業制作の作成にあたり、各専門分野を選び、分野ごとに調査・設計・実験を行うための手法や解析に関連した演習を実施。並行して各自の問題意識から研究テーマを設定し、調査・検証・議論を繰り返しながら関連知識を追求します。授業では、まず自分で考えること、また何事も否定せず前向きにとらえるよう伝える中で、学生から自由な発想によるアイデアが次々と創出され、彼らの成長を感じるとともに私自身の新たな気づきにもなっています。今後もマニュアル化した考えにとらわれず、自由な発想で行動してほしいと思います。

構造デザイン、文化財補強、事故調査 江尻憲泰 教授



Pick up 2 | 街と暮らす21人のための集合住宅 | 人との関係から建築・都市を考える建築思想

首都圏の建築系大学の住宅課題作品が一堂に介する「住宅課題賞」(東京建築士会主催)に2023年度は、2年次後期課題の「街と暮らす21人のための集合住宅」から武田恵実さんの〈集積-人と物と建築の境目〉を出展し、青木淳賞を受賞しました。街「に」開くのも街「を」つくるのでもなく、街「と」暮らすことを問うていることが、本学の特徴をよくあらわしています。それは、建築や都市を設計する対象としてではなく、そこに暮らす人との関係から考えるという思想です。

建築デザイン、建築計画 宮 晶子 教授



Pick up 3 | 建築総合演習

海外の先生の特別講義を受けただうえで、ある再開発地区のマスタープランをグループで計画し、海外の先生に英語でプレゼンテーションを行う授業です。プレゼンテーション前には、先方の大学の学生との交流時間もあり、町歩きをしながら、建築談義を英語でする刺激的な授業です。大学公認の海外短期研修として行われる科目で、教科書等で見聞きした建築や都市空間を実際に体験する学びの時間もあります。

都市計画、住教育 薬袋奈美子 教授



Faculty 教員紹介

構造デザイン、文化財補強、事故調査

江尻憲泰 教授

建築構造デザイン、伝統建築の調査・補強設計、建築事故調査、新素材(炭素繊維素材、チタン等)の開発、既設建物の劣化調査等実務に直接つながる研究を行っている。

都市史、建築史、イタリア文化

片山伸也 教授

住宅から都市まで、住空間の歴史的な形成過程とその社会的・文化的背景および、通りや広場、街並みなどの公共空間を研究。

文化財保存、日本建築史、景観論

是澤紀子 教授

歴史的な都市・建築とそこでの環境、それらが生み出す景観を読み解き、土地の文脈を生かした保存・再生のあり方を探る。

建築計画、福祉のまちづくり

佐藤克志 教授

高齢社会における住環境・地域環境のデザイン、バリアフリー環境の効果の評価、アジア太平洋地域におけるバリアフリー環境の普及策などを研究。

建築意匠設計、建築計画、住居計画

篠原聡子 教授

集合住宅を中心に建築デザインの可能性を実際の設計活動やフィールドワークの中から探る。

住居の安全性、防災

平田京子 教授

防災、住居の品質、安全性(構造安全性、防災、防犯など)、住宅の性能、住宅情報、リスクコミュニケーションを中心に国内外で研究に取り組み。

建築環境、設備

細井昭憲 教授

環境の快適性と負荷削減を両立する技術を研究。自然エネルギーの活用、空調機器の効率評価が主な研究対象。持続可能な社会における自然と人の調和についても追求。

都市計画、住教育

薬袋奈美子 教授

住まいやまちを、住む人が主体となって創る方法を模索している。まちづくり活動を手伝いながら遊び場、路地、緑、災害等を通した住空間の研究を行っている。賢い住まいを手育てる住教育の提案も行っている。

建築デザイン、建築計画

宮 晶子 教授

「感じること・知覚すること」「動くこと・行為すること」などの初源的な視点から人と人、人と場、人と空間の関係を考え、現代建築の可能性について設計を通して探究する。

住居学、建築計画、地域デザイン

井本 佐保里 准教授

自然・人的災害からの復興デザイン、スラムなど貧困地域の持続可能な居住環境デザイン、地域に寄り添う子ども施設計画の3つを大きなテーマとし、フィールドワークを通して、各地域の中で建築が果たす役割の可能性や手法について考えます。

福祉住環境、ユニバーサルデザイン

植田瑞昌 助教

多様性に配慮し、障害児(者)や高齢者等さまざまな人の心身機能・生活動作から住まいやまちづくりに関する研究を行っている。

住居学、住環境計画

古賀 蘭子 助教

社会情勢やライフスタイル、身体機能等の変化に適応した住環境や支援体制、地域コミュニティについて研究。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

国際文化学科

キャンパスを飛び出して経験を積む。
領域横断的・「越境」的思考を持つグローバル人材へ

インターネットやSNSによって世界中の人々とつながることができるようになった現代。その一方、私たちは既成の考え方や枠組み=「境界」に知らず知らずのうちにとらわれてしまいがちです。だからこそ今、多様な文化や言語を実際に体験して学び、発信し、自分の殻を破っていく「越境力」が必要です。国際文化学科は、国・言語・時代・ジェンダー格差などさまざまな境界を越え、新たな文化を創造できる人を育成します。



Points 学びのポイント

多様な国際文化を学び、総合的な「越境力」を育む

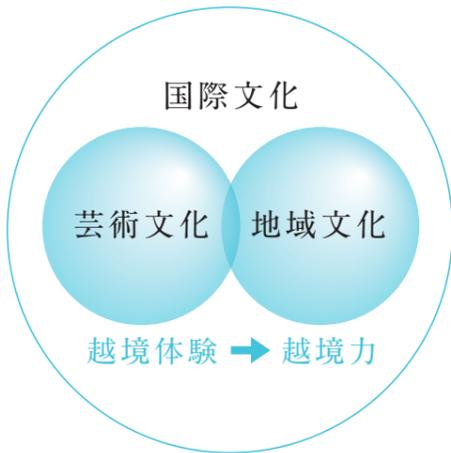
国際文化とは、「地域文化」や「芸術文化」を全て包括するものです。多様な言語(英・独・仏・中・韓)を修得し、その言語圏の文化や思想を学ぶとともに、芸術文化からポップカルチャーに至る多彩な表象文化の領域横断的・「越境」的な理解を深めます。

「脱教室・脱キャンパス型」の新しい学び

海外留学や国内研修などの「脱教室・脱キャンパス型」の学びを提供します。全員必修の「スタディ・アブロード・プログラム(海外短期研修)」(1年次)と「実践プログラム(海外・国内)」(2~3年次)で、異文化を実際に体験しながら、「国際力」や「実践力」を養います。

グローバル企業や国際機関で活躍する

「実践プログラム」での越境体験と取り組みの成果を、英語やICTを用いて発信します。高い語学力と豊富な海外経験に裏打ちされた「越境力」・コミュニケーション力を身につけ、グローバル企業や国際機関などで活躍できる人材を育成します。



ゼミナール | 文化学演習Ⅱ 4年次 (左ページ) ※国際文化学科では「国際文化学演習b・c」となる予定です。

イギリス文化の総合的理解をはかる

イギリス文化(文学・テレビ・映画・絵画・音楽)の概要を紹介し、イギリス文化への理解を深め、授業をとおして卒業論文に必要な英語のライティングスキルの上達をはかります。授業は、例えばイギリスの物語文化であれば、さまざまな題材やコンセプトを学び、古代と現代の作品の関連性についても考察するなど、広範なテーマを幅広く学んでいきます。多くの文化にふれることで、外国文化をステレオタイプとしてとらえずに深く考察し、国際的・複眼的な観点から諸文化の比較や評価ができるようになることを期待しています。

イギリス文学、イギリス文化 ニール・アディソン 教授

Pick up 1 | 留学準備演習Ⅰ 1年次 | 海外の視点から日本文学をとらえる

翻訳や映像として世界に受容されている日本語の文学テキストが、形を変えて流通する様子を分析し、他者の視線の中にある日本文学の姿を理解します。具体的には遠藤周作の『沈黙』や村上春樹の短編小説などの英訳と映画版について、表現の変更や加工の効果と意味、理由を考えます。この授業は留学を目指す学生などを対象としており、英語でのディスカッションやレポートをとおして実践的に学びます。そして将来的には、日本語の原作が読める強みを生かし、日本の文学作品について世界の人々と英語で意見交換できることを望みます。



比較文学、アメリカ南部文学、現代日本文学 田中有美 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
全員「スタディ・アブロード・プログラム(海外短期研修)」に参加します。必修の「国際文化基礎論」で国際文化の多様な学びの全体像をつかみます。	多様な地域・領域の文化の理解を深めます。必修の「国際文化研究法」で国際文化を学ぶための基本的な研究方法を押さえ、「アカデミック・スキルズⅡ」でICTも学びます。	2年次後期から3年次にかけて、全員「実践プログラム」に参加します。実践的に学んだ成果を英語で発信するのが、全員必修の「バイリンガル・コミュニケーション」です。	3年次までの学びを通して身につけた、複眼的・論理的・国際的な観点から、自ら立てた問いをテーマに学びの集大成として「卒業研究」(卒業論文)を完成させます。
スタディ・アブロード・プログラム	実践プログラム(海外a・海外b・国内)		
留学準備演習Ⅰ・Ⅱ		バイリンガル・コミュニケーション	
国際文化基礎論	国際文化研究法	国際文化学演習a	国際文化学演習b・c
アカデミック・スキルズⅠ	アカデミック・スキルズⅡ		卒業研究
イギリス社会とファッション フランス文化論 中国古典文化論 日本観光文化論 映像表現論 日本中世絵画史特論 西洋近現代美術史 音楽と社会	アメリカの人種・エスニシティ・ジェンダー ドイツ語圏の文化 日本思想史 身体メディア論 K-カルチャー論 ポップカルチャー論 西洋哲学史	原典講読: 欧米の文学と文化理論 比較文学 西洋美術史特論 日本美術史特論	※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。 ※開講科目は記載以外にもあります。 ※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。



Graduation Thesis 卒業論文のテーマ ※人間社会学部文化学科のものになります。

- The Representation of Satire in British and French Artistic Works
- 狐憑きはなぜ狐なのか
—見えない存在と共に暮らす—
- 社会的不安感拡大時にヒットした楽曲の特徴分析
—不安定な時代においてコード進行は保守的なものであるか—
- 動画配信サイトに見る視聴者と配信者の関係
- ビュール・ボナールの装飾画 1900~1930年
—画家と注文主に関する考察—
- 『全体性と無限』における「主観性」とはどのようなものか
—「顔」との対面による分離と関係—
- 19世紀英国上流階級とバレエについての考察
- 西部に生きた女性たち —実在したカウガールと現実—
- 『ボヴァリー夫人』に見る19世紀のフランスの女性像
- Representation of Loss, Isolation and Togetherness in Wes Anderson's Works
- 日本における遊園地の生き残りについて
- 韓国における兵役問題について
- 《洛中洛外図屏風上杉本》の研究
—公方郎の描写の謎に迫る—
- 五節供の日中比較



Student's Voice

M.H. 2年

沖縄県／私立八洲学園大学国際高等学校出身(通信制)

本学科を志望したのは、これまでの留学経験を生かすことができ、国際文化を多角的に学べる環境にひかれたからです。本学科は、理念にある「越境体験」を後押しするプログラムが豊富であることが大きな魅力です。特に必修の海外短期研修「スタディ・アブロード・プログラム(SAP)」は、2週間程度ではありますが、日本に興味のある海外の学生との交流会もあり、充実した内容でした。交流した学生とは今も良い関

係を築いています。私は単身で5年間ほど海外に住んでいた経験がありますが、本学科での学びを経て、現地での体験から得られた感動や見聞きした文化を言語化して理解できるようになりました。特に言語については、文法などを学び直したことで、言葉の再発見ができています。今後は、多言語の維持や、実践プログラムを活用してコミュニケーション能力のブラッシュアップを目指していきます。



百年館2F渡り廊下

個人的に海外とつながりのある活動をしています。学部長の河本真理先生(写真)やアドバイザーの佐々木雄大先生をはじめ、先生方のサポートのおかげで学業と両立することが叶っています。

取得可能な資格

- 博物館学芸員
- 日本語教員養成講座
- 社会教育主事(社会教育士)
- 司書
- 社会福祉主事
- 社会調査士

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | スタディ・アブロード・プログラム(SAP) | 1年次必修

国際文化学科では、1年次の夏に2週間程度の「スタディ・アブロード・プログラム(海外短期研修)」を全員必修としています。早い時期に直接海外の言語・文化に集中的にふれることで、大学での学びの目的を明確化します。アメリカ(ボストン)、イギリス(オックスフォード)、オーストラリア(シドニー)、フランス(パリ・南仏)、台湾(台中・台北)、韓国(ソウル)、ベトナム(フエ・ハノイ)の中から、個々の関心に応じて行先を選びます。



Pick up 3 | 実践プログラム(海外a・海外b・国内) | 2～3年次必修

海外あるいは国内のさまざまな地域に出向き、現地で文化や社会を体験しながら学びます。海外は半期(海外a)か、1年(海外b)の留学を選択します。海外の行先はアメリカ、イギリス、カナダ、フランス、中国、韓国などがあり、国内では各地で国際芸術祭や文化遺産の見学を行ったり、ワークショップに参加したりします。いずれも、大学での事前学修でしっかり準備を行った後、各地域で学び、仕上げとしてICTを活用して英語・日本語で成果を発信します。



Faculty 教員紹介

イギリス文学、イギリス文化

Addison, Neil Matthew 教授

英国の19世紀と20世紀の文学、現在の英国の文化。特に科学と文学の関係、トーマス・ハーディとチャールズ・ディケンズの文献を研究している。

音楽文化史、ドイツ文化史、比較文化思想

奥波一秀 教授

ドイツ文化史・思想史。特にリヒャルト・ヴァーグナーおよびナチ期における音楽と政治の問題を研究している。

西洋近代美術史、ダンス研究、現代美術批評研究

木村 覚 教授

専門は西洋美術史、ダンス研究。20年以上日本の舞台芸術・美術を中心に批評活動を続けてきた。また(創作)を通して芸術を研究するプロジェクトをアーティストたちと協働して多角的に進めている。

西洋近現代美術史、現代芸術論

河本真理 教授

西洋美術史、とりわけ近現代美術を専門としている。20世紀以降の美術の大きな潮流となったコラージュを中心に研究している。

イギリス文化、ファッション

坂井妙子 教授

19世紀を中心とした、イギリス文化史が専門。最近では、絵本や児童文学作品の主人公の服が実際のファッションになった例を研究している。

アメリカ文学、アメリカ文化

杉山直子 教授

近・現代アメリカ文化、アメリカ文学。特に黒人、アジア系などの少数民族に属する女性による小説。

比較文学、アメリカ南部文学、現代日本文学

田中有美 教授

テキストが言語や文化を越えて流通し、受容され、変容していく様相について研究している。

民俗学、文化人類学、宗教学

中西裕二 教授

日本とアジアの民俗学、文化人類学、宗教学が専門。また、観光と文化の関係に関して研究も進めている。

韓国・東洋哲学、日韓比較思想史、

近現代東アジア社会思想史

朴 倍暎 教授

韓国の近現代哲学および文化を東アジア、主に日本思想との関係性の中で解明していく。

日中比較、説話文学、文学

三田明弘 教授

「今昔物語集」などの日本中世の説話文学や六朝から唐宋にかけての志怪小説が主な研究テーマ。

日本思想史、倫理学

伊藤由希子 准教授

日本の思想を、思想書のみならず、物語や説話、さらにはドラマ・漫画なども含めて、思想化される以前のものにまでさかのぼって考えている。

フランス文学、フランス文化

高井奈緒 准教授

19世紀後半のフランスにおける写実主義、自然主義文学。特に女性の身体や衣裳の表象について研究を行っている。

日本美術史、表象文化論、ジェンダー研究

水野僚子 准教授

日本美術史。絵巻など物語絵画の研究を中心とする。表象文化論やジェンダー論の視点から、さまざまな視覚イメージの分析を行っている。

哲学、倫理学

佐々木雄大 講師

西洋哲学・倫理学。特に20世紀フランスのG. バタイユの思想を「エコノミー」や「聖なるもの」といった概念に注目して研究している。

日本美術史、近世絵画史

中村 玲 助教

日本美術史、近世絵画史。特に近世の女性画家による絵画や書跡、それらの制作背景を中心に研究を行っている。

西洋美術史、イタリア美術史

深田麻里亜 助教

西洋美術史、イタリア美術史。特に16世紀イタリア、ラファエロとその工房の作品を中心に研究を行っている。

児童学科

子どもに学び、課題解決能力を
実践的に携えた児童学のスペシャリストへ

児童学科では、「子どもを観察し、子どもから学ぶ」という教育方針のもとでカリキュラムを構成しています。子どもと接し、彼らをとりにくくモノやコトに直接ふれることで、子どもへの学びを深めていきます。授業では、学生同士がディスカッションする機会を多く設けており、日々活発な意見交換が行われています。豊かな学修体験を通して、これまでの自分にはなかった視点や思考が芽生え、新しい自分を発見できるはずです。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

Points 学びのポイント

3つの領域を柱に子どもについて学びます

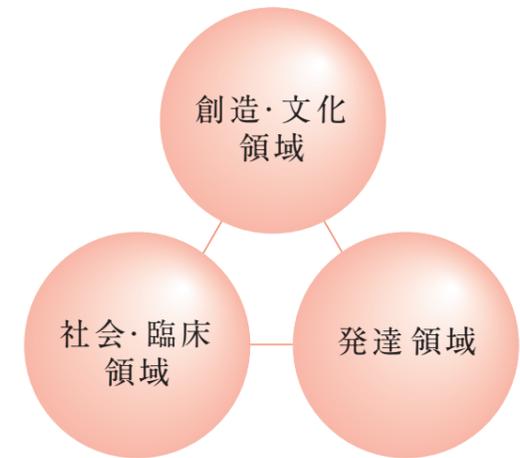
児童学をベースに【発達領域】【創造・文化領域】【社会・臨床領域】の3本の柱からなる科目群を設置。少人数制のゼミで文献講読を重ねて各自のテーマを追究し、4年間を通じて体験と理論を結びつけます。

理論と実践を往還し、子どもを深く理解します

「子どもを観察し、子どもから学ぶ」という教育方針のもと、現場を経験するフィールドワークを重視。授業で学んだ理論を子どもとのふれ合いを通して体得し、実践から確かな知識と豊かな創造力を養います。

児童学を修め子どもの未来を育みます

所定の科目を履修することにより、幼稚園や中学校・高等学校(家庭)の教員免許、および保育士資格が取得可能です。多様化、複雑化が著しい保育・教育に関する諸問題に、柔軟に対応できる人材を養成します。



ゼミナール | 特別演習 1A 4年次 (左ページ)

子どもと文化のいまと未来を考える

3年次に作成した研究計画に基づき、児童文化の領域から卒業研究に取り組みます。絵本やおもちゃの魅力について論じたり、遊びや読書などの文化的な営みの歴史と現状を調査したりと方法はさまざまですが、ゼミにおける活発な議論を通じて、少しずつ確かなものにしていきます。研究にあたっては、人や作品に対する敬意を忘れないようにと伝えています。作家や編集者を招いて話を聞く機会もあるので、文化やその作り手たちに対する認識は自然と深まっていくようです。研究もまた、文化的な営みです。ゼミ活動や研究を通じて、学生たちは自分も文化をつくる当事者であることに気づき、未来を生きる子どもたちのために何ができるのかと考え、自分のありたい姿を見つけていきます。

児童文化学、絵本学 今田由香 准教授

Pick up 1 | フィールドワーク演習(社会・臨床)2年次 | フィールドワークをとらえて子どもを学ぶ

フィールドワーク演習では保育所、公園など子どもが関わるさまざまな施設において観察、実習等を行います。担当教員が設定するテーマ、学生の状況によって内容が異なります。フィールドワークを通じて子どもの発達、子どもを取り巻く環境、文化に対する知見を広げ、子どもに対する理解を深めます。授業ではさまざまなグループワークがあります。学生には、授業を通じて、他者の話を聞くこと、良い関係を持つことの大切さを伝えています。これらは子どもと良い関わりを持つことにつながります。



健康スポーツ科学、健康スポーツ系心理学 杉山哲司 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
「先端児童学序説」で児童学の全体像を把握。学修の第一ステップとして、児童学に関する問題意識を高めます。	希望者は保育者養成コースに登録(1年次に選考)。複数の領域の専門科目を履修することで、実践的な学びを身につけます。	ゼミ形式の「文献研究」や「課題分析研究」で、学びの中から興味のある領域を選択し、少人数で研究を深めていきます。	「特別演習」では、興味のあるテーマをさらに追究。「児童学総論」とあわせて、4年間の成果として卒業論文にまとめ上げます。
先端児童学序説 発達心理学1 児童家庭福祉 子どもの保健 世界の教育と多文化理解 社会福祉 保育原理 児童文化 子どもとマルチメディア 保育者論 音楽表現 教職基礎論(幼小中高) 教育心理学(幼小中高) 教育社会学(幼小中高)	児童文学 フィールドワーク演習(創造・文化) 子どもと表現1 子どもと造形1 保育・教育課程論 子どもと文化 社会的養護1 子ども家庭支援論 フィールドワーク演習(社会・臨床) 発達心理学2 子どもの身体表現 乳幼児運動発達論 幼年文学 思春期・青年期臨床	文献研究 課題分析研究 保育内容総論 子どもと音楽 保育文化論 障害児保育 子どもの問題行動 子どもの臨床医学 子どもの食と栄養 子どもと創造 ヤングアダルト文学 ボランティア実習 学校カウンセリング基礎論(幼小中高) 発達臨床支援	特別演習1 特別演習2 児童学総論 保育・教育実践演習(幼) 卒業論文 子育て支援 幼児理解



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 多様化社会に必要な素質とその育成方法
- 療育センターに親子通園をしている保護者の通園に対する気持ちの変化と育児に対する自己効力感及び養育レジリエンスとの関連性
- ヨシタケシンスケの作る絵本の魅力 —5冊の発想えほんの分析—
- 砂場での遊びが変化する要因 —複数人での遊び場面に着目して—
- 呼称からみえるきょうだい関係
- 『メアリー・ポピンズ』シリーズから見る子どもの食事
- 「おかあさんといっしょ」におけるダンス体操の変遷
- 楽観主義とスポーツパフォーマンス —プロ野球監督のコメントの分析—
- 乳幼児期における最適な音環境に関する一考察
- 女子大学生の食行動及び食意識と過去の食体験との関連について —過去の家庭における食卓の雰囲気・家族関係に着目して—
- 未就学児にとっての無の個人空間とは?
- 子どもの敏感さとそれに伴う育児不安の解消について



Student's Voice

M.I. 4年

富山県／富山県立富山中部高等学校出身

子どもに関することを幅広く学ぶため本学科を志望しました。実際、学びの分野は教育や環境、音楽、造形、福祉と多岐にわたります。ピアノの弾き歌いやクラシックを学ぶ「音楽実技(現・音楽表現)」では、一対一のレッスンで細やかな指導が受けられ、また試験では他の人の演奏も聴けるので、弾き歌いのアレンジなどの勉強になります。「フィールドワーク演習(社会・臨床)A」では、病棟保育士(CLS、HPS)の方から現場の

話を聞く機会があり、病気で入院する子どもやその家族の悩み・不安への理解が深まりました。以前は、「子どもに直接関わること=子どもに関係すること」と考えていましたが、次第に音楽や福祉、玩具などさまざまな分野で子どもをとらえ、発達についても多様な見方ができるようになりました。今後は、本学で身につけた幅広い視野と知識を携えて、子どもの健やかな成長を促す仕事をしたいと考えています。

今田由香先生のゼミに所属。以前、今田先生からのお声がけで、先生とゼミ生でNHKラジオ第1『みんなの子育て深夜便』の「#絵本でつながろう」のコーナーに出演し、絵本の紹介をさせていただいたのが良い思い出です。



新泉山館

取得可能な資格

- 保育士
- 幼稚園教諭一種免許状
- 中学・高等学校教諭一種免許状(家庭)
- 学校図書館司書教諭

- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 児童福祉司

- 児童指導員
- 日本語教員養成講座
- 認定絵本士

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。
※小学校教諭一種免許状取得希望の方は、教育学科で取得できますので教育学科のページをご覧ください。

Pick up 2 | 手厚い保育実習指導を目指した実習支援室

児童学科では保育者養成コースの学生のサポート体制として、児童学科内に「実習支援室」を設けています。「実習支援室」は保育士資格取得を目指す学生さんのための部屋で、保育所や施設での実習に関する書類の配布回収、個別の相談への対応、実習に関するすべての実務を行っています。また、卒業した先輩方が書き残した「実習の記録」や、「就職活動体験記録」も閲覧できるようになっています。実習前に実習先の様子を知ることができ、就職活動の進め方などについても参考になる資料が保管されています。学生は先輩方の多くのメッセージを頼りに自らの学修を深めながら、就職へと結びつけることができます。



Pick up 3 | 保育の実践的活動が行えるプレイルームや観察室

体験的な授業を重視する児童学科では、実践的な保育活動が行えるプレイルームと観察室を完備しています。学生は児童学科の特徴的な体験型授業「フィールドワーク演習」などの演習授業で主に使用します。プレイルームには、マジックミラーやビデオカメラなど観察を記録できる機器が備え付けられており、さまざまな研究・教育活動に活用されています。大学院生や教員などの高度な研究が行える場としても十分に機能しています。



Faculty 教員紹介

発達臨床心理学

安藤朗子教授

乳児期から思春期までの子どもの発達に関する研究、特に極低出生体重児の発達の縦断的・臨床的研究や、親の育児不安等に関する研究を行っている。

幼児教育学

請川滋大教授

就学前施設を中心に、子どもの発達について社会・文化的側面からとらえる研究を行う。現在は幼稚園の実践や児童の遊びに焦点を当てている。

児童文学

川端有子教授

英語圏の児童文学を研究。文化研究の手法などを応用しながらさまざまなコンテキストで児童文学を読み解くことに挑戦している。

健康・スポーツ科学

杉山哲司教授

児童の身体活動への参加と社会化に関する研究を行っている。

音楽教育学

根津知佳子教授

相互反動的な音楽的場における「対話」の構造を追究している。近年は、実践者(養成段階を含む)のパフォーマンス評価の開発に取り組んでいる。

小児保健

平田倫生教授

小児科医としての視点を生かして、小児保健、多職種協働、事故予防などについて幅広く教育、研究を行う。

美術・デザイン教育

和田直人教授

美術教育、デザイン教育、基礎造形学の立場から、感性育成や造形表現について、絵本などを取り入れながら幅広く研究を行っている。

社会福祉学

和田上貴昭教授

社会的養護についての研究。特に児童養護施設で暮らしている子どもたちへの支援の方法や国際比較について研究を行う。

教職課程(幼稚園)

糸原淳子特任教授

幼稚園教育要領等に基づき、理論と実践を結び付けながら、子どもと共に創る生活、家庭への支援を総合的にとらえる。

保育学、環境教育

浅野由子准教授

子どもの発達と学びについて、子どもをとりまく身近な環境(家庭、地域、地球)という視野からとらえ、望ましい環境とは何かについて、持続可能性(Sustainability)をテーマに追究している。

臨床心理学

稲垣綾子准教授

親子・きょうだい・夫婦など家族内で生じる葛藤や、子どものこころの問題を家族臨床・家族支援という視点から、どのように援助できるのかを研究している。

児童文化、絵本学

今田由香准教授

専門は絵本学。1960年代以降の作品を中心に、物語絵本の表現と機能について研究している。

健康教育、舞踊教育

澤田美砂子准教授

子どもの運動発達や身体表現、また広く舞踏教育・ダンスに関わる研究。身体表現におけるイメージと動作特性との関係について分析を行っている。

アニメーション・絵本研究

甲斐聖子助教

アニメーションや絵本など子どもの文化(児童文化)についての研究を行う。

トレーニング学

高橋和孝助教

アスリートの動きのメカニズムやそれを改善するトレーニング手段・方法を研究している。

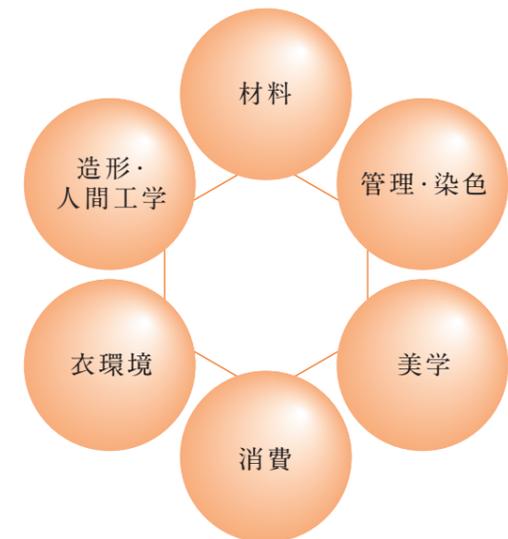
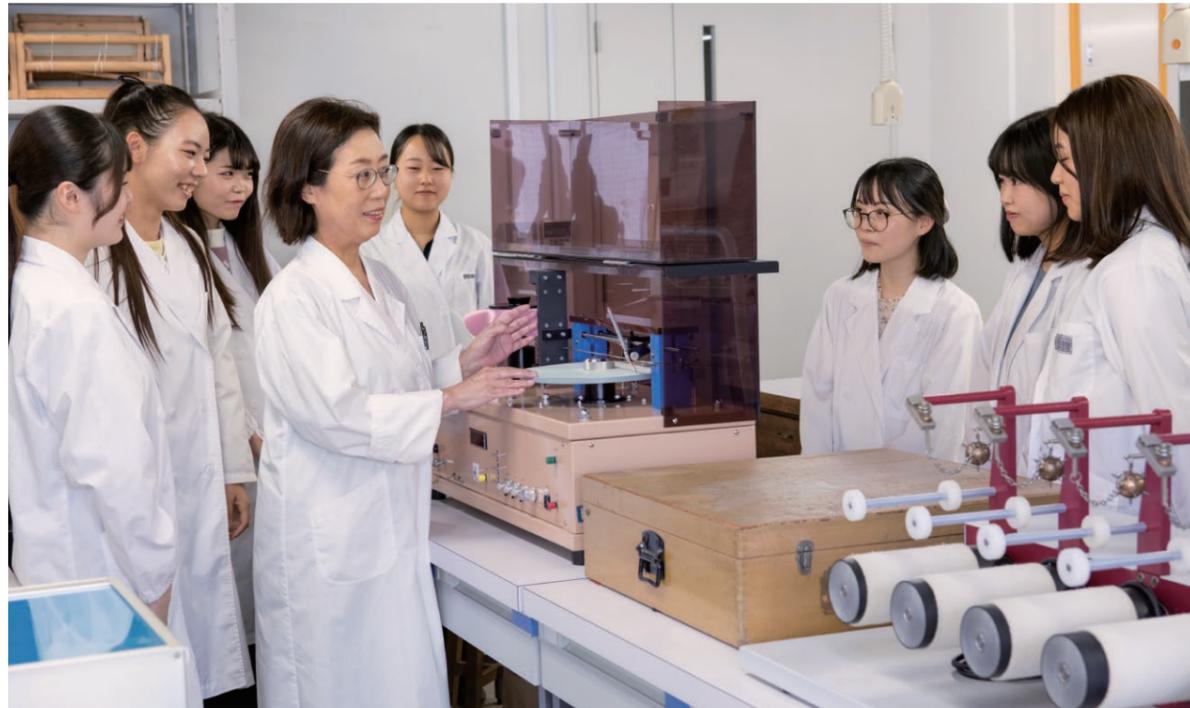


詳細は
本学HPで
ご確認ください

被服学科

科学的・文化的視点から被服のあり方をとらえ、
人間生活の向上に役立つ被服を創造できる人へ

生活環境が著しく変化している現代に即した被服のあり方について、科学的・文化的視点から総合的に研究していくのが本学の被服学科です。さまざまな角度から被服を理解するため、被服素材からデザイン、流通・消費に至る幅広い領域の科目を設置。人間生活の向上に役立つ被服を創造する力を養うことで、繊維・ファッション業界などの多彩な分野で活躍し、社会に貢献できる人材を育成します。



Points 学びのポイント

被服学の本質を学び、総合力を身につけます

広い視野から被服を理解するために、被服素材、デザイン・生産、文化、流通・消費に関する幅広い科目を設置。講義と実験・実習・演習をバランスよく構成したカリキュラムで学び、総合力を養います。

目標実現のための3つのコースがあります

将来の目標を実現させるために、科目履修のガイドラインとなるコース制を設けています。①ファッションサイエンス②ファッションデザイン③ファッションアートの3コースから選び、1年次から計画的に履修することで学習効率を高めます。

多彩なカリキュラムで資格取得を支援します

「繊維製品品質管理士(TES)」[パターンメイキング技術検定]など、繊維やファッション業界必携の資格取得をサポートしています。所定の科目単位を取得すれば「衣料管理士(TA)一級」も取得可能です。

ゼミナール | 被服学総合演習 D 4年次 (左ページ)

素材が及ぼす影響を実験で検証

衣服の素材が、シルエットや着心地、縫製時の縫いやすさ、仕上がりなどに及ぼす影響について研究します。最近では、職人の技術の伝承にも着目し、組紐製作に焦点をあて、作製条件と組み上がった紐の外観や物性との関係についても検討しています。この授業では卒業研究に向けて、素材に関する知識や、実験データの取り方とその取り扱い、実験装置の扱い方について習得。同時に関連論文の検索も行います。実験では正確なデータが取れるように丁寧な説明を心がけ、学生が慣れるまでは一緒に実験を行うようにしています。

衣服材料学 松梨久仁子 教授

Pick up 1 | 西洋服飾文化史 I 2年次 | 欧州の服飾文化を歴史的背景から学ぶ

古代から17世紀までのヨーロッパの歴史に現れた服飾事象を、豊富な図像資料とともに概説し、服飾文化の諸相への理解を深めます(18世紀から現代までは「西洋服飾文化史II」で扱います)。時代ごとに服飾文化の特徴を、歴史的背景をふまえて解説。最後にその時代を舞台にした映画を鑑賞して理解の深化をはかっています。学生からは美術館や映画館での鑑賞の際に作品への理解が深まったとの感想が聞かれます。服飾文化の変遷を歴史的背景から理解することで、今後の服飾文化の行方を見通す力が養われることを期待しています。



西洋服飾文化史 内村理奈 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
専門科目への導入として、各種の概説や基礎実験などの科目を履修し、4年間のベースとなる基礎力を養います。	材料・造形・衣環境・整理・染色・美学・消費などの衣服に関わる各専門科目を選択履修し、学びの方向性を探ります。	2年次までの学びをふまえて、所属するゼミを決めます。蓄積した基礎知識と技術を発展させ、専門領域を深めます。	これまで学んできたことや研究内容を、4年間の集大成として、卒業論文を完成させます。
被服科学基礎論 I・II・III 衣生活文化論 衣服基礎実験・実習 衣材料学 I 被服人間工学 色彩環境論 衣人体生理学 ファッション論 染織文化史 民族服飾論 ファッションビジネス論 社会生活入門	繊維材料学、衣材料学実験 I・II アパレル生産実習 I・II アパレル設計・生産論 I・II 衣環境学 運動環境生理学 テキスタイル管理学 日本服飾文化史 I・II 西洋服飾文化史 I・II 消費生活論 I・II 服飾デザイン 色彩学 染色加工学 工業デザイン論 ユニバーサルデザイン論	アパレルデザイン論 アパレル企画論 基礎感性工学 テキスタイル管理学実験 服飾美学 I・II ファッションマーケティング論 被服科学演習 衣服文化演習 I・II 染色加工学実験 消費科学 アパレル統計学 衣環境学実験 機能アパレル論 衣料商品学	高分子分析実験 被服学総合演習 卒業論文



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- コルセットを放棄したフランス女性モード
—フランス革命からナポレオン帝政期まで—
- ウルトラファインバブル水による洗濯性の向上
- 厚底ランニングシューズ着用による特性の異なるジャンプ動作に及ぼす影響
- 女子大学生の下半身の体型特徴とパンツスーツの適合性
—体型コンプレックスに着目して—
- ジェンダーの視点から見た学校制服のこれからを考える
- 夏物用シャツ素材の快適性について
—織物表面形状と接触冷温感からの検討—
- 『栄花物語』における服飾表現 —装束で示す富と権力—
- 素材や風合い評価方法の違いがサテンの印象に及ぼす影響
- サーマルマネキンを用いた有風時の熱抵抗測定方法に関する研究
- 20世紀初頭のレジャーにおけるモード
—Gazette du Bon Ton の挿絵を中心に—
- 機能的リーチテストによる靴下着用時の動的バランス能力評価
- 1980年以降の制服自由化への取り組みからわかる
制服着装に関する意識の変化
- 口紅の色と質感が顔の印象に及ぼす影響
- マーブル染めによる視覚効果の検討
- 視認性官能評価および光学特性測定にもとづいた
蛍光染色布の対比効果の定量化に関する研究



Student's Voice

M.I. 4年

埼玉県／私立昌平高等学校出身

大好きなアパレルを学ぶため本学科に入学。講義では幅広い知識が得られ、実験や実習など実践的な授業も多く、日毎にアパレルへの理解が深まっているのを感じます。印象に残っている授業は、自分でデザインした服をオートクチュールの技法で作り上げる「テキスタイル工芸演習」です。すべて手縫いで縫い目は見せないなど、ふんわりした服を作るための工夫がたくさんあり、骨の折れる工程ばかりでしたが、完成したと

きの達成感は格別なものでした。本学科ではアパレルでアルバイトをしている学生が多く、私もその一人です。仕事で常に服にふれるなかで、大学での学びも重なり、素材や流行などに自然と詳しくなります。今後は、大学内外での学びで得られた被服の知識や技術、多様な視点、課題解決力を生かして就職活動や卒業論文に臨み、洗濯や素材の知識など日常生活に役立つノウハウも実践していきたいと思います。

武本歩未先生には授業以外に、織物のスワッチブック(見本帳)を作成し織物産地の持続可能性を追求する「山梨テキスタイルプロジェクト」でもお世話になり、山梨での工場見学や会議への参加など多くの経験をさせていただきました。



杏彩館

取得可能な資格

- 衣料管理士 (TA) 一級
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)
- 学校図書館司書教諭
- 司書

- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 日本語教員養成講座

【関連資格】

- 繊維製品品質管理士(TES)
- パターンメイキング技術検定
- 色彩検定

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | ヨーロッパ服飾文化研修で、ファッションの本場フランスを学ぶ

長期休暇中に、ヨーロッパ服飾文化研修を実施しています。コロナ禍で海外に行けなかった間には、ファッションの都パリと日本をオンライン形式でつなぎ研修を行いました。派遣型の研修では、フランスを中心に、ファッションに関わるさまざまな美術館や博物館、染織工場やアトリエ等を見学し、レース編みの体験や、南仏の香水の町で香水作りなどをします。この体験は学生たちにとってかけがえのない学びとなっています。



Pick up 3 | 授業の枠を超えた学び —ファッションショー、ガイドブック制作—

毎年、目白祭で披露するファッションショー。被服学科の学びの特徴を学生目線でまとめたガイドブックの制作。これらの活動は、被服学科の学生有志によって行われています。ファッションショーでは、企画の立案・衣装デザイン・広報の全てを、ガイドブック制作では取材から原稿作成や編集に至るまでを学生のみで行っています。ゼミや学年の枠を超えたこれらの製作活動とおし、被服学の学びを生かして、実践力を身につけています。



Faculty 教員紹介

服飾美学、西洋服飾文化史

内村理奈教授

西洋服飾文化史を研究。主にヨーロッパの宮廷や社交界にみられるファッションのエテケットの社会的意味について、同時代の文献(作法書、雑誌、文学作品等)や絵画などの資料を駆使して読み解いている。

染色加工、テキスタイル管理学

榎本一郎教授

衣服の洗濯や染色加工におけるファインバブル水の活用に関する研究を行う。また高強度繊維の表面改質による一般衣料への適用に関する研究も進めていく。

衣服材料学

松梨久仁子教授

衣服の素材である繊維、糸、布地について、物理的特性と実際の衣服や繊維製品において発現する性質との関係について研究している。また、縫製加工における諸問題の技術的解明にも取り組む。

服飾文化史

森理恵教授

アジア・日本の服飾や染織についての研究。特に、「きもの」前身とされる「小袖」のデザインの移り変わりや「きもの」近代化について研究を進めている。

人間工学、応用健康科学、スポーツ科学、リハビリテーション科学・福祉工学

横井孝志教授

人間工学や感性工学の方法を用いて人の姿勢・動作、生理、感覚・知覚、感性などの人間特性を計測し、被服の設計や評価に応用する研究を行っている。

運動環境生理学、バイオメカニクス、スポーツ科学、リハビリテーション

小川哲也准教授

日常生活動作やスポーツ動作を実現する身体の機能について、外部環境との相互作用の観点より研究し、これらに影響を与える被服の役割や可能性について検討を進める。

衣環境学、被服衛生学、衣住環境評価、家庭科教育

西原直枝准教授

暑さ寒さなどの衣服の着心地を人間-衣服-環境の関係に着目し科学的に研究し、健康・安全、快適、持続可能な衣生活や被服設計の実現を目指す。

消費科学、消費者教育、ファッションビジネス、環境政策

勝又淳司講師

繊維産業が環境負荷を軽減するための環境政策について研究する。過剰な供給量を是正するための研究を行うとともに、消費者の行動変容や消費のあり方についても研究する。

被服構成学、被服体型学

武本歩未講師

快適で機能的な衣服設計のために、人体の形態と動きに着目し、三次元計測や動作解析、CADを用いた体型分析、衣服パターンについて研究を行っている。

神経科学、運動生理学、運動制御

戸枝美咲助教

歩行制御や運動中の姿勢制御のメカニズムを解明するために、エネルギー効率などに着目して、ラットのシミュレーションを用いた歩行の研究を行っている。

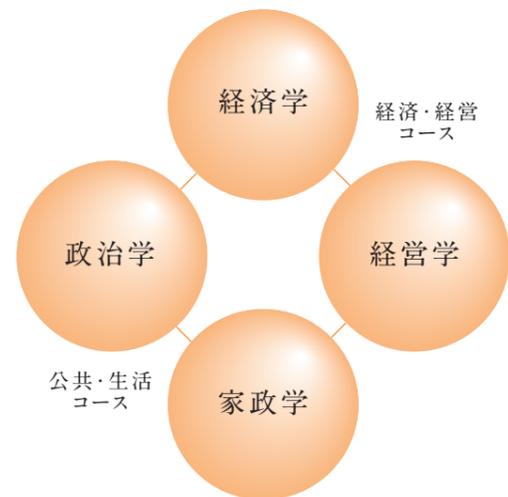


詳細は
本学HPで
ご確認ください

家政経済学科

経済学・経営学・家政学などを幅広く学び、
どんな場所でも私らしく活躍できる人へ

私たち一人ひとりの生活を巡る諸問題について、経済学を基に、家政学や社会科学の知識を取り入れながら、生活者の視点にたつて分析し学際的に研究します。興味関心に応じて2つのコースから選択し、身近な生活問題から地球規模の問題まで幅広く追究。複雑化する生活問題のなかから重視するテーマを見つけ、問題の解決方法を探り、分析する力を養成します。教員免許や消費生活アドバイザーなどの資格取得もサポートし、将来の活躍につなげます。



Points 学びのポイント

身近な暮らしの問題を経済学を使って分析します

私たちが日々の生活を送るなかで直面するさまざまな問題や課題を、経済学を中心に、複数の社会科学の方法を使って分析・理解します。さらにそれらをどう解決すべきかについてデータなどを用いて検討します。

2年次からのコース制で専門性を高めます

1年次で経済学の基本的な発想や方法を学びます。2年次に、より深く経済学・経営学を学ぶ「経済・経営」と公共的な視点から生活問題を学ぶ「公共・生活」の2コースに分かれ、3年次からゼミに所属します。

充実のカリキュラムでキャリア形成をサポート

近年、企業や自治体から注目を集める「消費生活アドバイザー」資格試験の対策講座を学内で開講し、取得をサポートします。また中学校や高等学校の家庭または中学校の社会・高等学校の公民の教員免許も取得可能です。

授業 | 女性労働論 I 1年次 (左ページ)

女性労働の実態を実証分析する

日本における女性労働の実態と特徴、女性労働に関する施策とその評価について、統計データやアンケート調査の結果と、それをもとにした実証研究から学びます。並行して、実証分析の考え方や結果の見方、解釈についても理解を深めます。データを用いて検証することで、実感が得られ、全体像が把握しやすくなるはず。また実証研究にふれることで、今の社会の関心や問題点が見えてくるでしょう。理論や仮説検証の考え方を学びながら、客観的視点を持ち、そこから課題を見つけて解決策を提案していくことを期待します。

女性労働論、労働経済学、データ分析の方法論 中山真緒 講師

Pick up 1 | 公共・生活演習 II 3年次 | 現場体験で課題解決能力を高める

ビジネスの場に足を踏み入れ、そこで得られた知見や情報をゼミに持ち寄って共有し、課題を見つけて解決する力を養います。変化の速い時代には、大学の枠を越えて学ぶことが求められ、デジタルの時代だからこそ、リアルな現場とつながることが大切です。学生は、本ゼミで学ぶ理論と、現地調査や就職活動、アルバイトなどとの相乗効果によって成長し、多様なバックグラウンドの人とコミュニケーションがとれるようになっていくのを感じます。その力を武器に、チームで難題に立ち向かえる人材に育つことを願っています。

フードシステム論、マーケティング論 小林富雄 教授



Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
社会科学分野を広く学び2年次のコース選択につなげます。特に経済学の基礎をしっかり身につけて、学びの土台づくりに努めます。	興味関心に応じて「経済・経営コース」と「公共・生活コース」に分かれ、それぞれのコースの選択科目をより専門的・発展的に学修します。	少人数制のゼミが始まります。意見交換をする中で、他者の意見を取り入れて視野を多面的に広げ、ものを体系的に考える訓練をします。	課題の解決方法を探る力、データの分析力、自らの意見を発信するプレゼンテーション力や文章力を発揮して、卒業論文を仕上げます。
経済学入門 I・II 女性労働論 I 地域経済論 経済学の歴史 経済統計学 I 経営学入門 生活経済入門 生活・家庭管理論 I 生活文化論 生活公共入門 政治学概論 法学概論 生活と情報 現代の社会経済問題 フィールドスタディ(農業・農村)	ミクロ経済学 I・II マクロ経済学 I・II 経済統計学 II 経済政策 I・II 労働経済学 I・II 社会調査の方法 マーケティング論 I・II 経営戦略論 I・II 経営組織論 会計学 I・II 生活経済論 生活・家庭管理論 II 生活と行政 公共・生活ガバナンス論 外国書講読 地域生活環境論 I・II	経済・経営演習 I・II 公共・生活演習 I・II データ分析の方法論 行動経済学 女性労働論 II 環境経済学 生活と経営学 フードシステム論 家計と社会 I・II 生活組織論 I・II 生活と民法 I・II 生活と社会保障 I・II ジェンダーと政治 まちづくり基礎演習	卒業論文 経済・経営演習 III・IV 公共・生活演習 III・IV 金融論 財政学 国際経済 日本経済論 消費者政策 I・II 労働法・社会保障法 共生の法律学

※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 製品開発における町工場の製造業者と依頼者間で生じるトラブルとそのプロセスのボトルネックは何か
- 女性の起業意識に関する分析
—キャリア志向による類型化に基づいた検証—
- 待機児童解消に基礎自治体が行えることは何か
—東京都内の地域比較の観点から—
- 若者の新規就農者を増やすには
- 図書館のビジネス支援サービス
—その独自性の検討—
- 子ども食堂の持続可能な運営の検討
- エシカル消費は持続可能な将来にどのように貢献するのか
- コミュニティフリッジが与える子供の貧困に対する効果
- 芸術文化への公的支援と幼児教育の重要性
- 美容整形の現状と課題
—美容整形に対する意識変化の考察—



Student's Voice

M.H. 4年

北海道／私立藤女子高等学校出身

高校時代に消費者問題やSDGsについて考える授業がきっかけで生活や消費、環境の問題に関心をもち、家政学全般を学びたいと思い入学しました。本学科は、生活者の視点から家政学と経済学が学べて、ジェンダーやマーケティング、環境問題など幅広い分野の学びを通して視野が広がるのが魅力です。「生活組織論I」では、NPOやボランティアの目的・仕組みを理解するほか、CSR活動についても学び、

企業を知るための情報として注目するようになりました。「社会に出るための自己表現」では、社会人としての知識やマナーを学ぶなかで自分の伸ばすべき点や意識すべき点が明らかになり、就職活動を前に自信がついたのを感じています。幅広く学ぶ中で、昔から子どもと関わることが好きだった私は、子どもの生活環境とその発達効果について関心が深まり、卒業後の進路も具体的にイメージできるようになりました。



百二十年館（パティオ）

天野晴子先生のゼミに所属。学問の話はもちろん、サークルや家族の話など、さまざまな話題について話せる気さくな先生です。地域を知ることが目的に、フィールドワークで大学近辺を散策したことも印象に残っています。

取得可能な資格

- 中学校教諭・高等学校教諭一種免許状(家庭科)・中学校教諭一種免許状(社会科)および高等学校教諭一種免許状(公民)
- 学校図書館司書教諭
- 司書

- 博物館学芸員
- 社会福祉士
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | フィールドスタディ(農業・農村) 農村での体験学習

フィールドスタディ(農業・農村)は、2011年の東日本大震災・原発事故の2年後に福島県の農家の呼びかけに応える形で開始されました。学内の講義と夏季休暇に実施される2泊3日の農村ステイからなる授業です。農村ステイでは、福島の良い自然のなか農業や環境問題を身をもって学び、感動とともに農家暮らしや自然と人びととの共生について知見を深めます。もう長い付き合いとなりました農家の「おかあさんたち」は、本学の学生たちが大好きです。



Pick up 3 | 家政経済学科オリジナルWebサイト内ブログ、Instagramで学科の日常を発信

家政経済学科の教員・スタッフによるブログやInstagramでは、学科のイベントやニュース、ゼミ・授業の様子はもちろんのこと、学内施設紹介や在学生に向けての事務連絡などを幅広く発信しています。どれもキャンパスライフを豊かにする有益なもので好評を得ています。家政経済学科は教員と学生の距離が近く、アットホームで自由闊達な雰囲気です。是非ご覧いただき、学科の魅力を感じていただきたいです。



学科ブログ



学科Instagram



授業風景を動画で紹介!



教員 & ゼミPR動画を公開中



在学生が大活躍のオープンキャンパス舞台裏



学科4年生がデザイン! 教員10名を動物キャラ化プロジェクト



オールジェンダートイレ 学内新施設2連 Web面接ブースの紹介

Faculty 教員紹介

地域経済論、地域政策論

秋元健治教授

過去の大規模開発からリゾート、最近の地域の取り組みまで、調査や統計資料をもとに実証的に分析。自治体や環境問題なども研究対象とする。

生活経営学、生活経済学、家庭科・消費者教育学

天野晴子教授

家計、時間等のデータ分析を通し、生活の実態と課題を明らかにする。問題解決に向けて、個人・家族と地域・社会の相互関係やジェンダー視点での研究を行う。

マクロ経済学、経済政策、環境経済学

伊ヶ崎大理教授

経済成長が生じるメカニズムや環境、少子高齢化、地域間の格差などが経済や社会の持続可能性に及ぼす影響について考える。

フードシステム論、マーケティング論

小林富雄教授

「食」を栄養摂取だけでなく、社会のコミュニケーションのツールとしても積極的に評価しながら、誰一人取り残さないフードシステムを考える。

応用ミクロ経済学、行動経済学

福山博文教授

プロスペクト理論によるスポーツ観戦行動の分析。文化伝達モデルを用いた嗜好形成の研究。環境政策や医療政策に関する経済学的研究。

政治学、思想史

小野寺研太准教授

社会科学言説を読み解きながら、近代的な社会認識のあり方を批判的に解明し、政治や社会を支える「哲学」の可能性を探る。

生活経済学、生活経営学

倉田あゆみ准教授

生活問題の解決をボランティアやNPOによる活動も含めて考え、すべての人々にとって暮らしやすい社会システムについての研究を行う。

図書館情報学

後藤敏行准教授

図書館のデジタル資料をめぐる研究、図書館とRFIDに関する研究、図書館の法令面の検討、学校図書館に関する検討、今後の図書館員像の検討など。

経営学、中小企業論、地域産業論

額田春華准教授

地域経済の持続のダイナミズムとジェンダー・ダイバーシティ・マネジメントの二つの領域の研究に、「生活」の視点を大切に取り組む。

女性労働論、労働経済学、

データ分析の方法論

中山真緒講師

女性の職業決定には何が影響しているのか、保育施設や育児休業制度などに女性の就業を促す効果はどの程度あるのかを実証的に分析する。

日本文学科

日本語・日本文学への造詣が深い
真の国際人となり、文化を守り伝える担い手へ

日本語および日本文学を探究し、その本質を把握することを目的とした学科です。日本の古典を原典で読み解く力を養い、日本語と日本文学の特徴と歴史を学ぶことを通じてその魅力を発見します。人間の思考の根幹を形成する「言葉」を技術として磨き、ビジネスや社会全般で求められる、日本語による思考力・文書作成能力はもちろん高度な専門的研究の基礎を身につけます。国際社会で日本文化の伝統を伝える担い手となる人材や、学問発展に寄与できる人材を養成しています。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

Points 学びのポイント

日本語・日本文学・文化の多方面から学べる科目群

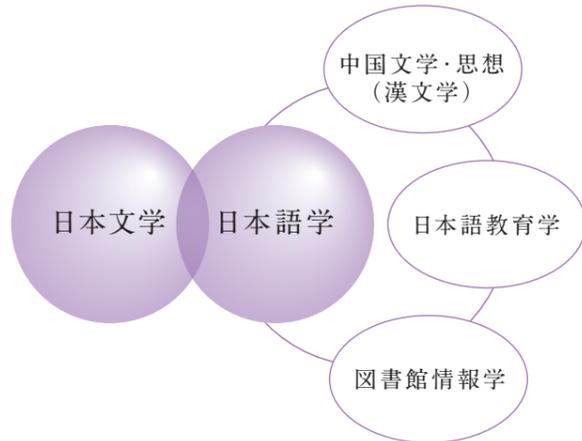
日本語・日本文学・文化への広い視野と創造的な研究姿勢を養うカリキュラム。幅広い分野への造詣を深めるために、中国文学・思想、比較文学、図書館情報学、マスメディア論、日本語教育学などの科目も設けています。

自発的に調査・考察する少人数による演習を重視

1年次の「日本語日本文学リテラシー演習」では、日本語・日本文学の学び方を基礎から身につけます。2年次以降も少人数制の演習で、自ら調査発表するなかで思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を育みます。

将来の活躍の場が広がる教養と文章表現力を体得

文学作品の鑑賞・批評および創作の実践で身につく豊かな教養と、文章表現力は、どの分野に進んでも役立ちます。専門分野では中学校や高等学校の教員(国語)、日本語教員、放送・出版関連、司書、芸員などがあります。



ゼミナール | 卒業研究演習 4年次 (左ページ)

近現代文学の研究をとおして言語能力を鍛える

近現代文学を対象とした卒業論文を作成します。人気の研究対象は、芥川龍之介、江戸川乱歩、太宰治、遠藤周作、小川洋子、村上春樹など。授業ではディスカッションを重視し、とくに相互批評は、「建設的な議論と批判のための批判」「正確に伝わる言葉と誤解を招きやすい表現」などを知り、自身の個性や価値にも気づく貴重な機会となっています。課題の設定から達成に至るプロセスを通じて、状況に応じた述べ方で、考えを誤解の余地なく伝える力を獲得・向上させ、自己実現や快適に生きるためのスキルとして役立ててほしいと思います。

日本文学 渡部麻実 教授

Pick up 1 | 近世文学演習 2~4年次 | 近世文学の原文を読解。和本の修復も行う

日本古典のうち、およそ江戸時代の文化である近世文学について、原文を読解し、自分の言葉で説明できることを目指します。また、ワークショップで江戸時代の和本の修復を行い、貴重な文化財を次世代につなぐ活動も行います。授業は日本古典の解析を楽しむことをモットーとし、少人数という演習科目の特性を生かし、発話や意見交換が自然と行える環境を心がけています。演習を通じて、日本古典の知識や原文読解力、注釈などの知識・技能が身につくとともに、学習意欲やコミュニケーション能力も育まれることを期待しています。



日本文学 福田安典 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
日本語・日本文学の概論、基礎演習、変体仮名演習などの基礎的科目を中心に、基礎知識と方法論を習得します。資格科目も履修が始まります。	専門的な講義や演習などが始まります。日本語・日本文学のほか、中国文学や日本語教育学、情報検索に関する科目も開講します。	2年次に引き続き、専門的な科目を履修し、探究したいテーマを見つけます。卒業論文のための演習も始まります。	日本語・日本文学への理解や、培った教養と文章表現力を用い、自ら設定したテーマを追って卒業論文を作成します。
【学科基礎科目】 日本文学の基礎1(古典)・2(近現代) 日本語日本文学リテラシー演習 日本語学概論 / 文章表現法	【学科基礎科目】 日本語史	卒業研究予備演習	卒業研究演習 / 卒業論文

変体仮名演習 / デジタル時代の人文学 / 日本文学情報検索演習

日本文学史(上代・中古・中世・近世・近現代) / 中国文学史 / 中国思想史



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPで確認ください。

【講義科目】

【日本文学】 古典文学講義(上代・中古・中世・近世)、古典文学特論、世界に拓く日本古典文学
近現代文学講義、近現代文学特論、イメージリーディング入門、舞台芸術論

【日本語学】 日本語文法、方言学概説、コーパス日本語学入門、日本語の語彙、日本語の音声学、日本語の文字表記
【中国文学・思想漢文学】 中国古典講義

【演習科目】

【日本文学】 上代文学演習、中古文学演習、中世文学演習、近世文学演習、近現代文学演習

【日本語学】 日本語学演習(古典語)、日本語学演習(近現代語)、日本語学演習(方言)、日本語学演習(データ分析)

【中国文学・思想漢文学】 中国文学演習、中国思想演習、漢文演習

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 「古事記」のいざなみの神とパズドラ
- 『源氏物語』の「笑い」
- 『平家物語』の女性と仏教による救済
- 歌舞伎や浄瑠璃についての作品論
- 太宰治「人間失格」
- 芥川龍之介「河童」
- 東京における動詞アクセントの変化
- 魯迅の小説と儒教の関係
- 新聞記事に見る外来語の定着プロセス
- 公共図書館におけるライトノベルの所蔵状況
- 日本語教育の読解授業における理解の過程



Student's Voice

M.K. 4年

埼玉県／埼玉県立伊奈学園総合高等学校出身

大学は個人の学びに留まらず、先生や他の学生との出会いが大切と考えていた私にとって、文学の時代区分ごとに専門の先生が揃う本学科の環境は魅力的で、最大の志望理由になりました。本学科では、1年次に「変体仮名演習」で昔の人の筆記「くずし字」を読めるようになり、以降の学修の幅を広げます。「日本語学」では、改めて日本語の規則や方言を学び、まるで外国語にふれるような新鮮な気持ちに。学科専門の図

書館には『源氏物語』の写本や江戸時代の浄瑠璃本など貴重な資料が多数保管されており、実際に手に取ることで授業での学びが深められます。授業を通じて作品を多角的にとらえ、自分なりの解釈を見つけていく過程で、高いレベルの理解力や思考力、会話力が身につきました。これらの力は所属するボランティアサークルでの課題解決に生かされており、就職活動や卒業後の進路にも役立つものと確信しています。

近代文学ゼミなどでお世話になっている渡部麻実先生。興味をもった分野や学びたい内容へのアプローチの仕方など、いつもわかりやすくアドバイスしていただけます。真剣に取り組むなかで笑いもある、楽しい授業です。



百年館低層棟 屋上庭園（泉フロントガーデン）

取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(国語)
- 博物館学芸員
- 学校図書館司書教諭
- 社会福祉主事
- 司書
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。
 ※本学の日本語教員養成講座は大学が認定する資格の講座で、日本文学科をはじめ、全学科に開かれています。
 本講座は日本語教授法・日本語学・言語学・心理学などの授業によって成り立ち、日本語・日本文化を外からの視点で見える見方を養います。3年次には外国人学生を対象とする教育実習も行います。

Pick up 2 | 多様な分野にわたる横断的な学び

日本文学科では、9つの分野(上代文学、中古文学、中世文学、近世文学、近現代文学、日本語学、中国文学・思想(漢文学)、日本語教育学、図書館情報学)で、卒業論文を執筆することができます。学科の公式キャラクター「にちぶんちょう」は、分野ごとに1羽いますが、どの「にちぶんちょう」がどの分野のシンボルか分かりますか？(解答は学科 InstagramかX(旧twitter)へ！)学科の学び(授業風景動画)や最新情報については、学科SNSで発信しています。



Instagram



X(旧twitter)



公式ブログ

Pick up 3 | 日本文学科独自のキャリア支援

【日本文学科就職ガイダンス】

例年1年生を対象として、日本文学科の卒業生を招き、就職活動やキャリア形成について話を聞く機会を設けています。金融・広告・マーケティング・公務員など多彩な方面で活躍する卒業生との交流を通じて、入学直後から自らのキャリア形成について考えることができます。



【国語科教員の会】

中学校・高等学校の国語科教員として教壇に立つ卒業生と、教職志望の学生と一緒に研究、情報共有する会を年1回開催しています。



Faculty 教員紹介

日本文学

石井倫子教授

中世文学。主として室町時代の能を対象とし、当時の能に受容された文化・宗教的事象の諸相について歴史学的アプローチから研究している。

日本語教育学

衣川隆生教授

日本語教育学。教育実践から得られた資料から、日本語学習者の理解過程、産出過程、および自律学習能力の変容を明らかにする研究を行っている。

日本語学

坂本清恵教授

日本語学。アクセントの変遷をテーマに、アクセントに関わる定家仮名遣いや、伝統芸能(能・浄瑠璃)を資料とした音声、音韻研究を行っている。

日本文学

田中大士教授

上代文学。主として『万葉集』の伝本が、どのように変容し、また、整えられてきたかについて、また、『万葉集』がどのように受け止められてきたかについて研究している。

日本語学、言語学

田辺和子教授

日本語学。日本語における語用論的分析とその機能の検証。社会言語学。敬語の変化。

日本文学

福田安典教授

近現代文学。現在は、平賀源内を中心として、江戸時代の文学(俳諧、国学、小説)を研究テーマとしている。源内の時代は、江戸中期にあたり、とても魅力ある領域である。

日本文学

山口俊雄教授

近現代文学。1930年代にデビューした石川淳や太宰治を中心に、広く近代文学を同時代の諸言説・諸事象との関係の中で読み、その歴史性の解明を試みている。

日本文学

渡部麻実教授

近現代文学。主に昭和期の文学を研究。堀辰雄、遠藤周作を中心に、作家の旧蔵書や肉筆資料を研究し、小説の読みの更新を目指している。

図書館情報学

木村麻衣子准教授

利用者が求める資料を探せるように図書館等が行う情報資源組織化を研究対象としており、近年は特に漢籍の組織化に関心を持っている。

日本文学

林 悠子准教授

中世文学。「源氏物語」を中心とした物語作品の、虚構が組み立てられるしくみについて、作品の構造と表現、平安中期の史実や慣習に注目し、研究を行っている。

中国文学・中国思想

吉田 薫准教授

中国近代文学・思想。梁啓超や康有為、魯迅、周作人等、清末の知識人の思想や文学について、さまざまな活動内容を検証しながら研究している。特に個々の思想と歴史の関わりに興味がある。

日本語学

村山実和子講師

日本語学。主に、日本語の語形成の歴史的变化に関心を持って研究を進めている。また、コーパスを活用した日本語史研究にも取り組んでいる。

日本文学

大塚千聖助教

中世文学。院政期から室町時代にかけて成立した中世王朝物語の研究。天皇家や摂関家の存在に着目して(王権)という視点から作品構造の分析を試みている。

日本文学

片木晶子助教

近代文学。太宰治文学の研究。主として、1940年代の作品における学生や青年の描写に着目した読解を試みている。文学作品の中で教養主義や受験がどのように取り上げられているかという点に関心がある。

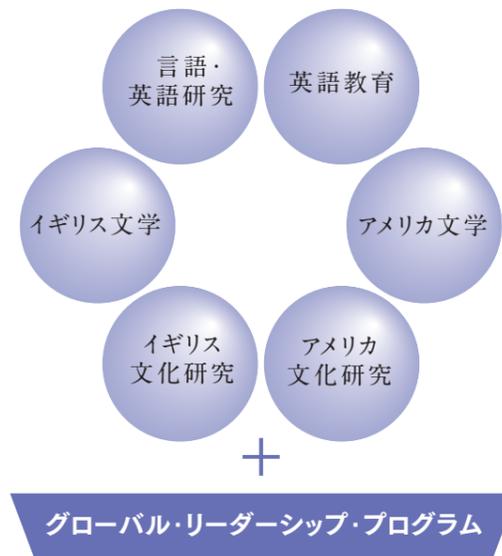
英文学科

英語力と異文化理解力を備え、
国際的に活躍する人へ

英語は、世界の共通語としてますます重要性が高まっています。英文学科では、英米を中心とした英語圏の文学・言語・文化・社会について学び、豊かな知識を深めるとともに、英語による円滑なコミュニケーション能力と確かな文章力を磨きます。また、これらの英米文化を健全な批判精神で考察し、自己や世界の諸問題を複眼的・相対的にとらえることをとおして、グローバル社会で活躍できる人材を育成します。



詳細は
本学HPで
ご確認ください



Points 学びのポイント

世界の人と交流ができ、発信力のある人になるために

本学科では、英語のリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングという4技能を習得した上で、6つの専門分野を横断的に幅広く学びます。演習やゼミは少人数が基本。自分の意見を発表する力とコミュニケーション能力が無理なく身につけていきます。

2年間のゼミで英語の卒論を執筆

英語を駆使して情報を集める技術、思考力や発想力、英語論文の作成方法などを総合的に学んだ集大成となる卒業論文。発表や討論をとおして各自のテーマを深めながら、教員による個別面談や論文作成指導を受け、英語での卒業論文を完成させます。

「グローバル・リーダーシップ・プログラム」を履修し、

卒業後はボーダーレスに活躍

学科内に設けられた独自のプログラムで英語運用能力をさらなる次元へ。マスコミ関連、企画・広報、営業などのさまざまな分野で活躍する卒業生を多数輩出しています。また、中学校・高等学校の英語科教員、司書・司書教諭、学芸員などを目指すこともできます。

授業 | アクティブ・イングリッシュ 1年次 (左ページ)

多様なトピックにふれ英語力を高める

リスニングやスピーキング、発音、ノートテキングのスキル向上に加え、文化的意識や世界の諸問題に深く関わる力を高めることを目指します。授業をすべて終える頃には「多様なトピックに対して自分の意見を述べる」「理解を深め、流暢に読む」「音声教材から重要な情報を正確に抜き出す」「文法ルールを守り理路整然と書く」「高いレベルの異文化理解を示す」ことができるようになります。授業では、主体的な学び「non nocebit (do no harm)」を大切にし、熱意をもって楽しみながら取り組むように指導しています。

イギリス文化史・イギリス哲学 ピーター・ロビンソン 准教授

Pick up 1 | 卒業論文セミナーⅡ 4年次 | ことばやコミュニケーションを研究

英語教育やコミュニケーションといった応用言語学に属するテーマを扱うゼミです。ことばを研究対象とし、人がことばを身につけるプロセスや、ことばを使ってコミュニケーションする仕組みなどについて、新たな発見を目指します。同時に、研究内容を発表や論文の形で人に伝える経験をとおして、ことばを駆使して表現する訓練も積みます。英語で卒業論文を書くことは容易ではありませんが、自分にとって大切なテーマを選び、主体的に進めることで、有意義な体験になるはずです。そのための可能な限りのサポートをしていきます。

応用言語学・外国語教育・会話分析 早野 薫 教授



Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
英語の基礎的運用能力を身につける必修科目を開講。「ベーシック・ライティング」では、アメリカの教科書で基本的な英文法と英語表現を習得します。	英語力をさらに高めます。「アカデミック・ライティング」では、エッセイの組み立て方を学び、実際に英語で論文を書く練習も始まります。	卒業論文の準備に向けて専門の研究に取り組みます。英語の継続的な学習のほかにも、多様な選択科目で自らの可能性を広げます。	発表や討論を通して各自のテーマを深めながら、教員による個別面談や論文作成指導を受け、英語での卒業論文を完成させます。
ベーシック・ライティング 1・2 インテンシヴ・リーディング 1・2 イギリス史 1・2 アメリカ史 1・2 イギリス文学史 1・2 英語学概論-構造 1・2 アメリカ文学史 1・2 英語・英米文化研究入門 1・2 イギリス文学講義 1・2 アメリカ文学講義 1・2 言語コミュニケーション演習 I-1・I-2 アメリカ文化演習 I-1・I-2	リーディング・ポエトリ1・2 リーディング・フィクション 1・2 アカデミック・ライティング 1・2 アカデミック・プレゼンテーション・イングリッシュ 1・2 アメリカ文学史演習 1・2 アメリカ大衆文化演習 1・2 イギリス小説演習 II-1・II-2 戯曲演習 1・2 イギリス史演習 1・2 イギリス文化講義 1・2 比較言語文化概論 1・2 応用言語学演習 1・2	卒業論文セミナー I-1・I-2 英米詩演習 II-1・II-2 イギリス小説演習 III-1・III-2 比較言語文化演習 1・2 アメリカ文化演習 III-1・III-2 英語圏映画論演習 1・2	卒業論文セミナー II-1・II-2 英語教育演習 卒業論文



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- Virginia Woolf's Feminism and its Limits
- The Conflict between Human Society and Nature in *Romeo and Juliet*
- William Blake's Religious Sense and the Industrial Revolution
- An Orwellian Criticism of Totalitarianism in *Nineteen Eighty-Four*
- Gender Roles in *Alice's Adventures in Wonderland*
- The Complex Relationship between Fiction and Autobiography in Forrester Carter's *The Education of Little Tree*
- Racial Problems in *West Side Story*
- Between Myth and Adaptation: Representation of the Colonial History in Walt Disney's *Pocahontas*
- Gloria Steinem's Views on Women and American Sexual Norms in the 1960s and 1970s
- The History of Changing Hairstyles and National and Ethnic Identities
- Urban Planning of New York City in the 20th Century
- The Comparison of Backchannels in Japanese and English Conversations
- A Comparison of Bilingual and Monolingual English Acquisition
- The Usage and Function of "Thank you" and "Thanks"
- Beyond Entertainment: The Social and Cultural Role of Broadway Musicals



Student's Voice

M.T. 4年

東京都／私立三輪田学園高等学校出身

高校時代、担任の先生から英語の楽しさを教わり、カナダ留学で英語により親しみを感じるように。それ以来英語が好きになり、もっと深く学びたいと考え本学科に入学しました。本学科は、先生との距離が近く、熱心な指導が受けられることが魅力です。先生方はいつも質問に快く答えてくださり、英語科教員免許取得のためのサポートもして下さいます。「英語発音法演習」では発音記号について実践的に学びます



成瀬記念講堂

が、先生の丁寧なご指導のおかげで、綺麗な発音ができるようになりました。その結果、大学主催の海外短期研修、ニューヨーク英語研修が充実したものとなり、大きな自信につながりました。また、難度の高い卒業論文も、先生が親身になって相談に乗ってくださるので、安心して取り組むことができます。今後も先生のご指導のもと、大学生活の集大成である卒業論文の作成に邁進していきます。

1年次に佐藤達郎先生の「イギリス文学史」を受講したことがきっかけで、イギリス文学に興味・関心をもつようになりました。現在は、佐藤先生のゼミに所属し、日々卒業論文の作成に励んでいます。

取得可能な資格

- 中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)
- 博物館学芸員
- 学校図書館司書教諭
- 社会福祉主事
- 司書
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | ウォルト・ディズニーの世界を学問する | アメリカ大衆文化演習

「アメリカ大衆文化演習」ではウォルト・ディズニー関連の表象文化(映画、アニメ、テーマパークなど)を題材にして、アメリカン・ポップカルチャーのありようを社会的な背景を参照しながら検討します。授業ではテキスト分析、ショット分析、ジャンル論などの基礎を学んだうえで、ディズニーの多様なエンターテインメント作品の背後に潜在するエスニシティやジェンダー等の政治的な問題について議論を深めます。

アメリカ文学 馬場 聡 教授



Pick up 3 | The Global Leadership Program | 2024年度入学者より

In our fast-changing world, leadership is more important than ever. Through this program, you will develop your qualities as a leader and discover how you can make a valuable contribution to global society. You will build your English communication skills as you deepen your knowledge of the issues we face today, and expand your abilities through study abroad in America. This is a unique opportunity for you to begin a lifelong commitment to leadership and changing our world for the better!



詳細は
本学HPで
ご確認ください

Faculty 教員紹介

アメリカ文学

内山加奈枝 教授

主にポール・オースターなど、アメリカの現代小説を研究している。その他、アメリカ映画、批評理論が興味の対象。

アメリカ文学

大場昌子 教授

20世紀アメリカで書かれた小説、中でもユダヤ系アメリカ人といわれる人々の作品について、その時代や社会との関わりを中心に研究している。

イギリス文学

坂田薫子 教授

19世紀ヴィクトリア朝のイギリス文学・文化研究(特にトーマス・ハーディ)。ジェンダー研究やジェイン・オースティン以降の女流作家研究も進めている。

イギリス史・イギリス文学・英語教育

佐藤和哉 教授

イギリスの子供の本や民衆向けの本について、その読まれ方や日本への影響を、文学研究と歴史研究の両方から考えている。

イギリス文学

佐藤達郎 教授

シェイクスピアを中心とするイギリス・ルネサンス文学の研究を通じて、同時代のイギリス文化の構造を歴史的に考察することを旨としている。

アメリカ文学・比較文学

Ann Slater 教授

I specialize in contemporary American fiction and comparative literature, especially multicultural writers and the theme of identity.

語用論・社会言語学・言語人類学

高梨博子 教授

観光などの異文化交流や日常生活における対話のプロセス、感情や共感の形成、ユーモアや遊び心の創発、そしてこれらの社会文化との関わりを研究している。

アメリカ文学

馬場 聡 教授

アメリカのカウンター・カルチャーとその周辺の文学作品を中心に研究している。

応用言語学・外国語教育・会話分析

早野 薫 教授

会話分析の方法を用いて、会話の仕組み、コンテキストと言語使用の関わり、英語学習者のコミュニケーション能力の習得の運用などを研究している。

英語学

Douglas Forster 教授

I specialize in media studies, with an emphasis on American culture, and the benefits of extensive reading (ER) in teaching English as a foreign language (EFL).

アメリカ史

藤永康政 教授

黒人自由闘争、いわゆる公民権運動やブラック・パワー運動、ブラック・ライヴス・マター運動を研究している。

歴史言語学・音声学

松森晶子 教授

音やアクセントの観察を通じて、言語がどのような方向に変化していくのか、ことばの世代差や方言間の違いはどうして生じるのかについて研究。

イギリス文学

奥畑 豊 准教授

20世紀以降、特に第二次世界大戦後のイギリスにおける文学作品を中心に研究している。

イギリス文学

鈴木喜和 准教授

ジョン・キーツを中心にイギリス・ロマン派の詩人を研究。テクニクの生成に関わる文化・歴史的要因を精読と一次資料に基づいて調べる。

アメリカ研究

土屋智子 准教授

アメリカを「移民の国」と捉え、多民族、多文化が存在する中で、それらが共存の道を模索し続けるプロセスを研究している。

認知言語学・言語習得

堀内ふみ野 准教授

日常の言語使用の実例をもとに、英語・日本語の文法構造とその習得プロセスを、人の認知とインタラクションの観点から研究している。

イギリス文化史・イギリス哲学

Peter Robinson 准教授

Specializing in publishing and garden history, my research particularly focuses on book advertising. I also teach thesis writing skills.

イギリス・アイルランド文学

小野瀬 宗一郎 講師

ジェイムズ・ジョイスを中心に、20世紀前半のイギリス・アイルランドの作家を、関連する歴史・文化的コンテキストに位置付けて研究している。

イギリス文学

押田 昊子 助教

両大戦間に書かれたイギリスの文学作品について、ヴァージニア・ウルフの作品を中心に研究を進めている。

談話分析・語用論・社会言語学

小林かおり 助教

日本語と英語の会話スタイルを、各言語の文化的背景との関連から研究を進めている。

アメリカ文学

西貝真紀 助教

J.D. サリンジャーの小説について、1950年代アメリカ社会や東洋思想との関連性を軸に研究を進めている。

史学科

歴史的思考を鍛え、自分なりの歴史観を構築。
現代社会に生かし、未来を創造できる人へ

歴史を学ぶおもしろさは、自分の力で原史料や文献を読み解き、自分なりの歴史像を構築していくことにあります。史学科では、このおもしろさをじっくり味わうことができます。また、歴史学の学修をとおして歴史的思考を鍛えながら、人類の歩みを把握します。そして、さまざまな地域や時代を探究することで視野を広げ、多様な人間存在への考察を深めるとともに、歴史的な視点から現代社会を再認識し、未来への歩みに生かしていきます。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

Points 学びのポイント

3つのコースに分かれて興味と関心を探究します

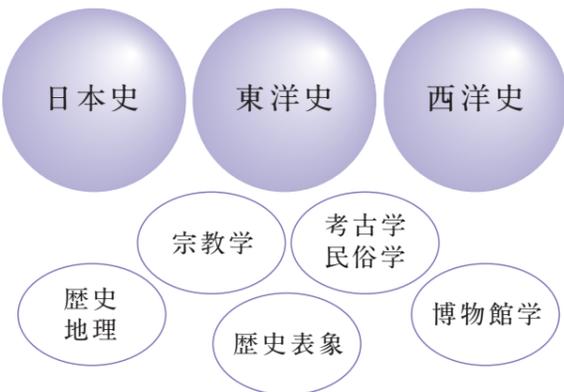
史料解説と実地学習を重視する「日本史」、漢字文化圏に加えて中東・中央アジアなどを対象とする「東洋史」、ヨーロッパ諸語の習得に励み社会形成の歴史を総合的に学ぶ「西洋史」の各コースで研究します。

独自の歴史像を構築する演習重視のカリキュラム

1年次から必修の少人数制ゼミでは史料の扱い方や古文書の解読など、歴史を理解する方法を学びます。どの時代・地域・テーマからでも自由に学びをスタートさせて、独自の歴史像を構築することができます。

実社会でこそ生かされる考察力と行動力を養います

官公庁、企業の芸術文化振興部門、旅行・観光サービス分野、マスメディア関連など、卒業生は多様な場で活躍。中学校(社会)・高等学校(地理歴史)の教員、司書・司書教諭、博物館学芸員への道も開かれています。



授業 | 古文書基礎演習-2B 2年次 (左ページ)

古文書の読み方を学び、史料を読み解く

古文書基礎演習は、日本史の史料として用いる古文書の読み解き方を学ぶ授業で、「古代・中世」「近世」「近代」の3つのクラスを開講しています。本講義の「近世」の授業では、典型的な古文書を読んだあと、日記史料の翻刻と現代語解釈を行います。さらに、原文書を用いた史料整理の実習を行い、史料の扱い方を身につけます。古文書読解の習得には時間がかかりますが、次第に文字の形や表現に慣れ、史料を読む楽しさを体感できるはずです。資史料や情報に基づいて考察する力は、多くの分野で役立つものと考えています。

日本近世史、対外関係史 吉村雅美 准教授

Pick up 1 | 東洋史特別演習-1B 4年次 | 中華圏を中心とした近現代史を研究

近現代の東洋史が専攻のゼミで、中華圏の歴史や韓国・朝鮮史で卒業論文を書く学生が集います。授業では、執筆に備えて資料を読み、ゼミ生に報告し、論点を議論して、考察を深めます。その際、学生が自分の興味・関心に基づいたテーマを据え、研究を進めるうちに真に知りたかったことに出会えるよう、さまざまな角度から助言するよう心がけています。ゼミでの活動をとおして、学生の活発な議論の様子を頼もしく感じるとともに、本学で身につけた情報収集能力や考察力、文章構成力が社会に出てからも高められることを願っています。

中国近現代文学 杉村安幾子 教授



Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
「日本史概説」「東洋史概説」「西洋史概説」と「基礎演習」を中心に、歴史学研究の基礎と方法を学びます。	専門的な講義が始まります。また、興味関心に沿って学ぶために、多彩な専門科目が設置されています。	少人数制でのゼミが中心です。各自が選択した専門に合わせて、本格的な歴史研究をさらに進めていきます。	幅広い知識を活用し、広く深く研究した独自のテーマを4年間の総まとめとして、卒業論文に仕上げます。
基礎演習 I-1・I-2 日本史概説-1・2 東洋史概説-1・2 西洋史概説-1・2 世界史の方法-1・2 地理学の方法-1・2 宗教学の方法-1・2 考古学の方法-1・2 民俗学の方法-1・2 文化人類学の方法-1・2 地誌学の方法-1・2 法学概論 地域経済論 アメリカ史 1・2 イギリス史 1・2	基礎演習 II-1・II-2 古文書基礎演習-1・2 日本史講義 I~IV 東洋史講義 I~III 西洋史講義 I~III 日本文化史-1・2 世界遺産論 宗教学各論-1・2 歴史文化講義 I~III 観光地理学 中国思想史 地理学演習-1・2 宗教学演習-1・2 経済学入門 I・II 政治学概論	日本史講義 I~IV 東洋史講義 I~III 西洋史講義 I~III 日本文化史-1・2 宗教学各論-1・2 歴史文化講義 I~III 中国思想史-1・2 日本史演習 I~V 東洋史演習 I~IV 西洋史演習 I~IV 地理学演習-1・2 宗教学演習-1・2 考古学演習-1・2 醍醐寺寄附授業文化財学講義 醍醐寺寄附授業文化財学演習	卒業論文 日本史特別演習-1・2 東洋史特別演習-1・2 西洋史特別演習-1・2 地理学特別演習-1・2 宗教学特別演習-1・2 歴史表象特別演習-1・2



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 中世の人々の罪の意識と『往生要集』
- 絶交状からみる文禄年間前後の伊達政宗
- 斎藤阿具のドゥーフ観
- 戦時下における国策演劇の影響力
— 移動演劇・素人演劇の活動を通して—
- 両漢期に発生した黄河決壊とその放置について
- 帝政ロシアの反ユダヤ政策と1881年ポグロム
- フィリッパ4世におけるガリカニスムの進展
- 茶貿易が世界に与えた影響
— 19世紀プラントハンター、ロバート・フォーチュンの功績—
- 触地区に関する現状と取り組み
- 日本商業演劇の歴史と展開
— グランドミュージカルを中心に—
- 中国の近代的女子教育の発展過程における外国の影響について
- オランプ・ドゥ・グージュの女性観
— フランス革命下におけるその活動と問題意識を中心に—
- シュトラズブルクとケルンにおけるベギン像の再構築
— マイスター・エックハルトの軌跡と「愛」の説教より—
- 幕末期の道中記から見る大名夫人の教養
- 東慶寺における駆け込み女性増加に関する一考察



Student's Voice

M.F. 4年

埼玉県／埼玉県立熊谷女子高等学校出身

史学科を志望したのは、趣味の街歩きで、その土地の史跡や博物館を訪ねるなかで、もっと歴史を専門的に学びたいと思ったからです。本学科では、時代や地域を超えて学ぶことができ、また文化や政治、経済、為政者から庶民の暮らしまで、多様な分野に関心を広げられます。特に「醍醐寺寄附授業文化財学講義」は、歴史を建築の観点から学ぶという授業で、とても興味深いものでした。授業の最後にはキャンパス

の近くにある護国寺を見学。部材の形状や修復の跡など建築から得られる情報の多さに驚かされ、より建築の細部に着目しようと思うようになりました。史学では、物事を多くの史料から多角的かつ客観的にとらえる目を養います。これは膨大な情報で溢れ返る現代社会においても重要なこと。今後は、情報のとらえ方をはじめ本学科で身につけた力を生かし、広い視野をもって社会に貢献していきたいと考えています。

「日本史演習Ⅱ-1A」でお世話になった古川元也先生。授業で実際に鎌倉を訪れ、授業と関りの深い場所を巡ったのが良い思い出です。史料だけではイメージしづらい、都市鎌倉の姿や中世の痕跡に多く気づくことができました。



図書館

取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- 学校図書館司書教諭

- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事

- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | フィールドワークで日本の中世寺院の実像に迫る | 卒論ゼミ合宿

夏休み等の長期休暇を利用して、研究対象の建造物や文献史料のある現地を訪れ、さまざまな体験を通じて知見を広げ、同時にゼミの仲間たちとの親交を深める貴重な機会となっています。例えば京都での研修では、六道珍皇寺や醍醐寺の僧侶の方から講話を聞いたり、国宝や重要文化財となっている障壁画等の現物史料に関する解説を受けたりといった、実に盛りだくさんの内容です。



日本中世寺院史、寺院史料論 藤井雅子 教授

Pick up 3 | 世界史の内部構造を理解し、自分なりの世界観を構築する | 歴史文化講義

ヨーロッパや近代文明が形成される過程の世界史の内部構造を理解し、自分なりのヨーロッパ観ないしは世界観を構築するための知識や思考モデルを学びます。中世から20世紀に至るドイツ語圏の文化を主な題材とし、適宜ほかの国々と比較対照を行います。コメントペーパーなどの作成をおして自分の批評スタイルを確立し、社会に通用する説得力のある発信ができるようになることが期待されます。



ドイツ近世近代、比較思想、比較文学 黒子康弘 教授

Faculty 教員紹介

歴史地理学(日本)

伊藤寿和 教授

歴史地理学の立場から、デジカメと地図と関係史料を片手にして、学生たちと各地へ現地調査に行き、新たな知識の獲得を目指す。

中東近現代史、イスラーム国際関係史

白杵 陽 教授

中東イスラーム世界、とりわけパレスチナ/イスラエルの現代史を研究。授業では中東イスラーム世界の歴史の重層性と多様性を紹介する。

フランス中世史、中世英仏関係史

加藤 玄 教授

ヨーロッパ中世史担当。専門は中世英仏関係史で、特に百年戦争や南フランス都市の問題を中心に研究している。

イタリア近現代史、欧米移民史

北村 暁夫 教授

ヨーロッパ近現代史担当。研究分野はイタリア近現代史。特にフランスやアメリカ合衆国、アルゼンチンなどに向かったイタリア移民の歴史を研究している。

ドイツ近世近代・比較思想・比較文学

黒子 康弘 教授

ヨーロッパの思想と文学、特に18世紀末と19世紀末の2つの世紀転換期における、ドイツ語圏の精神的水脈を追求している。

日本近現代史、日本経済史、地方史

差波 亜紀子 教授

近現代の日本について、主に社会経済史の分野から研究している。さまざまな地域について、経済活動の担い手の来歴や彼らのネットワーク、彼らの活動と教育制度との関わりなどに注目して研究している。

中国近現代文学

杉村 安幾子 教授

専門は中国の近現代文学。特に社会が大きく変動した1930～40年代の小説を主要な対象とし、伝統的思想の揺らぎや女性の生き方など、文化的価値観の変容を追っている。

日本中世寺院史、寺院史料論

藤井 雅子 教授

専門は日本中世仏教史。寺院史料を活用しながら、真言密教寺院と世俗権力との関わり、寺内構造、寺僧による修学活動についての研究を行っている。

博物館学、日本中近世史、日本文化史

古川 元也 教授

日本の中世、および近世への移行期にかけての歴史を、文献史料を中心にしながらモノ資料の研究成果を援用しながら解明することにつとめている。

中国隋唐史、シルクロード史

山下 将司 教授

魏晉南北朝から隋唐時代の中国史を専門とし、北アジア、中央アジアも含めたより広い視野から東アジアを捉え直そうと試みている。

フランス文学・思想、修辭学

久保田 静香 准教授

専門は近世フランス文学・思想。文学的手法のとり、思想と言語の革新の諸相を、西歐レトリック史の観点から研究している。芸術全般との関わりにも関心を寄せている。

宗教学、南アジア近現代史

近藤 光博 准教授

専門は現代宗教論。特に現代インドの政治化したヒンドゥー教(マハトマ・ガンディー、ヒンドゥー・ナショナリズムなど)を比較宗教学の立場から研究する。

日本近世史、対外関係史

吉村 雅美 准教授

専門は日本近世史。特に平戸・長崎を中心とする対外関係史・藩政史。近世中後期の対外認識について、「藩」意識や「日本」意識との関わりから研究している。

日本中世・近世寺院史、寺院史料論

佐藤 亜莉華 助教

専門は日本中世・近世寺院史。特に、伝統などを後世に伝えようとする意識と行動に関心を持ち、時代の転換期における醍醐寺の密教相承と組織の変化について研究している。

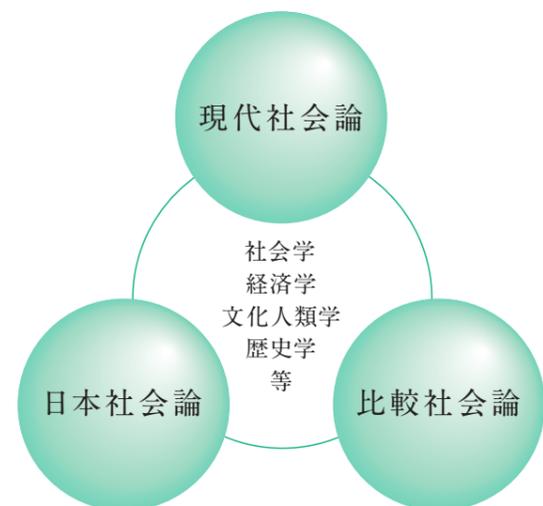


詳細は
本学HPで
ご確認ください

現代社会学科

社会を多角的に分析し、諸問題の解決法を
構想できる実践的能力のある人へ

現代社会学科では、激動する現代社会を総合的かつ系統的に理解し、社会にはらむ諸問題を的確に把握します。また豊富な演習を通して、現場を調査する能力、情報を処理する能力、社会現象を分析する能力、問題を解決する能力を実践的に養います。そして、身のまわりから国際社会に至る、多角的な視点にたつて社会を見つめ、諸問題にアプローチするスキルを武器に、幅広い分野で活躍する人材を育成します。



Points 学びのポイント

現代社会が抱える問題を多角的な視点でとらえます

社会学、経済学、文化人類学、歴史学などの社会諸科学の理論と方法を学修し、現代社会を多角的に見つめ直します。社会情勢をふまえ、個人、家族、地域、民族、国家に至る領域を総合的な視座から考えます。

研究テーマを選び調査と分析を通して考察

「基礎演習」で基礎知識を習得し、3年次からは少人数制の「演習」で専門的な研究に励みます。多彩な講義の中で自分のテーマを探りつつ、社会調査や情報処理などのデータ収集と分析技術を習得します。

社会人スキルが育まれ、高い就職率を保持

自らの視点で社会問題を論じる力を養う本学科は高い就職率を保持。4年間で身につけた物事の見方や問題解決能力は、幅広い職業で生かされます。中学校(社会)、高等学校(公民・地理歴史)の教員免許も取得可能。

ゼミナール | 演習 I 3年次 (左ページ)

女性のための社会政策を経済学から考察

女性が生きやすい社会を作るために必要な社会政策について経済学の視点から考えます。授業は、論文の輪読、ディベート、自由発表を組み合わせ実施。論文の輪読と自由発表は20分ほどのプレゼンの後、質疑応答と意見交換を行います。ディベートはその時々ホットな話題を選び、熱い論戦になることを目指します。ゼミでの学びを通して、さまざまな社会問題への関心が高まり、独自の考察力が養われていくのを感じます。同時に、卒業後も主体的に学び続けられるように、独学力も磨かれることを願っています。

労働経済学、社会保障論 周 燕飛 教授

Pick up 1 | 現代家族論 II 2年次 | 現代の多様な家族を多角的に捉える

家族社会学の理論と方法を学びながら、現代の多様な家族に関連する家族政策や家族支援の現状について理解を深めます。授業では、多様な家族の当事者にインタビューをして書かれた論文を毎回読むことで、家族内の立場(父親、母親、娘、息子など)の違いによって、当事者のリアリティが異なることも学びます。このように、さまざまな角度から多様な家族を把握する作業を通じて、メディアや身近な事例から形成された一面的な「多様な家族」のイメージをいったん壊し、現代の家族が抱える複雑な課題を分析する力を養います。

家族社会学、ジェンダー論、質的調査法 野辺陽子 准教授



Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
「基礎演習」(学科全教員による個別ゼミ)を中心に、社会諸科学で必要となる基礎的な作法・視点・理論を学びます。	専門科目が多くなります。1年次の基礎をベースに、専門領域を学び、各自の関心の方向性を定めていきます。	3年次からは「演習」(ゼミ)へ参加します。自らの関心に基づいて、専門的な学習を進め、知識と理解を深めます。	専門領域の学びを深めると同時に卒業論文を執筆し、現代社会に対する独自の視座を獲得していきます。
基礎演習 IA・IB 地域社会論 III・IV(農村) 現代生活論 IV 経済学概論 文化人類学 I 比較社会論 III・IV・V・VII・VIII 倫理学 I・II 社会統計基礎 I・II	基礎演習 II A・II B 外国語演習 II A・II B 現代社会論 I~VII・IX 日本社会論 III・IV 地域社会論 I・II(都市) 環境の社会学 I・II グローバリズムの社会学 I・II 比較社会論 I・II・VI・IX 社会学原論 I・II 社会学史 社会データ分析 IA・IB・II A・II B 文化人類学 II	ジェンダー論 労働経済論 I・II ライフストーリー/ ライフヒストリー(質的調査I) テキストを「調査」する(質的調査II) 社会スポーツ・レジャー論 I・II 現代家族論 I・II 社会階層論 I 演習 I	演習 II 卒業論文



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 風景とノスタルジア
- 光GENJIから見る男性アイドル
- カプセルトイの遊びと現代社会 —ロジェ・カイヨワ『遊びと人間』から—
- ジェンダーバイアスより身体への意識 —日本・韓国・イタリアの生理休暇取得の実情を比較して—
- 個人版ブラック企業としてのギグエコノミー —プラットフォームによる支配と搾取—
- 市民の自発的文化としての「演劇のまち」構想 —神奈川県川崎市の事例より—
- 日本社会における難民問題 —クルド人を中心に—
- 子ども食堂の果たす役割とその課題 —子どもの「心の貧困」解消へ向けて—
- 丸の内に憧れる女性たち —雑誌『東京カレンダー』から考える理想の現代女性像—
- 台湾における日本コンテンツ受容と日台関係の変化 —日本アニメを例に—
- 再就職する専業主婦に対する社会意識 —性別役割分業意識の観点から—
- 家事の省力化は女性を救うのか —家事代行サービスと時短家電から考える—



Student's Voice

C.A. 4年

神奈川県／私立山手学院高等学校出身

大学では視野を広げることを目標に、幅広い分野から社会を学べる本学科を志望しました。本学科の魅力は、グループワークや発表などで他の学生の意見を聞く機会が多いこと。いろいろな意見を受け止め、そこから自分の考えを発展させることは、多様な考えをもつ人々の集まりである社会を学ぶうえで重要と考えます。また、先生方も学生に真摯に向き合ってくださいる方ばかりです。「データ分析IIA」のレポートは提出

して終わりではなく、途中経過を報告すると改善点などの助言があり、書き直して最終提出するという丁寧な流れです。「環境の社会学」では、リアクションペーパーに対して一人ずつコメントをいただけるなど、ここまで親身になってくれる大学はないのではないのでしょうか。将来は、本学での学びと多様な意見にふれることで身につけた幅広い視野を生かし、社会問題の解決に貢献していきたいと考えています。



百二十年館（パティオ）

周燕飛先生のゼミに所属。授業のディベートでは、週休3日制などのテーマについて、立論側と反論側、評価者のチームに分かれ、相手の主張を推測し、議論の展開の戦略を練るなどして、主張を通すために必要なことを学びました。

取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民・地理歴史)
- 学校図書館司書教諭
- 司書

- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 児童指導員

- 社会教育主事(社会教育士)
- 社会調査士
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | 現代社会論Ⅵ | 韓国ポピュラー文化を読み解く

韓国のポピュラー文化が「韓流」として日本でブームを巻き起こしてから20年が過ぎました。「現代社会論Ⅵ」の講義では、韓国のドラマや映画などのポピュラー文化に着目し、それらを学問的に思考する方法や概念を身につけることを目標としています。韓国ポピュラー文化を取り巻く環境の変化について考えるとともに、それらのテキストを精緻に分析することにより、韓国社会の「いま」を描き出すを試みていきます。

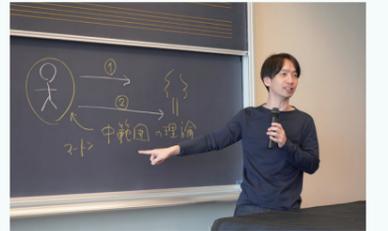
社会学、文化研究 平田由紀江教授



Pick up 3 | 環境の社会学 | 環境を巡る反応から社会を描き直す

講義「環境の社会学」では、環境を巡る社会の反応の多面性を学生同士のディスカッションのなかで再出現させて、それを手や言葉で具体的に分析することを通して、今の社会学が研究の最前線で使用している理論ツールの使い方を体感的に会得します。普段の私たちは環境を解決するべきものとして見ていますが、その当たり前の視線をあえて遮断することで、私たちが自然と前提にしてしまっている今の社会の姿が浮き彫りにされていきます。

社会学(環境) 池田和弘 准教授



Faculty 教員紹介

社会学

遠藤知己 教授

現代社会を包含する近代の地平を理論的・歴史社会的に研究。現代社会の重要な装置としてのメディア／論(の言説)を社会的に考察する。

スポーツ社会学

大沼義彦 教授

スポーツ社会学の分野で、1)スポーツメगाイメントと社会変動、2)地域スポーツに関する研究を行っている。また、英国スポーツ史にも関心がある。

比較社会学

尾中文哉 教授

さまざまな「知のアート」と「生のアート」(例えば、大学、学校、試験、文芸、映画、音楽、舞踏など)についての比較社会学。タイ、韓国などを主なフィールドとしている。

社会学(都市、社会運動、労働)

渋谷望 教授

新自由主義の文化とこれに抵抗する文化・思想とのせめぎ合いを研究している。特に社会運動のグローバルな展開に関心がある。

労働経済学、社会保障論

周燕飛 教授

女性活躍やシングルマザーへの就業支援、子どもの貧困問題について実証研究を行っている。

社会学(都市、メディア、モビリティ)

田中大介 教授

現代都市の生活を形づくっている公共交通、消費文化、情報環境の構造、歴史、諸相を社会的に分析している。

文化人類学

西村一之 教授

専門は、文化人類学、東アジア研究。特に台湾の漁民社会、民族集団間関係、植民地主義について研究している。

社会学、文化研究

平田由紀江 教授

専門は社会学・文化研究。人やモノの移動によって起こるさまざまな現象に関心を持って研究を続けている。フィールドは東アジア地域(主に韓国・日本)。

社会学(環境)

池田和弘 准教授

専門は環境の社会学。グローバル化以後の社会における、社会と環境の関係のあり方や、その見え方、見えなさを社会的に考察する。

日本史

上田誠二 准教授

近現代史。教育と音楽による感情操作について研究。あわせて、そうした権力の場で不協和音とみなされた人びとのライフコースを跡づけている。

家族社会学、ジェンダー論、質的調査法

野辺陽子 准教授

日韓の多様な家族について、当事者のリアリティや、政策・支援について研究している。

史学一般

Manuel Yang 准教授

アメリカと環太平洋／大西洋の歴史を階級競争の観点から研究。資本と帝国にかわるコモンスを作ろうとする人びと、文化、運動のつながりを追究している。

社会学(ジェンダー論)

伊吹美貴子 助教

現代社会におけるケアの矛盾について、ジェンダーとサブシステムの観点から研究を行っている。

近現代日本史

酒井晃 助教

セクシュアリティ／ジェンダーについて、その社会的な包摂と排除という観点から研究を行っている。

スポーツ史

佐々木陸摩 助教

さまざまな時代や社会におけるスポーツの位置や意味に関心があり、特に日本のスポーツ医学に関する歴史研究に取り組んでいる。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

社会福祉学科

多様化する社会問題を解決し、誰もが自分らしく生きる
「共生社会」を創造できる人へ

アジアにおける社会福祉教育のパイオニアとしての伝統を継承し、豊かで厚みのある教育を提供します。幅広い領域の専門科目を設置し、社会のさまざまな活躍の場で応用できる基礎能力を身につけ、柔軟な思考と問題解決能力を有し、「共生社会」の創造に寄与する人材を育成します。そして、新しい時代の福祉を創造するための意欲を喚起し、すべての人が自分らしく生きられる世界の実現を目指します。



Points 学びのポイント

共生社会を実現する意欲と深い知力を養います

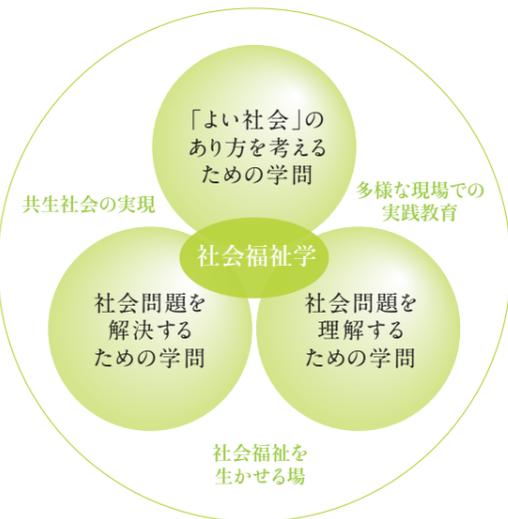
「社会福祉の問題についての認識」「法や制度・政策の体系的理解」「問題解決のための専門技術・方法」を柱に学修し、誰もが自分らしく生きる共生社会を実現するための知力を養います。3・4年次では全員が定員10名程度のゼミに所属し、卒業研究をとおして社会福祉の理解、知識や技術を深めます。

授業や実習で「今」を学び、新しい福祉を創造します

1年次の社会問題では現代のさまざまな社会問題を理解し、基礎演習では少人数のゼミ形式で2年次以降の専門的な学びに向けた能力を身につけます。所定科目の履修で「社会福祉士」の受験資格を取得可能です。実習は、地域包括支援センター、病院、児童養護施設、社会福祉協議会、障害者支援施設などで行います。

社会福祉を生かせる場は急増中

社会問題を解決できる人材はさまざまな場で求められています。社会福祉職はもちろん、近年では司法・更生保護、学校教育、NPO、一般企業など卒業後の可能性はますます広がっています。そのため、社会福祉とキャリアについて1年次より学びます。



ゼミナール | 社会福祉演習I 3年次 (左ページ)

利用者本位サービスを実現する力を養う

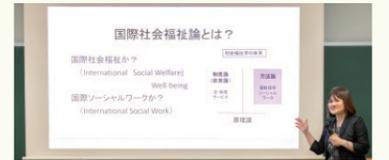
利用者本位サービスを実現するソーシャルワーク専門職になるために必要な考え方や見方、リーダーシップスキルを、文献研究に基づく発表およびグループ討論をとおして学びます。また、利用者本位サービスの実現に向けた組織作りのためには何が必要か、事例研究などをともに考えます。今、社会に求められるのは、高度なコミュニケーションスキルを身につけた人材です。高い倫理観をもって社会正義の実現に寄与し、組織の中でそれをどのように示していくかを理解できる人材を育てるべく、学生一人ひとりの個性・特性を踏まえた指導を行っています。

社会福祉学(利用者本位サービス論) 久田則夫 教授

Pick up 1 | 国際社会福祉論 2・3年次 | グローバルな福祉課題の解決を探る

日本国内の外国にルーツをもつ人々の人権や生活課題、貧困・災害・紛争といった人類共通の福祉課題など、グローバルあるいはグローバルな社会における福祉課題を明らかにします。また、その課題解決に向けた社会福祉制度やソーシャルワーク実践のあり方を学びます。授業では、在日難民や国際NGOで働く人などがゲストスピーカーとして講義するほか、国際ソーシャルワーカー連盟など職能団体の活動を紹介することも。単なる社会現象の分析ではなく、課題解決に向けた政策やソーシャルワーク実践を考える機会になるよう努めています。

社会福祉学(国際・多文化ソーシャルワーク) 森 恭子 教授



Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
導入科目や共通科目を通じて、社会福祉ならではのものの見方に幅広くふれ、自らの関心領域を見極めます。	専門科目を中心に、自らの関心を積極的に掘り下げるための体系的な学習をスタートさせます。	演習(ゼミ)で専門的に学び自分のテーマを深めます。	4年間の成果を卒業研究に結実させます。毎年、卒業論文執筆者は全員、口頭またはポスターによる発表を行います。
基礎演習 I・II 社会問題 社会福祉発達史 ソーシャルワークの基盤と専門職 社会福祉とキャリア 社会福祉行政論 地域福祉論 社会学概論 児童福祉論 障害福祉論 高齢者福祉論 海外ソーシャルワーク研究	社会保障原論 社会保障制度論 ソーシャルワークの理論と方法 労働法 社会福祉調査 ソーシャルワーク演習 I 福祉サービスの組織と経営 社会福祉計画論 女性福祉論 医療福祉論 国際社会福祉論 I・II 社会福祉とメンタルヘルス 地方自治論 公的扶助論 医療ソーシャルワーク論	社会福祉原理論 I・II 社会福祉演習 I ソーシャルワーク演習 II・III・IV ソーシャルワーク実習指導 I 社会調査実習 社会福祉学総合演習 フィールドワーク入門 社会福祉学総合演習 一精神保健福祉フィールドワーク入門 社会政策 児童福祉実践論 労働者福祉と就労支援 精神医学 ソーシャルワーク実習 I	社会福祉演習 II 卒業研究 ソーシャルワーク演習 V ソーシャルワーク実習指導 II・III ソーシャルワーク実習 II



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 福祉とアートデザインの関わり
- 障害のある子どもとその家族への支援：
重症心身障害児に対する療育機関のソーシャルワーク
- 女性の食行動とメンタルヘルスを理解するとは
- SNSとの向き合い方について：承認欲求というキーワードをもとに読み解く
- 生活保護行政のあり方とは：生活保護ケースワーカーの心情から探る
- 生きづらさを解放して、子どもの幸せをもたらすには
- 企業における地域との福祉的関わりの実態：
SDGsへの取り組みを通して
- 発達に遅れのある子どもが抱える学校教育の課題
- なぜ父親は家事や育児を「手伝う」のか
- 青年期の自己肯定感の形成要因
- 母子間のヤングケアラーが抱える課題：
今後の支援策の検討について
- 「幸せ」って何？：OECDの幸福度ランキングから見た現実
- 人生100年時代と言われる今、高齢者が抱える問題と幸せに
生きるための要素：暮らしを支えるおしゃべりロボット
- 災害時の障害者に対する支援
- 高齢者に寄り添った社会を創っていくために：
福祉のまちづくりの観点からのアプローチ



Student's Voice

N.A. 4年

群馬県／群馬県立高崎女子高等学校出身

社会的に弱い立場の人々をとりまく環境や、社会の仕組みは複雑かつ多様です。法や規則だけでは解決できない問題も多く、解決の答えも一つではありません。そのため、人々の幸せについて固定観念にとらわれず柔軟に考えることが求められます。それが本学科で学ぶ醍醐味だと思います。3年次の「社会福祉フィールド演習」では地域課題に取り組む市民団体に話を伺い、最後に自分たちも課題解決に向けた事業プランを作成します。



青間 蘭

市民主体の活動は、地域のニーズに柔軟に対応できる一方で資金不足などの課題も抱えており、市民だけの解決にこだわらず行政などと協力して解決することの重要性を感じました。本学科での授業を通して、複雑な社会問題の解決には、対象を取り巻く環境を整理し、要因を明らかにすることが大切だと学び、実践するように。日常生活や社会に出てからも、問題の改善や解決に役立っていきたくと考えています。

いつも学生目線でサポートして下さる黒岩亮子先生。塾講師のアルバイトで生徒から悩みを打ち明けられ、力になりたいけど対応がわからず困っていたときも黒岩先生に相談したところ、一緒に対応方法を考えてくださいました。

取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 学校図書館司書教諭

- 司書
- 博物館学芸員
- 社会教育主事(社会教育士)
- 児童福祉司

- 児童指導員
- 社会福祉主事
- 社会調査士
- 日本語教員養成講座

(受験資格) ● 社会福祉士

※各資格の詳細については、P92～P93をご覧ください。

Pick up 2 | ソーシャルワークの可能性を実践的に学ぶ | ソーシャルワーク実習

社会福祉士国家試験の受験資格取得のための科目です。3年次と4年次に2カ所の福祉施設・機関や病院などで合計240時間の実習を行います。支援を必要とする人や地域の課題を理解し、支援計画の作成から実施、評価まで習得します。また、多職種・多機関、地域住民との連携をとって、包括的な支援方法を学びます。前身の社会事業学部を含め100年以上の歴史のなかで多くのソーシャルワーカーを輩出し、卒業生が実習指導者ということもよくあります。共生社会の実現に向けたソーシャルワークの可能性を実践的に学ぶなかでも、伝統が引き継がれています。



Pick up 3 | 地域の方と共に楽しむクリスマスイベントの実施

地域福祉ゼミでは、「地域活動とおとしての住みやすい地域づくり」の学びの一環として、毎年12月にゼミ生が企画・実施するクリスマスイベントを大学の社会連携室と共催という形で実施しています。この2年間は地域の親子を対象として、スノードームなどの工作やチームで行うポッチャなど、随所に福祉の要素をちりばめた活動を行いました。他学科を含む学生ボランティアも多数参加し、楽しい時を過ごしつつ、学びを深めています。

社会福祉学(地域福祉) 黒岩亮子 准教授



Faculty 教員紹介

社会福祉学
(貧困、生活保護、公的扶助、社会政策)

岩永理恵教授

歴史分析・調査・オーラルヒストリー等により生活保護制度や被災者支援制度について検討し、貧困・社会的排除の問題とこれへの対策のあり方を研究している。

社会福祉学(社会福祉政策)、社会保障論

中尾友紀教授

所得保障のあり方を福祉政策として研究。特に日本の公的年金(厚生年金保険と国民年金)の政策決定過程と創設時の制度設計に関心がある。

社会学(ジェンダー、家族、女性労働、家計)

永井暁子教授

仕事と家庭の両立に何が必要か(男性の子育て参加・女性の仕事の継続)、家族関係が上手くいくために何が必要か、の2点を中心に研究を行う。

社会福祉学(児童福祉)

林 浩康教授

親と暮らせない子どもとその家族への支援や、地域社会における養育支援のあり方について研究している。

社会福祉学(利用者本位サービス論)

久田則夫教授

専門は利用者本位サービス論。どうすれば福祉サービス利用者に質の高いサービスが提供できるか、その理論と実践技法の開発に取り組む。

法学(社会保障法、労働法)

増田幸弘教授

現在の関心は「医療保障と私的医療保険」「労働衛生の法」「多様な家族関係の法と政策」

社会福祉学(国際・多文化ソーシャルワーク)

森 恭子教授

専門は、国際・多文化ソーシャルワーク論。特に移民・難民へのソーシャルワーク実践や外国人住民との共生社会のあり方を研究している。

社会福祉学(医療福祉)

赤澤輝和准教授

医療ソーシャルワーカーの実践知を分析し、質の高い支援や教育への実装化について研究している。

社会福祉学(地域福祉)

黒岩亮子准教授

「地域生活への移行」という福祉の大きな流れの中で、地域で孤立化している人の実態や、政策・地域住民の活動等の支援のあり方について研究している。

社会福祉学(精神保健福祉)

引土絵未講師

精神保健福祉分野のソーシャルワーク。特にアディクション回復支援や自殺関連問題への支援について。

社会福祉学(高齢者福祉、介護福祉)

松本 望講師

専門は高齢者福祉、権利擁護。専門職による虐待の予防や、介護者を支える仕組み・環境のあり方について研究している。

社会福祉学

(公的扶助、社会保障、路上生活者、若者)

遠藤康裕助教

路上生活者の職歴・居住歴についてのインタビュー調査や若者非正規労働者を題材として、貧困と公的扶助、社会保障の関わりについて研究している。

社会福祉学

(高齢者福祉、認知症支援、社会参加)

張 珉榮助教

専門は高齢者福祉、認知症の人への支援。特に、認知症になっても社会に参加できる仕組みや社会福祉支援のあり方について研究している。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

教育学科

教育問題と現代社会の課題に アプローチできる、人間性豊かな人へ

教育学科は、生涯にわたる人間の成長を教育学の幅広い基礎知識と深い専門知識に基づいて理解し、教育に関わる実践と諸問題の解決方法を複眼的な視点から探究する学科です。そのうえで、教育コミュニケーションという側面から、多様な他者と協働し、教育を核とした既存社会の変革と、持続可能な社会の創造を主体的に推進できる人を育てていくことを目指しています。



Points 学びのポイント

社会科学分野からも教育について学びます

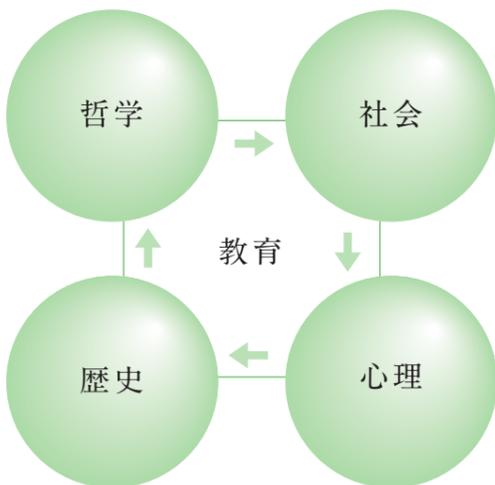
教員免許を取得するためのカリキュラムはもちろん、人間の発達形成の仕組みを理解するために、心理学や社会学分野の科目も設置。生涯学習や国際協力・多文化共生など教育と現代社会の関わりも考察します。

1年次から演習を経験。資格取得も後押しします

1年次には、大学で学ぶための基礎概念、文献利用方法、レポート作成方法などを学修し、少人数の演習も経験。学校インターンシップや教員採用試験対策講座も充実、社会教育主事の資格も取得できます。

教育界をはじめ、さまざまな分野で活躍

9割超の学生が教員免許を取得し、多数の学生が教員になります。また、本学科での「人間を育てる学び」を生かし、卒業生は教育関係をはじめ、一般企業、行政機関、NPO、地域社会などで広く活躍しています。



授業 | 学級経営論 1～4年次 (左ページ)

学級経営の基礎的理解を深める

小学校教育における学級経営の基本的な知識や技能を習得。学級担任について理解を深め、学級や学級担任の望ましいあり方とそのマネジメントを考察することで、学級の役割や機能の基礎的理解を目指します。学級経営において重視される学級担任の資質や能力については具体的事例をとおして理解し、学校の今日的課題への対応も考察。学級経営と関わり深い特別活動の演習も行います。さまざまな課題に対し前向きな考えを基盤として授業を進めることで、未来の教育を担う一員としての誇りや意欲が高められることを願っています。

教科教育学(国語科、書写・書道教育) 土上智子 特任教授

Pick up 1 | 教育学演習Ⅱ 4年次 | 教育とは何か、原理的な課題に挑む

教育哲学の文献講読を中心に行うゼミナールです。「教育とは何か」「教師とはどのような存在か」「学校教育において自由や平等はどちらが優先されるべきか」などの原理的な課題を、身近な題材から出発し、皆で議論しながら考えます。そのなかで、私たちが当たり前と見ていた教育を批判的に見る力や、今後の教育のあり方を構想する力、物事を論理的に考える力を養います。授業では、わからないことはわからないと声に出し、それについて皆で考えることを大切にしており、日々の学び合いが着実に学びを深めているのを感じます。



教育哲学 桑嶋晋平 准教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>少人数制の「教育学基礎演習」などを通して、教育学の基礎的な考え方や方法論をじっくりと学びます。</p>	<p>1年次で習得した基礎力を土台にして、学科専門科目を履修します。各自の学びの方向性を決めていきます。</p>	<p>研究室(ゼミ)に所属し、自分の関心の高い専門分野を深めます。教職課程では、学校での実習が始まります。</p>	<p>4年間の総仕上げとして卒業論文を執筆します。丁寧な個別指導により、納得のいくまで研究内容と向き合えます。</p>
<p>教育学基礎演習 文献研究基礎演習 教育学概論 教職基礎論 教育社会学 教育心理学 生徒指導・進路指導 教育方法・技術 学校インターンシップⅠ 地理教育・観光教育学 教育制度論 生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ 国際教育学Ⅰ・Ⅱ 異文化相互理解実地研究(ベトナム研修)</p>	<p>質的研究基礎演習 量的研究基礎演習 教育哲学 日本教育史Ⅰ・Ⅱ 教育経済学 社会教育経営Ⅰ・Ⅱ 生涯学習支援法Ⅰ・Ⅱ 教育方法学 社会科概論等、各教科概論 児童青年心理学と近接分野 特別支援教育 学校インターンシップⅡ 教育フィールドワーク実践演習Ⅰ</p>	<p>教育学演習Ⅰ 女性教育史論 人間形成の社会学 社会教育演習 社会教育実習 教育行政学 学習支援の心理学 授業づくりの心理学 初等音楽科教育法等、 初等各教科教育法 学校カウンセリング基礎論 学級経営論</p>	<p>教育学演習Ⅱ 卒業論文 量的データ分析法 多文化教育フィールドワーク 社会教育課題研究 教育学外書講読 教育心理学研究法 ICT教育演習 自己実現の心理学</p>

※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPで確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 専門家としての教師像の再検討
- 不登校の現状と構造 — 神奈川県長期欠席出現率の地域差と不登校の社会・文化的要因に着目して—
- 小学校音楽科授業における図形楽譜の意義と課題 — 図形楽譜を用いた授業提案を通して—
- 自分のまちに目を向けるふるさと教育 — 北海道森町立森小学校での授業から—
- なぜ東京都は男女別定員制の撤廃に至ったのか — 議論内容と新聞記事からの分析—
- 親ガチャをめぐる意識 — 階層や社会意識との関係の検討—
- 地域と連携した海洋教育に関する研究
- 「物語」を通じた自己認識 — 「物語」から自己物語を紡ぐ—
- 児童のつまずきから考える小学校分数授業 — 量感を伴った分数理解を目指した授業の提案—
- ADHD/ADHD傾向のある児童における思考ツール活用の有用性と配慮事項 — 「フィッシュボーン」「クラゲ・チャート」の授業実践をもとに—
- FGM/Cの廃絶は可能か — 日本の捕鯨問題や中国の纏足廃絶過程を通して考える—



Student's Voice

Y.H. 4年

千葉県／千葉県立津田沼高等学校出身

小さい頃からの夢である小学校教師になるため本学科を志望しました。入学後はすぐに「学校インターンシップ」に参加し、実際の教育現場で2年間経験を積みました。最初は教室の後ろにいて子どもを表面的・一面的にしかとらえていなかったのですが、次第に教室のあらゆる場所から観察することで多面的・多角的にとらえられるようになり、子どもへの理解が深められ、3年次の教育実習に向けて自信ができました。他方で、

発達障がいなどのある子どもが抱える学習や生活の困難さを実感したことで、ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境や教材の工夫についての学習もはじめました。インターンシップなどで子どもと直接関わることで、子どもが背負う不平等な背景などの教育問題を実感し、解決したいと思うようになりました。教師になっても子どもとの関わりを大切に、抱える課題にアプローチしていきたいと思います。

山下絢先生が担当する教育行政学のゼミに所属し、教育格差をテーマに研究を進めています。高校の頃までは海外の教育制度や幼児教育に興味がありましたが、本学での学びを通して教育格差に関心をもつようになりました。



図書館

取得可能な資格

- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 学校図書館司書教諭
- 社会教育主事(社会教育士)
- 司書
- 博物館学芸員
- 児童指導員
- 児童福祉司
- 日本語教員養成講座
- 社会調査士
- 社会福祉主事

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。
※幼稚園教諭一種免許状取得希望の方は、児童学科で取得できますので児童学科のページをご覧ください。

Pick up 2 | 教育学科から世界とつながる

教育学科では、ベトナムの公立小中学校・障がい者施設・孤児院を訪問し、子どもの観察や交流を行う「異文化相互理解実地研究」という授業を開講しています。また、日本語を学ぶ大学生との交流などを通し、異文化や国境を超える人々の往来を経験的に学びます。「スウェーデン海外短期研修」では、スウェーデンの義務教育学校や議会などを訪問し、高福祉で子どもを育てる環境が整備されている様子を観察します。北欧最古の大学で、本学の協定大学の一つであるウプサラ大学では学生との交流も行います。



Pick up 3 | 教員採用に向けた充実のカリキュラム

小学校教諭免許状の取得を希望する場合の必修科目として、1年次と2年次に「学校インターンシップ」を設けているのが特徴です。4日間の学校現場での実習をとおして、児童、教師の仕事、学校・学級経営の基礎的な理解を培います。また、3年次以降の「教育実習」では、事前指導、事後指導を丁寧に行っています。教員採用試験の受験希望者は、日本女子大学教職教育開発センターが主催する「教員採用試験対策講座」を受講することもできます。2022年度の教員採用試験合格率は90.2%と、非常に高い合格率を誇っています。

日本女子大学教育学科
2022年度
小学校教員採用試験
合格率

90.2%

全国
2022年度
小学校教員採用試験
合格率

39.7%

Faculty 教員紹介

臨床心理学、教育心理学

井上信子教授

児童期～青年期の子ども心身の発達および発達障がい特性の理解。理解を背景とした、子どもたちの「いのち」を育む、教育と相談がないまぜの関わりについて学ぶ。

日本教育史、ジェンダー

齋藤慶子教授

専門は近現代日本教育史。特に女子教育史。現代の教員も抱える「仕事と家庭のバランス」という男女共通の課題を歴史的に検討している。

異文化間教育、学校臨床学

清水陸美教授

在日外国人の子どもたちと日本の学校・教師・社会との関係、親や母国との関係などについてフィールドワークの手法を用いて検討している。

教育心理学

瀬尾美紀子教授

理解や思考を中心に、子どもの学習のメカニズムについて研究している。また、学習を支えるメタ認知、動機づけ、学習観、学習方略にも着目し検討している。

教科教育学(社会科教育)、地理学、地理教育史

田部俊充教授

アメリカ、ヨーロッパの地理学的な現地調査や学説史を中心に研究を進めている。また、魅力的な幼稚園から高等学校までの社会科授業を目指して、特にアナログ&デジタル&プログラミング地図を使った授業づくりや教材開発を進めている。

生徒指導、進路指導、教育社会学

藤田武志教授

社会や子どもの実態を社会的に探究しながら、すべての子どもが社会的な自己実現に向けた能力を身につけられるような教育のあり方を検討している。

音楽教育学、生涯音楽学習

丸林実千代教授

学校の音楽教育も含め、すべての人々のあらゆる次元での自由な音楽活動の権利保障を基本とする生涯音楽学習について研究している。

教科教育学(国語科、書写・書道教育)

土上智子特任教授

専門は、国語科、書写・書道教育。文字を書くことはすべての学習の基礎。「主体的・対話的で深い学び」の実践から、国語力、書写力の向上をめざし、研究を進めている。

総合的な学習の時間、道徳教育

松尾廣文特任教授

中学校教師として総合的な学習の時間を中心としたカリキュラム・マネジメントを実践。持続可能な社会の担い手を地域社会と連携して育てる教育を研究。他に道徳性発達も専門としている。

教科教育学(理科教育学)、学校教育学

宮下 治特任教授

専門は理科教育学。理科など「話し合い活動」を取り入れた授業づくり研究を行っている。現在は、教育委員会指導主事の資質・能力向上を図るカリキュラム開発も研究している。

教育工学、教育情報ネットワーク

榎本 聡准教授

専門は教育工学。ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現や、デジタル教科書・教材の活用など、主に学校教育におけるICTの活用について研究を進めている。

生涯学習論、社会教育学

荻野亮吾准教授

地域づくりに関わる学びの構造や、地域の社会関係が築かれる過程を研究。地域の学びや実践を支える仕組みや組織に関心を持つ。

教育哲学

桑嶋晋平准教授

専門は、教育哲学・教育思想史。教師・学習者にとって「誠実」とはなにか、「誠実」概念が近現代日本の教育に及ぼした影響をおよぼしてきたのかについて研究を進めている。

教育行政学

山下 絢准教授

教育格差の実態解明と関連する教育政策の効果について、社会調査の実施とデータ分析をもとに実証研究を行っている。

教科教育学(国語教育学)

佐藤宗大助教

専門は国語教育学。カント哲学を背景としながら、「ことばにならない何か」に向き合う「根源的な主体」を形成するための国語教育を、理論と授業実践の両方から研究している。

教科教育学(数学教育学)

砂田大樹助教

専門は数学教育学。算数・数学教育の歴史について、戦時期の算数・数学教育の特徴を、教科書や史料を基に研究している。

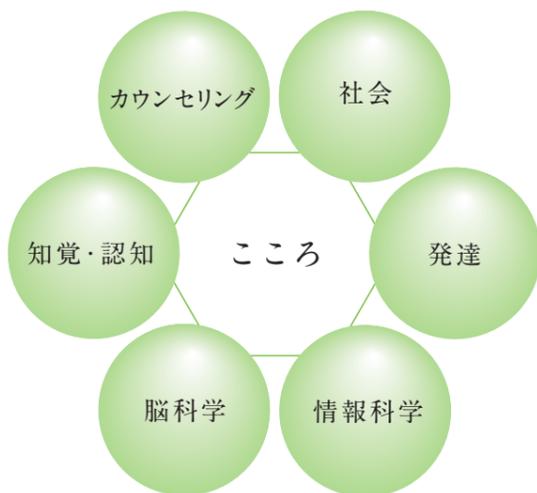


詳細は
本学HPで
ご確認ください

心理学科

「こころ」に科学的・実践的に
アプローチできる心理の専門家へ

心理学とは「こころ」をさまざまな角度から研究する学問です。心理学科では、複雑化する現代社会における「こころ」の問題について、幅広く複合的に探究します。「こころ」の働きに関する基礎的、応用的研究に取り組み、実践力を身につけた人材を養成し、公認心理師および臨床心理士を目指すための基礎教育としても十分な教育内容を提供しています。



Points 学びのポイント

心理学の2本柱をしっかりと学びます

「基礎心理学」として、知覚・認知、発達、学習、言語、脳科学などの心理学を習得。「人間関係(臨床)心理学」では人格心理学、臨床心理学、社会心理学などを中心に家族心理学、犯罪心理学、スクールカウンセリングなども学びます。

参加型・体験型の授業で実践的な能力を養います

1・2年次に心理学の基礎的な考え方を学び、心の仕組みや働き方を知るとともに、それらを明らかにする科学的な研究方法や解析手法を理解します。少人数制の演習・実験科目を1年次から必修とし、実践的に学びを深めます。

大学院への高い進学率。専門性を生かす場も豊富

研究を通して培われる知性と人間性は、人と接するすべてのフィールドで生かすことができます。また、公認心理師(国家資格)や臨床心理士、研究者を目指す学生も多く、例年、15~20%の学生が大学院へ進学しています。

ゼミナール | 特別演習 7 4年次 (左ページ)

社会心理学をテーマに卒業論文を作成

社会心理学とその関連領域をテーマに卒業論文を作成します。授業では、卒業論文を書くのに必要な知識や技術を学びます。具体的には、関連文献の検索と読解、研究(調査・実験)の計画と実施、データ分析、結果の解釈、論文の執筆、発表準備などです。卒業論文は、一定の基準をクリアする以外に、学生の個性や特長を生かした内容になるよう指導しています。心理学の卒業論文は、研究に参加してくれる人の協力が不可欠になります。多くの人と接する中で多様な価値観にふれ、それらを受容する心が育まれることを期待しています。

社会心理学、認知科学 石井辰典 准教授

Pick up 1 | 心理学的支援法Ⅱ 2年次~ | 心理臨床の支援法を実践的に理解

グループワークを通して心理臨床で用いられる支援法を体験します。集団学習で自己理解をはかり、それを他者と分かち合うことで、傾聴の姿勢やさまざまな支援法の理解、自己理解、他者理解、対人関係理解を深めることがねらいです。心理臨床の専門家を目指す人には、他者と良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力や、相手のプライバシーを尊重して配慮する態度が求められます。これらの力を身につけるため、グループワークで多くの人と交流し、安心して自己表現するための受容的な雰囲気を、まずご自身が体感してほしいと考えます。



臨床心理学 小川洋子 助教

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>大学で学ぶ心理学のイメージを具体的に把握するために、各分野への入門となる授業が用意されています。</p>	<p>3年次からの専門的な授業に向け、その基礎となる講義を各分野にわたって配置。興味関心の裾野を広げます。</p>	<p>ゼミでは、実験や観察などの体験的な学習が豊富です。病院や企業などの現場で役立つ心理学を学びます。</p>	<p>卒業論文を執筆。学術論文を理解し、批判的な思考で新たな研究へと発展させていく研究者としての姿勢も養います。</p>
<p>心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学概論Ⅰ 健康・医療心理学 臨床心理学概論 精神疾患とその治療 心理学統計法Ⅰ・Ⅱ</p>	<p>心理学実験Ⅱ 神経・生理心理学Ⅰ・Ⅱ 知覚・認知心理学Ⅰ・Ⅱ 社会・集団・家族心理学Ⅰ・Ⅱ 感情・人格心理学Ⅰ・Ⅱ 教育・学校心理学 発達心理学Ⅰ・Ⅱ 学習・言語心理学Ⅰ・Ⅱ 心理学的支援法Ⅰ・Ⅱ 障害者・障害児心理学Ⅰ・Ⅱ 感性・芸術心理学Ⅰ・Ⅱ 公認心理師の職責 関係行政論 心理的アセスメント 福祉心理学 心理学統計実践Ⅰ-Ⅰ・Ⅱ-Ⅱ</p>	<p>心理学中級演習 1~11 質問紙調査法Ⅰ・Ⅱ 司法・犯罪心理学 青年期臨床心理学 心理演習 視覚心理学 進化心理学 比較発達心理学 生涯発達の心理学 多感覚心理学 応用心理学 社会心理学 カウンセリング技法 人間工学 行動分析学 産業・組織心理学</p>	<p>特別演習 1~11 卒業論文 心理実習</p>



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- 視線が注意の方向に及ぼす影響 —表情との関連に着目して—
- SNSにおける援助行動の生起要因の検討
- 女子大生における児童期の遊びが青年期の性格特性とストレスコーピングに及ぼす影響
- マスク着用顔画像に対するNIRSを用いた脳活動の検討
- 快・不快情動が表出されたコミュニケーション場面の動画に対する脳活動
- 夫婦関係および家族システムの機能状態が女子大学生の自己受容感に及ぼす影響
- “見つめる目”が不正行為に与える影響
- 完全主義と自己受容および褒められ経験との関連
- 円環モデルとディーブラーニングに基づく顔の印象分析 —平均顔との比較—
- 色がもたらす高級感とブランドカラー —人工知能による解析—
- 曲から連想される風景に関連性は見られるか
- 聴覚情報と視覚情報のギャップと魅力
- 物語世界への没入と心的イメージ鮮明性との関連及び読解時間への影響
- 擬音語が喚起する音イメージに対する仮名表記形態の効果
- 空想傾向と共感性および被害妄想傾向の関連性に関する調査研究



Student's Voice

M.Y. 4年

埼玉県／私立星野高等学校出身

高校生の頃に公認心理師の仕事に興味をもち、専門カリキュラムがある本学科を志望しました。本学科では、ここらについて実験や統計などの体験的な授業をとおして多様な視点から学びます。心理職を目指す者として「さまざまな立場から物事を考えること」を意識してきたつもりですが、「心理演習」で事象ごとに支援法について皆と意見交換する中で、自分にはない考えや感じ方に出会い、多くの刺激を受けました。



杏彩館

また、錯視・記憶に関する実験やラットを用いた行動観察実験を行う「心理学実験I」では、現象や行動を「そういうもの」として認識するのではなく、実験・分析・考察により「なぜそうなのか」を体験的に学び、卒業論文などで自分の興味を深める手段としても勉強になりました。今後は、本学での学びから見えてきた、心理職として自分に必要なもの向き合いながら成長を続け、将来の活躍につなげていきます。

石井辰典先生をはじめ、本学科の先生方は優しく素敵な方ばかりです。授業以外にもキャンパスですれ違うと「最近どう？」と声をかけてくださるなど、常に学生のことを気にかけて、温かく見守ってくださいます。

取得可能な資格

- 公認心理師*
- 認定心理士
- 社会教育主事(社会教育士)
- 児童指導員
- 博物館学芸員
- 児童福祉司
- 社会福祉主事
- 社会調査士
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。
*大学で規定科目の単位取得後、大学院において所定の科目の修了または省令で定める施設における2年以上の実務経験が必要です。

Pick up 2 | 公認心理師を目指す学びのステップ

心理学科は、公認心理師(国家資格)の養成カリキュラムに対応しています。1・2年次は心の支援の基礎知識を「臨床心理学概論」などで学びます。また「公認心理師の職責」では現場の先生を招いて、実務の理解を深めます。3年次には模擬カウンセリングなどを「心理演習」で体験的に行います。そして4年次には現場に出て「心理実習」を行います。なお、受験資格取得には、さらに大学院進学または実務経験の蓄積が必要ですが、学部4年間のステップをとおして、支援者としての成長を目指していきます。



Pick up 3 | 心と行動の科学的理解を培う独自のカリキュラム | 心理学実験I

1年次必修科目「心理学実験I」では、実験や観察を通じて、心や行動を科学的に分析する方法や論文作成の手法を実践的に学びます。特に、本学の特徴である「ラットの行動観察」では、ラットに実際にふれながら行動原理を学ぶだけでなく、ラットスタッフとして、飼養やハンドリングを行いながら、専門知識や技術を磨くことができます。現在のメンバーは、1年次から4年次までの総勢約50名! 学年やゼミを超えて学生同士がつながりをもてる環境も、心理学科の魅力の一つです。



実験心理学、認知科学 伊村知子 教授

Faculty 教員紹介

臨床心理学

青木みのり教授

臨床心理学の中で、家族、学校など、人と人との相互作用に関する実践と研究を行う。いろいろなことが話し合える活気のあるゼミを目指す。

実験心理学、認知科学

伊村知子教授

ヒトの心の進化と発達について解明するため、チンパンジーやヒトの乳幼児の知覚や認知の仕組みを実験心理学的な手法により検討している。

実験心理学、認知科学

金沢 創教授

心理学の基礎論や認識の発生過程などを分野横断的に研究。PCを使った認知実験や乳児の知覚実験、さらには医療現場での乳幼児健診にも関わる。

臨床心理学

川崎直樹教授

青年期の人格発達、特に自己イメージの成長過程とその支援について研究・実践を行っている。自分の心をおとして、人間の悩みや幸せを考えるゼミ展開を行う。

臨床心理学

塩崎尚美教授

病院での臨床からスタートし、精神分析や心理検査を専門としてきたが、今は乳幼児精神保健領域の研究と実践を中心に行っている。

実験心理学

竹内龍人教授

実験心理学的手法により、錯視や色覚、運動視といった視覚の仕組みおよび情動との関わりを解明、ヒューマンインターフェースへの応用を目指している。

知覚の認知心理学、心理物理学、実験心理学

藤崎和香教授

聴覚、視覚、触覚などさまざまな感覚を統合して一体感のある知覚世界を構築している人間の心のしくみや、知覚や認知の個人差、可塑性、多様性についての研究をしている。

社会心理学、認知科学

石井辰典准教授

人間が見えない「何か(他者の心、神様など)」を想像する現象に興味があり、その社会的な意味・機能を適応論的・発達の観点から実証的に検討している。

感性情報処理、芸術情報学、人間拡張

上田彩子准教授

人間が持つ豊かな創造性の基盤である感性について、情報処理の観点から、実験心理学的手法・脳機能計測手法を用いた解明を行い、人間拡張技術への応用を目指している。

臨床心理学

堀江桂吾准教授

病院勤務を経て、ロールシャッハ、ウェクスラー式知能検査等心理アセスメントに関する研究や、精神分析的な心理療法の治療機序に関する研究を行っている。

発達心理学

麦谷綾子准教授

人間のコミュニケーションのあり方と発達を、基礎研究の視点から理解したい。特に、音声言語の獲得や親子関係の成り立ちについて実証的な研究を行っている。

臨床心理学

小川洋子助教

離婚後の家庭支援をテーマとして、主に面会交流や子どもの心理に関する研究を行っている。児童相談所での心理検査および学生相談などの経験を持つ。

メディアデザイン学、健康科学、看護学

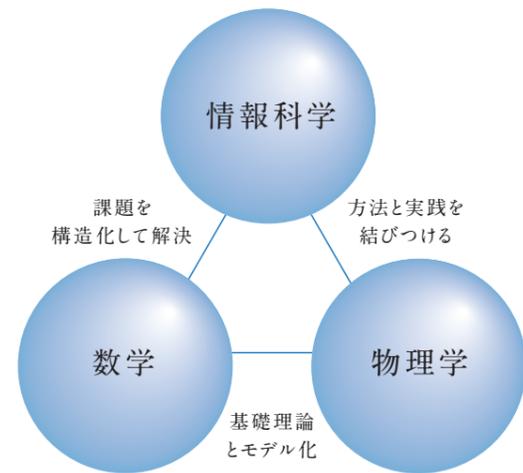
小宮山春美助教

解理的現象学の視点から人間存在の理解に関心をもち、周産期を中心とした母子保健分野で、デザイン思考を使ったサービスの開発をしている。

数物情報科学科

現代社会を支えるテクノロジーの能力を養い
実践力・創造力を携えた未来を拓く人材へ

数物情報科学科では、数学、物理学、情報科学とそれらの横断分野を学び、3年次からコースに分かれて専門分野を探究します。これらの分野は現代社会の基盤となる学問であり、コンピュータ・通信機器やインターネットはもちろん、金融・株式・保険商品の開発、宇宙・半導体・エネルギー・輸送機器開発などにも応用されます。卒業生は数理的・論理的に粘り強く考える力、周囲を巻き込んでチームで働く力が各方面で高い評価を得ています。



Points 学びのポイント

数学・物理学・情報科学の3コースで専門を探究

3年次から「数学」「物理学」「情報科学」の3コースに分かれて専門分野を究めます。自由な発想の現代数学とその応用、物性物理学とその応用や天文学、コンピュータ科学や情報ネットワーク、光通信技術などを学べます。

充実した研究施設を完備。少人数制の細やかな指導

少人数制の丁寧な指導、創立期から続く実験・実習重視の教育およびクリーンルームなどの充実した研究施設が本学科の特長です。また、コンピュータ室も複数完備し、ハイレベルな機器類も充実しています。

グローバル企業や国際機関で活躍

卒業生は、大学で身につけた理系の専門知識と技術を生かし、幅広い分野で活躍しています。必要な単位を修得すると中学校(数学・理科)、高等学校(数学・理科・情報)の教員免許も取得可能です。研究者を目指す道も奨励されています。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

授業 | 応用物理学実験Ⅱ 3年次 (左ページ)

物理学の基礎知識を実験により体得

物理実験の基礎的な知識や技術を応用した、高度な内容の物理実験を実施。「高温超伝導体の作製と液体窒素を用いた電気抵抗の温度依存性に関する実験」「X線回折実験」「PCの作製と計算物理学のシミュレーション」などの実験により、1年次から習得してきた物理学の学びを体得します。実験は教員が提示した方法だけでなく、学生自ら考えグループで話し合いながら工夫して行うことを推奨。実際に手を動かして実験することで、物理学について明確かつ印象的にイメージできるようになり、共同作業により協調性も養われます。

低温物理学、ナノテクノロジー 石黒亮輔 教授 薄膜、表面界面物性、結晶工学 秋本晃一 教授
物理化学(計算科学、ナノ構造物理、電子状態、有機高分子)ナノ構造物理、ナノマイクロシステム 村岡梓 教授

Pick up 1 | 情報特別研究ⅡA 4年 | Society5.0を叶えるテーマを研究

小川研究室では、Society5.0の実現に向け、「光無線通信・給電の品質向上」「eラーニングで取得したデータを用いた学修支援」「センサから取得したデータを用いた情報システムの構築」「ARにおける質感を再現した高速画像生成情報」など、多分野のテーマに取り組んでいます。学生は卒業研究をとおして、物事の進め方や考え方、課題に対する向き合い方を学びます。また、自身の研究を第三者にわかりやすく伝えるための文書やポスターの作成にも力を入れているほか、これらの実践の場として学会発表にも挑戦しています。



光工学・光量子科学、教育工学 小川賀代 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

1年次	2年次	3年次	4年次
<p>数学、物理学、情報科学に共通する科目と、理系の基礎的な科目を学びます。実験・実習と演習科目も1年次から始まります。</p>	<p>3年次からのコース選択を考えながら、各コースの専門的な科目を学びます。1年次の基礎科目群を発展させています。</p>	<p>数学コース、物理コース、情報コースのいずれかを選択します。各コースの専門科目を履修し、より高度な学びに取り組みます。</p>	<p>テーマを設定し、身につけた実践的な創造力と問題発見・解決能力を用いて、教員の指導のもと卒業研究をまとめます。</p>
<p>線形代数 I・II・同演習 微積分学 I・II・同演習 数理トピックス I・II 物理学概論 I・II 力学 I 物理学 I 物理学基礎実験 I・II 情報科学概論 計算機アーキテクチャ I プログラミング実習 総合自然科学</p>	<p>群論・同演習 集合論・同演習 位相入門・同演習 結び目と位相幾何 確率過程論 力学 II 電磁気学 I・II 振動・波動 天文学概論 物理学実験 情報検索とデータベース実習 データサイエンス・同演習 データ構造とアルゴリズム 情報ネットワーク 情報基礎数学</p>	<p>微分幾何学 I・II 複素関数論 I・II・同演習 ガロア理論 社会現象の数理解析 数理ファイナンス 量子力学 I・II 宇宙と現代物理学 統計力学 物性物理学 応用物理学実験 I・II マルチメディアの基礎 Webプログラミング 暗号論とセキュリティ 機械学習 人工知能</p>	<p>数学特別演習 I・II 物理特別研究 I・II 情報特別研究 I・II 卒業研究</p>

※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。



Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- RSA暗号の攻撃法
- 大規模言語モデルとソフトウェア開発
- 情報ネットワーク、クラウド、IoTの高度化と社会実装
- 自律的な語学学習を支援するeポートフォリオの構築
- ウェアラブルデバイスを用いた協調型避難誘導システム
- 情報科学、データサイエンスの生命科学への応用
- 確率モデルの解析
- 数理モデルの数値シミュレーション、数学教育教材開発
- 楕円曲線、平方剰余と整数論
- 幾何学の理論と応用(ブラレールの設計、多様体、微分形式)
- 主成分分析の理論と実践
- 結び目がほどこるかほどこけないかの判定
- 計算科学による再生可能エネルギー材料の分子設計
- 星間物質の観測的研究、簡易型電波望遠鏡の性能向上
- 液晶/溶媒混合系の相平衡状態とその分子ダイナミクス
- 2次元半導体と金属超伝導体の接合の物理
- 半導体GaNの表面構造解析と結晶評価
- 量子コンピュータを用いたハドロン物理



Student's Voice

M.S. 4年

東京都 / 千代田区立九段中等教育学校出身

数学の抽象度・自由度が高く、身近な事象と密接に関連しているところにひかれ、本学科を志望しました。数学を学ぶことで論理的思考が養われるといわれますが、「集合論」はまさにそれを体現する授業です。数学の言語としての役割を果たす論理・集合に関する基礎事項と、これに伴う命題論理や集合・写像の基礎事項を学ぶことで、数学的思考の基礎が身につけていきました。また、「環・体論」では整数や多項式を個別に考える

だけでなく、それら全体の成す集合を考察していきます。抽象度が高くイメージするのは難しいのですが、順に考えていく作業は新鮮で面白かったです。本学で日々数学的思考をしていくなかで、定義や定理の主張だけでなく、それが成り立つ条件をしっかりと押さえることの重要性を実感しました。今後は数学以外にもさまざまな物事において、結論だけではなく前提条件にも注目する力を生かしたいです。



百年館(数物情報科学科 図書室)

藤田玄先生は、自習時に雑談をした流れでミニ講義をしてくださったのが印象的でした。目白祭では先生のご協力のもと、先行研究を参考にしながら平面上のメビウス変換に付随する円を球面ディスプレイにアニメーションとして可視化する研究発表を行いました。

取得可能な資格

- 中学校教諭一種免許状(数学、理科)
- 高等学校教諭一種免許状(数学、理科、情報)
- 学校図書館司書教諭
- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 日本語教員養成講座

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92~P93をご覧ください。
※必要な単位修得により、数学(中学・高校)、理科(中学・高校)、および情報(高校)の教員免許を取得することができます。
複数の免許を取得して卒業する人もいます。

Pick up 2 | 学科が卒業後の進路を全面的にバックアップ

就職に関しては、在学生からの就職活動体験談を交えた学科就職ガイダンスの開催はもちろんのこと、学科独自の企業説明会(40社以上)を開催し、本学科卒業生(リクレーター)と採用担当者との交流の場を設けています。さらに、大変多くの企業から学科推薦をいただいています。教職に関しては、数学(中・高)、理科(中・高)、情報(高)の教員免許の取得が可能です。さらに、学科教職担当教員によるサポートや学年の垣根を越えた交流の場もあります。大学院進学に関しては、内部推薦をはじめさまざまな支援をしています。学生一人ひとりの希望の将来の実現をバックアップしています。



Pick up 3 | 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)の認定

本理学部「数理・AI・データサイエンスに関する教育プログラム」が文部科学省が推進する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」の認定を受けました(至令和10年3月31日)。本学科では数学・情報・物理の幅広い専門的知識の修得とともに、このプログラムの科目群を履修すると、数理・データサイエンス・AIを活用した実践的な課題解決能力を身につけることができます。



Faculty 教員紹介

数理解析(偏微分方程式)、
数学教育(教材開発)

愛木豊彦教授

自然科学や社会科学に現れる諸問題を解決するための数理解析モデルと、その良さを子どもたちに伝える方法の開発に取り組んでいる。

薄膜・表面界面物性、結晶工学

秋本晃一教授

半導体の表面や界面および結晶の研究、特に構造やひずみに関する実験と解析をシンクロトン放射光などを用いて行っている。

低温物理学、ナノテクノロジー

石黒亮輔教授

微細加工技術によって超伝導デバイスを作製し、極低温で起こる巨視的量子現象について実験的研究を行っている。

光工学・光子科学、教育工学

小川賀代教授

光無線通信における大気伝搬解析、次世代eラーニングシステムに向けた情報処理システムの研究・開発を行っている。

天文学、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理

奥村幸子教授

電波天文学が専門で、銀河内の分子ガスの観測的研究と電波観測システムの高精度化のための開発研究を行っている。

ソフトウェア、情報学基礎理論、
マルチメディア・データベース

倉光君郎教授

専門はコンピュータ科学で、特にプログラミング言語(言語処理)、安心安全なソフトウェア開発、プログラミング教育に関心を持って研究を行っている。

物性物理(光物性)

島田良子教授

固体からソフトマターまでを研究対象としている。最近では、プラズモニクスを中心に、複雑系の統計物理に興味を持って研究している。

代数学 幾何学

中島 徹教授

多項式の零点の性質を研究する代数幾何学とよばれる分野を専門にしている。

解析学基礎(エルゴード理論、確率論)

夏井利恵教授

専門はエルゴード理論、測度空間に力学系、数論、確率論などからアプローチした研究を行っている。

情報ネットワーク、IoT、通信トラフィック

長谷川治久教授

豊かな情報社会の発展を目指し、インターネットやIoT(Internet of Things)を活用した情報ネットワークシステムの研究を行っている。

幾何学

林 忠一郎教授

結び目理論と3次元多様体論を研究している。結び目とは3次元空間の中の絡まった輪っかである。空間内で連続的にフィヤフニャ動かしても同じ結び目と見なす。

物理化学(計算科学、ナノ構造物理、電子状態、有機高分子) ナノ構造物理、ナノマイクロシステム

村岡 梓教授

物質の電子状態を第一原理計算により解明し、分子物理・分子物性の理論的研究を行っている。

理論物理学、素粒子原子核物理

熊野俊三特任教授

素粒子原子核物理学に関する理論が専門で、特にハドロンの内部構造を量子色力学によって理解する研究を行っている。

バイオインフォマティクス

清水謙多郎特任教授

データサイエンスや分子シミュレーションを用いて、さまざまな生命現象の解明をめざす研究を行っている。

統計学

寶 暁玲准教授

関数データ解析やコピュラを主に研究している。特にノンパラメトリック手法の開発をおもしろがり取り込んでいる。

幾何学

藤田 玄准教授

幾何学を研究している。多様体とよばれる曲がった空間の幾何学を微積分を駆使して調べている。

計算機システム、マルチメディア・データベース

横田裕介准教授

多数の超小型計算機が分散・協調して動作するセンサネットワークシステムの研究と開発を行っている。

代数学

杉山 倫講師

数論の一つの分野である数論的代数学が専門。代数多様体とよばれる空間の数論的・幾何学的性質を調べている。

超音波物理学

李 香福助教

液体への強力な超音波照射により発生する音響キャビテーション気泡の運動とソノルミネセンスの機構について研究を行っている。

アルゴリズム、圏論

賈 伊陽助教

計算折り紙の計算問題を解くためのアルゴリズムの研究と、圏論に基づいた代数的観点からの折り紙数理論に関する研究を行っている。

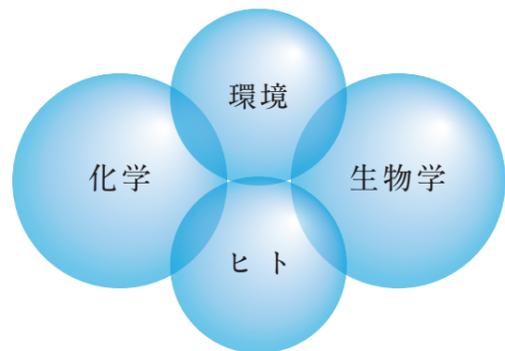
化学生命科学科

化学と生物学を軸に自然科学を追究し、
時代の要請に応えられる人へ

20世紀から今日に至る自然科学のめざましい発展には、専門分野間の交流が大きく寄与しています。例えばDNAの構造解明は物理化学的になされましたが、それは生物学に革命をもたらしました。このような学問の流れに対応して、化学生命科学科では、化学と生物学の2分野を学びの対象にしています。人類の知的活動により成立した自然科学に対する理解を深め、時代の要請に応えられる力を育みます。



※実際の実験の際には、保護具(保護メガネ等)を着用します。



Points 学びのポイント

化学と生物学の2つが柱。専門的な研究も可能です

化学と生物学の2分野を柱に広く学びます。それぞれに十分な授業科目が用意されているため、化学または生物学を専門的に学ぶこともできます。今注目の環境問題やバイオテクノロジー領域を選択することも可能です。

興味や志望に沿うように履修科目を選択できます

興味や志望に応じて自由に履修科目を選択し、物質の成り立ちから、さまざまな生命現象まで、広い視野で学ぶことができます。実験科目も重視し、最高水準の実験設備を日常的に使用できます。

実社会や研究施設で科学を追究する卒業生

卒業生は、食品・医薬品・化学・情報通信・教員・公務員など、多分野で活躍しています。また、例年、約20%の学生は、理学系をはじめ農学系、医学系、薬学系などの大学院へ進学して専門性を高めています。



詳細は
本学HPで
ご確認ください

ゼミナール | 卒業研究 4年次 (左ページ)

環境にやさしい化学合成を実現する

化学合成は、医薬品や化粧品などの化学物質を作るための重要な手法ですが、その製造過程で大量の廃棄物を生じると環境に負荷をかける原因となっています。澁谷研究室では、安全で元素資源が豊富に存在する典型元素化合物を触媒として使い、廃棄物を最小限に留めて分子を合成するための、反応開発に取り組んでいます。研究を通じて主体的に物事を進める力を身につけ、考えたことを実験で目的検証する面白さを実感してください。

有機化学、分子変換、分子触媒 澁谷正俊 准教授

Pick up 1 | 生物学概論実験 I 1年次 | 生命活動にふれ、実験技術を習得

本学科の初年次教育科目で、「高性能顕微鏡を用いた生体構造の観察」「タンパク質の生化学的性質の解析」「環境中の生命活動の測定」など、基礎的科目であっても美しい生命活動を直接的に体験できるカリキュラムを実施しています。授業では、少人数のグループで実験を行い、実験技術を習得するほか、議論やレポートを通じて、実験結果を正確に解釈できる論理的思考力を身につけます。また、グループでの共同作業によりチームワーク力やコミュニケーション能力が育まれ、人間関係を円滑に築ける人材に成長することを期待しています。



形態・構造、植物形態学、細胞生物学 永田典子 教授

Curriculum 専門科目カリキュラム概要 (科目名は抜粋です) 2024年4月入学者

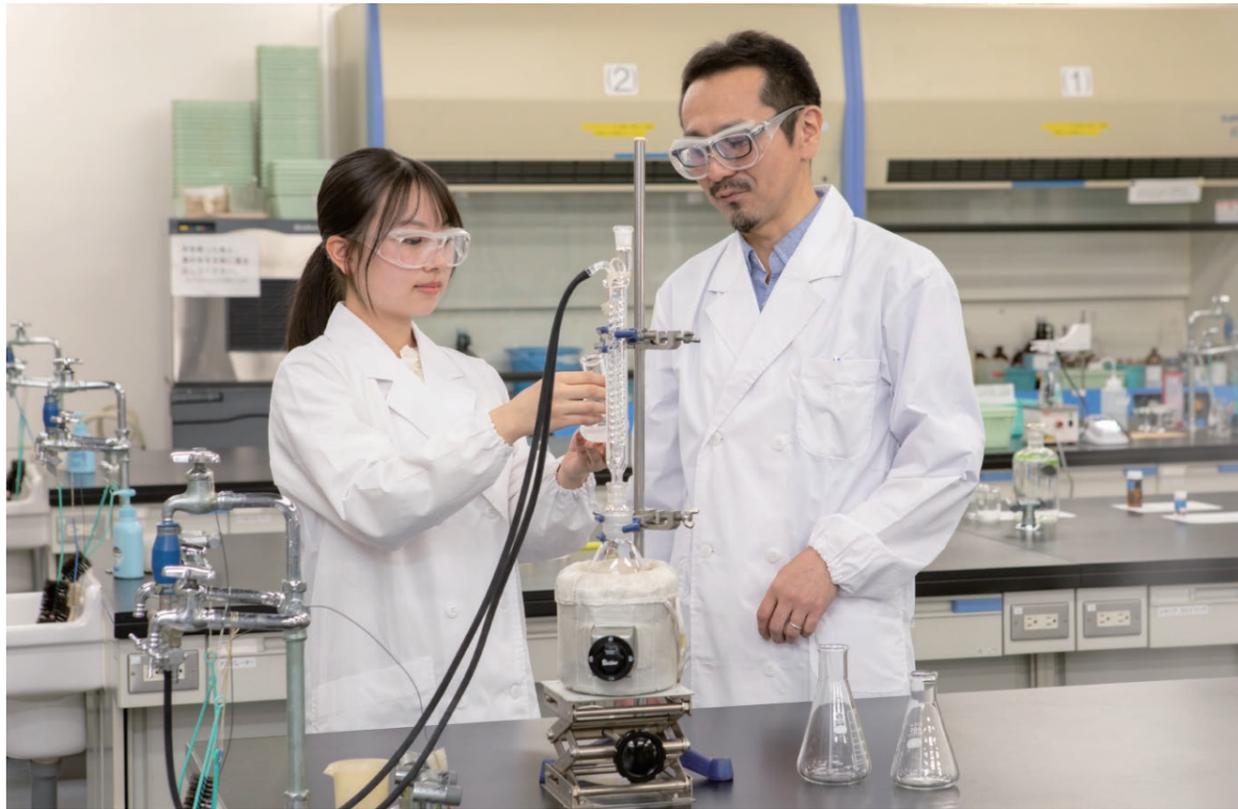
1年次	2年次	3年次	4年次
科学をはじめ、さまざまな分野の基礎をしっかりと学ぶことで、一生の財産となる広い教養と視野を身につけます。	専門科目が始まり、広く深く学ぶことが求められます。自習や積極的な質問で、自ら課題を解決する力を養います。	希望する専門分野の勉学をさらに磨きます。3年次の後期には、卒業研究を行う研究室への配属も決まります。	1年間をかけて卒業研究にじっくり取り組みます。自分で問題を見つけ、解決へと導く力をつけていきます。
化学概論 I・II 生物学概論 I・II 物理学概論 I 総合自然科学 情報科学概論 基礎数理 有機化学入門 化学概論実験 I・II 生物学概論実験 I・II 物理学概論実験 I プログラミング実習	有機化学 I 無機化学 I 分析化学 I 物理化学 I 生化学 I 分子生物学 I 動物生理学 I 植物生理学 I 遺伝学 I 有機化学実験 I 無機・分析化学実験 物理化学実験 I 細胞生物学実験 生化学実験 環境生物学実験 動物学実験	化学反応論 生物有機化学 生物物理化学 分子生物学 II 応用微生物学 保全生物学 バイオテクノロジー特論 機器分析実験 物理化学実験 II 有機化学実験 II 環境分析化学実験 超微構造学実験 植物生理学実験 動物生理学実験 遺伝学実験	卒業研究 卒業研究演習 I-1・I-2・II-1・II-2



※カリキュラム・授業名は変更になる場合があります。
※開講科目は記載以外にもあります。
※詳細はシラバスまたは本学HPでご確認ください。

Graduation Thesis 卒業論文のテーマ

- ヒメカヅキモのMADS-box遺伝子の機能解析
- 特定のRNAのin vivo可視化実験系の確立
- ゼラニウム花弁における色素体の洞穴構造
- AIによる個体識別 / 巨大メダカの作出
- 白色腐朽菌によるメラニン分解
- 宮城県南三陸町志津川湾のアマモ場再生におけるブルークレジットの活用への一提案
- 森林樹冠による大気中マイクロプラスチックの捕捉
- アレルゲン免疫療法に向けたリポソーム調製法の検討
- ゼラチン製ウェルデバイスを用いた毛細血管網の構築
- Mn+O₂の反応ポテンシャル曲面における軌道相互作用と軌道変形の可視化
- 軟体サンゴ由来天然物Paralemnolin Aの全合成
- 反応-拡散-反応過程を用いたゲル中での沈殿パターン形成
- セキセイインコの音響模倣学習における性差
- 有機分子触媒を用いる化学選択的C-H酸化反応の開発
- 異性認識におけるニューレキシンの役割



Student's Voice

F.N. 3年

富山県／富山県立富山高等学校出身

化学と生物学の融合領域である生命科学や環境科学に興味があり、化学を軸に多分野を横断して学ぶことができるため志望しました。化学生命科学科では、同じテーマでも化学、生物学、物理学の各視点から話を聞くことができるので、理解が深まり学びの幅も広がります。例えば、ヒトを構成するものの機能をミクロの視点から学べる分子生物学Iでは、生物学としてはもちろんのこと化学的な視点からも生命現象に

迫っていくことができました。これは化学と生物学を横断的に学びたい私が求めているところであり、興味深い講義の一つでした。分野を超えた学びにより、科学ひいては世の中の物事を成す仕組みは個々の独立した分野によって説明できるものではなく、統合的とらえられるものだと強く感じます。さまざまな方向からアプローチすることが物事を深く理解し、納得できる学びにつながるのだと確信するようになりました。

1,2年次の実験科目を担当されていた阿部秀樹先生。授業後に先生の研究室を訪れた際には、論理的で説得力のある実験レポートの作成の仕方を数多く教えていただきました。そして、そういった過程のなかで学びの楽しさを肌で感じたり物事に対してどう向き合うかという姿勢も学んだりすることができました。また、先生が執筆された論文を拝読するなかで、研究への憧れと期待が一層強くなりました。



吉彩館

※本学で取得可能な資格の一覧は、P92～P93をご覧ください。

取得可能な資格

- 中学・高等学校教諭一種免許状(理科)
- 学校図書館司書教諭
- 司書
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事
- 日本語教員養成講座

Pick up 2 | 充実した教育・研究設備

細胞や組織の詳細な構造を観察するための蛍光顕微鏡や電子顕微鏡、元素の種類・量を解析するためのICP(高周波誘導結合プラズマ)発光分析装置や分光蛍光光度計、原子や分子の並び方や位置関係を調べるためのX線回折装置といった、研究用の大型設備を惜しみなく学部生の実験授業に使用しています。教育用の実験設備としては日本で最高水準を誇ります。



Pick up 3 | 学問の境界を超えた主体的な学び

① 一方向のコミュニケーションにならない丁寧な授業をすること、② 充実した教育・研究設備を提供すること、③ 化学と生物学の分野の境界を超えて自由に幅広く学べるようにすること、④ 主体的に研究を進められるよう実験の授業に力を入れること、を目指して教育を行っています。学科の卒業生を対象にしたアンケートでも、常に90%以上の人々がこれらの点を高く評価しています。

卒業時の学生アンケート (2023年2月実施、無記名)

教員に質問しやすい環境である	→ 92%
環境設備が充実している	→ 94%
専門科目が自由に選択できる	→ 100%
実験授業が充実している	→ 98%

Faculty 教員紹介

有機化学、合成化学、化学系薬学

阿部秀樹教授

複雑な構造をした生物活性天然物の全合成研究を行っている。それらの効率的な合成法を開発することで、優れた機能性分子の創製へとつなげていく。

物理化学

今城尚志教授

レーザー分光法を用いた、遷移金属原子および遷移金属原子を含むラジカルの反応性について研究を行っている。

生物分析化学、マイクロタス

佐藤香枝教授

マイクロナノテクノロジーを利用した細胞やタンパク質、DNAなどの超微量分析法の開発をテーマに研究している。

応用微生物学、機能生物化学、生物機能・バイオプロセス

菅野靖史教授

人と関わりの深い微生物の機能、なかでもタンパク質の機能に注目し、その生理的役割や構造を解析し、応用展開を目指している。

植物生殖生理学、植物発生進化学

関本弘之教授

植物の有性生殖に関係する情報伝達機構について、藻類を中心に研究している。特にミカヅキモの性フェロモンに注目している。

形態・構造、植物形態学、細胞生物学

永田典子教授

細胞の中にある、細胞小器官の形や動きについて研究している。色々な顕微鏡を使って、「ミクロの世界を「観る」ことを大切にしている。

X線分光学、機能物性化学

林久史教授

X線分光学を中心にした物理化学、分析化学。X線を用いた新しい分析法の開発と、その機能性物質や生体関連物質への応用研究を行っている。

遺伝学、進化学

深町昌司教授

動物が持つ様々な形質(色や形、行動など)を支配する遺伝子の正体と機能を解明する。日本のメダカをモデルに、生物多様性進化の分子基盤に迫りたい。

環境化学、無機化学

宮崎あかね教授

環境中での物質の動きについて、固体と液体の界面に注目して研究を行っている。汚染物質の移動経路の解明や、環境浄化技術の開発を目指している。

分子生物学

和賀祥教授

細胞分裂の前には、遺伝子の本体であるDNAの複製が起こる。このDNA複製の仕組みを分子レベルで解明することを目標に研究を行っている。

生態・環境

上田実希准教授

生態系の成り立ちや植物の環境への適応様式を研究している。また、温暖化など環境問題の生態系への影響についても研究している。

有機化学、分子変換、分子触媒

澁谷正俊准教授

医薬品や化学製品の合成法として、有機分子を、安全で環境に負荷をかけることなく効率的に変換する方法を開発している。そのような変換を可能にする分子触媒の設計・開発もしている。

動物行動学

藤原宏子准教授

動物の行動をめぐる4つの「なぜ」(メカニズム・発達・機能・進化)を大切に、鳥類・哺乳類の行動・脳を中心に研究している。

構造生物学、生物物理化学

市川さおり講師

構造生物学の立場から、アレルギーを起こす原因タンパク質を中心に生体物質の構造と機能について研究を行っている。

発生生物学、神経科学

大野速雄講師

動物が外界の環境に適應して記憶・学習や発生変化を行う仕組みを、分子レベル、細胞レベルで明らかにする研究を行っている。

植物生理学

大高きぬ香助教

植物ホルモンの機能が、植物の進化の過程でどのように獲得されてきたかについて、主にミカヅキモの研究を通じて明らかにしたい。

生物有機化学、有機合成、光化学

森屋亮平助教

夏の風物詩である蛍は、光イメージングに応用されている。生命現象のブラックボックスに光を射す標識技術を実用化している。

構造生物学、機能生物化学

吉田徹助教

セルロース合成酵素や感染症の原因タンパク質が機能する仕組みを理解するために、それらの詳細な形を明らかにしたい。

資格取得

資格は将来の可能性を広げるツールの一つであり、資格取得を目指すことで意欲的に学習に取り組めます。本学ではキャリアにつながる資格取得で、学生の夢をかなえる支援も行っています。

本学で取得可能な資格

	食科学部 (原称・届出中)		建築デザイン学部	国際文化学部	家政学部			文学部			人間社会学部				理学部		
	食科学科	栄養学科	建築デザイン学科	国際文化学科	児童学科	被服学科	家政経済学科	日本文学科	英文学科	史学科	現代社会学科	社会福祉学科	教育学科	心理学科	数物情報科学科	化学生命科学科	
教員免許状※1	幼稚園一種					●											
	小学校一種												●				
	国語	中学校一種							●								
		高等学校一種							●								
	英語	中学校一種								●							
		高等学校一種								●							
	数学	中学校一種														●	
		高等学校一種														●	
	理科	中学校一種														●	●
		高等学校一種														●	●
	社会	中学校一種						●			●	●	●		●	●	
	公民	高等学校一種						●			●	●	●				
	地理歴史	高等学校一種									●	●					
		中学校一種	●				●	●	●								
	家庭	高等学校一種	●				●	●	●								
中学校一種		●				●	●	●									
情報	高等学校一種														●		
栄養教諭一種		●															
学校図書館司書教諭	○				○	●	○	●	●	●	●	○	○		○	●	
司書	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	
博物館学芸員	○	○	●	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	
保育士 ※2					●												
栄養士		●															
食品衛生管理者	●	●															
食品衛生監視員	●	●															
衣料管理士 (TA) 一級						●											
社会福祉主事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
児童福祉司					●						●	●	●	●			
児童指導員					●						●	●	●	●			
認定絵本士					●												
社会教育主事 (社会教育士)				●						●	●	●	●				
社会調査士				●						●	●	●	●				
認定心理士													●				
受験資格	管理栄養士		●														
	フードスペシャリスト/専門フードスペシャリスト	●															
	木造・二級建築士 ※3			●													
	一級建築士 ※4			●													
	インテリアプランナー ※5			●													
	建築設備士			●													
	社会福祉士 ※6										●						
公認心理師 ※7													●				
繊維製品品質管理士 (TES)						●											
パターンメイキング技術検定資格						●											
色彩検定資格						●											
日本語教員養成講座 ※8	○	○	○	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	

●○→取得が可能な資格です。○→時間割の都合上、取得に必要な科目が履修できない場合もあります。
●複数資格を希望する場合は、卒業までに取得できない場合もあります。

- ※1 下記の学科では以下のとおり免許が取得できます。
●児童学科：「幼稚園」または「中学・高等学校（家庭）」のいずれか ●家政経済学科：「中学・高等学校（家庭）」または「中学校（社会）」「高等学校（公民）」のいずれか ●数物情報科学科：「中学・高等学校（数学）」と「高等学校（情報）」または「中学・高等学校（理科）」のいずれか ●教育学科：履修する学校種の免許状を2種類（「中学校（社会）・高等学校（公民）」「小学校・中学校（社会）」）まで取得可能
- ※2 児童学科の保育士養成課程の定員は44名。「保育士」は「幼稚園」の教員免許状とあわせて取得
- ※3 試験合格後、実務経験なしで資格登録可能
- ※4 試験合格と実務経験2年で資格登録可能
- ※5 試験合格後、実務経験なしで資格登録可能
- ※6 社会福祉士養成課程の定員は55名です。
- ※7 大学で規定科目の単位修得後、大学院において所定の科目の修了または省令で定める施設における2年以上の実務経験が必要です。
- ※8 外国語として日本語を教える専門的知識を持つ人材養成の講座が全学部対象に開かれています。基礎的知識と教材や教授法等の実践的技術を学び、所定の単位修得後、大学が発行する修了証書が得られます。今後、登録日本語教員実践研修・養成課程申請予定。（ただし、文部科学省における審査の結果、予定した実践研修又は養成課程が開設できない可能性があります。）

資格の概要

取得資格 *任用は大学卒業後、実務に就いた場合に得られる任用資格

教育職員免許状

本学には、中学校教諭・高等学校教諭一種免許状取得のための教員養成課程があります。児童学科および教育学科については、中学校・高等学校教諭の養成課程のほかに、児童学科には幼稚園教諭の、教育学科には小学校教諭一種免許状取得のための教員養成課程もあります。また、食科学部栄養学科(原称・届出中)については、栄養教諭一種免許状取得のための教員養成課程があります。

学校図書館司書教諭

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校などに設置されている学校図書館を管理し、児童・生徒に対して専門的に職務を行うのが司書教諭です。この資格取得には、教員免許(幼稚園を除く)も必要となります。

司書 *任用

図書館の利用者の要求に応じて、各種の情報を確実に伝えられるように、資料の収集や整理・分類を行う専門職が司書です。図書館の機能を100%発揮するための知識と技能を備えていることが求められます。

博物館学芸員 *任用

美術館や博物館などに所属し、資料の収集や保管、展示、専門的な調査・研究、利用に関する説明などを行うのが学芸員です。資料の調査・研究ばかりでなく、運営全般に携わる専門職です。

保育士

児童学科は保育士養成課程に指定されています。2年次より「保育者養成コース」に進み、所定の科目を履修して規定科目の単位を修得することで、保育士資格を取得することができます。

受験資格

管理栄養士

栄養士業務のうち、高度な知識と技術が要求される専門職が管理栄養士です。保健所や病院などで栄養指導を行う場合や、特別な栄養管理が必要な給食施設では管理栄養士の有資格者を置くことが義務づけられています。

フードスペシャリスト

流通・消費分野において、食品の品質判別、情報提供、食空間のコーディネートなど、供給者と消費者の間に立った食品の専門家に与えられる資格です。上級資格として、専門フードスペシャリスト(食品開発/食品流通サービス)も取得できます。

栄養士

事業所、学校、社会福祉施設などの集団給食施設などにおける給食管理や、栄養相談・指導を行うのが栄養士の職務です。疾病の予防や健康の維持増進のために食事や献立作成を行います。

食品衛生管理者 *任用

食品衛生法に基づき、乳製品や化学的に合成される食品添加物の製造など、特に衛生管理を必要とする食品の製造施設において、食品の製造や加工を衛生的に管理する専門職です。

食品衛生監視員 *任用

食品衛生行政を直接担当する専門職です。専門的な技術と経験を要する科学行政を担当し、食品営業施設の臨検、食品や添加物の検査、食品衛生に関する指導などを行います。

衣料管理士(TA)一級

繊維製品の品質や取扱方法に専門的な知識を持ち、生産、流通、消費の各段階において、企業と消費者の間に立つことで、消費者が満足する衣料生活に寄与するための専門資格です。

社会福祉主事 *任用

福祉事務所で社会福祉の実務に就いた後に資格が取得でき、これによりケースワーカーとしての仕事ができます。在学中に規定の科目を履修する必要があります。

児童福祉司 *任用

卒業後都道府県の公務員に採用され、該当の業務に1年以上従事した後に取得できます。

一級建築士

一戸建てから高層ビルまで、建築物が十分な機能と耐久性を持つように設計し、工事の監理を行う専門職です。

木造・二級建築士

建築デザインや構造、材料、設備、法規などの知識を総合的に活用し、設計から工事監理までを行います。

インテリアプランナー

公共施設、オフィス、店舗、住宅など、さまざまな建築に関する「インテリア空間」を対象に、企画・設計・工事監理を行う専門家です。

建築設備士

建築設備全般に関する知識および技能を有し、建築士に対して、高度化・複雑化した建築設備の設計・工事監理に関してのアドバイスを行える資格です。

児童指導員 *任用

児童福祉施設などで児童・生徒の学習や生活に関して、専門的な立場からアドバイスや指導を行う専門職です。教育や社会生活に関する幅広い知識と経験が必要です。

認定絵本士

認定絵本士は絵本専門士委員会が認定する絵本の楽しさを伝える専門家です。所定の科目を履修して認定絵本士に認定された後、一定の実務や実践の経験を得ることで絵本専門士を目指す道が開けます。

社会教育主事(社会教育士)*任用

都道府県や市町村の教育委員会事務局の職員として、学習やスポーツ、レクリエーションなどを行う人たちにアドバイスや指導を行う専門職です。教育委員会以外の行政、企業、NPOなどで学習支援を行う専門的職員としての称号「社会教育士」も得られます。

社会調査士

一般社団法人社会調査協会から認定される、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象などをとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」としての資格です。

認定心理士

心理学に関する標準的な知識と技術を習得したことを日本心理学会が認定する資格です。カウンセリングなどを行うためには、心理臨床を経て、公認心理師や臨床心理士の資格を取得する必要があります。

社会福祉士

身体上、精神上の障害がある、または高齢、経済的な理由などから、日常生活を営む上で支障のある人たちの相談にのり、専門的なアドバイス・指導を行う国家資格です。

公認心理師

公認心理師は、医療・福祉・産業・教育・司法の領域で心理に関する専門的な指導や支援を行う国家資格です。在学中に規定の科目を履修し、大学院で規定科目を履修、もしくは2年以上の実務に従事することで受験資格が得られます。

色彩検定資格

色彩に関する幅広い知識や技能を問う検定試験で、文部科学省後援の公的資格です。

関連資格

繊維製品品質管理士(TES)

繊維製品の品質、性能の向上をはかり、消費者からクレームが出ないように、繊維製品の製造や販売を行う企業の中で活躍するスペシャリストです。

パターンメイキング技術検定資格

パタンナーに必要とされるパターンメイキングの技術と知識が問われる検定試験で、アパレル業界におけるパタン(型紙)製作のスペシャリストの資格です。

JWU Graduate School 大学院

本学の大学院は、社会のあらゆる領域において、深い専門知識と高度な技術で諸問題を解決できる人材の育成を目指しています。全学部分野に設置された研究科では、学部時代に身につけた知識をより専門性の高い研究で深めることができます。

家政学研究科 修士課程

児童学専攻

児童学の専門的な知識をもって社会で活躍できる人材を育成します。授業科目は学生の問題意識、自主性を尊重した選択制を重視しており、児童学に関する文献のほか、観察室・プレイルームなどの設備も整っています。

食物・栄養学専攻

食物学、栄養学、調理学の理論・応用に関する高度な学識を養い、多方面の領域に関わる研究能力を養います。多くの食品企業研究者、管理栄養士、大学教員を輩出しています。

被服学専攻

多様な側面を持つ「衣」に関する高度な専門知識と研究能力を養います。さまざまな環境に適合し、心と身体の健康維持のための「衣」を創造できる人材を、そして豊かな服飾文化のために貢献できる人材を育成します。

生活経済専攻

さまざまな生活問題を経済的な視点と生活公共の視点から追究。理論・現実の両面に関する高度な学識と研究能力を養います。社会人にも広く門戸を開いています。

人間生活学研究科 博士課程（後期）

人間発達学専攻

発達の過程を教育、心理、文化、環境などの観点で、主に児童を中心に探究する分野と人間の身体の形成、発育と生物学的理論を究明し、健康保持増進のあり方や疾病治療の方法を探る分野があります。

生活環境学専攻

人間とそれをとりまく自然的、人為的環境との関係や機能を考究し、生活のあり方を追究。衣食住を、生活をとりまく環境と認識し、自然科学的、社会経済的、文化的に考えます。

文学研究科 博士課程（前期・後期）

日本文学専攻

日本文学・日本語学とそれに関連する学問について人文学に求められる広く深い学識と高度な研究能力を培い、それを基盤として教育や研究で活躍する人材を育成します。

英文学専攻

イギリス文学、イギリス文化、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語学、英語教育などの諸学問を互いに関連させながら研究します。修了者は、小中高の学校、大学をはじめ、社会の広い分野で活躍しています。

史学専攻

歴史学への社会的要請に応え、日本史・東洋史・西洋史の各分野で高い見識と研究能力を備え、世界的視野から比較史的究明を行うことのできる研究者・教育者を育成します。

【他大学大学院交流】

お茶の水女子大学大学院と学生交流を行っています。その他、各研究科で他大学の大学院との間に、学生交流や委託聴講、単位互換などの制度を設けています。

【奨学金制度】

本学には、修士課程・博士課程前期入学者を対象とした日本女子大学大学院新入生奨励金（各専攻1名20万円給付）をはじめ、さまざまな奨学金制度があります。また、日本学生支援機構奨学金については、第一種奨学金の貸与を受けた学生が在学中に特に優れた業績を挙げた者として認定された場合、奨学金の全部又は一部の返還が免除される制度があります。

人間社会研究科 博士課程（前期・後期）

社会福祉学専攻

現代社会に必要なとされる、総合的かつ高度な社会福祉理論を修得。研究と実践能力の向上を目指します。

教育学専攻

個人の生涯にわたる学習・教育の問題を社会との関連において理論的・実証的に考察するとともに、家庭・学校・地域社会・職場などが抱える教育課題の解決を追求します。

現代社会論専攻

多様化する現代社会の現象や問題に対し、社会学をはじめ歴史学や人類学、経済学など幅広い視野からアプローチ。深い学識を基礎に、新たな視点からの分析と理解を追求します。

心理学専攻

高度な研究能力を有する実践的研究者、有能な心理学の専門家を育成します。本専攻は公認心理師および臨床心理士養成のカリキュラムに対応しています。

関連文化論専攻

複雑化、多元化の様相を深めていく人間文化の展開に対して、文化学の新しいパラダイムを構築。また、文化的価値の新次元を開拓できる、豊かな学識と研究能力を養います。

理学研究科 博士課程（前期・後期）

数理・物性構造科学専攻

数理／自然／社会現象における諸問題を、数理科学、情報科学、物理学の側面から探究して課題を解決します。研究者・技術者として活躍できる専門性を養います。

物質・生物機能科学専攻

化学および生物学の側面から、無機物質、有機物質、細胞、個体などの機能を探求します。高度な専門知識と技術を生かして活躍できる研究者・技術者を養成します。

建築デザイン研究科 修士課程

建築デザイン専攻

住まいのあり方について、深い学識と高い研究能力、豊かな設計力を養います。未来に向けて総合的に居住環境について考え創造する優れた研究者、建築家、技術者を輩出しています。

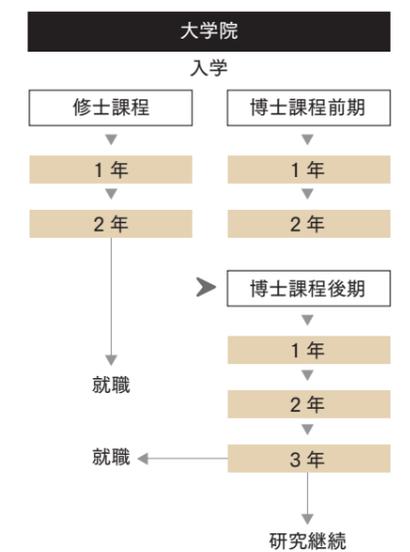
《学位授与について》

修士課程または博士課程前期・後期に規定年数在学、また規定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上で論文の審査および最終試験に合格した者には、その専攻に従い、修士あるいは博士の学位を授与します。

《大学院研究科と学位》

研究科	専攻	課程	修士の学位	博士の学位
家政学研究科	児童学専攻 食物・栄養学専攻 被服学専攻 生活経済専攻	修士課程	修士(家政学)	
人間生活学研究科	人間発達学専攻 生活環境学専攻	博士課程(後期)		博士(学術)
文学研究科	日本文学専攻 英文学専攻 史学専攻	博士課程(前期・後期)	修士(文学)	博士(文学)
人間社会研究科	社会福祉学専攻 教育学専攻 現代社会論専攻 心理学専攻 関連文化論専攻	博士課程(前期・後期)	修士(社会福祉学) 修士(教育学) 修士(社会学) 修士(心理学) 修士(文学)	博士(社会福祉学) 博士(教育学) 博士(学術) 博士(心理学) 博士(文学)
理学研究科	数理・物性構造科学専攻 物質・生物機能科学専攻	博士課程(前期・後期)	修士(理学)	博士(理学)
建築デザイン研究科	建築デザイン専攻	修士課程	修士(建築デザイン)	

【大学院入学から修了までの流れ】



【修業年数】

修士課程は2年間、博士課程は、前期2年と後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は修士課程として扱います。

日本女子大学の取り組み

総合研究所

本学独自の研究、学際的な研究等を支援

総合研究所は、本学固有の研究や、本学を拠点とした学際的な共同研究・調査等の推進を図るために、毎年、対象となる研究プロジェクトを募集し、研究費を援助しています。研究成果は研究発表会、紀要、ホームページをとおして、学園内外に発信しています。また、本学教員を対象に、日本女子大学叢書の刊行助成を行っています。

現代女性キャリア研究所

女性の能力を發揮できる社会の実現に貢献

現代の女性とキャリアをとりまく諸問題を調査研究し、その成果を広く発信して、女性ができる能力を發揮できる社会の実現に貢献することを目指しています。「女性採用や働き方についての企業調査」「現代女性の多様なキャリア開発・支援に関わる研究の推進」「女性とキャリアに関する情報の収集とデータベースの構築」などを軸に事業を行っています。

教職教育開発センター

教職志望学生と学校現場で活躍する卒業生を支援

本学は創立以来、初等・中等教育分野に多くの優れた教員を輩出してきました。その中で、教職教育開発センターは、「教員採用試験対策講座」や教職に関する相談等、学生が教職に就くためのさまざまな支援を行っています。さらに就職後は、教育実践力向上を図る「ワークショップ」の開催や卒業生のネットワーク強化等により、キャリア形成まで一貫した支援体制を整えています。

電子顕微鏡施設

最先端の研究設備で学生の向学心を支える

電子顕微鏡施設は、実物を観るという自然科学を重視した日本女子大学創立当時から理念を引き継ぎ、最先端の顕微鏡装置を有する施設として1956(昭和31)年に設置されました。現在では、電子顕微鏡6台と多数の周辺機器が整備され、日本有数の電子顕微鏡施設として知られています。最先端の研究活動のほか、学部・大学院教育にも広く利用されています。



① 透過電子顕微鏡 (JEM-1200EXS)
② 透過電子顕微鏡 (JEM-1400)
③ 走査電子顕微鏡 (SU8200)

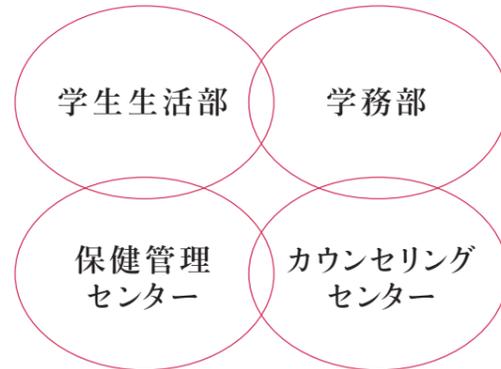
Student Life Support 学生生活サポート

学生たちのキャンパスライフを守るために、勉学、心身の健康、サークル活動、留学、奨学金などの問題や課題を気軽に相談できる制度や窓口などさまざまなサポート体制があります。学寮や学生マンションなど、住まいに関するサポートもしています。学生一人ひとりが思いやり学べ、大学生活を安心かつ楽しめるよう見守っています。

学生相談窓口

あなたを守る4つのネットワーク

学生生活を充実したものにするための学生相談窓口を設置しています。勉学については、学科アドバイザーや各研究室をはじめ、学修支援課で、相談できます。そして、健康面を支える保健管理センター、対人面や将来のことなど心の悩みの解決に力を添えるカウンセリングセンターがあります。課外活動や奨学金では学生支援課、海外留学では国際交流課、キャリア支援についてはキャリア支援課など、それぞれが学生を常に見守っています。



保健管理センター



学生が心身ともに健康に、充実した学生生活を送るためのさまざまなサポートを行っています。体調がすぐれないときやケガをしたときの応急手当はもちろん、内科・婦人科専門医による定期的な健康相談を実施。気になることがあれば気軽に相談できます。

健康相談	内科・婦人科医により定期的に実施しています。
定期健康診断	毎年4月に行います。
応急処置	看護職員が随時対応し、状況に応じて近隣医療機関等へ紹介を行います。
健康教育	アルコール体質判定テスト、禁煙支援、感染症予防、乳がん触診モデルの展示など。

カウンセリングセンター



対人関係、性格、学業、心身の健康などの悩みや戸惑いに、公認心理師、臨床心理士の資格を持つカウンセラーが丁寧に対応。心の健康と充実した学生生活を支援しています。

カウンセリング	抱えている問題をカウンセラーと話し合い、解決の糸口を探します。
精神保健相談	専門医がメンタルヘルスに関する相談に応じています。
グループセミナー	キャリア・自己分析などをテーマとする少人数制のセミナーです。
心理テスト	自己理解の手がかりとして性格検査や職業興味検査を用意しています。
情報の提供	相談機関・医療機関に関する情報提供や紹介。

日本女子大学泉会と目白会

日本女子大学泉会は、本学の学生の保護者および本学教職員等を会員とする組織です。教育施設の設備や学生のクラブ・サークル活動の活性化を図る支援、また留学する学生に「泉会奨励金」を授与しています。目白会は、泉会の会員だった卒業生の保護者を中心に、相互親睦を図ることを目的に結成された会です。泉会と共同で外国人留学生に対し、奨学金授与などの援助も行っています。

一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会

桜楓会は、本学卒業生が組織する団体で、単なる同窓会ではなく、生涯学習を目指した成瀬仁蔵の意向を受け、1904(明治37)年に設立されました。現在は目白の桜楓会本部を中心に、国内外143の支部、桜楓会正会員が生涯にわたるネットワークをつくっています。在学生は準会員として活動できます。

桜楓会は在学生を次のように支援しています。
①奨学金(給付型) ②キャンパスメンバーズ支援(東京国立博物館・国立西洋美術館等の無料鑑賞や割引サービス) ③就職活動支援 ④留学生支援

School Life_Dormitory 学寮

キャンパスの敷地内で通学に便利。緑の多い静かな環境の中にあります。2021年、より快適で安全な寮に生まれ変わりました。全室個室でプライベートも、各階の広々とした談話室で学科・学年を超えた交流も楽しめます。感染症対策を行って運営しています。



泉山寮・潜心寮、共用ラウンジ

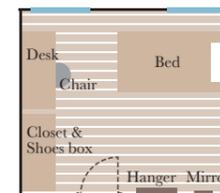
泉山寮



居室



談話室



泉山寮 居室
(13.2㎡)

(間取り例)

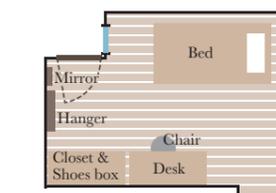
潜心寮



居室



談話室



潜心寮 居室
(10㎡~13.8㎡)

(間取り例)

Points

- 4年間在寮可能
- 食事提供あり
- 管理人住み込みで対応
- 大学敷地内にあり、通学に大変便利
- 都心にありながら、緑あふれる静かな環境
- JR・地下鉄の3駅利用可能。JR：徒歩18分/地下鉄：徒歩10分
- 安心のセキュリティ
- 快適な個室空間と広々とした共有スペース
- 留学生も入寮可能。寮内国際交流も
- 大学教職員も学寮生活の運営をサポート

目白キャンパス敷地内という通学の便利さ、広々とした学寮地区で、安全で快適な居住環境を提供します。

費用(2024年度参考)		単位:円(年額)			
入寮費 (入寮手続時のみ)	更新料 ※1か年度ごと	寮費等(入寮費/更新料を除く)			合計
		寮費(光熱水費含む)	食費	諸雑費	
120,000	(2年後以降) 60,000	1,056,000	168,300	1,800	1,226,100

- 更新料は、入寮日の属する年度の翌年度を超えて在寮する場合、1ヵ年度ごとに納入していただきます。
- 食事は月曜～金曜は1日2食(朝・夕)、土曜1食(朝)の提供です。原則、授業のない長期休暇中等は食事提供がありません。
- 諸雑費は、学寮内での行事等のため徴収しています。

JWU_Club Activities サークル活動



バスケットボール部
みんなで楽しく、勝利を目指して練習をしています。部員は先輩、後輩とても仲が良く、初心者大歓迎です。



池坊華道部
部員と、外部からお招きしている先生で活動をしています。目白祭ではロビーでお花を生けます。



オリエンテーリング・クラブ
地図とコンパスを片手に森の中を駆け巡るオリエンテーリングというスポーツを行っています。



少林寺拳法部
少林寺拳法は護身を目的とした武道です。先生や先輩方の丁寧な指導のもと、日々楽しく活動しています。



放送研究会
週1回の活動で技術を磨き、作品を制作しています。初心者の方大歓迎！一緒に素敵な作品をつくりませんか。



コール・メロディオン
コール・メロディオンは「音楽を楽しむこと」をモットーに活動しているとてもアットホームな混声合唱団です。



写真部
年2回ほど開かれる展示会に向けて、個人のペースで写真を撮っています。夏休みはカメラツアーを行います。



茶道部(裏千家)
お点前ができるようになることを目標に、週1回楽しく、お稽古をしています。大学入学後に茶道を始めた部員も多いです。



BANDS'
BANDS'では、ギター、ベース、ドラム、ボーカル... どう楽しむかは自分次第！思い思いに活動できます。

- 文化系サークル**
- CHS ボランティアサークル
 - E.S.S.(English Speaking Society)
 - NEJIRO
 - WASA
 - 青空子ども会II
 - 駒場子ども会
 - 仙人掌
 - 史学会
 - 児童文学研究会ひなぎく
 - 手話サークルHAND IN HAND
 - 日本女子大学映画研究会
 - 日本女子大学かるた会
 - 日本女子大学レゴサークル
 - ばすます
 - 放送研究会(J.W.B.C)
 - 漫画研究会 @
 - メディア研究会Plus

- 芸術サークル**
- Theatre MERCURY
 - 池坊華道部
 - 観世流能楽研究会
 - 劇団ピアチェレ
 - 茶道部表千家
 - 茶道部裏千家
 - 写真部
 - 書道研究会
 - 草月流華道部
 - 日本女子大学短歌会
 - 美術サークル

- 音楽サークル**
- BANDS'
 - 軽音楽研究会
 - コール・メロディオン
 - シャンソン研究会
 - 箏曲研究会(生田流)
 - 日本女子大学オーケストラ
 - 日本女子大学合唱団
 - 日本女子大学コール・クライネス
 - 日本女子大学緑会合唱団
 - フォルクローレ愛好会
 - マンドリンクラブ

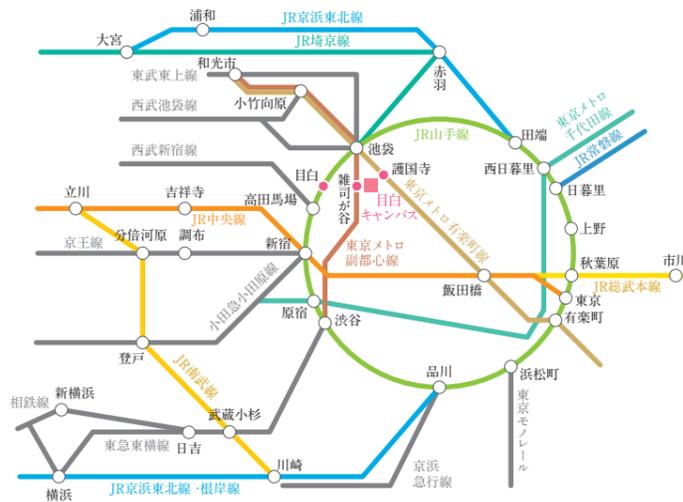
- 体育会**
- 合気道部
 - 弓道部
 - 競技ダンス部
 - 剣道部
 - 硬式野球部
 - ゴルフ部
 - 少林寺拳法部
 - 水泳部
 - バスケットボール部
 - バレーボール部
 - フィギュアスケート部
 - ラクロス部
 - 陸上競技部

- スポーツサークル**
- F.S.S.テニスクラブ
 - T.E.A.(Trial and error association)
 - TECK2(テクテク)
 - オリエンテーリング・クラブ
 - 卓球部
 - 日本女子大学フィールドアーチェリー同好会
 - バドミントンサークル bitter-ender
 - JWUフットサルサークル

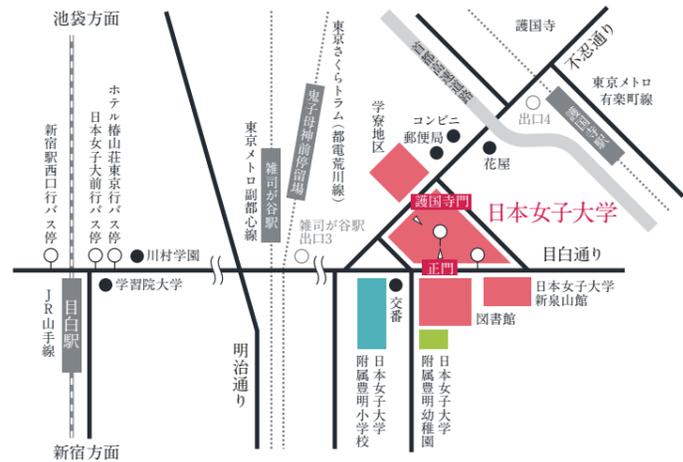
※掲載の写真は一例です。その他、いくつかの同好会があります。

目白キャンパス アクセスマップ

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1



- JR山手線 目白駅下車/徒歩約15分
都営バス 約5分 [目白駅前乗車～日本女子大前下車]
・日本女子大前行(学05)・新宿駅西口行・ホテル椿山荘東京行(白61)
- 東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車(出口3)/徒歩約8分
- 東京メトロ有楽町線 護国寺駅下車(出口4)/徒歩約10分
- 東京さくらトラム(都電荒川線) 鬼子母神前停留場下車/徒歩約10分



オープンキャンパス

日本女子大学では進学希望者を対象に、目白キャンパスで「オープンキャンパス」を実施しています。(事前申込制)学科での学び、卒業後の進路や入試制度など、小さな疑問でも気軽にご相談ください。

6/16(日)
10:00～15:00 (受付終了14:30)
対象/全学部

8/3(土)
10:00～15:00 (受付終了14:30)
対象/文学部・人間社会学部・国際文化学部

8/4(日)
10:00～15:00 (受付終了14:30)
対象/家政学部・理学部・建築デザイン学部・食科学部
(仮称・届出中)

9/8(日)
10:00～15:00 (受付終了14:30)
対象/全学部

※当日のプログラム等は、ホームページをご覧ください。

- 模擬講義
- 学科企画
(学科説明、教員・在学生との懇談、ゼミ紹介など)
- 総合ガイダンス
- オープンキャンパス スタッフ企画
- 入試概要説明
- 保護者向けガイダンス
- 個別相談コーナー
(就職、留学、入試など)
- キャンパス見学ツアー
- 入試資料閲覧、配布
- 学寮地区見学

資料請求

2025年度入試募集要項

▼ Webからダウンロード

一般選抜(個別選抜型)、一般選抜(英語外部試験利用型)、一般選抜(大学入学共通テスト利用型(前期3,4科目型・5科目型))、一般選抜(大学入学共通テスト利用型(後期))、総合型選抜、学校推薦型選抜(公募制)、外国人留学生入試、社会人入試、編入学試験、学士入学試験

日本女子大学ホームページからダウンロードしてください。
<https://www.jwu.ac.jp/univ/admission/exam/application.html>



大学案内・過去問題・入試ガイド

▼ Webから請求

- ・大学案内「日本女子大学Guidebook 2025」
- ・一般選抜入学試験問題集
- ・入学試験ガイド
- 〈総合型選抜、学校推薦型選抜(公募制)、外国人留学生入試、社会人入試、編入学・学士入学〉

スマートフォン・携帯電話からも資料請求ができます。
<https://www.jwu.ac.jp/univ/request/univ.html>



▼ 入試に関するお問い合わせ・資料請求先

日本女子大学 入試課
平日/9:00～17:00 土曜/9:00～12:00

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
TEL: 03-5981-3786(直通) E-mail: n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp

Entrance Examination

2025年度から 新しい入試制度が始まります。

New.1 総合型選抜（桜楓樹給付奨学金）… 詳細は103ページ

従来の総合型選抜と給付型の奨学金を組み合わせた新しい制度が始まります。

※入学金20万円と入学後にかかる学費等を最大4年間、全額給付します。

例：家政学部児童学科の場合

1年次 入学金+学費等=1,440,260円

※対象者は1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）を除く道府県にお住まいの方、かつ奨学金給付者として採用された場合に、本学の入学を確約できる方。

New.2 大学入学共通テスト利用型（前期5科目型）… 詳細は108ページ

2025年度から大学入学共通テスト利用型（前期5科目型）を実施します。

一般選抜の個別選抜型・英語外部試験利用型、大学入学共通テスト利用型（前期3、4科目）、大学入学共通テスト利用型（後期）と併願が可能です。
多くの科目を勉強している方や国公立大学と併願する方におすすめです。

さらに一般選抜（個別選抜型）の併願パターンが広がります。

個別選抜型において、選択科目が合えば、学部内の併願も可能になります。

例：選択科目を「英語」「国語」「数学」とした場合、

家政学部の児童学科・被服学科・家政経済学科を個別選抜型3科目入試で受験することができます。

学部内併願で
チャンスが
広がる！

【2024年度までの制度】

(例)
家政学部 児童学科
被服学科
家政経済学科

1学科のみ
受験可能

【2025年度からの新制度】

(例)
家政学部 児童学科
被服学科
家政経済学科

全学科
受験可能

※選択科目を同じにする必要があります。

Information



募集要項等は
こちらから



過去問題・
入学試験ガイドは
こちらから

【2025年度 入学試験日程】

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	
総合型選抜	2024年9月9日(月) ～9月13日(金)	2024年10月27日(日)	2024年 11月1日(金)	2024年11月1日(金) ～11月15日(金)	
学校推薦型選抜 (指定校制/連携校)	詳細は、ご自身の通われている高等学校にご確認ください。				
学校推薦型選抜(公募制)	2024年11月1日(金) ～11月8日(金)	2024年12月8日(日)	2024年 12月13日(金)	2024年12月13日(金) ～12月20日(金)	
外国人留学生入試	2024年10月21日(月) ～10月25日(金)		2025年 1月17日(金)	2025年1月17日(金) ～1月27日(月)	
社会人入試			2024年 12月13日(金)	2024年12月13日(金) ～12月20日(金)	
編入学・学士入学					
一般選抜	個別選抜型 英語外部試験利用型	2025年1月4日(土) ～1月16日(木)	2025年2月1日(土) 文学部 2025年2月2日(日) 人間社会学部・国際文化学部 2025年2月3日(月) 家政学部・理学部・ 建築デザイン学部・食科学部(仮称)	2025年 2月13日(木)	2025年2月13日(木) ～2月27日(木)
	大学入学共通テスト利用型 (前期3、4科目型) (前期5科目型)	2025年1月4日(土) ～1月24日(金)	大学個別の学力試験は ありません。	2025年 2月13日(木)	2025年2月13日(木) ～2月27日(木)
	大学入学共通テスト利用型 (後期)	2025年2月10日(月) ～2月25日(火)	2025年 3月7日(金)	2025年3月7日(金) ～3月13日(木)	

※その他、外国人留学生入試/社会人入試/編入学・学士入学の詳細は、募集要項をご覧ください(7月上旬公開予定)。

【入学検定料】

[一般選抜(個別選抜型)検定料併願割引]

1学科受験…35,000円(2学科目以降は、1学科につき15,000円)

一般選抜(個別選抜型)で複数学科を同時に受験する場合(同一学部の2科目入試・3科目入試を同時に受験する場合も含む)、検定料が割引となります。ぜひ、複数学部・学科の受験にもチャレンジしてみてください。

[一般選抜(英語外部試験利用型)]

1学科受験…35,000円(2学科目以降は10,000円)

一般選抜(個別選抜型)(1学科:35,000円)と同時に受験する場合、または、当該入試で2学科以上同時受験の2学科目以降は、1学科あたり10,000円。

詳細は本学ホームページでご確認ください。

[一般選抜(大学入学共通テスト利用型)検定料]

1学科につき……………15,000円

併願割引の例
個別選抜型で2学科、英語外部試験利用型で1学科を受験する場合

一般選抜(個別選抜型)1学科目……………35,000円

一般選抜(個別選抜型)2学科目……………15,000円
(併願割引適用)

一般選抜(英語外部試験利用型)……………10,000円
(併願割引適用)

合計……………60,000円

1 総合型選抜

他大学とも併願可能です！



募集要項等は
こちらから



過去問題・
入学試験ガイドは
こちらから

第1次選考では自己アピールや志望理由書等による書類選考を行い、
第2次選考では小論文、面接・口述試験等を行います。
学力だけでなく、学校生活で力を入れてきたことや、学びへの意欲をアピールできる入試です。

【実施学科・募集人員・出願要件】

学部・学科	募集人員	必要な外国語検定試験資格	対象となる外国語検定試験資格の名称	スコア	
家政学部	児童学科	20名	—	実用英語技能検定試験(英検)(CSE2.0)	2級以上の1950以上
	被服学科	20名	—	TEAP (4技能)	225以上
	家政経済学科	5名	※1	TEAP CBT	420以上
文学部	日本文学科	25名	—	GTEC	930以上
	英文学科	10名	※1	GTEC CBT	
	史学科	8名	—	ケンブリッジ英語検定	140以上
人間社会学部	現代社会学科	3名	※1・※2いずれか	IELTS™ (アカデミック・モジュールに限る)	4.0以上
	社会福祉学科	10名	—	TOEFL iBT®	42以上
	教育学科	4名	※1～※3いずれか	実用フランス語技能検定試験	3級以上
	心理学科	4名	※1	DELF	A1以上
理学部	数物情報科学科	12名	—	TCF	100点以上
	化学生命科学科	12名	—	ドイツ語技能検定試験	3級以上
国際文化学部	国際文化学科	25名	※1～※3いずれか	ゲーテ	A2以上
建築デザイン学部	建築デザイン学科	6名	※1	中国語検定	3級以上
食科学部 (仮称・届出中)	食科学科 (仮称・届出中)	2名	※1	HSK (漢語水平考)	4級 (195点) 以上
	栄養学科 (仮称・届出中)	2名	※1	TOPIK II	4級以上
				ハングル能力検定試験	3級以上
			※3 このうちの いずれか	・外国において学校教育制度に基づく高等学校(10学年以上に相当する課程)で、継続して2学年以上の課程を修了した者(2025年3月までに修了見込みの者を含む)。ここでいう「外国の学校教育制度に基づく高等学校」には、在外教育施設は含まない。 ・学校教育における12年以上の課程のうち、通算して3学年以上の課程を日本国外において修了し、かつ、その海外体験をとおして、文化研究や文化創造に強い意欲を持つ者。	

■外国語検定試験の証明書は出願締切日より遡って2年以内に受験しているものであること。
■出願書類については、募集要項をご確認ください。

【第1次選考】書類審査 (自己アピール、志望理由書、調査書等)
【第2次選考】小論文、面接、口述試験等 (以下のとおり)

学部・学科	1時限 (9:30~10:30)	2時限 (11:00~11:40)	3時限 (13:00~)
家政学部	児童学科	小論文	—
	被服学科	小論文	—
	家政経済学科	適性検査 (基礎学力)	—
文学部	日本文学科	—	古文読解
	英文学科	小論文 (日本語)	—
	史学科	—	口述試験 (日本語のみ)
人間社会学部	現代社会学科	小論文	—
	社会福祉学科	小論文	—
	教育学科	適性検査 (基礎学力)	—
	心理学科	—	—
理学部	数物情報科学科	適性検査 (基礎学力)	小論文
	化学生命科学科	適性検査 (基礎学力)	小論文
国際文化学部	国際文化学科	小論文	—
建築デザイン学部	建築デザイン学科	空間表現	—
食科学部 (仮称・届出中)	食科学科 (仮称・届出中)	小論文	—
	栄養学科 (仮称・届出中)	小論文	—

総合型選抜 (桜楓樹給付奨学金) New.1



募集要項等は
こちらから

【概要・趣旨】
桜楓樹給付奨学金は本学関係者の寄付金から給付されるもので、地方からの進学者の経済的負担を軽減することを目的とし、経済的支援を必要とする優秀な者に対し、入学金・学費等として最大4年間の給付を入学前に約束するものです。
総合型選抜の通常の試験に加え、別途申請書類および面接により奨学金給付の対象者を選考します。

【日程】
総合型選抜に準じる
総合型選抜の試験に加え、以下の日程にて面接を実施
面接 (オンライン予定) : 2024年11月9日 (土)
奨学金給付の対象者決定 : 2024年11月12日 (火)

【出願資格】
総合型選抜の出願資格に加え以下のすべての条件を満たす者
(1) 本学を第一志望とし、入学を確約できる者
(2) 1都3県 (東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) 以外に設置された国内高等学校等出身者
(3) 父母の年収合計額が本学の基準を満たす者

【選考方法】
一次選考：書類 二次選考：面接
※総合型選抜の試験に加え、別途実施します。

【給付金額】
入学金20万円とその後4年間にかかる学費等を最大4年間、全額給付

【給付期間】
正規の標準修業年限内 (原則、休学期間を除く4年間)

【採用人数】 若干名

2 学校推薦型選抜 (公募制)



募集要項等は
こちらから



過去問題・
入学試験ガイドは
こちらから

2025年度より新たに食科学部 (仮称・届出中) でも実施します。
日本女子大学への入学を第一志望とし、明確な目的と意欲を持つ方を募集します。

【実施学科・募集人員・出願要件】

※1は P.102総合型選抜の表を参照

学部・学科	募集人員	学習成績の状況の基準等	必要な外国語検定試験資格
家政学部	児童学科	5名 次の条件を満たす者。	・全体の学習成績の状況が4.0以上。
	被服学科	2名 次の3点の条件をいずれも満たす者。	・全体の学習成績の状況が3.8以上。 ・数学IIを履修していること。 ・数学B、生物基礎、生物、化学基礎、化学、物理基礎、物理の7科目のうち3科目以上を履修していること。
文学部	日本文学科	4名 次の条件を満たす者。	・「国語」の学習成績の状況が4.0以上。
	英文学科	3名 次の条件を満たす者。	・全体の学習成績の状況が3.4以上。
	史学科	5名 次の2点の条件をいずれも満たす者。	・「国語」または「外国語 (英語)」の学習成績の状況が4.0以上。 ・「地理歴史」の学習成績の状況が4.0以上。
人間社会学部	社会福祉学科	5名 次の条件を満たす者。	・全体の学習成績の状況が3.8以上。
	教育学科	3名 次の2点の条件のいずれかを満たす者。	・全体の学習成績の状況が4.0以上。 ・「外国語 (英語)」 「国語」 「数学」 「理科」 「地理歴史または公民」 の計5教科のうち3教科の学習成績の状況の平均が3.8以上。
理学部	数物情報科学科	4名 次の2点の条件をいずれも満たす者。	・「数学」「理科」「情報」の3教科の学習成績の状況の平均が3.4以上。 ・数学IIIと数学Cを履修していること。
	化学生命科学科	6名 次の3点の条件をいずれも満たす者。	・「数学」「理科」「外国語 (英語)」の3教科の学習成績の状況の平均が3.5以上。 ・化学基礎、生物基礎の2科目を履修していること。 ・化学または生物、あるいは両方を履修していること。
食科学部 (仮称・届出中)	食科学科 (仮称・届出中)	1名 次の2点の条件をいずれも満たす者。	・全体の学習成績の状況が4.0以上。 ・化学、生物*の学習成績の状況がそれぞれ4.0以上。 *化学基礎、生物基礎は含まない。
	栄養学科 (仮称・届出中)	1名	

【第1次選考】書類審査 (自己アピール、志望理由書、調査書等)
【第2次選考】小論文、口述試験 (以下のとおり)

学部・学科	1時限 (9:30~10:30)	2時限 (13:00~)
家政学部	小論文	口述試験
文学部		
人間社会学部		
理学部		
食科学部 (仮称・届出中)		

一般選抜 (個別選抜型・英語外部試験利用型) 併願のポイント

個別選抜型・英語外部試験利用型において、選択科目が合えば、複数の併願も可能になります。

1度の試験で多くの受験機会を得ることができます。

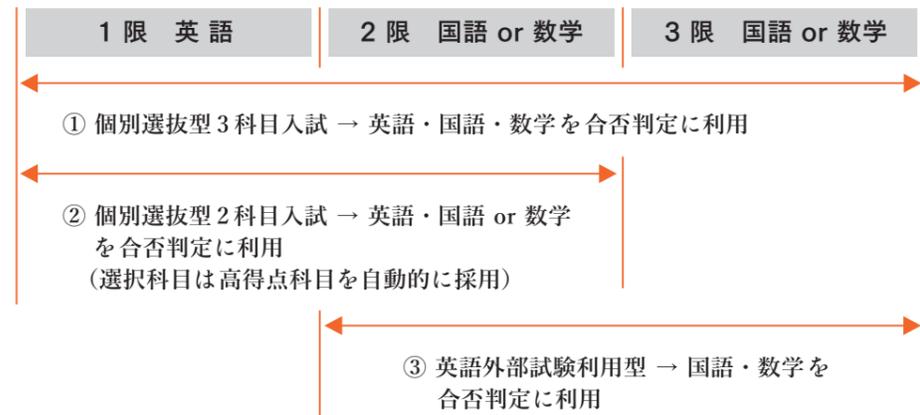
個別選抜型3科目入試・個別選抜型2科目入試・英語外部試験利用型それぞれで
児童学科に出席し、英語・国語・数学で受験をすると...

(例)

児童学科を強く希望する場合

1日の試験で、最大3つの合否の判定が得られます。

その他の併願パターンは募集要項にてご確認ください。



3 一般選抜 個別選抜型

本学独自の入試問題を利用し、2科目または3科目の筆記試験を行う最も募集人数の多い試験制度です。



募集要項等は
こちらから



過去問題・
入学試験ガイドは
こちらから

2科目入試 [募集人員・試験教科・科目・配点]

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
家政学部	児童学科	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点	
		数学/国語	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】の2科目より1科目選択	100点		
	被服学科	23名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点
数学/国語/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】 【物理基礎、物理】の5科目より1科目選択	100点				
家政経済学科	45名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点	
数学/国語	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】の2科目より1科目選択	100点				
理学部	数物情報科学科	28名	数学	【数学I, II, III, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)】	100点	200点
	外国語/理科	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】 / 【物理基礎、物理】 【化学基礎、化学】の3科目より1科目選択	100点			
化学生命科学科	28名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点	
数学/理科	【数学I, II, III, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より1科目選択	100点				
建築デザイン学部	建築デザイン学科	18名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点
		数学/国語/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】 / 【物理基礎、物理】の3科目より1科目選択	100点		
食科学部	食科学科 (仮称・届出中)	15名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点
		数学/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より1科目選択	100点		
	栄養学科 (仮称・届出中)	20名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	200点
数学/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より1科目選択	100点				

● 選択科目は、難易度差による有利・不利が生じないよう得点調整を行います。 ● 出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。

一般選抜 個別選抜型

3科目入試 [募集人員・試験教科・科目・配点]

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
家政学部	児童学科	3名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点
		数学/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】 【物理基礎、物理】の4科目より1科目選択	100点		
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
家政経済学科	3名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点	
		数学/国語/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】 【物理基礎、物理】の5科目より2科目選択	各100点		
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	※150点 ※50点		

※家政経済学科=数学、国語について傾斜配点を行い、数学は100点を150点満点として扱い、国語は100点を50点満点として扱う (計300点)。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
文学部	日本文学科	42名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	350点
		国語	【現代の国語、言語文化】	※150点		
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】 【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択	100点		
英文学科	60名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	※150点	350点	
		国語	【現代の国語、言語文化】	100点		
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】 【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択	100点		
史学科	40名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	350点	
		国語	【現代の国語、言語文化】	100点		
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】 【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択	※150点		

※日本文学科=国語について、英文学科=外国語について、史学科=地理歴史について傾斜配点を行い、100点を150点満点として扱う (計350点)。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
人間社会学部	現代社会学科	60名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
		数学/地理歴史	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【日本史探究】 【世界史探究】の3科目より1科目選択	100点		
社会福祉学科	47名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点	
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
		数学/地理歴史	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【日本史探究】 【世界史探究】の3科目より1科目選択	100点		
教育学科	40名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点	
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
		数学/地理歴史	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【日本史探究】 【世界史探究】の3科目より1科目選択	100点		
心理学科	38名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点	
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
		数学/地理歴史	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【日本史探究】 【世界史探究】の3科目より1科目選択	100点		

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
理学部	数物情報科学科	10名	外国語	【コミュニケーション英語I, II, III, 英語表現 I, II, III】	100点	300点
		数学	【数学I, II, III, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)】	100点		
		理科	【物理基礎、物理】 【化学基礎、化学】の2科目より1科目選択	100点		
化学生命科学科	12名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点	
		数学/理科	【数学I, II, III, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点		

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
国際文化学部	国際文化学科	40名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	※120点	320点
		国語	【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】	100点		
		数学/地理歴史	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【日本史探究】 【世界史探究】の3科目より1科目選択	100点		

※国際文化学科=外国語について傾斜配点を行い、100点を120点満点として扱う (計320点)。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
建築デザイン学部	建築デザイン学科	36名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点
		数学/国語/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【現代の国語、言語文化 (漢文を除く)】 / 【物理基礎、物理】の3科目より2科目選択	各100点		

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計点	
食科学部	食科学科 (仮称・届出中)	8名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点
		数学/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点		
	栄養学科 (仮称・届出中)	10名	外国語	【英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現 I, II, III】	100点	300点
数学/理科	【数学I, II, A (図形の性質、場合の数と確率), B (数列), C (ベクトル)】 / 【化学基礎、化学】 【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点				

● 選択科目は、難易度差による有利・不利が生じないよう得点調整を行います。 ● 出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。

4 一般選抜 英語外部試験利用型



募集要項等は
こちらから



過去問題・
入学試験ガイドは
こちらから

英語外部試験のスコアが出願要件を満たすことにより、個別選抜型3科目入試のうち、外国語(英語)以外の2科目で受験が可能な制度です。さらに基準Ⅰ、基準Ⅱのスコアを満たすことにより、受験した2科目の点数に加点があります。

[出願要件]

学部・学科	対象となる英語外部試験	スコア
全学部 全学科	実用英語技能検定試験(英検)(CSE2.0)	2級以上の1950以上
	TEAP	225以上
	TEAP CBT	420以上
	GTEC	930以上
	ケンブリッジ英語検定	140以上
	IELTS™(アカデミック・モジュールに限る)	4.0以上
	TOEFL iBT®	42以上

■外国語検定試験の証明書は出願締切日より遡って2年以内に受験しているものであること。
■出願書類については、入学者募集要項をご確認ください。

[加点基準]

出願要件よりも高い基準Ⅰ・基準Ⅱのスコアを保持している場合は、受験する2科目の点数に加点します。

基準Ⅰ	英検 CSE : 2100 / TEAP : 260 / TEAP CBT : 470 / GTEC : 1050
	ケンブリッジ英検 : 150 / IELTS™ : 4.5 / TOEFL iBT® : 56
基準Ⅱ	英検 CSE : 2300 / TEAP : 309 / TEAP CBT : 600 / GTEC : 1180
	ケンブリッジ英検 : 160 / IELTS™ : 5.5 / TOEFL iBT® : 72

学部・学科	基準Ⅰ	基準Ⅱ	
家政学部	児童学科	10点	20点
	被服学科	5点	10点
	家政経済学科	10点	20点
文学部	日本文学科	10点	20点
	英文学科		
	史学科	20点	40点
人間社会学部	現代社会学科	10点	20点
	社会福祉学科		40点
	教育学科		20点
	心理学科		20点

学部・学科	基準Ⅰ	基準Ⅱ	
理学部	数物情報科学科	10点	20点
	化学生命科学科		
国際文化学部	国際文化学科	20点	40点
建築デザイン学部	建築デザイン学科	10点	20点
食科学部 (仮称・届出中)	食科学科(仮称・届出中)	5点	10点
	栄養学科(仮称・届出中)		

[募集人員・試験教科・科目・配点]

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計
家政学部	2名	数学	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】	100点	200点
		国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】	100点	
	2名	数学/国語/理科	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】/【化学基礎、化学】【生物基礎、生物】【物理基礎、物理】 の5科目より2科目選択	各100点	200点
家政経済学科	2名	数学	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】 ※数学について傾斜配点を行い、100点を150点満点として扱う。	※150点	200点
		国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】 ※国語について傾斜配点を行い、100点を50点満点として扱う。	※50点	
	2名	数学/国語/理科	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】/【化学基礎、化学】【生物基礎、生物】【物理基礎、物理】 の5科目より2科目選択	各100点	200点
文学部	2名	国語	【現代の国語、言語文化】 ※国語について傾斜配点を行い、100点を150点満点として扱う。	※150点	250点
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択	100点	
	8名	国語	【現代の国語、言語文化】	100点	200点
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択	100点	
	2名	国語	【現代の国語、言語文化】	100点	250点
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】の2科目より1科目選択 ※地理歴史について傾斜配点を行い、100点を150点満点として扱う。	※150点	
人間社会学部	5名	国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】	100点	200点
		数学/地理歴史	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/【日本史探究】【世界史探究】 の3科目より1科目選択	100点	
	2名	国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】	100点	200点
		数学/地理歴史	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/【日本史探究】【世界史探究】 の3科目より1科目選択	100点	
	3名	国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】	100点	200点
		数学/地理歴史	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/【日本史探究】【世界史探究】 の3科目より1科目選択	100点	
理学部	3名	数学	【数学Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)】	100点	200点
		理科	【物理基礎、物理】【化学基礎、化学】の2科目より1科目選択	100点	
国際文化学部	10名	国語	【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】	100点	200点
		数学/地理歴史	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/【日本史探究】【世界史探究】 の3科目より1科目選択	100点	
建築デザイン学部	5名	数学/国語/理科	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【現代の国語、言語文化(漢文を除く)】/【物理基礎、物理】の3科目より2科目選択	各100点	200点
		食科学科(仮称・届出中)	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【化学基礎、化学】【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点	
食科学部 (仮称・届出中)	1名	数学/理科	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【化学基礎、化学】【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点	200点
		栄養学科(仮称・届出中)	【数学Ⅰ,Ⅱ,A(図形の性質、場合の数と確率),B(数列),C(ベクトル)】/ 【化学基礎、化学】【生物基礎、生物】の3科目より2科目選択	各100点	

●選択科目は、難易度差による有利・不利が生じないよう得点調整を行います。●出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。

5 一般選抜 大学入学共通テスト利用型（前期5科目型）New.2

1月18日、19日に実施される大学入学共通テストの試験結果のみで判定を行う入試制度です。
出願期間が1月24日までのため、大学入学共通テストの結果を確認してから出願が可能です。



募集要項等は
こちらから

【募集人員・試験教科・科目・配点】

※選択科目を複数受験している場合は高得点の科目を合否判定に利用します。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
家政学部	児童学科	外国語	【英語】	100点	500点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆外国語は満点200点を100点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
		地理歴史 公民 数学 理科	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】上記より3科目選択	各100点		
	被服学科	外国語	【英語】【フランス語】より1科目選択	100点	500点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆外国語は満点200点を100点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
		地理歴史 公民 理科 情報	【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【物理】【化学】【生物】／【情報Ⅰ】上記より2科目選択	各100点		
家政経済学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	800点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆数学は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。	
	国語	【国語】	200点			
	地理歴史 公民	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】上記より1科目選択	100点			
文学部	日本文学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	150点	650点	◆外国語は満点200点を150点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
		地理歴史 公民 理科	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】上記より2科目選択	各100点		
	英文学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	100点	600点	◆国語は満点200点を100点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
		地理歴史 公民 理科	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】上記より2科目選択	各100点		
史学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	800点	◆地理歴史／公民は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。	
	国語	【国語】	200点			
	地理歴史 公民	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】上記より1科目選択	200点			
人間社会学部	現代社会学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	100点	500点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆外国語は満点200点を100点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。【地理総合、歴史総合、公共】を選択した場合は、残りの2教科2科目を地理歴史／公民から選択することはできない。数学／理科／情報から選択すること。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
		地理歴史 公民 数学 理科 情報	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】／【情報Ⅰ】上記より3教科3科目選択	各100点		
	社会福祉学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	100点	500点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆外国語は満点200点を100点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
		地理歴史 公民	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】上記より2科目選択	各100点		
教育学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	100点	500点	◆外国語と国語は満点200点を100点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目を合わせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。	
	国語	【国語】	100点			
	地理歴史 公民 数学 理科 情報	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】／【情報Ⅰ】上記より3科目選択	各100点			
心理学科	外国語	【英語】	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆地理歴史・公民はあわせて1教科として扱う（地理歴史・公民から2科目選択は不可）。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。	
	国語	【国語】	200点			

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
理学部	数物情報科学科	外国語	【英語】	100点	500点	◆英語はリーディングの配点100点を80点に換算し、リスニングの配点100点を20点に換算して100点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
化学生命科学科	3名	数学	【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】	100点	500点	◆英語はリーディングの配点100点を80点に換算し、リスニングの配点100点を20点に換算して100点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		理科 情報	【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】／【情報Ⅰ】上記より1科目選択	100点		
国際文化学部	国際文化学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	300点	800点	◆英語はリーディングの配点100点を200点に換算し、リスニングの配点100点をあわせて300点とする。その他の外国語は満点200点を300点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
建築デザイン学部	建築デザイン学科	地理歴史 公民	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】上記より1科目選択	100点	700点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		数学 理科	【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】より1科目選択 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】／【情報Ⅰ】上記より1科目選択	100点		
食科学部 (仮称・届出中)	食科学科 (仮称・届出中)	外国語	【英語】	200点	700点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆数学は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
栄養学科 (仮称・届出中)	1名	数学	【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】より1科目選択	200点	700点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆数学は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		理科	【物理基礎、化学基礎、生物基礎】【物理】【化学】【生物】上記より2科目選択	200点		

●出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。詳細は本学ホームページを参照してください。

6 一般選抜 大学入学共通テスト利用型（前期3、4科目型）

1月18日、19日に実施される大学入学共通テストの試験結果のみで判定を行う入試制度です。
出願期間が1月24日までのため、大学入学共通テストの結果を確認してから出願が可能です。



募集要項等は
こちらから

【募集人員・試験教科・科目・配点】

※選択科目を複数受験している場合は高得点の科目を合否判定に利用します。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
家政学部	児童学科	外国語	【英語】	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
		地理歴史 公民 数学 理科	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】上記より1科目選択	200点		
被服学科	4名	外国語	【英語】	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。
		国語	【国語】	200点		
		理科	【物理】【化学】【生物】より1科目選択	200点		
家政経済学科	4名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を150点に換算し、リスニングの配点100点を60点に換算して200点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
		地理歴史 公民 数学	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】上記より1科目選択	200点		
文学部	日本文学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	150点	400点	◆国語は満点200点を150点に換算。 ◆外国語は満点200点を150点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	150点		
英文学科	10名	地理歴史 公民 数学 理科 情報	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】／【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】／【数学Ⅰ】【数学Ⅰ、数学A】【数学Ⅱ、数学B、数学C】／【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】／【情報Ⅰ】上記より1科目選択	100点	700点	◆英語はリーディングの配点100点を240点に換算し、リスニングの配点100点を60点に換算して300点とする。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		外国語	【英語】	300点		
史学科	14名	国語	【国語】	200点	700点	◆地理歴史は満点100点を300点に換算。
		地理歴史	【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】より1科目選択	300点		

(前ページからの続き)

一般選抜 大学入学共通テスト利用型(前期3、4科目型)

[募集人員・試験教科・科目・配点]

※選択科目を複数受験している場合は高得点の科目を合否判定に利用します。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
人間社会学部	現代社会学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
	地理歴史 公民 数学 理科 情報	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より1科目選択	200点			
	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点			
社会福祉学科	4名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
教育学科	3名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
心理学科	4名	外国語	【英語】	200点	400点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆地理歴史・公民はあわせて1教科として扱う 【地理歴史・公民から2科目選択は不可】。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報	【国語】/ 【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より2教科2科目選択	各100点		
理学部	数情報科学科	外国語	【英語】	100点	400点	◆英語はリーディングの配点100点を80点に換算し、リスニングの配点100点を20点に換算して100点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		数学	【数学I、数学A】 【数学II、数学B、数学C】	100点 100点		
	国語 理科 情報	【国語】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より1科目選択	100点			
	外国語	【英語】	200点			
化学生命科学科	10名	外国語	【英語】	200点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算して200点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語/数学	【国語】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】より1科目選択	200点		
国際文化学部	国際文化学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	300点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を200点に換算し、リスニングの配点100点をあわせて300点とする。その他の外国語は満点200点を300点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
建築デザイン学部	建築デザイン学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報	【国語】/ 【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】 上記より2教科2科目選択 ただし、2教科のうち1教科は数学または理科を含めること	各200点		
食科学部	食科学科 (仮称・届出中)	外国語	【英語】	200点	700点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆数学と理科は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	100点		
栄養学科 (仮称・届出中)	4名	数学	【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】より1科目選択	200点	700点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆数学と理科は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		理科	【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】 上記より1科目選択	200点		

●出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。詳細は本学ホームページを参照してください。

7 一般選抜 大学入学共通テスト利用型(後期)

1月18日、19日に実施される大学入学共通テストの試験結果のみで判定を行う入試制度です。



募集要項等は
こちらから

[募集人員・試験教科・科目・配点]

※選択科目を複数受験している場合は高得点の科目を合否判定に利用します。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
家政学部	児童学科	外国語	【英語】	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
	地理歴史 公民 数学 理科	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】 上記より1科目選択	200点			
	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点			
被服学科	2名	外国語	【英語】	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。
		国語/数学 理科	【国語】/ 【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】より1科目選択 【物理】【化学】【生物】より1科目選択	200点 200点		
家政経済学科	3名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を150点に換算し、リスニングの配点100点を50点に換算して200点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆地理歴史/公民をあわせて1教科として扱う(地理歴史/公民から2科目選択は不可)。 【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学	【国語】/ 【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】 上記より2教科2科目選択	各200点		
文学部	日本文学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	700点	◆国語は古典の配点90点を190点に換算し近代以降の文章の配点110点をあわせて300点とする。 ◆国語と外国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	300点		
	地理歴史 公民 数学 理科 情報	【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より1科目選択	200点			
	外国語	【英語】	200点			
英文学科	3名	外国語	【英語】	350点	750点	◆英語はリーディングの配点100点を300点に換算し、リスニングの配点100点を50点に換算して350点とする。 ◆外国語と国語以外の科目の配点は100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
史学科	5名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	700点	◆地理歴史は満点100点を300点に換算。
		国語 地理歴史	【国語】/ 【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】より1科目選択	200点 300点		
現代社会学科	2名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
社会福祉学科	3名	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語	【国語】	200点		
人間社会学部	教育学科	外国語	【英語】【ドイツ語】【フランス語】【中国語】【韓国語】より1科目選択	200点	600点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報	【国語】/ 【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より1科目選択	200点		
心理学科	3名	外国語	【英語】	200点	400点	◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆地理歴史・公民はあわせて1教科として扱う 【地理歴史・公民から2科目選択は不可】。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学 理科 情報	【国語】/ 【地理総合、地理探究】【歴史総合、日本史探究】【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】【公共、政治・経済】【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】【数学I、数学A】【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】【物理】【化学】【生物】【地学】/ 【情報I】 上記より2教科2科目選択	各100点		

(前ページからの続き)

一般選抜 大学入学共通テスト利用型(後期)

[募集人員・試験教科・科目・配点]

※選択科目を複数受験している場合は高得点の科目を合否判定に利用します。

学部・学科	募集人員	教科	科目・出題範囲	配点	合計	備考
理学部 数物情報科学科	3名	外国語	【英語】	200点	400点	◆英語はリーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算して200点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を100点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 数学 理科 情報	【国語】/ 【数学I、数学A】 【数学II、数学B、数学C】/ 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】 【物理】 【化学】 【生物】 【地学】/ 【情報I】 上記より2科目選択	各100点		
理学部 化学生命科学科	3名	外国語	【英語】	200点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を160点に換算し、リスニングの配点100点を40点に換算して200点とする。 ◆国語は近代以降の文章のみとし、配点110点を200点に換算。 ◆外国語と国語以外の科目は満点100点を200点に換算。 ◆理科の「基礎を付した科目」は、2科目あわせて1科目として扱う。
		国語/数学 理科	【国語】/ 【数学I】 【数学I、数学A】 【数学II、数学B、数学C】より1科目選択 【物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎】 【物理】 【化学】 【生物】 【地学】 上記より1科目選択	200点		
国際文化学部 国際文化学科	3名	外国語	【英語】 【ドイツ語】 【フランス語】 【中国語】 【韓国語】より1科目選択	300点	600点	◆英語はリーディングの配点100点を200点に換算し、リスニングの配点100点とあわせて300点とする。その他の外国語は満点200点を300点に換算。 ◆【地理総合、歴史総合、公共】は2科目あわせて1科目として扱う。
		国語 地理歴史 公民 数学	【国語】 【地理総合、地理探究】 【歴史総合、日本史探究】 【歴史総合、世界史探究】/ 【公共、倫理】 【公共、政治・経済】 【地理総合、歴史総合、公共】/ 【数学I】 【数学I、数学A】 【数学II、数学B、数学C】 上記より1科目選択	200点 100点		
建築デザイン学部 建築デザイン学科	5名	外国語 数学 理科	【英語】 【ドイツ語】 【フランス語】 【中国語】 【韓国語】/ 【数学I、数学A】 【数学II、数学B、数学C】/ 【物理】 【化学】 【生物】 【地学】 上記より2教科2科目選択	各200点	400点	◆外国語以外の科目は満点100点を200点に換算。

●出題範囲については旧教育課程の履修者にも配慮します。詳細は本学ホームページを参照してください。

2024年度入試結果

【一般選抜(個別選抜型)3教科入試・2教科入試結果】

学部・学科・専攻	個別選抜型(家政・理・建築2教科 文・人・社・国際3教科)							個別選抜型(家政・理・建築3教科)						
	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	正規合格最低点/満点	補欠発表数	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	正規合格最低点/満点	補欠発表数		
家政学部	児童学科	109	107	41(0)	2.6	124/200	21	12	12	6	2.0	165/300	—	
	食物学科	食物学専攻	82	81	21(4)	3.9	148/200	24	46	46	10	4.6	199/300	—
		管理栄養士専攻	157	156	36(6)	4.3	156/200	30	87	86	19	4.5	218/300	—
	被服学科	130	127	44(4)	2.9	119/200	42	24	24	8	3.0	167/300	—	
	家政経済学科	145	141	69(0)	2.0	120/200	37	20	20	10	2.0	166/300	—	
	学部計	623	612	211(14)	2.9	—	154	189	188	53	3.5	—	—	
文学部	日本文学科	320	306	145(0)	2.1	195/350	50	—	—	—	—	—	—	
	英文学科	187	180	80(0)	2.3	200/350	63	—	—	—	—	—	—	
	史学科	207	195	132(0)	1.5	175/350	19	—	—	—	—	—	—	
	学部計	714	681	357(0)	1.9	—	132	—	—	—	—	—	—	
人間社会学部	現代社会学科	382	362	159(0)	2.3	202/300	94	—	—	—	—	—	—	
	社会福祉学科	155	152	103(0)	1.5	174/300	30	—	—	—	—	—	—	
	教育学科	181	178	108(0)	1.6	186/300	31	—	—	—	—	—	—	
	心理学科	220	216	106(0)	2.0	197/300	56	—	—	—	—	—	—	
	学部計	938	908	476(0)	1.9	—	211	—	—	—	—	—	—	
理学部	数物情報科学科	132	126	61(0)	2.1	122/200	25	71	67	37	1.8	162/300	—	
	化学生命科学科	190	182	77(5)	2.4	124/200	43	107	103	57	1.8	159/300	—	
学部計	322	308	138(5)	2.2	—	68	178	170	94	1.8	—	—		
学部 国際文化	国際文化学科	313	304	118(8)	2.6	225/320	73	—	—	—	—	—	—	
	学部計	313	304	118(8)	2.6	—	73	—	—	—	—	—	—	
学部 建築デザイン	建築デザイン学科	253	243	62(0)	3.9	139/200	27	240	232	62(0)	3.7	195/300	40	
	学部計	253	243	62(0)	3.9	—	27	240	232	62(0)	3.7	—	40	
合計	3,163	3,056	1,362(27)	—	—	665	607	590	209(0)	—	—	40		

※合格最低点は偏差値による得点調整後の得点です。※合格者数の()は、補欠からの繰上合格者内数です。

【一般選抜(英語外部試験利用型)入試結果】

学部・学科・専攻	英語外部試験利用型						
	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格最低点/満点		
家政学部	児童学科	7	7	2	3.5	133/220	
	食物学科	食物学専攻	21	21	2	10.5	153/210
		管理栄養士専攻	48	48	8	6.0	141/210
	被服学科	7	7	4	1.8	110/210	
	家政経済学科	9	9	4	2.3	121/220	
学部計	92	92	20	4.6	—		
文学部	日本文学科	164	155	75	2.1	148/270	
	英文学科	149	139	95	1.5	103/220	
	史学科	101	96	75	1.3	138/290	
	学部計	414	390	245	1.6	—	
人間社会学部	現代社会学科	221	213	56	3.8	149/220	
	社会福祉学科	77	75	19	3.9	142/220	
	教育学科	110	107	40	2.7	139/240	
	心理学科	80	78	18	4.3	145/220	
	学部計	488	473	133	3.6	—	
理学部	数物情報科学科	25	23	13	1.8	114/210	
	化学生命科学科	32	29	10	2.9	124/210	
学部計	57	52	23	2.3	—		
学部 国際文化	国際文化学科	261	252	111	2.3	156/240	
	学部計	261	252	111	2.3	—	
学部 建築デザイン	建築デザイン学科	63	62	14	4.4	132/220	
	学部計	63	62	14	4.4	—	
合計	1,375	1,321	546	2.4	—		

※合格最低点は偏差値による得点調整後の得点です。

【一般選抜(個別選抜型3教科入試)選択科目別志願者数】

学部・学科・専攻	志願者数											
	国語・数学	国語・物理	国語・化学	国語・生物	数学・物理	数学・化学	数学・生物	物理・化学	物理・生物	化学・生物	計	
家政学部	児童学科	11	0	0	1	—	—	—	—	—	12	
	食物学科	食物学専攻	—	—	—	—	23	22	—	—	1	46
		管理栄養士専攻	—	—	—	—	40	45	—	—	2	87
	被服学科	11	0	0	4	3	5	1	0	0	24	
	家政経済学科	20	—	—	—	—	—	—	—	—	20	
学部計	42	0	0	5	3	68	68	0	0	3	189	
文学部		世界史	日本史									計
	日本文学科	66	254									320
	英文学科	81	106									187
	史学科	87	120									207
学部計	234	480									714	
人間社会学部		世界史	日本史	数学								計
	現代社会学科	126	221	35								382
	社会福祉学科	42	100	13								155
	教育学科	39	110	32								181
	心理学科	71	114	35								220
学部計	278	545	115								938	
理学部		物理	化学	数学・化学	数学・生物	化学・生物						計
	数物情報科学科	43	28	—	—	—						71
	化学生命科学科	—	—	78	17	12						107
学部計	43	28	78	17	12						178	
学部 国際文化		世界史	日本史	数学								計
	国際文化学科	138	156	19								313
学部計	138	156	19								313	
学部 建築デザイン		国語・数学	国語・物理	数学・物理								計
	建築デザイン学科	71	2	167								240
学部計	71	2	167								240	

【一般選抜(個別選抜型 2教科入試) 選択科目別志願者数】

学部・学科・専攻		志願者数						
		国語	数学	物理	化学	生物	計	
家政学部	児童学科	99	10	—	—	—	109	
	食物学科	食物学専攻	—	37	—	14	31	82
		管理栄養士専攻	—	76	—	36	45	157
		学部計	325	167	1	51	79	623
	被服学科	106	19	1	1	3	130	
	家政経済学科	120	25	—	—	—	145	
	学部計	325	167	1	51	79	623	
理学部	数物情報科学科	64	—	51	17	—	132	
	化学生命科学科	—	45	—	70	75	190	
	学部計	64	45	51	87	75	322	
	学部計	64	45	51	87	75	322	
建築デザイン学部	建築デザイン学科	99	119	35	—	—	253	
	学部計	99	119	35	—	—	253	
	学部計	99	119	35	—	—	253	

※3教科・2教科の併願者で欠席したものを除く。

【一般選抜(英語外部試験利用型) 選択科目別志願者数】

学部・学科・専攻		志願者数						
		国・数	数・物	数・化	数・生	化・生	計	
家政学部	児童学科	7	—	—	—	—	7	
	食物学科	食物学専攻	—	—	13	8	0	21
		管理栄養士専攻	—	—	25	21	2	48
	被服学科	3	2	2	0	0	7	
	家政経済学科	9	—	—	—	—	9	
学部計	19	2	40	29	2	92		
文学部	日本文学科	32	132	—	—	—	164	
	英文学科	61	88	—	—	—	149	
	史学科	37	64	—	—	—	101	
	学部計	130	284	—	—	—	414	
	学部計	130	284	—	—	—	414	
人間社会学部	現代社会学科	66	144	11	—	—	221	
	社会福祉学科	24	49	4	—	—	77	
	教育学科	33	62	15	—	—	110	
	心理学科	24	48	8	—	—	80	
	学部計	147	303	38	—	—	488	
理学部	数物情報科学科	13	12	—	—	—	25	
	化学生命科学科	—	—	22	6	4	32	
	学部計	13	12	22	6	4	57	
学部国際文化	国際文化学科	118	134	9	—	—	261	
	学部計	118	134	9	—	—	261	
	学部計	118	134	9	—	—	261	
学部建築デザイン	建築デザイン学科	19	1	43	—	—	63	
	学部計	19	1	43	—	—	63	
	学部計	19	1	43	—	—	63	

※国…国語、世…世界史、日…日本史、化…化学、生…生物、物…物理、数…数学
 ※家政学部の国・物、国・化、国・生、物・化、物・生は志願者がいなかったため、上記の表には掲載していません。

【一般選抜(大学入学共通テスト利用型 前期・後期) 入試結果】

学部・学科・専攻		大学入学共通テスト利用型(前期)					大学入学共通テスト利用型(後期)					
		志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格最低点/満点	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格最低点/満点	
家政学部	児童学科	88	88	30	2.9	441/600	19	19	9	2.1	422/600	
	食物学科	食物学専攻	50	50	7	7.1	574/700	—	—	—	—	—
		管理栄養士専攻	64	64	16	4.0	566/700	—	—	—	—	—
	被服学科	57	44	24	1.8	396/600	5	4	3	1.3	412/600	
	家政経済学科	76	74	34	2.2	420/600	15	15	4	3.8	422/600	
学部計	335	320	111	2.9	—	39	38	16	2.4	—		
文学部	日本文学科	366	364	130	2.8	441/600	32	31	3	10.3	529/700	
	英文学科	346	346	269	1.3	421/700	55	55	29	1.9	450/750	
	史学科	226	226	195	1.2	422/700	24	24	7	3.4	497/700	
学部計	938	936	594	1.6	—	111	110	39	2.8	—		
人間社会学部	現代社会学科	186	186	60	3.1	462/600	18	18	3	6.0	454/600	
	社会福祉学科	146	146	75	1.9	427/600	10	10	3	3.3	435/600	
	教育学科	204	204	82	2.5	435/600	15	15	6	2.5	465/600	
	心理学科	159	158	44	3.6	311/400	18	18	3	6.0	315/400	
学部計	695	694	261	2.7	—	61	61	15	4.1	—		
理学部	数物情報科学科	219	219	130	1.7	247/400	19	19	12	1.6	249/400	
	化学生命科学科	190	190	92	2.1	420/600	27	27	16	1.7	401/600	
学部計	409	409	222	1.8	—	46	46	28	1.6	—		
学部国際文化	国際文化学科	152	152	50	3.0	467/600	31	31	10	3.1	424/600	
	学部計	152	152	50	3.0	—	31	31	10	3.1	—	
学部建築デザイン	建築デザイン学科	247	241	61	4.0	481/600	30	30	6	5.0	338/400	
	学部計	247	241	61	4.0	—	30	30	6	5.0	—	
合計	2,776	2,752	1,299	2.1	—	318	316	114	2.8	—		

【総合型選抜・学校推薦型選抜入試結果】

学部・学科・専攻		総合型選抜				学校推薦型選抜							
		1次選考		2次選考		附属高推薦	指定校制	連携校	公募制				
		志願者数	合格者数	受験者数	合格者数				合格者数	合格者数	合格者数	1次選考	2次選考
家政学部	児童学科	88	46	46	39	18	13	2	10	10	10	6	
	食物学科	食物学専攻	18	10	10	5	13	2	0	5	5	3	
		管理栄養士専攻	29	15	15	4	21	1	1	5	2	2	
	被服学科	47	34	34	34	10	11	2	1	1	1	1	
	家政経済学科	20	20	20	11	35	5	1	—	—	—	—	
学部計	202	125	125	93	97	32	6	21	18	18	12		
文学部	日本文学科	79	79	74	62	8	16	1	9	9	9	8	
	英文学科	65	65	60	58	12	36	0	2	2	2	2	
	史学科	33	33	32	29	11	—	0	9	9	9	9	
	学部計	177	177	166	149	31	52	1	20	20	20	19	
人間社会学部	現代社会学科	48	33	32	10	28	24	1	—	—	—	—	
	社会福祉学科	68	29	28	21	6	37	2	14	14	12	7	
	教育学科	42	42	35	21	16	31	1	3	3	3	2	
	心理学科	42	8	8	7	21	22	1	—	—	—	—	
	学部計	200	112	103	59	71	114	5	17	17	15	9	
理学部	数物情報科学科	35	35	35	35	8	8	0	1	1	1	1	
	化学生命科学科	56	56	54	44	10	7	2	1	1	1	1	
	学部計	91	91	89	79	18	15	2	2	2	2	2	
学部国際文化	国際文化学科	100	51	46	35	33	34	1	—	—	—	—	
	学部計	100	51	46	35	33	34	1	—	—	—	—	
学部建築デザイン	建築デザイン学科	33	19	19	16	33	1	2	—	—	—	—	
	学部計	33	19	19	16	33	1	2	—	—	—	—	
合計	803	575	548	431	283	248	17	60	57	55	42		

【社会人入試・外国人留学生入試・編入学・学士入学 入試結果】

学部・学科・専攻		社会人			外国人留学生			編入学A			編入学B			学士入学		
		志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数	志願者数	受験者数	合格者数
家政学部	児童学科	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	食物学科	食物学専攻	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		管理栄養士専攻	—	—	—	1	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—
	被服学科	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	家政経済学科	—	—	—	3	3	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学部計	—	—	—	4	4	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
文学部	日本文学科	1	1	1	1	1	0	0	—	—	—	1	0	—	—	—
	英文学科	0	—	—	0	—	—	2	2	2	5	4	3	1	1	1
	史学科	0	—	—	2	2	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学部計	1	1	1	3	3	0	2	2	2	6	4	3	1	1	1	
人間社会学部	現代社会学科	0	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社会福祉学科	0	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	教育学科	1	0	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	心理学科	0	—	—	5	5	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学部計	1	0	—	6	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
理学部	数物情報科学科	—	—	—	2	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	化学生命科学科	—	—	—	1	1	1	0	—	—	0	—	—	0	—	—
学部計	—	—	—	3	3	2	0	—	—	0	—	—	0	—	—	
学部国際文化	国際文化学科	0	—	—	5	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学部計	0	—	—	5	5	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学部建築デザイン	建築デザイン学科	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	学部計	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2	1	1	21	21	6	2	2	2	6	4	3	1	1	1	

※編入学A：大学1年次修了者編入 ※編入学B：一般編入(短期大学卒業等)

学費と奨学金

【学費等】（2025年度予定額）2025年度の学費等は未定のため、2024年3月時点の予定額を掲載しています。

〔家政学部・文学部・人間社会学部〕

		家政学部			文学部	人間社会学部				
		児童学科	被服学科	家政経済学科	日本文学科 英文学科 史学科	現代社会学科 社会福祉学科 教育学科	心理学科	備考		
初年度納入額	入学手続時納入額	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ	
		授業料	435,000	435,000	385,000	385,000	385,000	385,000	前期分	
		実験実習料（定額年次徴収）	300	5,000	0	0	0	0	700	前期分
		施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	前期分
		学生傷害・賠償責任保険料	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	入学年度のみ(4か年分)
		泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費前期分
	泉会賛助金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	入学年度のみ	
	小計		837,460	842,160	787,160	787,160	787,160	787,860		
	後期納入額	授業料	435,000	435,000	385,000	385,000	385,000	385,000	385,000	後期分
		実験実習料（定額年次徴収）	300	5,000	0	0	0	0	700	後期分
		施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	後期分
		泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費後期分
小計		602,800	607,500	552,500	552,500	552,500	553,200			
年額合計（入学金含む）		1,440,260	1,449,660	1,339,660	1,339,660	1,339,660	1,341,060			

納2年次以降の	授業料	870,000	870,000	770,000	770,000	770,000	770,000	770,000	年額
	実験実習料（定額年次徴収）	600	10,000	0	0	0	0	1,400	年額
	施設設備費	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	年額
	泉会会費	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	年額
	年額合計	1,205,600	1,215,000	1,105,000	1,105,000	1,105,000	1,105,000	1,106,400	

〔理学部・国際文化学部・建築デザイン学部・食科学部(仮称・届出中)〕

		理学部		国際文化学部	建築デザイン学部	食科学部(仮称・届出中)				
		数物情報科学科	化学生命科学科	国際文化学科	建築デザイン学科	食科学科(仮称・届出中)	栄養学科(仮称・届出中)	備考		
初年度納入額	入学手続時納入額	入学金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ	
		授業料	535,000	535,000	410,000	515,000	540,000	540,000	540,000	前期分
		実験実習料（定額年次徴収）	900	8,000	0	2,500	11,000	11,000	11,000	前期分
		施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	前期分
		学生傷害・賠償責任保険料	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,730	4,730	入学年度のみ(4か年分)
		泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費前期分
	泉会賛助金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	入学年度のみ	
	小計		938,060	945,160	812,160	919,660	953,160	953,230		
	後期納入額	授業料	535,000	535,000	410,000	515,000	540,000	540,000	540,000	後期分
		実験実習料（定額年次徴収）	900	8,000	0	2,500	11,000	11,000	11,000	後期分
		施設設備費	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000	後期分
		泉会会費	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	保護者等会費後期分
小計		703,400	710,500	577,500	685,000	718,500	718,500			
年額合計（入学金含む）		1,641,460	1,655,660	1,389,660	1,604,660	1,671,660	1,671,730			

納2年次以降の	授業料	1,070,000	1,070,000	820,000	1,030,000	1,080,000	1,080,000	年額
	実験実習料（定額年次徴収）	1,800	16,000	0	5,000	22,000	22,000	年額
	施設設備費	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	320,000	年額
	泉会会費	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	年額
	年額合計	1,406,800	1,421,000	1,155,000	1,370,000	1,437,000	1,437,000	

〔1年次納入額〕

- 入学手続の際に、授業料、実験実習料（定額年次徴収分）、施設設備費、泉会会費の前期分、並びに入学金、学生傷害保険・賠償責任保険料、泉会賛助金を納入していただきます。
- 学科ごとの定額の実験実習料のほか、履修科目や資格に関わる実習などで別途費用がかかる場合があります。

〔2年次以降の納入額〕

- 2年次以降の授業料等は、前期・後期に分納できます。
- 学科ごとの定額の実験実習料のほか、履修科目や資格に関わる実習などで別途費用がかかる場合があります。
- 4年次後期に同窓会費を学費と一緒に納入していただきます。
- 学費等は在学中に改定されることがあります。

【国際文化学部 スタディ・アブロード・プログラム、実践プログラムに係る費用について】

【スタディ・アブロード・プログラム(SAP)】に係る費用について
1年次に2週間程度の全員必修の海外短期研修プログラムです。

各研修先(7か所)により費用が異なります。
概算費用 35万円～85万円程度（※1）

（2024年1月の為替レートによる）

【実践プログラム】に係る費用について
2～3年次必修のプログラムで、以下の海外a・海外b・国内のうち、いずれか1つを選択します。

- ・海外a：80万円～450万円程度（※2）（滞在費込み、航空機運賃は別/2023年7月の為替レートによる）
- ・海外b（協定大学留学／認定大学留学）：留学先大学による。交換留学の場合は、留学先の授業料免除。
- ・国内：1万円～10万円

注）※1・※2：為替レートの変動により、プログラムフィーに変更が生じる場合があります。

【奨学金制度】

本学では、真摯に勉強に取り組む学生の意欲をサポートし、奨励することを目的とした各種奨学金制度があります。

学業人物ともに優秀な学生を表彰する制度や、学業継続のサポートなど、その評価対象は多岐にわたり、各学部・学科による独自の表彰制度も設置しています。

〔本学独自の奨学金制度（今後、内容に変更が生じる場合があります）〕

		各種奨学金	対象	金額	人数	申込時期(予定)	給付時期(予定)
学業成績人物優秀者対象の表彰制度		成瀬仁蔵先生記念賞(記念品・給付) <p>創立者・成瀬仁蔵先生を記念し、学業人物優秀者が卒業式において表彰されます。</p>	学部4年次 <p>大学院博士課程の学位授与者</p>	学部：記念品 <p>大学院：審議の上決定</p>	学部：17名(各学科・専攻1名) <p>大学院：上限なし</p>	—	3月
		日本女子大学学業成績優秀賞・研究奨励賞(授業料減免) <p>各学科の推薦により、前年度までの学業成績が優れた、人物ともに優秀な学生に対し、後期授業料を減免する本学の奨学金制度です。</p>	各学部・学科2～4年次 <p>大学院修士課程もしくは博士課程前期、博士課程後期2年次以上</p>	授業料後期分減免 <p>大学院は授業料4分の1の金額を減免</p>	学部：45名(各学科1名) <p>大学院：最大27名(★下記詳細)</p>	—	—
		森村豊明会奨励賞(給付) <p>日ごろ真摯に学業・研究に取り組んでいる学生の中から、専門の各分野で特に際立った成果をあげ、将来の社会貢献を目指している学生を奨励する制度です。</p>	学部・大学院学生で当該年度内に卒業論文、修士論文、博士論文を提出できる要件を備えている学生	500,000円	2～4名	6月頃	12月頃
経済的困難に対する支援制度		日本女子大学桜楓奨学金(給付) <p>経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、経済支援として30万円を給付する奨学金です。</p>	学部2～4年次 [※]	300,000円	30名	5月頃	8月頃
		日本女子大学泉会学業支援給付奨学金(給付) <p>経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、経済支援として30万円を給付する奨学金です。</p>	学部3年次 [※]	300,000円	10名	10月頃	12月頃
		日本女子大学泉会緊急支援金(給付) <p>主たる家計支持者の死亡・失職等により家計が急変した学生を支援する奨学金です。</p>	学部学生	100,000円	審議の上決定	随時	随時
新入生対象の奨学金制度		桜楓会新入生奨学金(給付) <p>卒業生の団体（一般社団法人日本女子大学教育文化振興桜楓会）による奨学金制度です。日本女子大学生として、また将来にわたり桜楓会会員として社会貢献ができる学生の育成を目的としています。</p>	学部1年次 <p>大学院修士課程もしくは博士課程前期1年次</p>	50,000円 <p>学部(4年間で200,000円)</p> <p>大学院(2年間で100,000円)</p>	学部4名 <p>大学院1名</p>	7月頃	8月頃
		日本女子大学泉会spring新入生奨励金(給付) <p>首都圏（1都3県(東京・千葉・埼玉・神奈川)）以外の国内高等学校出身で、学寮に入寮した優れた新入生に対し、今後の学生生活を応援することを目的として20万円を給付する奨学金です。</p>	学寮に入寮した学部1年次	200,000円	15名	5月頃	7月頃
その他		日本女子大学大学院新入生奨励金(給付) <p>大学院修士課程(博士課程前期)の新入生で学業成績、人物ともに優れた者に対し、今後の学業・研究への取り組みを支援することを目的として20万円を給付する奨学金です。</p>	大学院修士課程もしくは博士課程前期1年次	200,000円	各専攻1名	—	10月頃
		日本女子大学特別活動給付奨学金(給付) <p>自己研鑽に励む学生を奨励する奨学金として、女子教育、社会活動、学術、文化、芸術、スポーツ等の分野で、優れた業績をあげた人物・学業ともに良好な学生を表彰します。</p>	学部2年次以上、大学院修士課程もしくは博士課程前期2年次、博士課程後期2年次以上	200,000円	1名	11月頃	12月頃

※高等教育修学支援新制度の対象以外の方が申請可能です。

★大学院：家政学・人間生活学研究科は各専攻より1名、文学・人間社会・理学研究科は各専攻より2名以内

各学部・学科による独自の表彰制度	食科学部(仮称・届出中)	日本女子大学食物学科FN賞	日本文学科	久松潜一記念奨学金、佐山記念奨学金、日本女子大学日本文学科賞	
	被服学科	日本女子大学被服学科賞			
	家政経済学科	氏家壽子記念奨学金	英文学科		島田賞、フィリップス賞
	社会福祉学科	松本武子奨学金	理学部		丹下記念奨学金、日本女子大学理学部奨学金
	建築デザイン学科	日本女子大学住居学科賞	化学生命科学科		河上サワ記念奨学金

〔国や自治体、民間の奨学金制度〕

日本学生支援機構奨学金

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」に基づく新たな修学支援制度「高等教育の修学支援新制度」の対象校となっています。

制度の詳細は、日本学生支援機構および文部科学省のホームページを参照してください。

◆修学支援新制度 学費減免＋給付奨学金（学部）

区分	入学金(減免上限額)	授業料(減免上限額)	給付奨学金(日本学生支援機構より給付)	
			自宅生	自宅外生
第Ⅰ区分	200,000円	700,000円	459,600円	909,600円
第Ⅱ区分	第Ⅰ区分の2/3の額		307,200円	607,200円
第Ⅲ区分	第Ⅰ区分の1/3の額		153,600円	303,600円

※全学部共通
※金額は年額
※入学金の減免は、新入生のみ対象(入学時のみ1回限り)
※第Ⅰ区分～第Ⅲ区分は、世帯の所得金額に基づく区分となります。

- ◆2024年度より多子世帯・理工農系学部に通う学生への支援(第Ⅳ区分)が拡充されます(2024年4月入学者・2024年4月時点で前年度からの在学者が対象)。

◆近年募集のある主な奨学金（留学関係以外）

給付奨学金				貸与奨学金
飯田財団	埼玉学生誘掖会	中村積善会	吉田育英会	あしなが育英会（一部給付） <p>交通遺児育英会</p> <p>山口育英奨学会</p>
オーデオテクニカ奨学会	春秋育英会	日揮・実吉奨学金	G-7奨学財団	
樫山奨学財団	住本育英会	福岡育英会	松原奨学財団	
楠田育英会	大学女性協会	守谷育英会	JPC奨学財団	

※その他、地方公共団体・民間育英団体より多数の募集があります。



日本女子大学大学院

JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

より広く、より深く GUIDE 2025



より広く、より深く、知を探求し、 新しい価値を創造します。

日本女子大学の大学院は1961年に米国のロックフェラー財団の支援を受け、家政学研究科（児童学専攻、食物・栄養学専攻修士課程）が設置されたのが始まりです。

以来発展を続け、人間生活学研究科、文学研究科、人間社会研究科、理学研究科が設置され、2024年には建築デザイン研究科が加わりました。

文理を融合する多様な分野の6研究科17専攻が揃う創立の地・目白キャンパスには、専攻を越えて、学生たちが主体的に学びを深めることができる環境が整っています。

総合力を生かした教育・研究を行い、高度な専門教育とともに、幅広い教養と豊かな人間性を備えた学生を育成していきます。

Details

研究科・専攻・課程 / 収容定員 / 授与する学位

研究科・専攻・課程			収容定員				授与する学位		
研究科	専攻	課程	修士課程および博士課程前期		博士課程後期		合計収容定員	修士	博士
			入学定員(名)	収容定員(名)	入学定員(名)	収容定員(名)			
家政学研究科	児童学専攻	修士課程	10	20			20	修士(家政学)	
	食物・栄養学専攻	修士課程	10	20			20	修士(家政学)	
	被服学専攻	修士課程	10	20			20	修士(家政学)	
	生活経済専攻	修士課程	8	16			16	修士(家政学)	
	計		38	76			76		
人間生活学研究科	人間発達学専攻	博士課程(後期)			5	15	15		博士(学術)
	生活環境学専攻	博士課程(後期)			5	15	15		博士(学術)
	計				10	30	30		
文学研究科	日本文学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(文学)	博士(文学)
	英文学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(文学)	博士(文学)
	史学専攻	博士課程(前期・後期)	6	12	3	9	21	修士(文学)	博士(文学)
	計		26	52	9	27	79		
人間社会研究科	社会福祉学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(社会福祉学)	博士(社会福祉学)
	教育学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(教育学)	博士(教育学)
	現代社会論専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(社会学)	博士(学術)
	心理学専攻	博士課程(前期・後期)	14	28	3	9	37	修士(心理学)	博士(心理学)
	相関文化論専攻	博士課程(前期・後期)	6	12	3	9	21	修士(文学)	博士(文学)
計		50	100	15	45	145			
理学研究科	数理・物性構造科学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(理学)	博士(理学)
	物質・生物機能科学専攻	博士課程(前期・後期)	10	20	3	9	29	修士(理学)	博士(理学)
	計		20	40	6	18	58		
建築デザイン研究科	建築デザイン専攻	修士課程	20	40			40	修士(建築デザイン)	
合計			154	308	40	120	428		

2024年4月1日

修業年限

修士課程の標準修業年限は、2年とします。博士課程(前期・後期)は、前期2年および後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、修士課程として取り扱うものとします。ただし、職業を有しているなどの事情により、あらかじめ標準修業年限を越えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修することを希望し、認められた長期履修学生の修士課程および博士課程前期の修業年限は、3年または4年とします。

課程の修了

修士課程または博士課程前期に2年以上在学し、履修授業科目について32単位以上(建築デザイン研究科建築デザイン専攻は36単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者には、その専攻するところに従い、修士の学位を授与します。博士課程に5年(修士課程または博士課程前期を修了した者については、当該課程における2年の在学期間を含む)以上在学し、履修授業科目について32単位以上(建築デザイン研究科建築デザイン専攻は36単位以上、理学研究科は55単位以上)を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者には、その専攻するところに従い、博士の学位を授与します。

Check!

大学院入試情報詳細をパソコン・スマホでみる
<https://www.jwu.ac.jp/unv/admission/grd/index.html>
 ©詳しい内容やお問い合わせは、右記から見るができます。



研究科のご案内

家政学研究科住居学専攻は、2024年度から建築デザイン研究科建築デザイン専攻に改組しました。

NEW

● 建築デザイン研究科



「住まう」を追究する総合性

建築デザインは、豊かな専門知識だけでなく、総合する力や創造力も必要とされる領域です。そのニーズに対応できるよう、建築デザイン研究科では、建築・住居・都市空間を対象に、高度な専門性のあるキャリア形成につながる授業・研究指導を行います。また、一人ひとりの関心に合わせた、少人数での丁寧な教育の場を用意しています。

建築デザイン専攻



「住まう」視点で、建築デザインの深い学識と高い研究・開発能力および設計力を養います。未来に向けて総合的に環境について考え創造するすぐれた研究者、建築家、技術者を輩出します。

● 家政学研究科



輝くプロフェッショナルズ

家政学研究科は、児童学、食物・栄養学、被服学、生活経済の4専攻を修士課程として設置しています。

いずれの専攻においても、専門分野に関する学識や高度な専門職としてのキャリア形成に造詣の深い教員が、共に研究を進めながら、若い人材の育成を目指します。

高度で専門的な4専攻の研究には、統合力や創造力も必要とされます。このため、すべての専攻において「輝くプロフェッショナルの育成」が可能です。

児童学専攻



児童学の専門的な知識をもって社会で活躍できる人材を育成します。授業科目は学生の問題意識、自主性を尊重した選択性を重視しており、児童学に関する文献のほか、観察室・プレイルームなどの設備も整っています。

食物・栄養学専攻



食物学、栄養学、調理学の理論・応用に関する高度な学識を養い、修士論文のテーマを中心として研究能力を養います。多くの食品企業研究者、大学教員を輩出しています。

被服学専攻



多様な側面を持つ「衣」に関する高度な専門知識と研究能力を養います。さまざまな環境に適合し、心と身体の健康を維持するための「衣」と豊かな服飾文化を創造できる人材を育成します。

生活経済専攻



さまざまな生活問題を経済的な視点と生活公共の視点から追究し、理論・現実の両面に関する高度な学識と研究能力を養います。社会人にも広く門戸を開いています。

人間生活学研究科



集まれ、知の牽引者たち

家政学研究科および建築デザイン研究科修士課程を基礎としている人間生活学研究科は、自然・社会の諸環境の近年の著しい変化に広く対応した、人間生活全般にわたる学際領域への研究展開をはかるべく組織された後期3年の博士課程です。基礎となる個々の専門研究を深化するとともに、生活を広範囲かつ総合的にとらえ、より高度で質の高い研究を目指すために、人間生活学研究科は「人間発達学専攻」と「生活環境学専攻」の2専攻によって構成されています。本研究科の修了者には、博士(学術)の学位が授与されます。

人間発達学専攻



人間の成長発達段階における課題を心理、文化、環境などの観点から探求します。また、人間の身体の形成、発育と生物学的理解などを究明し、健康の保持促進のあり方を探ります。

生活環境学専攻



人間とそれをとりまくさまざまな環境との関係や機能を考究し、生活のあり方を追究。衣食住を、生活をとりまく環境と認識し、自然科学的、社会経済的、文化的に考えます。

文学研究科



人間性の核心と拡がりに向かう

文学とは、古来、言葉を媒介とした人間の文化の諸相を広く概括した表現でした。近代の科学・学藝の進展は文学研究の分野を広げると同時に細分化をもたらしましたが、文学研究が総合的な人間性のありかの追究であることに変わりはありません。

わが文学研究科は、日本文学専攻・英文学専攻・史学専攻からなるコンパクトな編成です。

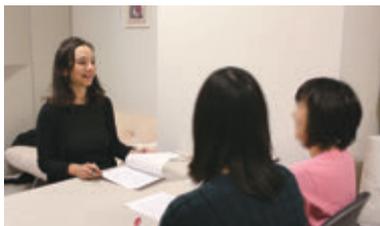
まず、それぞれが最新の研究に必須な独自の研究分野と精緻な方法意識とを涵養することに努め、その上で、文学・言語・歴史に共通する普遍的な精神を築けるよう、互いに連携して学際的なカリキュラムを設定しています。

日本文学専攻



日本文学・日本語学とそれに関連する学問について高い学識を培い、本質の究明を行います。さらにわが国の伝統文化を理解し、その発展に寄与することを目指しています。

英文学専攻



イギリス文学、イギリス文化、アメリカ文学、アメリカ研究、言語・英語学、英語教育などの分野において専門的な研究を行います。国際的な視野を持ち、学術進歩に貢献できる人材を育成します。

史学専攻



歴史学への社会的要請に応え、日本史・東洋史・西洋史の各分野で、高い見識と研究能力を備え、世界的視野から比較史的究明を行うことのできる研究者・教育者を育成します。

● 人間社会研究科



社会に貢献する人材を生み出す

人間社会研究科は5専攻からなり、学際的教育研究を通じて、常に変貌していく人間社会に関する学問および実践的活動を探究し、研究者あるいは高度な専門的実践者として活躍し、それによって、人々の幸福と社会の発展に貢献できる人材を養成することを目的とします。

本研究科の教育研究は、「社会への貢献」を目的とします。その意味は二重です。一つは社会の時流に流されることのない、歴史的に大学の社会的存在意義とされてきた「真理」「学問」「科学」の探究であり、今一つは、近年大学にとみに求められている実用的・実践的な力量の育成です。

社会福祉学専攻



現代社会に必要とされる総合的かつ高度な社会福祉理論を修得、研究と実践能力の向上を目指します。

教育学専攻



個人の生涯にわたる学習・教育の問題を社会との関連において実証的・理論的に考えとともに、家庭・学校・地域社会・職場などが抱える教育課題の解決を追究します。

現代社会論専攻



多様化する現代社会の現象や問題に対し、社会学をはじめ歴史学や人類学、経済学など幅広い視野からアプローチ。深い学識を基礎に、新たな視点からの多面的な分析能力を養成します。

心理学専攻



高い専門性を持った心理臨床家や、高度な研究能力を持つ心理学の研究者を養成します。本専攻は公認心理師および臨床心理士養成のカリキュラムに対応しています。

関連文化論専攻



複雑化、多元化の様相を深めていく人間文化の展開に対して、文化学の新しいパラダイムを構築し、また文化的価値の新次元を開拓できる、豊かな学識と研究能力を養います。

● 理学研究科



深い探求力と自由な発想力

理学研究科には、数理・物性構造科学専攻と物質・生物機能科学専攻があります。前者には数理構造部門、情報システム構造部門、構造物性部門があり、数学、情報科学、物理学を基軸とした研究を行っています。後者には物質機能部門、細胞分子機能部門、生理分子機能部門があり、化学、生物学を基軸として分子レベルまでの研究を行っています。いずれの部門でも基礎から最先端までの研究を行っており、社会に出た後に、論理的な思考法と確かな技術に基づいて実践できるように学びます。学際的な時代に対応するために、二つの専攻間で専攻を越えた講義の受講、意見交換ができる環境を作っています。深い探求力と自由な発想力を身につけて、社会に踏み出して欲しいと思います。

数理・物性構造科学専攻



数理／自然／社会現象における諸問題を、数学、情報科学、物理学の側面から探究して課題を解決します。研究者・技術者として活躍できる専門性を養います。

物質・生物機能科学専攻



化学および生物学の側面から、無機物質、有機物質、細胞、個体などの機能を探究します。高度な専門知識と技術を活かして活躍できる研究者・技術者を養成します。

他の大学院における授業科目の履修

各研究科委員会において、あらかじめ他大学の大学院と協議して双方の承認が得られたとき、学生は、当該他大学の大学院の授業科目を履修することができます(日本女子大学大学院学則第12条)。この規定により履修した単位は、15単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすことができます。(※)

研究科		専攻	協定校
全研究科全専攻			●お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科
家政学	文学	人間社会	全専攻(博士課程前期・修士課程) ●学習院女子大学大学院 国際文化交流研究科
家政学研究科		全専攻(修士課程)	●和洋女子大学大学院 総合生活研究科
文学研究科	日本文学専攻		●学習院大学大学院 人文科学研究科 日本語日本文学専攻 ●早稲田大学大学院 文学研究科 日本語日本文学コース
	英文学専攻		●青山学院大学大学院 ●明治大学大学院 ●津田塾大学大学院 ●法政大学大学院 ●明治学院大学大学院 ●東京女子大学大学院 ●上智大学大学院 ●立教大学大学院 ●東洋大学大学院 ●聖心女子大学大学院 ●東北学院大学大学院
	史学専攻(博士課程前期)		●東京女子大学大学院 人間科学研究科 人間文化科学専攻 歴史文化分野 ●聖心女子大学大学院 文学研究科 史学専攻
人間社会研究科	社会福祉学専攻		●上智大学大学院 ●日本社会事業大学大学院 ●関東学院大学大学院 ●明治学院大学大学院 ●大正大学大学院 ●立教大学大学院 ●東洋大学大学院 ●立正大学大学院 ●法政大学大学院 ●淑徳大学大学院 ●ルーテル学院大学大学院 ●日本大学大学院
	教育学専攻		●立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻
	現代社会論専攻		●茨城大学大学院 ●東洋大学大学院 人文社会科学研究科 社会学研究科 ●大妻女子大学大学院 福祉社会デザイン研究科 福祉社会システム専攻 人間文化研究科 現代社会研究専攻 ●常盤大学大学院 ●駒沢大学大学院 人間科学研究科 人文科学研究科 社会学専攻 ●日本大学大学院 ●埼玉大学大学院 新聞学研究科 人文社会科学研究科 ●法政大学大学院 ●上智大学大学院 社会学研究科 社会学専攻 文学研究科 新聞学専攻 ●武蔵大学大学院 ●成蹊大学大学院 人文科学研究科 社会学専攻 文学研究科 社会文化論専攻 ●明治学院大学大学院 ●専修大学大学院 社会学研究科 社会学専攻 文学研究科 社会学専攻 ●明治大学大学院 ●創価大学大学院 政治経済学研究科 政治学専攻 文学研究科 社会学専攻 文学研究科 臨床人間学専攻 ●大正大学大学院 ●立教大学大学院 人間学研究科 社会学研究科 社会学専攻 ●千葉大学大学院 ●立正大学大学院 人文公共学府 人文科学専攻・総合文化研究専攻 文学研究科 社会学専攻 ●中央大学大学院 ●流通経済大学大学院 文学研究科 社会学専攻・社会情報学専攻 社会学研究科 社会学専攻 ●都留文科大学大学院 文学研究科 社会学地域社会研究専攻
心理学専攻		●白百合女子大学大学院 文学研究科 発達心理学専攻 ●東京女子大学大学院 人間科学研究科 人間社会科学専攻 心理・コミュニケーション科学分野	
理学研究科	全専攻		●学習院大学大学院 自然科学研究科
	数理・物性構造科学専攻(数学分野)		●中央大学大学院 ●日本大学大学院 理工学研究科 数学専攻 総合基礎科学研究科 地球情報数理学専攻 基礎数理部門 ●学習院大学大学院 ●立教大学大学院 自然科学研究科 数学専攻 理学研究科 数学専攻 ●上智大学大学院 ●東京女子大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 数学領域 理学研究科 数学専攻 ●国際基督教大学大学院 ●東京理科大学大学院 アーツ・サイエンス研究科 理学専攻 理学研究科 数学専攻 応用数学専攻 ●明治大学大学院 ●津田塾大学大学院 理工学研究科 数学専攻 理学研究科 数学専攻 情報科学専攻 先端数理科学研究科 現象数理学専攻

入学前の既修得単位の認定

研究科委員会が、教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、15単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすことができます(日本女子大学大学院学則第14条)。(※)

※大学院学則第12条及び第14条により認定された単位は、あわせて20単位を超えない範囲で本大学院において履修したものとみなすこととなります。

教育職員免許

本大学院の修了者は下表の通り、教育職員免許状が得られます。ただし、いずれも、その専修免許状の基礎となる一種免許状を取得している者で、大学が独自に設定する科目について大学院における規定の単位数を修得した者に限ります。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科	研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
家政学研究科	児童学専攻	幼稚園教諭専修免許状	家庭	人間社会研究科	社会学専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		小学校教諭専修免許状				公民	
		中学校教諭専修免許状				福祉	
		高等学校教諭専修免許状				社会	
	食物・栄養学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭			小学校教諭専修免許状	公民
		高等学校教諭専修免許状				幼稚園教諭専修免許状	
		栄養教諭専修免許状				小学校教諭専修免許状	
	被服学専攻	中学校教諭専修免許状	家庭			中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状				高等学校教諭専修免許状	公民
	生活経済専攻	中学校教諭専修免許状	公民			中学校教諭専修免許状	社会
高等学校教諭専修免許状		高等学校教諭専修免許状		公民			
中学校教諭専修免許状		高等学校教諭専修免許状		公民			
文学研究科	日本文学専攻	中学校教諭専修免許状	国語	理学研究科	数理・物性構造科学専攻	中学校教諭専修免許状	数学
		高等学校教諭専修免許状				高等学校教諭専修免許状	理科
	英文学専攻	中学校教諭専修免許状	英語			中学校教諭専修免許状	情報
		高等学校教諭専修免許状				高等学校教諭専修免許状	理科
史学専攻	中学校教諭専修免許状	社会	中学校教諭専修免許状	理科			
	高等学校教諭専修免許状		高等学校教諭専修免許状	理科			

その他の資格

専攻により下表の通り受験資格が得られます。ただし、いずれも指定科目など条件がありますので、専攻の指示に従ってください。

専攻	受験資格	資格取得について
心理学専攻	公認心理師	心理学専攻の臨床心理学領域は公認心理師のカリキュラムに対応しています。大学で所定の科目を単位修得後、本専攻において所定の科目を修了した者は公認心理師の受験資格を取得できます。
	臨床心理士	心理学専攻の臨床心理学領域は、(公財)日本臨床心理士資格認定協会の第1種校としての指定を受けています。よって、本専攻の本領域を修了した者は、実務経験なしに、臨床心理士の受験資格を取得できます。
児童学専攻 心理学専攻	臨床発達心理士	①修士の学位、②臨床実習200時間(指導予定教員に可能かどうかを確認してください)、③指定科目に対応した授業科目を心理学専攻においては20単位、児童学専攻においては12単位(いずれも本学および協定大学院の科目や資格認定委員会開催の講習会など)の条件を満たす場合、臨床発達心理士の認定申請ができます。

学費等(2025年度予定額)

2025年度の学費等は未定のため、2024年3月時点の予定額を掲載しております。8月頃に大学ホームページでお知らせします。

年額(円)

	家政学			人間生活学	文学	人間社会	理学	建築デザイン	備考
	児童、被服	食物・栄養	生活経済						
入学金※	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	入学年度のみ
授業料	730,000	730,000	630,000	730,000	630,000	630,000	830,000	730,000	年額
施設設備費	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	年額
学生傷害・賠償責任保険料	2,430	2,470	2,430	3,670	(博前) 2,430 (博後) 3,620	(博前) 2,430 (博後) 3,620	(博前) 2,430 (博後) 3,620	2,430	入学年度のみ
合計	1,032,430	1,032,470	932,430	1,033,670	(博前) 932,430 (博後) 933,620	(博前) 932,430 (博後) 933,620	(博前) 1,132,430 (博後) 1,133,620	1,032,430	

※本学学部卒業者が本学博士課程前期または修士課程に入学した場合、所定の手続きにより入学金を返金します。

※本学大学院修士課程または博士課程前期の修了者および修了見込みの者が本学博士課程後期に進学する場合、入学金を免除します。

- [注意] 1. 授業料および施設設備費は前期・後期に分納ができます。
 2. 上記の学費等以外に、実験実習料が必要となる場合があります。
 3. 長期履修学生の学費は、募集要項でご確認ください。
 4. 学費等は在学中に改定されることがあります。

奨学金

大学院学生のための奨学金制度は、日本学生支援機構奨学金をはじめ、本学独自の学内奨学金、さらに地方自治体・民間育英団体の奨学金などがあります。

下表に挙げた学内奨学金制度には、学費援助の他、学業・人物優秀者の表彰や論文審査によるものがあります(ただし、都合により予告なく変更・終了となる場合があります)。

全研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
成瀬仁蔵先生記念賞	創立者成瀬仁蔵先生を記念し学業・人物優秀者を表彰	給付	審議の上決定	若干名
日本女子大学学業成績優秀賞・研究奨励賞	優れた研究を自立的に遂行しようとしている者	給付	授業料一部相当額	若干名
日本女子大学大学院新入生奨励金	大学院修士課程(博士課程前期)の新入生で学業成績、人物ともに優れた者	給付	20万円	各専攻1名
森村豊明会奨励賞	専門の各分野で特に際立った成果をあげ、将来の社会貢献をめざしている者で、当該年度内に修士論文、博士論文を提出できる要件を備えている学生	給付	50万円	※ 2~4名
日本女子大学特別活動給付奨学金	女子教育、社会活動、学術、文化、芸術、スポーツ等の分野で優れた業績をあげ、人物・学業ともに良好な者	給付	20万円	※ 1名
家政学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
日本女子大学被服学科賞	被服学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
人間生活学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
鈴木深雪記念奨学金	人間生活学研究科博士課程後期に在学し、研究者としての資質・将来性を有し、優れた博士論文を執筆して博士の学位を取得しようとする意欲の高い者	給付	博士課程後期2年次と3年次に在学している2年間、月額10万円	1名
文学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
中島武雄奨学金	日本文学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
上村悦子奨学金	日本文学専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名
日本女子大学日本文学科賞(奨励賞)	日本文学専攻の学術優秀かつ創造的な学生生活を送った学生	給付	審議の上決定	若干名
ヴェリタス賞	英文学専攻博士課程前期の論文優秀者	給付	審議の上決定	若干名
茅野蕭々・稚子記念奨学金	文学研究科に在学する学費援助を必要とする学業成績優秀な者	給付	審議の上決定	若干名
人間社会研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
松本武子奨学金	社会学専攻の学業・人物優秀者	給付	10万円	若干名
理学研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
鈴木優美子記念奨学金	理学研究科に在学し、研究者としての資質・将来性を有し、優れた業績をあげ、修士または博士の学位を取得しようとする意欲の高い者	給付	4万円	*
建築デザイン研究科/名称	基準	給貸	金額	人員
日本女子大学住居学科賞	建築デザイン専攻の学業・人物優秀者	給付	審議の上決定	若干名

※ 学部・大学院を合わせた人数とする。 *博士課程前期/後期それぞれ各専攻1名(計4名)。

Access



目白キャンパス

大学院 家政学研究科 人間生活学研究科 文学研究科 人間社会研究科 理学研究科 建築デザイン研究科

大学 [家政学部・文学部・人間社会学部・理学部・国際文化学部・建築デザイン学部・食科学部(仮称・届出中)]

附属豊明幼稚園、附属豊明小学校

生涯学習センター



成瀬記念館



百年館高層棟

- JR山手線 目白駅** → 徒歩 約15分
 バス 約5分(バス停の場所は上の地図を参考にしてください)
 ●日本女子大学前行都営バス(学05)
 「目白駅前」②番乗り場→④番「日本女子大前」下車
 ●新宿駅西口・ホテル椿山荘東京行都営バス(白61)
 「目白駅前」①③番乗り場→⑤番「日本女子大前」下車

東京メトロ副都心線 雑司が谷駅(3番出口) → 徒歩 約8分

東京メトロ有楽町線 護国寺駅(4番出口) → 徒歩 約10分

都電荒川線 鬼子母神前停留場 → 徒歩 約10分

※車での来校はご遠慮ください。

<https://www.jwu.ac.jp/unv/>



日本女子大学大学院
 JAPAN WOMEN'S UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

家政学研究科 人間生活学研究科 文学研究科 人間社会研究科 理学研究科 建築デザイン研究科

〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1

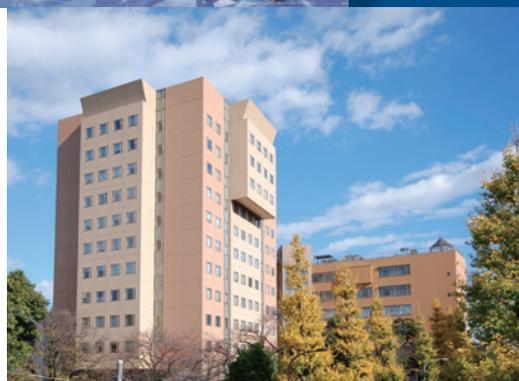
TEL.03-5981-3786 (入試課直通) MAIL.n-nyushi@atlas.jwu.ac.jp

※入試に関するお問い合わせは、03-5981-3786またはn-nyushi@atlas.jwu.ac.jpまでお願いします。



(2024/5)

日本女子大学
次世代リーダーを目指す女性のための
DX人材育成コース
The Recurrent Education Program



DX推進に必要な
技能、マネジメント力、
ストラテジーをリスキリング



リカレント教育課程



日本女子大学
リカレント教育課程



文部科学省

内閣府男女共同参画局
「平成29年度女性のチャレンジ支援賞」受賞
令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞
文部科学省 令和4年度
「成長分野における即戦力人材輩出に向けた
リカレント教育推進事業」採択事業
東京商工会議所会員

創立者・成瀬仁蔵の精神

創立者の成瀬仁蔵は「抑も教育の目的は、人の人格を作るにあり」「立派な人格とは毎日新しい人間に生れ変わる人である。生涯を進歩の過程とし、新しい知識を求め、生きた経験を積み、幾歳になっても青年の様な旺な精神を以て益々奮闘して境遇を開いて行く人である」と説き、女性の覚醒と自立を促し、教育全般の改革に力を注ぎ、女性が一人の人間として一生かけて向上し発展していく**生涯教育**の理念を展開しました。成瀬が伝え続けた教育の精神は、今も本学の貴重な財産として継承されています。



創立者・成瀬仁蔵



日本女子大学・教育綱領

上から「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」

日本女子大学リカレント教育課程 沿革

- 2007年 9月 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育事業委託」採択
「リカレント教育・再就職システム」として開講
- 2007年12月 改正学校教育法により、社会人にプログラムを提供し、履修証明を授与する課程の設置が認められる
- 2008年 4月 大学設置の履修証明プログラムとなる
- 2010年 3月 生涯学習センターの一部門として本学独自の運営を開始
- 2015年12月 文部科学省が定める「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定
- 2016年 1月 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」講座に指定
- 2016年 4月 9月入学を廃止し4月入学に一本化
- 2016年 10～12月 「働き方改革に関する総理との意見交換会」出席
- 2017年 6月 内閣府男女共同参画局「平成29年度女性のチャレンジ支援賞」受賞
- 2017年11月 リカレント教育課程10周年記念シンポジウム開催
- 2018年 5月 東京商工会議所と「女性のための新たな学び・再就職支援に関する覚書」締結
- 2018年 8月 文部科学省「平成30年度男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」を受託
- 2019年 7月 文京区と「中小企業人材確保・採用拡大支援事業」連携
- 2019年10月 文部科学省「平成31年度持続的な産学共同人材育成システム構築事業」委託事業名「実務家教員COEプロジェクト」に参画
- 2019年12月 「女性のためのリカレント教育推進協議会」発足。本学は初代会長・幹事校
- 2020年 5月 文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」普及啓発事業に採択
- 2021年 1月 令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞
- 2021年 4月 文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」普及啓発事業に採択
既存コースを「再就職のためのキャリアアップコース」に名称変更
- 2021年 6月 「働く女性のためのライフロングキャリアコース」新設
- 2023年 6月 文部科学省「令和4年度 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択
文部科学省「令和5年度 女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」に採択
- 2023年 10月 「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」開講



1945年 戦争終結後 正門をくぐる学生



対面授業でのグループワーク



オンラインでの双方向型授業



2023年「DX人材育成コース」開講
(イメージ)



次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース

略称〈DX人材育成コース〉

開講の目的

経済や社会、またその基盤技術が急激に変化し将来を予測することが難しい現在において、新たな価値を創造し持続的な成長を遂げていくために女性の活躍が期待されています。女性の就労者数は徐々に増加しているものの、女性の経営者、議員、管理職比率は他の先進諸国と比較して低い状況が続いており、また、デジタル分野におけるジェンダーギャップの解消も急務となっています。さらに、現在、企業・団体・地域においてはデジタル人材の不足によりDXを推進するための人材の確保に苦慮する状況が続いており、新規の人材採用だけでなく既存の人材がリスキリングすることによるDX推進人材の育成が望まれます。

本コースのプログラムは、あらゆる業界、職種、役職においてDXを推進し、リーダーシップを発揮できる女性の人材を、リスキリングによって育成することを目的とし、修了者には、未だDX途上にある企業・団体・地域におけるDX推進チームの中核を担い、それぞれの立場でリーダーシップを発揮する人材となり、スキルアップだけでなく社会で活躍できる意識を醸成します。

DX推進事業実施委員会について

本学リカレント教育課程には、2010年度に発足した生涯学習センター運営委員会、リカレント教育委員会、2022年度に発足したリカレント教育課程 外部評価委員会に続き、2023年度に本事業により新たにDX推進事業実施委員会を設置します。

DX推進事業実施委員会では、DX人材育成コースについて、地域ニーズや受講生ニーズを把握するために委員会構成員へのヒアリングや意見交換を実施します。本委員会では、DXにおける地方での課題について検討したうえで、本プログラムを受講することにより、各地方で活躍するDX推進人材を教育し、また多様な環境の差を解消していく支援についても検討します。

生涯学習センター事業組織図

生涯学習センター運営委員会 (2010年度発足)

リカレント教育委員会 (2010年度発足)

募集・修了認定・授業科目・再就職支援・外部資金事業
ステークホルダー（講師・連携企業・受講生/修了生）との意見交換

リカレント教育課程 外部評価委員会 (2022年度発足)

カリキュラム、
支援内容についての意見交換、
企業連携に関する意見交換

〈構成員〉
経済産業省
東京商工会議所
リクルート進学総研
麒麟ビジネスエキスパート(株)
野村證券(株)

DX推進事業実施委員会 (2023年度発足)

リカレント教育課程における新たなDX人材育成コースについて、地域ニーズ、受講生ニーズを把握するため、産官学で構成し、実施委員会にてヒアリング・意見交換を行う

〈構成員〉

観光庁、東京労働局、鳥取県、文京区(東京都)、日高振興局(北海道)、
梶原町(高知県)、東京商工会議所、(株)富士通ラーニングメディア、
大同生命保険(株)、野村證券(株)、麒麟ビジネスエキスパート(株)、(株)システムディ

行政機関

- ・ DXに関する地域ニーズのヒアリング
- ・ プログラム評価
- ・ 授業科目連携
- ・ 受講生募集
- ・ 広報

企業・経済団体

- ・ DXに関する企業ニーズのヒアリング
- ・ プログラム評価
- ・ 授業科目連携
- ・ 受講生募集
- ・ 広報

カリキュラム概要

本コースの科目構成は、選択必修2科目、自由選択11科目としています。「ビジネスデータをどう扱うか」に軸を置き、DX推進に重要なマネジメントスキルから、DXの運用レベルで要求されるデータ処理系のテクニカルなスキルまで、幅広く網羅した設計となっています。本コースの修了者は、技術面においてはITSSレベル2相当、マネジメント、ストラテジー面ではITSSレベル4相当のスキルをもつ女性として、各分野業界で潜在的に不足している女性のデジタル人材となり活躍することを想定しています。

身につけられる技能: プログラミング、業務効率化、RPA、AI、機械学習、ディープラーニング、データベース、ネットワーク、マルチメディア、サイバーセキュリティ、コンピュータシステム、データ構造、アルゴリズム、マネジメント、経営戦略

ICT関連業務の
サマリーの把握
リーダーシップの発揮



私立女子大学唯一の
理学部が推進支援する
DX人材育成プログラム

基礎知識系・実践演習系・事例研究系
・キャリア形成系科目

実習、事例研究科目: スキル習得
各種連携: 多様なDXの取り組みに
ついての講義や業界交流

プログラムの目的:

- ◆潜在的なDX人材不足の解消
- ◆リスキリングによるDX推進人材の育成
- ◆ジェンダーギャップの解消
- ◆デジタル分野における女性のリーダーシップ推進
- ◆地方創生への支援

日本女子大学(東京)

連携組織図



産官学の実施委員会

地域連携

行政機関

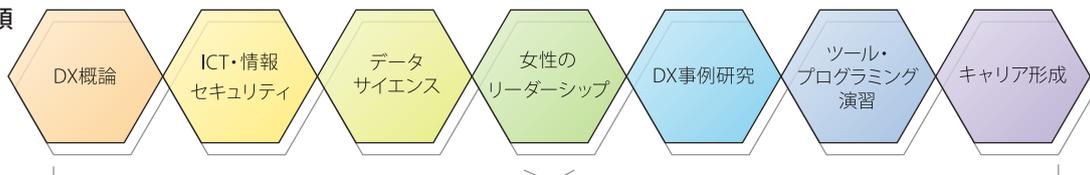
企業連携

企業・経済団体

受講者のイメージ

- A人材【現在マネージャー】** ▶ マネジメント関連の経験は十分にあるが、IT知識の不足により、DX推進の全体像を把握するために、DXについて体系的に学びたい人材
- B人材【マネージャー候補】** ▶ ITスキル・DXへの見識はあるが知識が先端ではなく、今後は1つ上の視座を獲得したいと考えており、マネジメント関連を学ぶ意欲のあるマネージャー候補の人材
- C人材【キャリア意識の高い若手人材】** ▶ ITに抵抗がなく、自動化や効率化に関心があり、生産性も高い。将来は責任あるキャリアを構築したいと考えている若手人材

科目分類



女性のデジタル分野への進出

応募資格	高等学校卒以上(短大・大学・大学院)、または大学受験資格を有する就労中・就労経験のある社会人女性
修了要件	65時間(6.5単位) 募集要項・科目一覧 HPをご覧ください
授業形式	*すべてオンライン授業(Zoom、オンデマンド) *2023年10月~2024年2月(5ヵ月) *平日: 19:00~20:40、土曜日: 1時限(9:00~10:40)、2時限(10:50~12:30)
備考	開講式および修了式の実施、修了証オープンバッジ発行、学内施設利用可、PC貸出、交流イベントの開催、 本学LMS使用、仕事による欠席対応あり

企業の方へ

現在不足しているデジタル人材確保のためには中途採用だけでなく既存人材のリスキリングも大きな選択肢の1つです。本コースのプログラムは、若手からマネジメントクラスがDXを推進するためのスキルを体系的に学べる講座を提供します。このプログラムでは、デジタル技術についてはデータサイエンス、プログラミング、業務効率化ツール等に関する科目、さらにDXの事例研究に関する科目、女性のリーダーシップやキャリア形成に関する科目等を学習します。組織内の研修や人材育成のサポートとしてぜひご活用ください。

経済団体・官公庁・他大学との連携・協力

東京商工会議所との連携

当課程では、2018年5月に東京商工会議所と「女性のための新たな学び・再就職支援に関する覚書」を締結し、さらなる学びの機会と、多様な再就職先の提案をいただいております。



覚書締結式の様子

「女性のためのリカレント教育推進協議会」発足

2018年度に人生100年時代を迎え政府が女性の社会参加をさらに促すためにリカレント教育に力を入れることを宣言したことから、リカレント元年と呼ばれましたが、認知されていないのが現実です。特に女性が再就職を果たすために新たな学びを提供するリカレント教育については、課題も多いことから、女性のためのリカレント教育を運営する大学が相互に連携をとり、問題点の共有と解決に向けての検討、社会的認知の啓発活動、関係官庁との連携などを行うため、2019年12月「女性のためのリカレント教育推進協議会」を発足しました。本学は初代会長・幹事校として2019～2021年度の運営に携わりました。

参加大学(プログラム設置順)

日本女子大学、関西学院大学、明治大学、福岡女子大学、京都女子大学、京都光華女子大学、山梨大学、椋山女学園大学



「女性のためのリカレント教育推進協議会」
発足シンポジウムの様子

文部科学省2020年度～2021年度

「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと 社会参画支援事業」普及啓発事業に採択

女性のためのリカレント教育推進協議会では「女性のためのリカレント教育に関わるネットワーク構築」に申請をし採択されました。

日本女子大学が2018年度に実施した調査では「リカレント」をこの調査で初めて知ったという女性が85%であり、啓発活動が課題であることが確認されました。啓発が進まない理由として「受講者側の課題」と「人材の受け入れ企業側の課題」があげられます。これを解決し、リカレント教育を普及させるために人生100年時代を生き抜くためのネットワーク構築していく場を提供しました。



小池百合子東京都知事との面会の様子

令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞

日本女子大学は令和3年1月に東京都女性活躍推進大賞を受賞しました。コロナ禍で授賞式は延期されましたが、6月17日に受賞団体と小池百合子東京都知事との面会の機会が設けられ、本学からは今市涼子理事長が出席いたしました。

本学受賞理由は法人の女性教職員比率の高さ、そして国内における高等教育機関による初のリカレント教育プログラムの創設と推進でした。



「次世代リーダーを目指す女性のための
DX人材育成コース」の開講

文部科学省「令和4年度 成長分野における

即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択され、 「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」を開講

2023年10月、就労中・就労経験のある社会人女性を対象に、地域行政機関、経済団体、企業と本学で実施委員会を構成し、本事業を運営します。

【DX 推進事業実施委員会 構成機関】

観光庁、東京労働局、鳥取県、文京区(東京都)、日高振興局(北海道)、榛原町(高知県)、東京商工会議所、(株)富士通ラーニングメディア、大同生命保険(株)、野村證券(株)、キリンビジネスエキスパート(株)、(株)システムディ

文部科学省「令和5年度 女性の多様なチャレンジに寄り添う 学びと社会参画支援事業」実証事業を 京都女子大学・福岡女子大学と連携して実施

2023年10月、「ウィミズカレッジ(KNF)連携 マネジメント入門コース」を開講。本学では東京商工会議所と連携し、「タイムマネジメント講座」を提供します。



「ウィミズカレッジ(KNF)連携
マネジメント入門コース」の開講

FAQ

Q. どのような受講者を想定していますか。

A. あらゆる業界、職種、役職にいる女性を対象としています。キャリア意識の高い若手～現在マネージャーとして活躍している幅広い女性の皆様を対象としています。

Q. 受講に際して求められるITスキルはどのくらいですか。

A. ITSSレベル(ITスキル標準)1程度のリテラシーがあることを前提としたカリキュラム構成になっています。

Q. 再就職支援を希望します。

A. 就労中の女性のスキルアップ・ブラッシュアップを目的としているため、再就職支援はありません。「再就職コース」をご検討ください。

Q. 修了要件は6.5単位となっていますが、6.5単位より多く履修はできますか。

A. 同時帯に科目の開講は重複しません。追加料金を納入していただきますが、履修することは可能です。

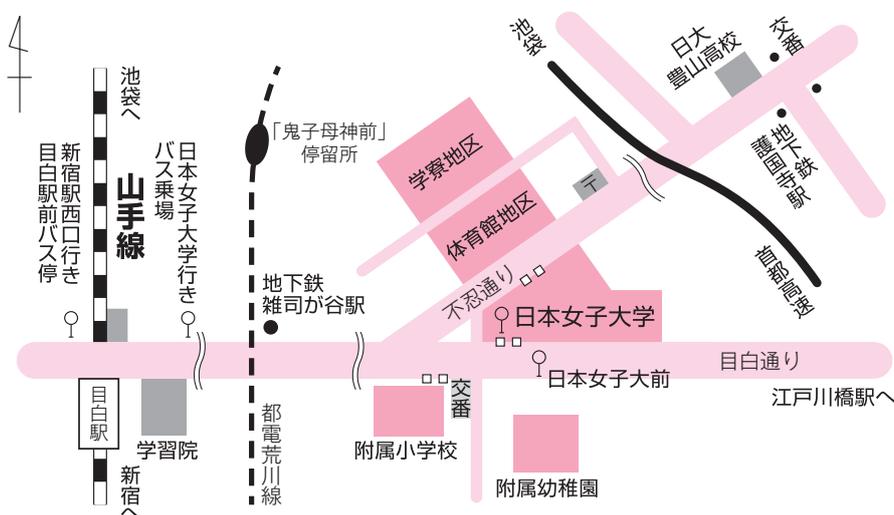
Q. オンライン授業ですが、大学の施設は使えますか？

A. 日曜、祝日を除く、平日・土曜日に、図書館、大学生協、購買部、食堂を利用できます。

Q. 授業資料はどのように受け取るのでしょうか。

A. 本学のLMS(Learning Management System、学習管理システム)を活用して、講師が保存した資料を、ご自身のデバイスで閲覧、または印刷していただきます。

ACCESS



主要駅からの時間(目安)

	目白	雑司が谷
新宿	6分	15分
渋谷	13分	13分
池袋	2分	2分
東京	25分	30分
羽田	60分	60分
横浜	45分	50分

JR山手線
目白駅より

徒歩
約15分

バス
約5分

(バス停の位置は上記地図参照)
 【都営バス(学05)】
 日本女子大学行き(直行)
 乗車「目白駅前」バス停→下車「日本女子大前」バス停
 【都営バス(白61)】
 新宿駅西口行きまたはホテル椿山荘東京行き
 乗車「目白駅前」バス停→下車「日本女子大前」バス停

東京メトロ副都心線
雑司が谷駅

徒歩:約8分
.....
3番出口より

東京メトロ有楽町線
護国寺駅

徒歩:約10分
.....
4番出口より

都電荒川線
鬼子母神前停留所

徒歩:約10分

リカレント教育課程に関する資料請求・各種お問い合わせ

所在地 日本女子大学 リカレント教育課程事務室(目白キャンパス)
 〒112-8681
 東京都文京区目白台 2-8-1 百年館4階生涯学習センター内
 TEL 03-5981-3751
 E-mail recurrent@fc.jwu.ac.jp
 URL https://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/
 受付時間 月～金曜日9:30～16:30 土曜日9:30～11:30
 (長期休暇期間中の受付日は変更になります)

ホームページ



Twitter



facebook



Instagram



日本女子大学
働く女性のためのライフロングキャリアコース
The Recurrent Education Program

リカレント教育課程



仕事も学びも諦めない
仲間とともにNext Stageへ



日本女子大学
リカレント教育課程

内閣府男女共同参画局
「平成29年度女性のチャレンジ支援賞」受賞
令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞
文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定講座
厚生労働省「特定一般教育訓練給付金指定講座」
東京商工会議所会員



日本女子大学
リカレント教育課程
文部科学省
「職業実践力育成プログラム」
女性活躍

創立者・成瀬仁蔵の精神

創立者の成瀬仁蔵は「抑も教育の目的は、人の人格を作るにあり」「立派な人格とは毎日新しい人間に生れ変わる人である。生涯を進歩の過程とし、新しい知識を求め、生きた経験を積み、幾歳になっても青年の様な旺な精神を以て益々奮闘して境遇を開いて行く人である」と説き、女性の覚醒と自立を促し、教育全般の改革に力を注ぎ、女性が一人の人間として一生かけて向上し発展していく**生涯教育**の理念を展開しました。成瀬が伝え続けた教育の精神は、今も本学の貴重な財産として継承されています。



創立者・成瀬仁蔵



日本女子大学・教育綱領

上から「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」

日本女子大学リカレント教育課程 沿革

- 2007年 9月 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育事業委託」採択
「リカレント教育・再就職システム」として開講
- 2007年12月 改正学校教育法により、社会人にプログラムを提供し、履修証明を授与する課程の設置が認められる
- 2008年 4月 大学設置の履修証明プログラムとなる
- 2010年 3月 生涯学習センターの一部門として本学独自の運営を開始
- 2015年12月 文部科学省が定める「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定
- 2016年 1月 厚生労働省「専門実践教育訓練給付金」講座に指定
- 2016年 4月 9月入学を廃止し4月入学に一本化
- 2016年 10～12月 「働き方改革に関する総理との意見交換会」出席
- 2017年 6月 内閣府男女共同参画局「平成29年度女性のチャレンジ支援賞」受賞
- 2017年11月 リカレント教育課程10周年記念シンポジウム開催
- 2018年 5月 東京商工会議所と「女性のための新たな学び・再就職支援に関する覚書」締結
- 2018年 8月 文部科学省「平成30年度男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」を受託
- 2019年 7月 文京区と「中小企業人材確保・採用拡大支援事業」連携
- 2019年10月 文部科学省「平成31年度持続的な産学共同人材育成システム構築事業」委託事業名「実務家教員COEプロジェクト」に参画
- 2019年12月 「女性のためのリカレント教育推進協議会」発足。本学は初代会長・幹事校
- 2020年 5月 文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」普及啓発事業に採択
- 2021年 1月 令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞
- 2021年 4月 文部科学省「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」普及啓発事業に採択
既存コースを「再就職のためのキャリアアップコース」に名称変更
- 2021年 6月 「働く女性のためのライフロングキャリアコース」新設
- 2023年 6月 文部科学省「令和4年度 成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択
文部科学省「令和5年度 女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業」に採択
- 2023年 10月 「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」開講



1945年 戦争終結後 正門をくぐる学生



対面授業でのグループワーク



オンラインでの双方向型授業



2023年「DX人材育成コース」開講
(イメージ)



働く女性のためのライフロングキャリアコース 略称「働く女性コース」

人生100年時代に働き続けるための学びとは何かを検討し、コロナ禍で学びのニーズが急上昇したこともあり、2021年度より女性が長く社会で活躍できることを目指す新たなコース、「働く女性のためのライフロングキャリアコース」をスタートしました。

これまでは、再教育と再就職を2本の柱とした「再就職のためのキャリアアップコース」を運営してまいりましたが、2016年の女性活躍推進法施行の頃から、働いている方が離職して学ぶケースが増えてきました。そこで、平成30年度に文部科学省委託事業で、「女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組みづくりとニーズ調査によるリカレント教育モデル構築のための実証事業の実施」を行い、女性と採用企業がどのような学びを必要としているのかを調査しました。その結果、さまざまな職場で活躍している方が、お互いに情報交換をし、ネットワークを構築しながら離職せずに国内外どこからでも学ぶことのできるコースを開講しました。

リカレント教育 プログラムの多様化

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、その本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返すことです。我が国では、一般的に、「リカレント教育」を諸外国より広くとらえ、働きながら学ぶ場合、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校以外の場で学ぶ場合もこれに含めていることが多くリカレント教育も多様化しています。

〈リカレント教育の分類〉

- ①リカレントオリジナル科目により編成されたプログラム。さらに正規課程(学部など)の科目を履修可能なこともある。
 - ②正規課程(学部・大学院)の提供科目により編成されたプログラム。
 - ③社会人など広く一般を対象に、資格取得支援や趣味や教養といった生涯学習のための各種講座などを提供しているプログラム(大学エクステンションセンター、生涯学習センターなど)。
- 以上の中で本学は大学に①リカレントオリジナルプログラムを持つ課程として運営をしています。

①

リカレントオリジナルプログラム
+
学部科目や通信教育課程科目の履修により編成

②

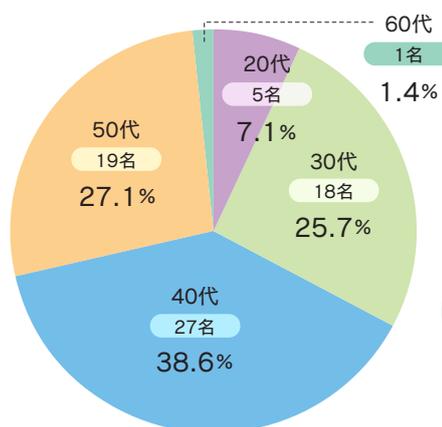
正規課程(学部や大学院)の開講科目のみで編成

③

エクステンションセンターや生涯学習センターなどの講座・公開講座

受講生のデータ (第1～3回生 / 全入学者70名)

入学時の年齢層・年齢分布

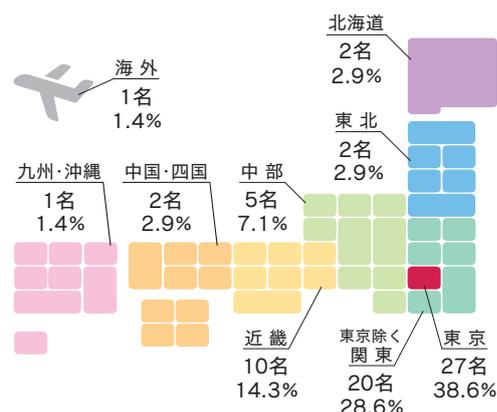


平均年齢
43.8歳

経営者
管理職比率
27.1%
(経験者含む)

正規社員
比率
78.6%

受講生の居住地区



カリキュラム概要 (2023年度6月開講より)

人生100年時代に、働く女性がライフロングキャリアデザインを構築するとともに、リーダーシップ能力をはぐくみ、管理職としても活躍することを後押しするリカレントプログラムです。

長く働くための心構えを学ぶ「女性のライフスタイルと起業」や「ライフロング・キャリア・デザイン」、ビジネスにおけるプレゼンテーションを体得する実践型授業や、「人材育成の導入理論」、「マーケティングマネジメント」、「管理会計の基礎」などの科目を設置し、受講生自身のキャリアアップに応じた選択ができるプログラムを準備しました。

応募資格	高等学校卒以上(短大・大学・大学院)、または大学受験資格を有する就労中・就労経験のある社会人女性	受講までの流れ
修了要件	6.5単位(63時間)以上 *8カ月間 *授業日数の2/3、授業時間の2/3出席 *仕事・通信障害による遅刻・欠席対応あり	00 入学キャリア説明会参加 出願者は、入学キャリア説明会(当該年度)に参加してください。
授業形式	全てオンライン授業(Zoom、オンデマンド) (平日) 夜 間 19:00~20:40 (土曜) 1時限目 9:00~10:40 / 2時限目 10:50~12:30 <開講日> 平日夜2日、土曜日より選択 *科目により開講期間が異なる(時間割参照) *本学LMS使用	01 出願書類提出 募集要項の「出願料の振り込み」「オンラインでの出願登録」を確認のうえ、下記の出願書類(1)(2)を、簡易書留またはレターパックプラスにてリカレント教育課程事務室に送付してください。 (1)受講申込書 (2)最終出身学校の卒業証明書
備考	① 再就職支援なし ② 開講式(遠隔開催)、修了式(3月、3コース合同、遠隔・対面) ③ 受講ガイダンス開催 ④ 文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定 ⑤ 厚生労働省「特定一般教育訓練給付金指定講座」 ⑥ 学内施設利用可(図書館、食堂ほか)	02 書類審査・面接(オンライン) 指定日にZoomにて面接をお受けください。 03 試験結果通知到着 ご自宅にお送りします。 04 入学手続き 詳細は合格時にお伝えします。 05 リカレント教育課程開講 オンラインで開催される開講式・履修ガイダンスに出席後、履修科目の登録をします。 06 授業開始 学事日程にそって受講します。

授業科目一覧 (2023年度6月開講より) 修了要件:6.5単位

分類	科目名	科目概要
選択必修	女性のライフスタイルと起業	組織の中で働くだけではない「起業」という働き方、生き方について考える。
	メンタルヘルス・マネジメント(セルフケア)	心の健康に関する正しい知識を学び、ストレスに気づいて対処する方法を身につける。
	ライフロング・キャリア・デザイン	これから生きる女性が、ライフプラン・キャリアデザインを描く上で、有しておくべき基本的知識や留意点を学ぶ。
	人材育成の導入理論	人材開発(成長・育成)の全体像を理解した上で、実践的なスキルを習得する。
選択	働く女性のためのブラッシュアップ金融経済講座	世界経済や日本の現状・課題を把握した上で、暮らしのゆくえんについて考え、金融経済の基礎知識やライフプランの基礎知識等を習得する。
	マーケティングマネジメント	マーケティングの基本概念や用語、理論を体系的に学習する。
	市場調査論	Microsoft Excelの機能を使いながら、データを集めるための市場調査と、集めたデータを分析する統計学の基本を学ぶ。
	Business English 1	職場で英語を用いて働くために必要な実用的な英語力を培う。
	Business English 2	グローバル化の進む今日の職場において、様々な文化的背景を持つ同僚・クライアントと円滑にコミュニケーションをはかるための基礎知識を学ぶ。
	プレゼンテーション	プレゼンテーションに必要な資料の準備の仕方から資料作成→プレゼンテーションという流れでスキルアップを図る。
	管理会計の基礎	管理会計を学んだことがない方のための講座で、会社の経営管理を将来担っていく人材になるための基礎知識を学ぶ。
	ITリテラシー3(Access)	Accessを用いたデータベースの管理をする際の基本的な技能を身につける。
	情報処理演習	Word、Excel、PowerPointの知識を仕事で活用するために必要な実践的な技法を習得する。

第2回生の声

知見を広げるために受講しました。授業はもちろんのこと、様々な目標を持った受講生と交流を持てたことが貴重な経験になりました。今後の働き方への意識を変える半年間でした。



全体を通して、ビジネスに関する基礎知識やスキルを体系的に学ぶことが出来て有益だった。また、働いている女性という前提で負荷がかかりすぎないように課題内容等を配慮いただいたのが有り難かった。



若いうちには気が付かなかったことも、年齢とともに色々考えるようになることがあります。働き続けている人は、キャリアアップやキャリアチェンジに悩んだり、結婚や出産・育児、ご自身の病气、介護で離職された方にとっては、この先の自分の人生。受講して、何を学ぶかは始めるにあたって、もちろん大切なことではありますが、始めたことで予想もしていなかった人との出会いもありました。是非、おすすめいたします。



どの授業も前向きに取り組むことができた。中でも英語の授業に関しては、社会人になってからは誰も教えてくれなかったことを先生から教えてもらったので大変勉強になった。また、同じような志の人たちと学ぶことができて大変刺激的だった。



自分のキャリアに悩んでいた、専門性を模索しているような方、物足りなさを感じている方に、ぜひ受講をお勧めします。実践的な科目を受講するもよし、興味のある科目に新しく挑戦するもよし、いずれにせよ充実した時間を過ごすことができます。年齢やキャリアもばらばらですが、意識の高い受講生が集まっており、共に楽しく学ぶことができます。



学びに遅すぎるということはありません。学びたい気持ちを大切に一步踏み出してみてください。卒業時には必ず入学前とは違う自分があるはずです。



各種制度について

履修証明プログラムについて

学校教育法第105条及び、学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校(以下「大学等」という。)における「履修証明制度」が創設されました。これは、大学等の積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした、一定のまとまりのある学習プログラム(「履修証明プログラム」)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できるという制度です。

本課程はこの履修証明制度にのっとった「履修証明プログラム」です。修了者には学校教育法に基づき履修証明を交付します。

- 文部科学省ホームページ「大学の履修証明制度について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/



文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」

社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な課程を「職業実践力育成プログラム(BP)」として文部科学省が認定して奨励する制度で、当りカレント教育課程も認定されています。詳細は、文部科学省ホームページをご覧ください。

- 文部科学省ホームページ「職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について」
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm



厚生労働省教育訓練給付金制度(特定一般教育訓練)のご案内

「働く女性のためのライフロングキャリアコース」は教育訓練給付金制度(特定一般教育訓練)の指定講座です。詳細については、お近くのハローワークにてご確認ください。

- 厚生労働省ホームページ 教育訓練給付制度
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html





経済団体・官公庁・他大学との連携・協力

東京商工会議所との連携

当課程では、2018年5月に東京商工会議所と「女性のための新たな学び・再就職支援に関する覚書」を締結し、さらなる学びの機会と、多様な再就職先(※1)の提案をいただいております。

※1 再就職支援は「再就職のためのキャリアアップコース」受講生・修了生のみ対象



覚書締結式の様子

「女性のためのリカレント教育推進協議会」発足

2018年度に人生100年時代を迎え政府が女性の社会参加をさらに促すためにリカレント教育に力を入れることを宣言したことから、リカレント元年と呼ばれましたが、認知されていないのが現実です。特に女性が再就職を果たすために新たな学びを提供するリカレント教育については、課題も多いことから、女性のためのリカレント教育を運営する大学が相互に連携をとり、問題点の共有と解決に向けての検討、社会的認知の啓発活動、関係官庁との連携などを行うため、2019年12月「女性のためのリカレント教育推進協議会」を発足しました。本学は初代会長・幹事校として2019～2021年度の運営に携わりました。

参加大学(プログラム設置順)

日本女子大学、関西学院大学、明治大学、福岡女子大学、京都女子大学、京都光華女子大学、山梨大学、稲山女学園大学

「女性のためのリカレント教育推進協議会」
発足シンポジウムの様子

文部科学省2020年度～2021年度

「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと 社会参画支援事業」普及啓発事業に採択

女性のためのリカレント教育推進協議会では「女性のためのリカレント教育に関わるネットワークの構築」に申請をし採択されました。

日本女子大学が2018年度に実施した調査では「リカレント」をこの調査で初めて知ったという女性が85%であり、啓発活動が課題であることが確認されました。啓発が進まない理由として「受講者側の課題」と「人材の受け入れ企業側の課題」があげられます。これを解決し、リカレント教育を普及させるために人生100年時代を生き抜くためのネットワークを構築していく場を提供しました。

東京都女性活躍推進大賞



小池百合子東京都知事との面会の様子

令和2年度「東京都女性活躍推進大賞」受賞

日本女子大学は令和3年1月に東京都女性活躍推進大賞を受賞しました。コロナ禍で授賞式は延期されましたが、6月17日に受賞団体と小池百合子東京都知事との面会の機会が設けられ、本学からは今市涼子理事長が出席いたしました。

本学受賞の理由は法人の女性教職員比率の高さ、そして国内における高等教育機関による初のリカレント教育プログラムの創設と推進でした。

「次世代リーダーを目指す女性のための
DX人材育成コース」の開講

文部科学省「令和4年度 成長分野における

即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択され、 「次世代リーダーを目指す女性のためのDX人材育成コース」を開講

2023年10月、就労中・就労経験のある社会人女性を対象に、地域行政機関、経済団体、企業と本学で実施委員会を構成し、本事業を運営します。

【DX推進事業実施委員会 構成機関】

観光庁、東京労働局、鳥取県、文京区(東京都)、日高振興局(北海道)、梶原町(高知県)、東京商工会議所、(株)富士通ラーニングメディア、大同生命保険(株)、野村證券(株)、キリンビジネスエキスパート(株)、(株)システムディ

「ウィミンズカレッジ(KNF)連携
マネジメント入門コース」の開講

文部科学省「令和5年度 女性の多様なチャレンジに寄り添う 学びと社会参画支援事業」実証事業を 京都女子大学・福岡女子大学と連携して実施

2023年10月、「ウィミンズカレッジ(KNF)連携 マネジメント入門コース」を開講。本学では東京商工会議所と連携し、「タイムマネジメント講座」を提供します。

企業の方へ

社会研修プログラムや人材教育のサポートとして 本コースを利用しませんか？

就労中の女性が、ビジネススキルを向上させ、所属する組織を離れて自分自身のキャリアを見つめることで、新たなネットワークを広げる機会を作ることを目的としたプログラムを開講します。平日夜間・週末にオンラインを中心とした学びやすい時間帯に講座を提供し、女性が社会の中でリーダーシップを発揮し、活躍することを後押しします。

近年女性の就業率は上昇し、産休育休制度の充実など就労環境も向上しています。しかし、厚生労働省「雇用均等基本調査」(2018)によると企業の女性管理職比率は11.8%と伸び悩み、その背景には職場での構造的な問題、女性は組織の中で重要な仕事を任せられず、自らが活躍するためのスキルアップやメンタルサポートの機会が与えられていないという状況も指摘されています。

2018年度に文部科学省「平成30年度男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」の助成を受けて、本学が実施したニーズ調査の結果からは、多くの企業がリカレント教育を特に位置づけてはいないものの、「勤務時間外に補助を出して行う」と回答した企業は3割近くに上りました。

このような状況を踏まえ、本プログラムでは、離職して学び直すキャリアチェンジではなく、就労を継続しながらのキャリアアップを目指すとともに、後進を育成するために必要なリーダーシップ力の向上や、生涯を通じて長く働くためのスキルと心構えを学ぶカリキュラムを提供します。

1

女性のリーダーシップ 能力育成のための講座

組織の中核を担う人材として必要な情報管理や企業会計に関する知識の修得に加えて、人材育成の理論やプレゼンテーションといった組織の中でリーダーシップを発揮するための内面的な成長を促す科目を提供します。

2

人生100年時代に長く働く (社会と関わる)ための ビジネススキルを修得する ための講座

自身のキャリアデザイン、セルフケアに関する理解を深め、社会人としての自己管理能力を高めるとともに、マーケティング・マネジメントや金融、ビジネス英語など、現場での即応力が求められる先端的なビジネススキルを修得するための科目を提供します。

これらの科目を、それぞれのキャリアとスキルに応じて選択可能な科目群で提供することにより、履修者の多様性に対応するとともに、社会のニーズに合わせて柔軟に運用可能なプログラムとしました。社内研修プログラムとして、組織内の研修や人材育成のサポートとしてもご活用いただきたく、是非ともご意見や、ご希望をお寄せください。



FAQ

Q. 4年制大学を卒業していませんが、出願できますか？

A. 働く女性コースの出願条件は「①高等学校卒、大学受験資格を有する者 ②就労中・就労経験のある社会人女性」となっていますので、①かつ②の該当者であれば出願可能です。

Q. 就労中ではありませんが、出願できますか？

A. 就労経験がありましたら出願できます。

Q. 再就職支援を希望します。

A. 就労中の女性のスキルアップ・ブラッシュアップを目的としているため、再就職支援はありません。「再就職コース」をご検討ください。

Q. 修了要件は6.5単位となっていますが、6.5単位より多く履修はできますか。

A. 同時間帯に科目の開講は重複しません。追加料金を納入していただきますが、履修することは可能です。

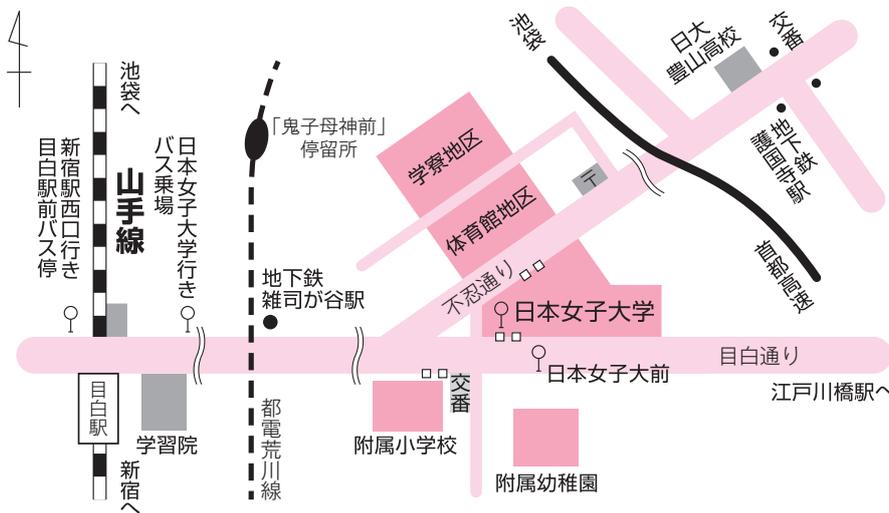
Q. オンライン授業ですが、大学の施設は使えますか？

A. 日曜、祝日を除く、平日・土曜日に、図書館、大学生協、購買部、食堂を利用できます。

Q. 授業資料はどのように受け取るのでしょうか。

A. 本学のLMS(Learning Management System、学習管理システム)を活用して、講師が保存した資料を、ご自身のデバイスで閲覧、または印刷をしていただきます。

ACCESS



主要駅からの時間(目安)

	目白	雑司が谷
新宿	6分	15分
渋谷	13分	13分
池袋	2分	2分
東京	25分	30分
羽田	60分	60分
横浜	45分	50分

JR山手線 目白駅より	徒歩 約15分	バス 約5分	【都営バス(学05)】 日本女子大学行き(直行) 乗車「目白駅前」バス停→下車「日本女子大前」バス停	東京メトロ副都心線 雑司が谷駅 徒歩: 約8分 3番出口より
			【都営バス(白61)】 新宿駅西口行きまたはホテル椿山荘東京行き 乗車「目白駅前」バス停→下車「日本女子大前」バス停	東京メトロ有楽町線 護国寺駅 徒歩: 約10分 4番出口より
				都電荒川線 鬼子母神前停留所 徒歩: 約10分

リカレント教育課程に関する資料請求・各種お問い合わせ

所在地 日本女子大学 リカレント教育課程事務室(目白キャンパス)
〒112-8681
東京都文京区目白台 2-8-1 百年館4階生涯学習センター内

TEL 03-5981-3751

E-mail recurrent@fc.jwu.ac.jp

URL https://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/

受付時間 月～金曜日9:30～16:30 土曜日9:30～11:30
(長期休暇期間中の受付日は変更になります)

ホームページ



Twitter



facebook



Instagram

